

豊橋市  
子ども・子育て支援に関するニーズ調査  
調査結果報告書

令和6年3月

豊 橋 市



# 目次

I	調査の概要	1
II	調査結果	2
	(1) あて名のお子さんご家族の状況について	2
	(2) 就労状況について	11
	(3) 育児休業の取得状況について	38
	(4) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	49
	(5) 休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用について	60
	(6) 病気の際の対応について	65
	(7) 不定期な教育・保育事業の利用について	83
	(8) 小学校就学後の放課後の過ごし方について	105
	(9) 出産や子育てについて	128
	(10) 個別の子育て支援施策に関することについて	156
	(11) 子育て環境や子育て支援サービス全般について	192
III	自由意見	222
IV	総括	230



# I 調査の概要

## 1 調査の目的

令和7年度からの5年間を計画期間とする「豊橋市こども計画（第3期豊橋市子ども・子育て応援プラン）」を策定するにあたり、教育・保育・子育て支援事業の利用状況や今後の利用希望を把握するとともに、子育てに関する生活実態や要望・意見などを把握することを目的としています。

## 2 調査対象

市内在住の0歳から小学校6年生までの児童の保護者

## 3 調査期間

令和5年10月10日から令和5年11月2日

## 4 調査方法

対象区分	児童年齢	調査票配布方法	回収・回答方法
就学前児童保護者	0～2歳	郵送	郵送又はweb回答
	3～5歳	保育園等を通じて配布	園による回収又はweb回答
就学児童保護者	6～11歳	小学校等を通じて配布	学校による回収

## 5 回収状況

対象区分	配布数	有効回答数	有効回答率（平成30年度）
就学前児童保護者	6,368通	2,457通	38.6%（55.3%）
就学児童保護者	4,247通	2,420通	57.0%（73.7%）
全体	10,615通	4,877通	45.9%（63.4%）

## 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な質問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

## Ⅱ 調査結果

### (1) あて名のお子さんご家族の状況について

問 お住まいの小学校区を記入してください。分からない場合は、お住まいの町名を記入して下さい。(就学前児童：問1、就学児童：問1)

小学校区

【就学前児童】回答者数=2,457

【就学児童】回答者数=2,420

単位：左段は実数（件）、右段は割合（％）

	就学前児童		就学児童			就学前児童		就学児童			就学前児童		就学児童	
西郷	7	0.3	20	0.8	松葉	53	2.2	41	1.7	幸	48	2.0	118	4.9
賀茂	20	0.8	17	0.7	八町	16	0.7	19	0.8	天伯	17	0.7	36	1.5
玉川	24	1.0	45	1.9	花田	45	1.8	52	2.1	二川	90	3.7	107	4.4
嵩山	5	0.2	11	0.5	羽根井	68	2.8	41	1.7	二川南	99	4.0	95	3.9
石巻	13	0.5	31	1.3	岩田	99	4.0	52	2.1	谷川	29	1.2	26	1.1
下条	6	0.2	12	0.5	豊	34	1.4	34	1.4	大崎	7	0.3	40	1.7
牛川	90	3.7	55	2.3	多米	47	1.9	52	2.1	植田	48	2.0	57	2.4
東田	52	2.1	39	1.6	飯村	50	2.0	41	1.7	大清水	65	2.6	56	2.3
旭	15	0.6	19	0.8	岩西	51	2.1	59	2.4	野依	43	1.8	34	1.4
鷹丘	105	4.3	57	2.4	吉田方	137	5.6	122	5.0	杉山	13	0.5	36	1.5
大村	26	1.1	30	1.2	牟呂	91	3.7	126	5.2	老津	47	1.9	28	1.2
下地	67	2.7	42	1.7	汐田	56	2.3	61	2.5	小沢	27	1.1	25	1.0
津田	20	0.8	24	1.0	福岡	75	3.1	59	2.4	細谷	5	0.2	32	1.3
前芝	39	1.6	47	1.9	栄	47	1.9	90	3.7	高根	44	1.8	42	1.7
松山	32	1.3	18	0.7	磯辺	26	1.1	2	0.1	豊南	29	1.2	47	1.9
新川	28	1.1	29	1.2	中野	35	1.4	32	1.3	富士見	60	2.4	90	3.7
向山	43	1.8	47	1.9	高師	89	3.6	5	0.2	その他・不明・無回答	58	2.4	9	0.4
つつじが丘	50	2.0	62	2.6	芦原	67	2.7	49	2.0					

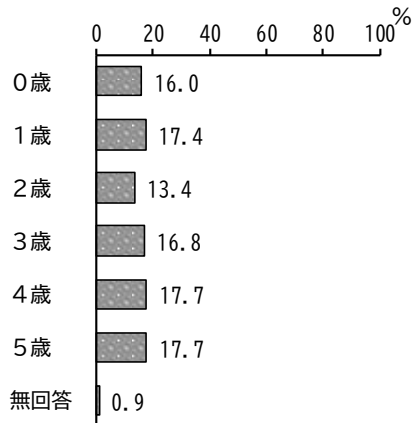
問 あて名のお子さんの生まれた年月を記入してください。  
(就学前児童：問2、就学児童：問2)

就学前児童では、「4歳」「5歳」の割合が17.7%と最も高く、次いで「1歳」の割合が17.4%となっています。

就学児童では、「6歳（1年生）」の割合が19.0%と最も高く、次いで「11歳（6年生）」の割合が17.2%、「9歳（4年生）」の割合が16.3%となっています。

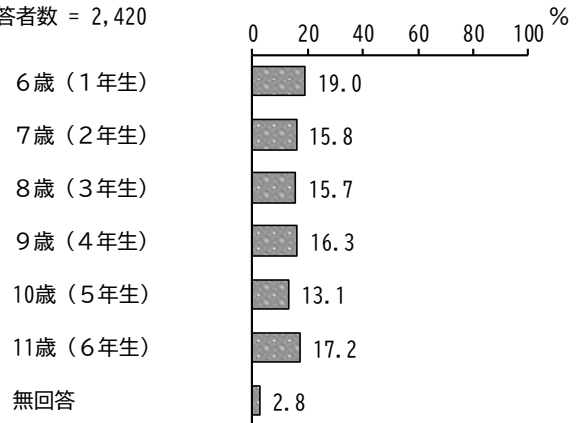
【就学前児童】

回答者数 = 2,457



【就学児童】

回答者数 = 2,420



問 あて名のお子さんを含め、生計を一緒にする世帯人数は何人ですか。そのうち、お子さんの人数は何人ですか。〔 〕内に記入してください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、あて名のお子さんが上から何番目のお子さんか、また、最も年下の子の生まれた年月を記入してください。(就学前児童：問3、就学児童：問3)

## ア 世帯人数

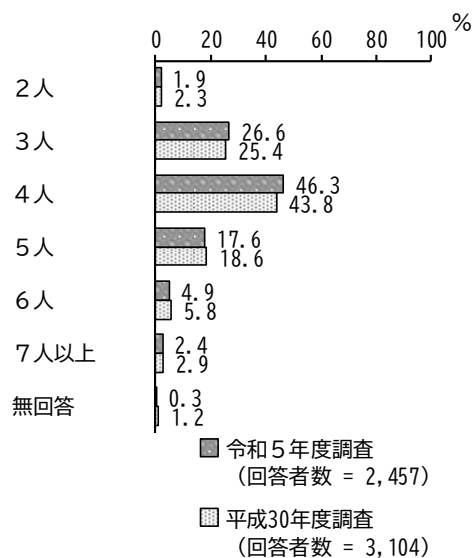
就学前児童では、「4人」の割合が46.3%と最も高く、次いで「3人」の割合が26.6%、「5人」の割合が17.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

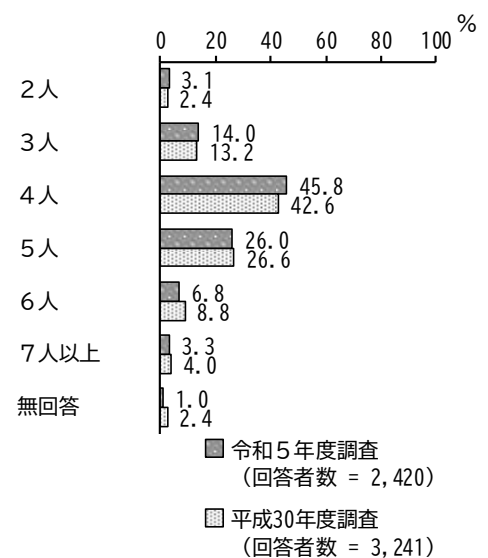
就学児童では、「4人」の割合が45.8%と最も高く、次いで「5人」の割合が26.0%、「3人」の割合が14.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】





## イ 子どもの人数

就学前児童では、「2人」の割合が49.5%と最も高く、次いで「1人」の割合が28.6%、「3人」の割合が17.7%となっています。

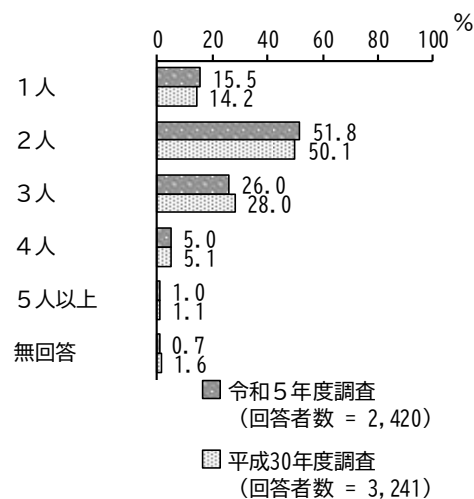
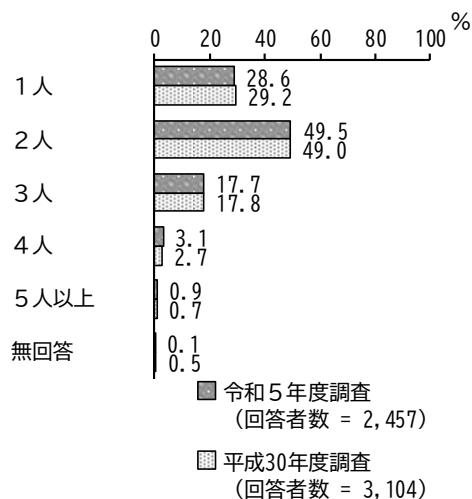
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、「2人」の割合が51.8%と最も高く、次いで「3人」の割合が26.0%、「1人」の割合が15.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】

【就学児童】



## ウ (子どもが2人以上の場合) 何番目の子ども

就学前児童では、「2番目」の割合が54.7%と最も高く、次いで「3番目」の割合が20.3%、「1番目」の割合が18.9%となっています。

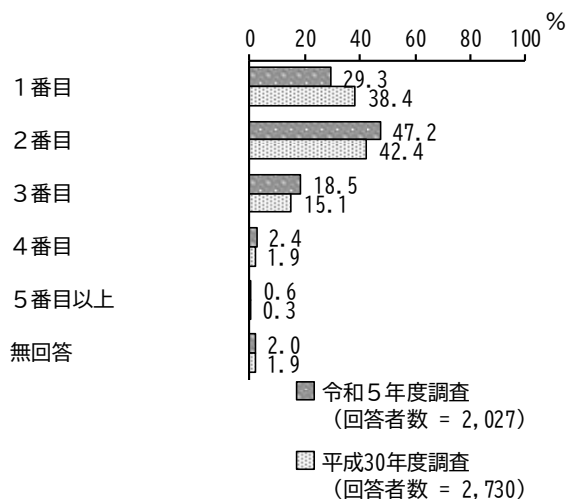
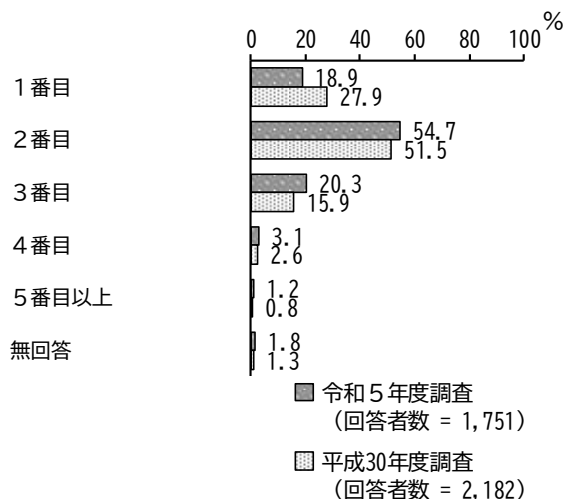
平成30年度調査と比較すると、「1番目」の割合が減少しています。

就学児童では、「2番目」の割合が47.2%と最も高く、次いで「1番目」の割合が29.3%、「3番目」の割合が18.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1番目」の割合が減少しています。

【就学前児童】

【就学児童】



エ (子どもが2人以上の場合) 末子の年齢

就学前児童では、「0歳」の割合が22.8%と最も高く、次いで「1歳」の割合が19.0%、「2歳」の割合が13.4%となっています。

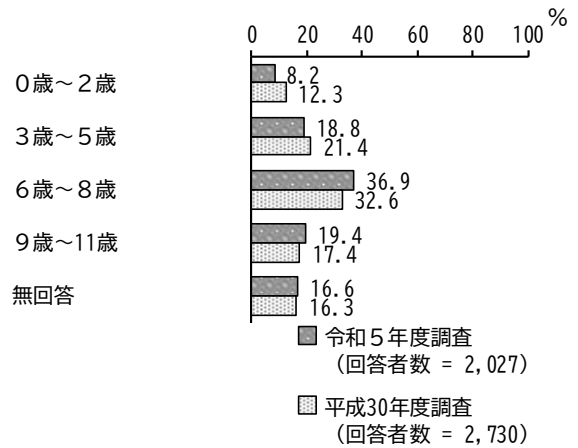
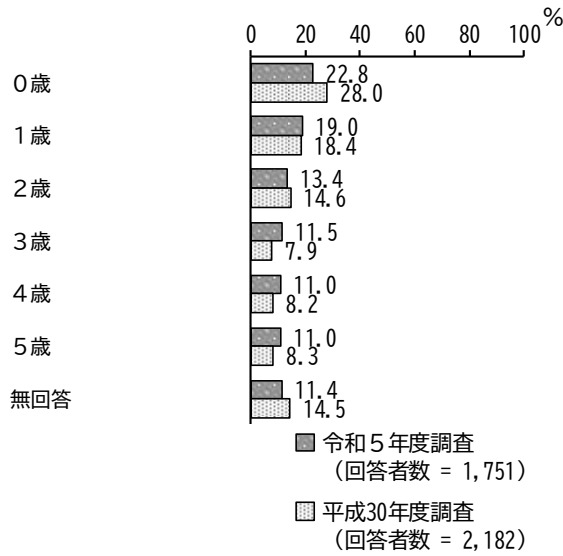
平成30年度調査と比較すると、「0歳」の割合が減少しています。

就学児童では、「6歳～8歳」の割合が36.9%と最も高く、次いで「9歳～11歳」の割合が19.4%、「3歳～5歳」の割合が18.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】

【就学児童】



問 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。(就学前児童：問4、就学児童：問4)

就学前児童では、「母親」の割合が91.5%、「父親」の割合が8.2%となっています。

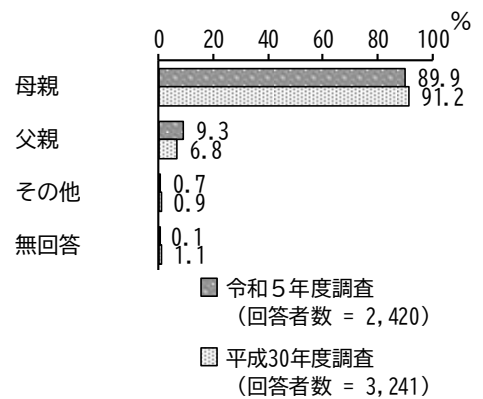
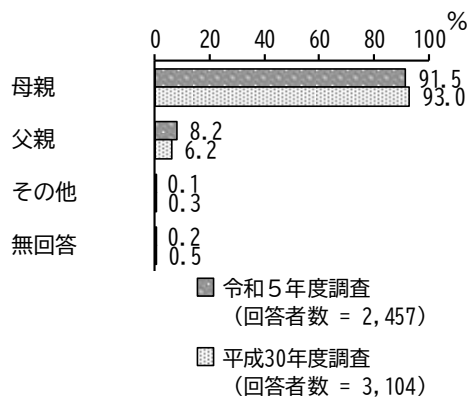
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、「母親」の割合が89.9%、「父親」の割合が9.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】

【就学児童】



問 この調査票にご回答いただいている方の婚姻関係について、当てはまる番号いずれかに○をつけてください。(就学前児童：問5、就学児童：問5)

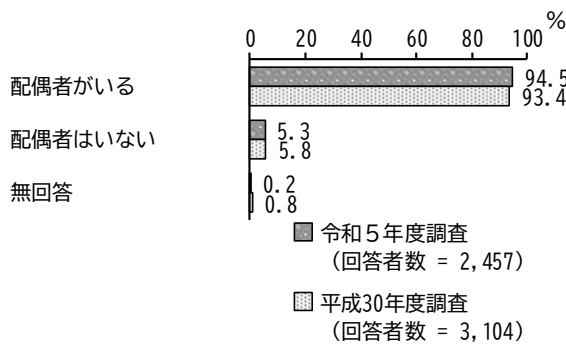
就学前児童では、「配偶者がいる」の割合が94.5%、「配偶者はいない」の割合が5.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

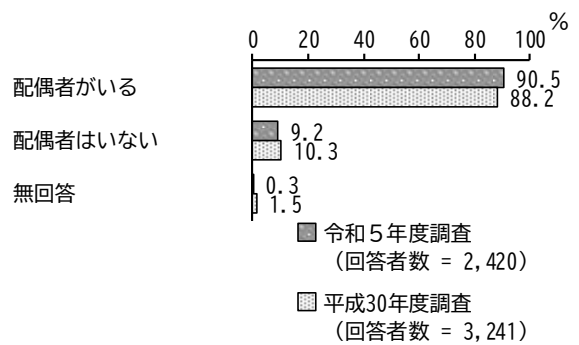
就学児童では、「配偶者がいる」の割合が90.5%、「配偶者はいない」の割合が9.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】



問 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。(就学前児童：問6、就学児童：問6)

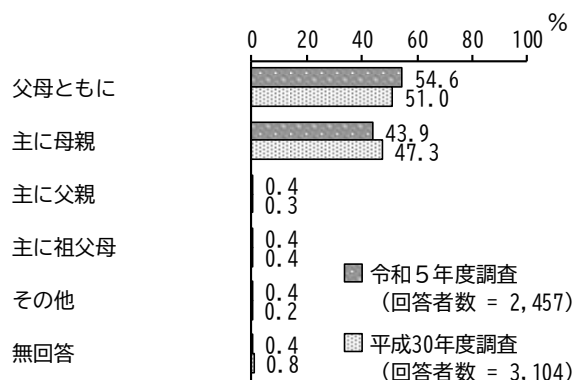
就学前児童では、「父母ともに」の割合が54.6%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が43.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加し、「主に母親」の割合が減少しています。

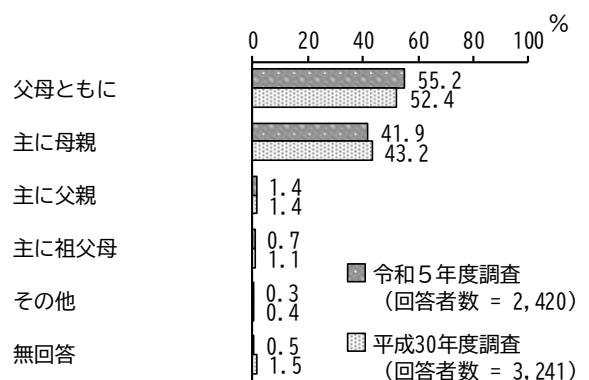
就学児童では、「父母ともに」の割合が55.2%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が41.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加し、「主に母親」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】



問 あなたの世帯全員の収入（ボーナスを含む年間の手取り額）を記入してください。  
 （就学前児童：問7、就学児童：問7）

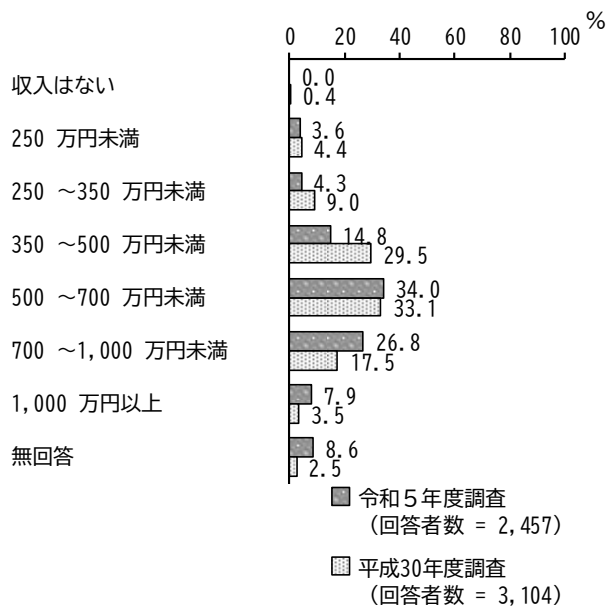
就学前児童では、「500～700万円未満」の割合が34.0%と最も高く、次いで「700～1,000万円未満」の割合が26.8%、「350～500万円未満」の割合が14.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「700～1,000万円未満」の割合が増加しています。一方、「350～500万円未満」の割合が減少しています。

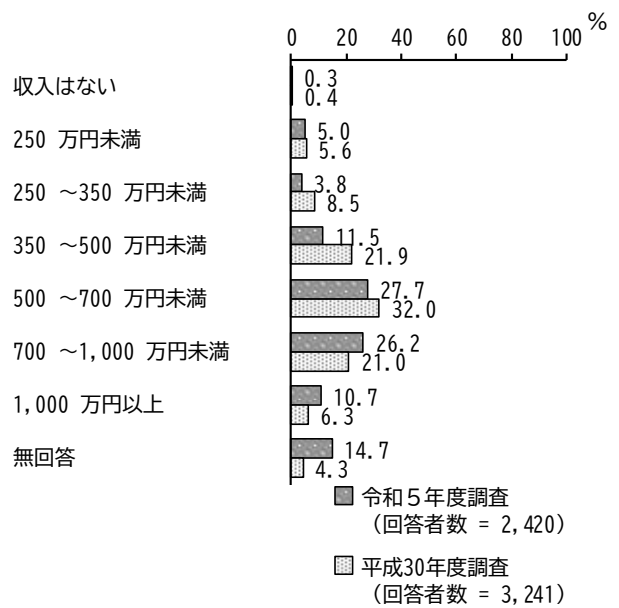
就学児童では、「500～700万円未満」の割合が27.7%と最も高く、次いで「700～1,000万円未満」の割合が26.2%、「350～500万円未満」の割合が11.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「700～1,000万円未満」の割合が増加しています。一方、「350～500万円未満」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】



問 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族や知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問8、就学児童：問8)

就学前児童では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」の割合が63.2%と最も高く、次いで「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」の割合が30.1%、「いずれもない」の割合が12.6%となっています。

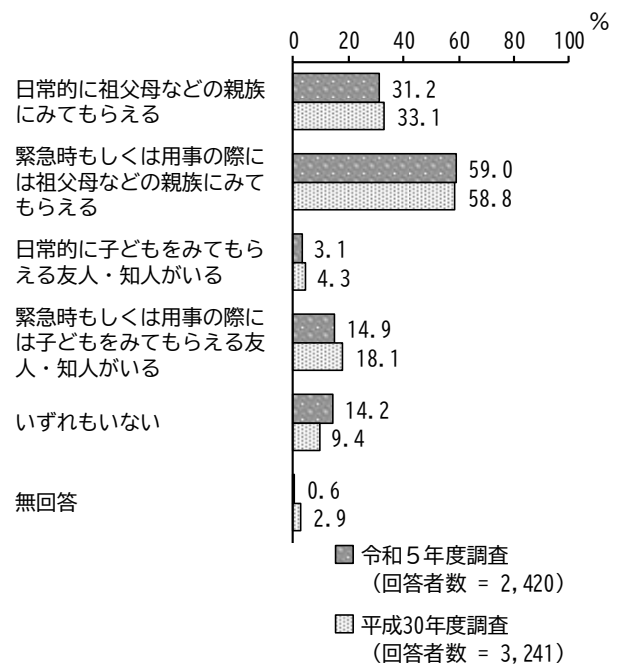
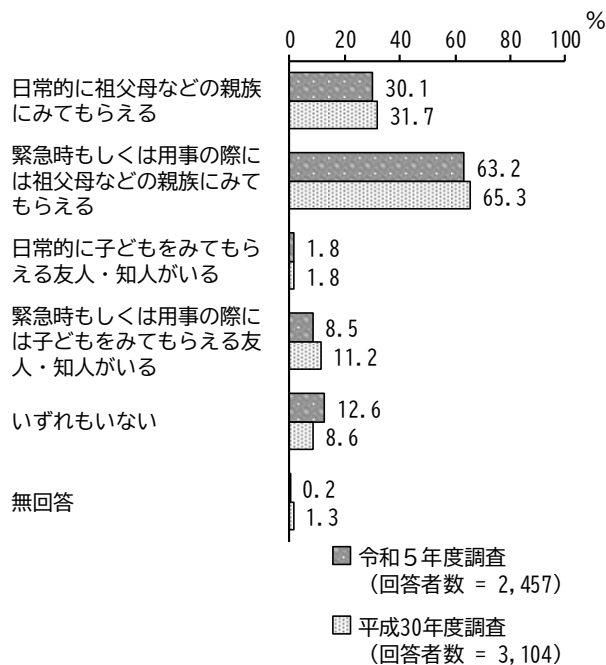
平成30年度調査と比較すると、「いずれもない」の割合が増加しています。

就学児童では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」の割合が59.0%と最も高く、次いで「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」の割合が31.2%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が14.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「いずれもない」の割合が増加しています。

【就学前児童】

【就学児童】



問 問8で「5. いずれもない」に○をつけた方にお聞きします。  
 その理由として、当てはまる番号1つに○をつけてください。  
 (就学前児童：問9、就学児童：問9)

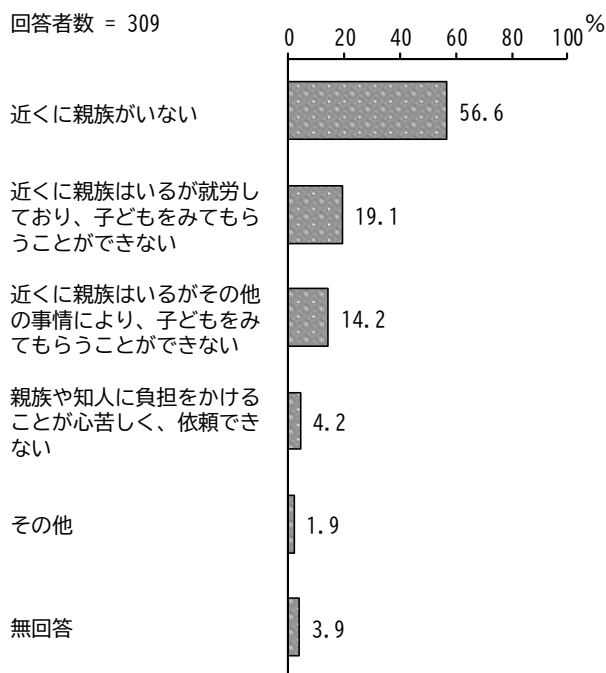
就学前児童では、「近くに親族がない」の割合が56.6%と最も高く、次いで「近くに親族はいるが就労しており、子どもをみてもらうことができない」の割合が19.1%、「近くに親族はいるがその他の事情により、子どもをみてもらうことができない」の割合が14.2%となっています。

就学児童では、「近くに親族がない」の割合が53.4%と最も高く、次いで「近くに親族はいるがその他の事情により、子どもをみてもらうことができない」の割合が18.1%、「近くに親族はいるが就労しており、子どもをみてもらうことができない」の割合が11.7%となっています。

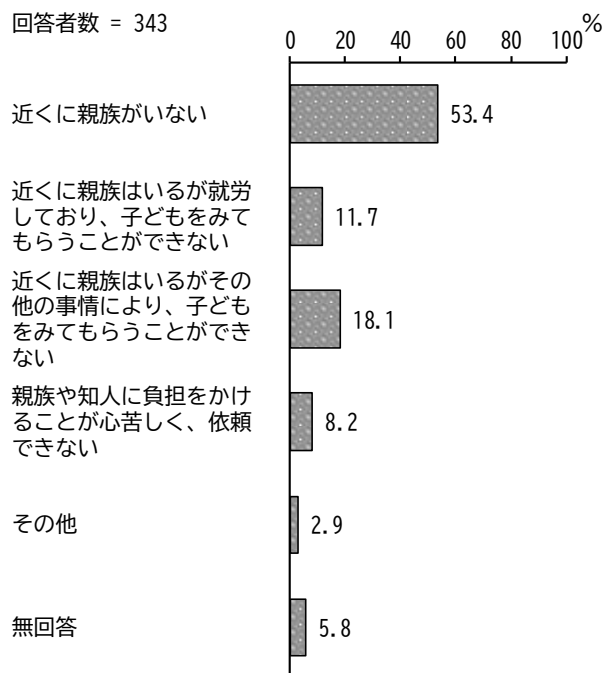
【就学前児童】

【就学児童】

回答者数 = 309



回答者数 = 343



## (2) 就労状況について

問 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、次のうち当てはまる番号1つに○をつけてください。また、「3. パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない」又は「4. パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方は、(1)(2)の質問にお答えください。〔 〕内には、平均的な労働日数や時間を記入してください。  
※短時間勤務制度を利用されている方は、制度取得前の勤務時間で記入してください。（就学前児童：問 10、就学児童：問 10）

### (1) 母親

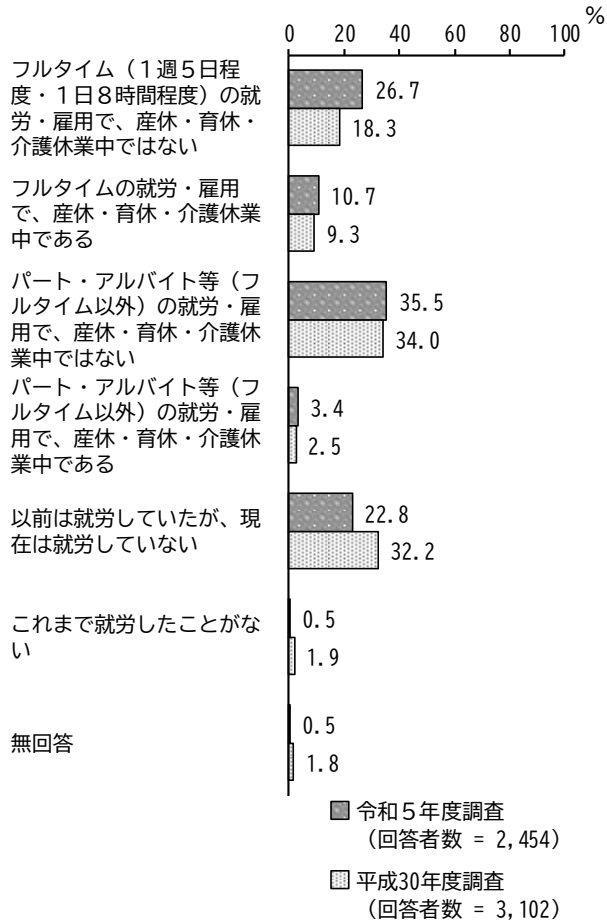
就学前児童では、「パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が35.5%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が26.7%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が22.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。

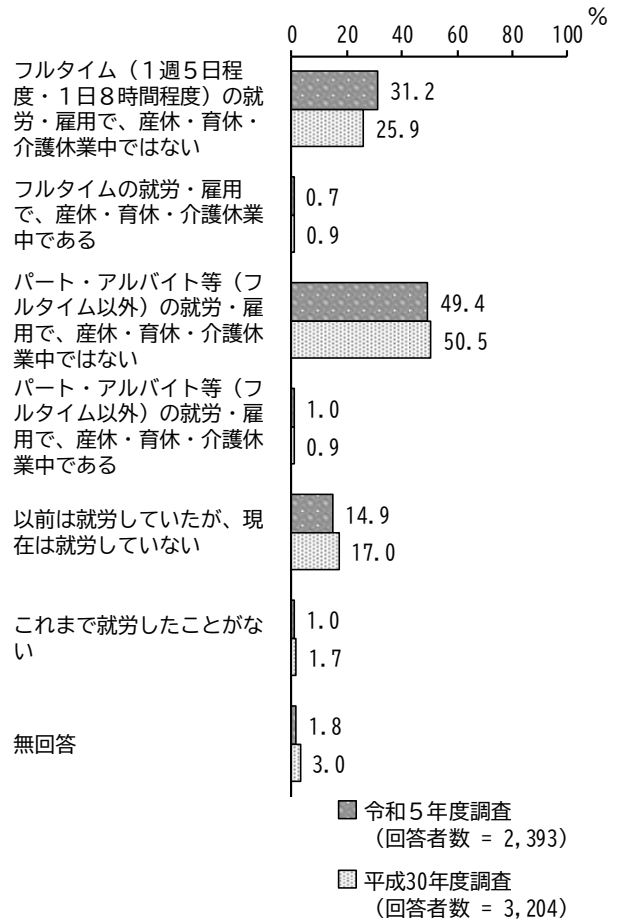
就学児童では、「パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が49.4%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が31.2%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が14.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。

【就学前児童】



【就学児童】





### 【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、就学前児童では、0歳～1歳では、「フルタイムの就労・雇用」の割合が「パート・アルバイト等の就労・雇用」の割合を上回っていますが、2歳～5歳では、「パート・アルバイト等の就労・雇用」の割合が「フルタイムでの就労・雇用」を上回っています。

就学児童では、全ての年齢で、「パート・アルバイト等の就労・雇用」の割合が、「フルタイムの就労・雇用」の割合を上回っています。

### 【就学前児童】

単位：％

区分	回答者数(件)	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムの就労・雇用で、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体	2,454	26.7	10.7	35.5	3.4	22.8	0.5	0.5
0歳	394	10.7	34.0	15.7	6.6	32.5	—	0.5
1歳	427	26.5	11.2	30.4	3.0	28.1	0.2	0.5
2歳	330	28.8	6.4	36.4	1.8	25.8	0.9	—
3歳	412	32.3	7.5	38.1	2.9	17.2	0.7	1.2
4歳	434	28.6	3.5	45.4	3.0	18.2	0.7	0.7
5歳	434	32.7	3.0	45.4	2.8	15.7	0.5	—

### 【就学児童】

単位：％

区分	回答者数(件)	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムの就労・雇用で、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体	2,393	31.2	0.7	49.4	1.0	14.9	1.0	1.8
6歳(1年生)	457	33.3	1.5	43.3	2.0	16.8	1.8	1.3
7歳(2年生)	381	28.6	0.5	48.0	0.8	19.9	0.5	1.6
8歳(3年生)	375	32.3	0.5	50.9	1.1	12.3	1.6	1.3
9歳(4年生)	391	33.0	0.5	49.9	1.0	12.5	0.8	2.3
10歳(5年生)	310	27.7	0.3	56.1	0.3	12.9	0.3	2.3
11歳(6年生)	411	32.1	0.2	50.4	0.7	14.4	0.7	1.5

【子どもをみてもらえる親族・知人の有無別】

子どもをみてもらえる親族・知人の有無別にみると、就学前児童、就学児童ともに、「フルタイムの就労・雇用（1週5日程度・1日8時間程度）で、育児・介護休業中ではない」は、日常的に親族・知人にみてもらえる人の割合が高くなっています。

【就学前児童】

単位：％

区分	回答者数（件）	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）の就労・雇用で、産休・育児・介護休業中ではない	フルタイムの就労・雇用で、産休・介護休業中である	パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労・雇用で、産休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労・雇用で、産休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体	2,454	26.7	10.7	35.5	3.4	22.8	0.5	0.5
日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	739	30.7	11.0	31.1	3.8	22.3	0.7	0.4
緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる	1,551	26.6	11.3	35.5	3.3	22.4	0.4	0.5
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	43	32.6	11.6	37.2	2.3	16.3	—	—
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	209	19.1	9.1	42.1	5.3	22.5	1.0	1.0
いずれもない	308	22.7	8.4	38.6	3.6	25.3	0.6	0.6

【就学児童】

単位：％

区分	回答者数（件）	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）の就労・雇用で、産休・育児・介護休業中ではない	フルタイムの就労・雇用で、産休・育児・介護休業中である	パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労・雇用で、産休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労・雇用で、産休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体	2,393	31.2	0.7	49.4	1.0	14.9	1.0	1.8
日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	741	39.9	0.8	43.6	0.9	12.4	0.7	1.6
緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる	1,416	29.0	0.6	52.9	0.9	14.8	0.8	1.0
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	72	34.7	—	40.3	2.8	19.4	1.4	1.4
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	357	27.2	1.4	53.5	0.6	14.8	1.1	1.4
いずれもない	338	22.5	—	49.1	1.8	20.4	1.8	4.4

## ア パート・アルバイト

### ① 1週当たりの就労日数

就学前児童では、「5日」の割合が42.4%と最も高く、次いで「4日」の割合が33.0%、「3日」の割合が14.7%となっています。

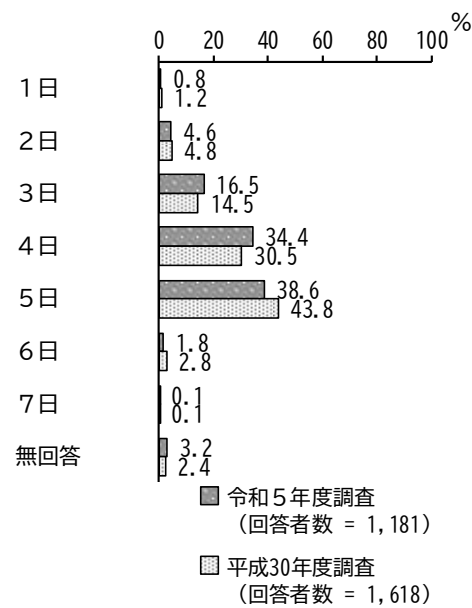
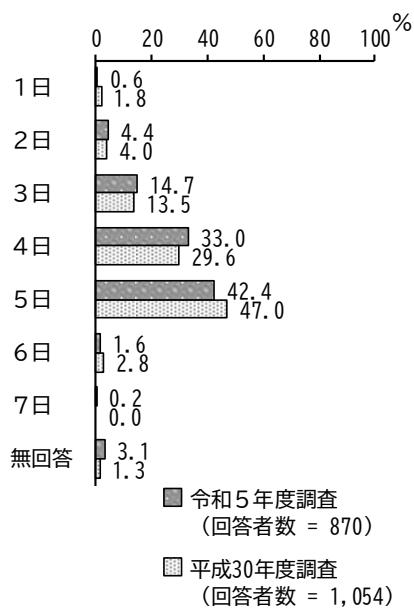
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、「5日」の割合が38.6%と最も高く、次いで「4日」の割合が34.4%、「3日」の割合が16.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が減少しています。

【就学前児童】

【就学児童】



## ② 1日当たりの就労時間

就学前児童では、「5時間～6時間未満」の割合が34.9%と最も高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合が25.7%、「4時間～5時間未満」の割合が20.1%となっています。

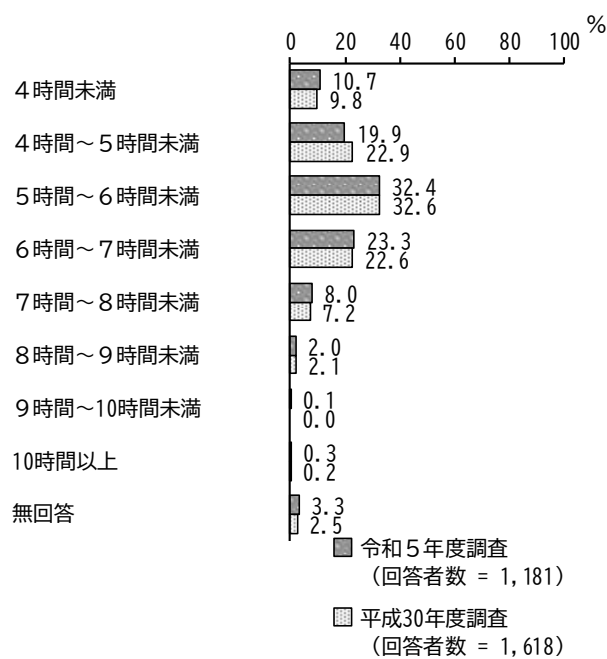
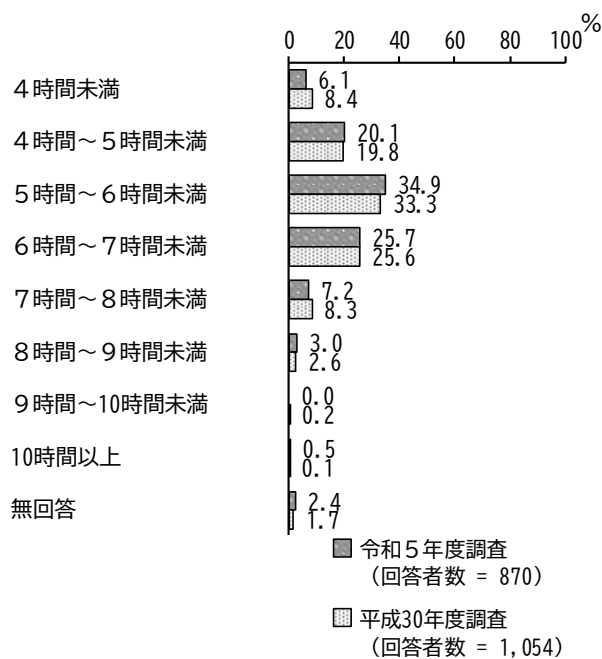
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、「5時間～6時間未満」の割合が32.4%と最も高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合が23.3%、「4時間～5時間未満」の割合が19.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】

【就学児童】



### ③フルタイムへの希望

就学前児童では、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない」の割合が 23.4%、「フルタイムへの希望があり、そうなる見込みがある」の割合が 11.6%となっています。

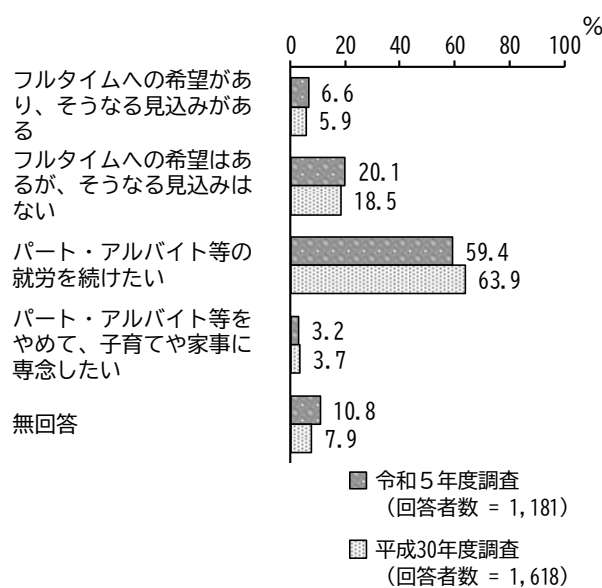
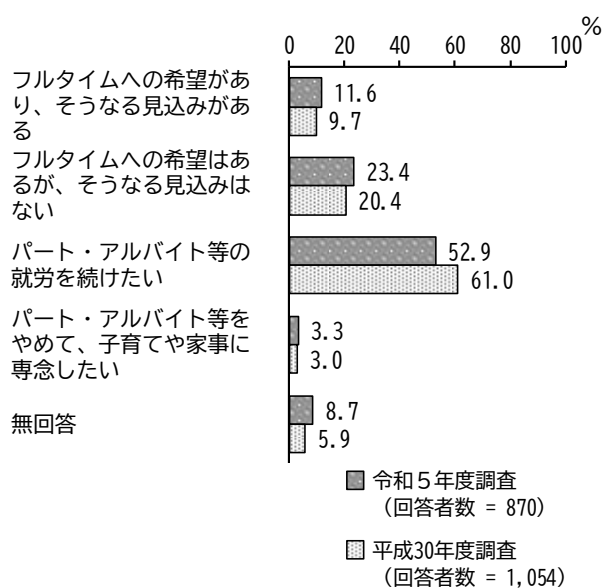
平成 30 年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」の割合が減少しています。

就学児童では、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない」の割合が 20.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】

【就学児童】



イ パート・アルバイト（産休・育休・介護休業中）

① 1週当たりの就労日数

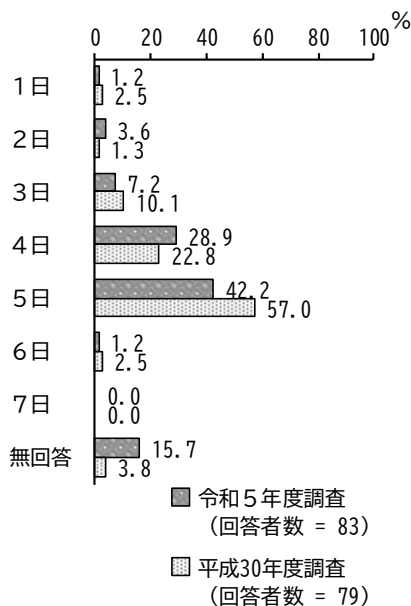
就学前児童では、「5日」の割合が42.2%と最も高く、次いで「4日」の割合が28.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4日」の割合が増加しています。一方、「5日」の割合が減少しています。

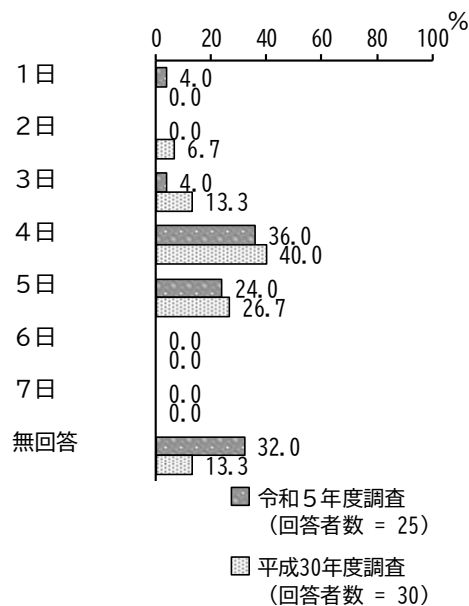
就学児童では、「4日」の割合が36.0%と最も高く、次いで「5日」の割合が24.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2日」「3日」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】



## ② 1日当たりの就労時間

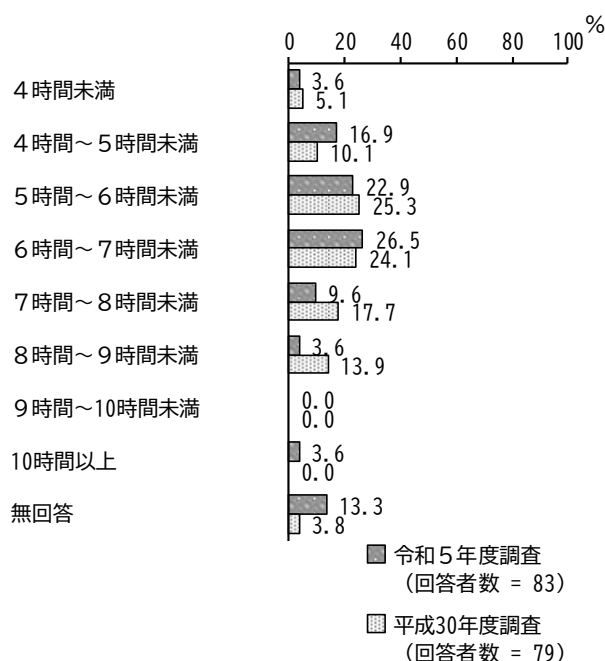
就学前児童では、「6時間～7時間未満」の割合が26.5%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が22.9%、「4時間～5時間未満」の割合が16.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4時間～5時間未満」の割合が増加しています。一方、「7時間～8時間未満」「8時間～9時間未満」の割合が減少しています。

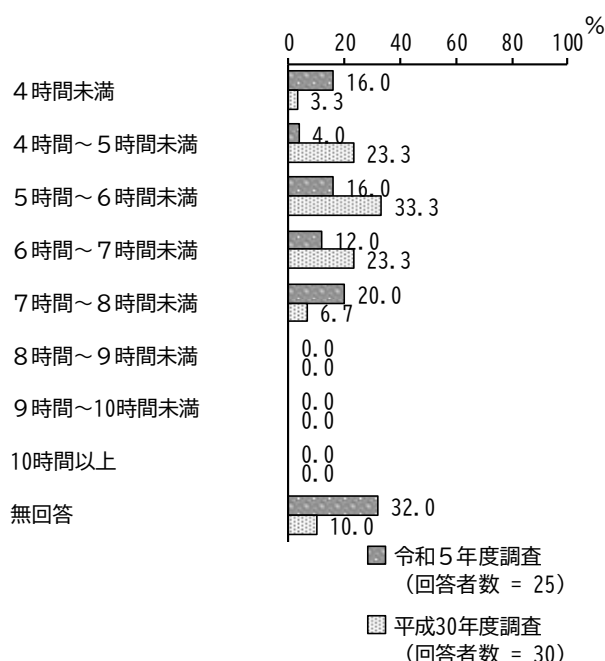
就学児童では、「7時間～8時間未満」の割合が20.0%と最も高く、次いで「4時間未満」、「5時間～6時間未満」の割合が16.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4時間未満」「7時間～8時間未満」の割合が増加しています。一方、「4時間～5時間未満」「5時間～6時間未満」「6時間～7時間未満」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】



### ③フルタイムへの希望

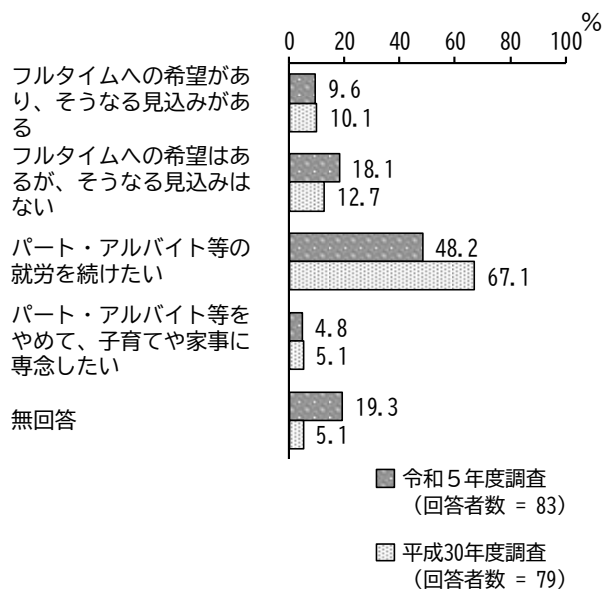
就学前児童では、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」の割合が48.2%と最も高く、次いで「フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない」の割合が18.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない」の割合が増加しています。一方、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」の割合が減少しています。

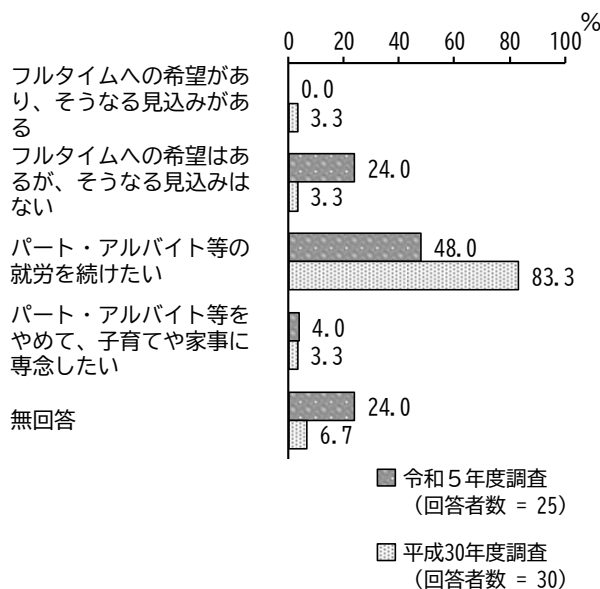
就学児童では、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」の割合が48.0%と最も高く、次いで「フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない」の割合が24.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない」の割合が増加しています。一方、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】





## (2) 父親

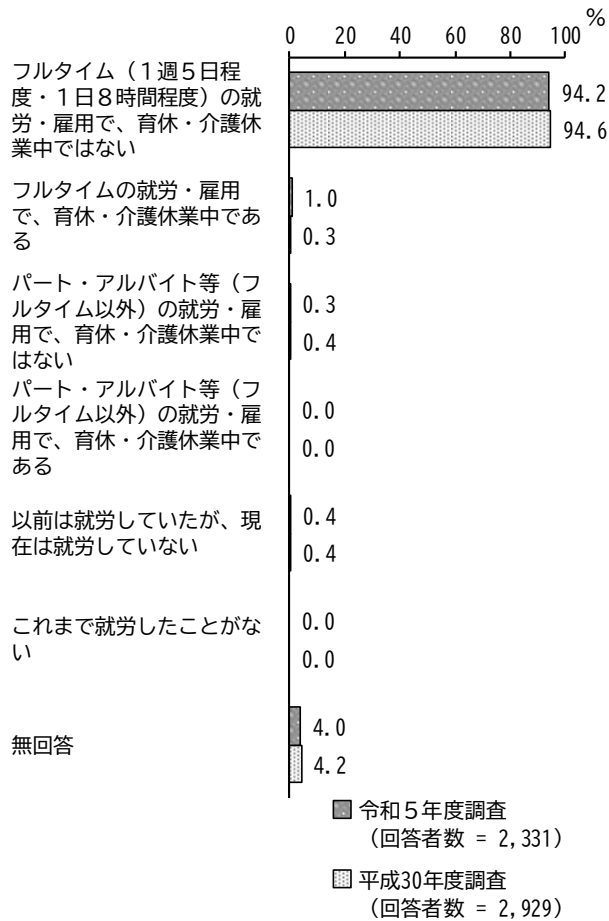
就学前児童では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）の就労・雇用で、育休・介護休業中ではない」の割合が94.2%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

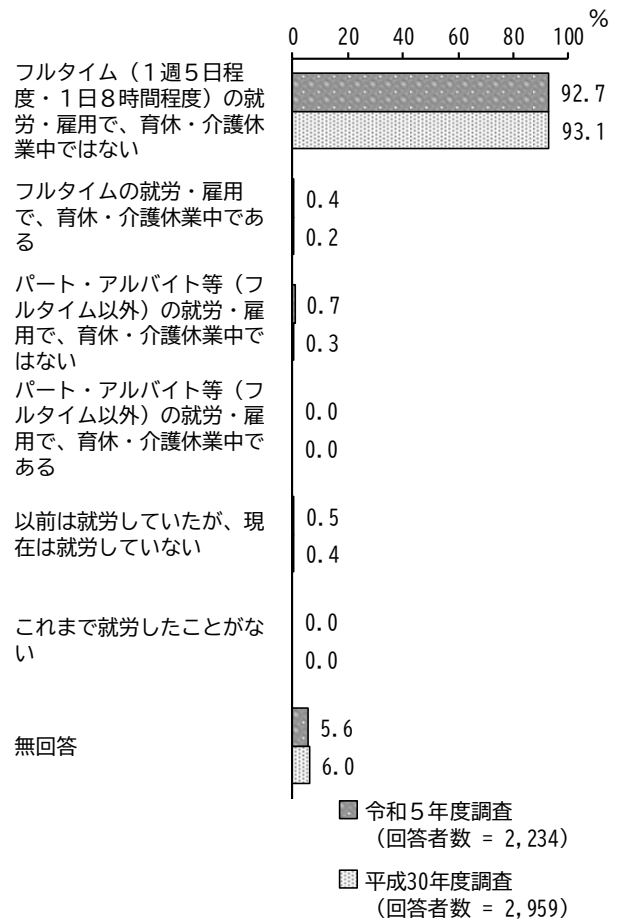
就学児童では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）の就労・雇用で、育休・介護休業中ではない」の割合が92.7%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、就学前児童、就学児童ともに大きな差はみられません。

【就学前児童】

単位：％

区分	回答者数(件)	フルタイム(1週5日程度：1日8時間程度)の就労・雇用で、育児・介護休業中ではない	フルタイムの就労・雇用で、育児・介護休業中である	パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労・雇用で、育児・介護休業中ではない	パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労・雇用で、育児・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体	2,331	94.2	1.0	0.3	—	0.4	—	4.0
0歳	383	91.6	0.3	0.8	—	0.5	—	6.8
1歳	416	92.1	1.9	0.2	0.2	1.0	—	4.6
2歳	317	96.8	0.9	0.3	—	—	—	1.9
3歳	389	94.9	0.8	—	—	0.3	—	4.1
4歳	407	95.8	1.0	0.2	—	0.2	—	2.7
5歳	397	94.5	0.8	0.3	—	0.5	—	4.0

【就学児童】

単位：％

区分	回答者数(件)	フルタイム(1週5日程度：1日8時間程度)の就労・雇用で、育児・介護休業中ではない	フルタイムの就労・雇用で、育児・介護休業中である	パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労・雇用で、育児・介護休業中ではない	パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労・雇用で、育児・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体	2,234	92.7	0.4	0.7	—	0.5	—	5.6
6歳(1年生)	428	92.5	0.9	0.5	—	0.5	—	5.6
7歳(2年生)	351	92.9	0.6	0.9	—	0.3	—	5.4
8歳(3年生)	351	94.0	—	0.6	—	0.6	—	4.8
9歳(4年生)	362	93.4	0.3	1.4	—	0.3	—	4.7
10歳(5年生)	294	91.8	—	0.3	—	0.7	—	7.1
11歳(6年生)	388	91.8	0.8	0.8	—	1.0	—	5.7

【子どもをみてもらえる親族・知人の有無別】

子どもをみてもらえる親族・知人の有無別にみると、就学前児童、就学児童ともに大きな差はみられません。

【就学前児童】

単位：％

区分	回答者数(件)	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)の就労・雇用で、育休・介護休業中ではない	フルタイムの就労・雇用で、育休・介護休業中である	パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労・雇用で、育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労・雇用で、育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体	2,331	94.2	1.0	0.3	—	0.4	—	4.0
日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	681	94.4	1.2	0.3	0.1	0.6	—	3.4
緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる	1,494	94.5	1.1	0.1	0.1	0.5	—	3.7
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	41	90.2	—	—	2.4	—	—	7.3
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	197	90.9	1.0	1.5	0.5	—	—	6.1
いずれもない	296	93.9	0.3	0.7	—	—	—	5.1

【就学児童】

単位：％

区分	回答者数(件)	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)の就労・雇用で、育休・介護休業中ではない	フルタイムの就労・雇用で、育休・介護休業中である	パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労・雇用で、育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労・雇用で、育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体	2,234	92.7	0.4	0.7	—	0.5	—	5.6
日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	675	93.5	0.3	0.7	—	0.6	—	4.9
緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる	1,340	94.2	0.6	0.6	—	0.4	—	4.3
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	70	90.0	—	—	—	—	—	10.0
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	330	95.2	—	0.9	—	0.3	—	3.6
いずれもない	317	87.1	0.6	0.9	—	0.6	—	10.7

### (3) 共働きの状況

就学前児童では、「父フルタイム×母パート」の割合が 36.3%と最も高く、次いで「父フルタイム×母フルタイム」の割合が 34.0%、「父フルタイム×母働いていない」の割合が 19.7%となっています。

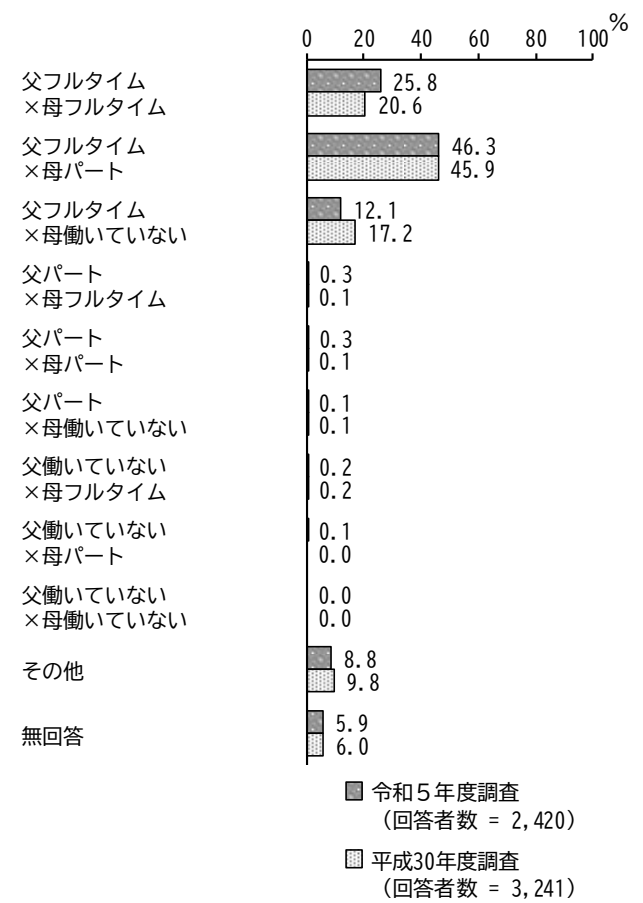
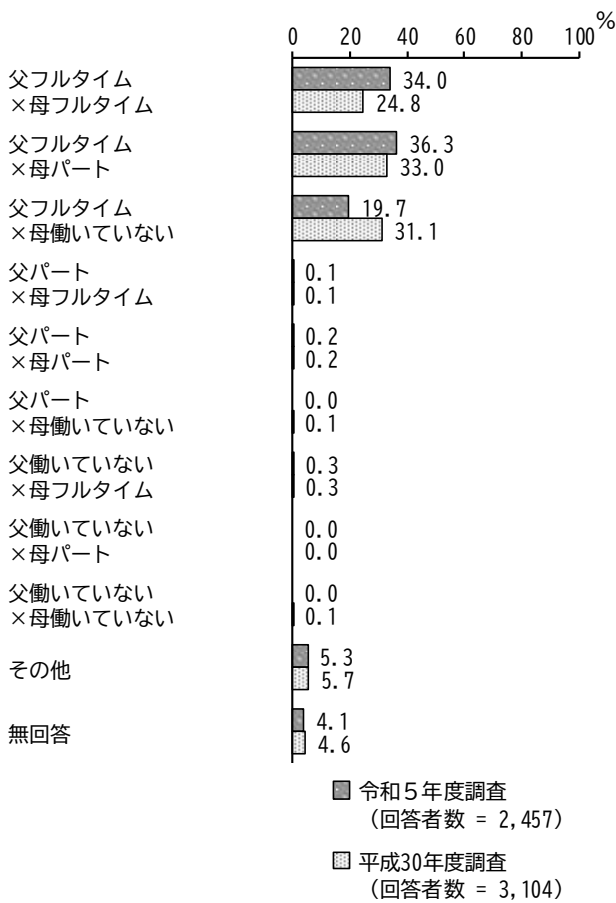
平成 30 年度調査と比較すると、「父フルタイム×母フルタイム」の割合が増加しています。

就学児童では、「父フルタイム×母パート」の割合が 46.3%と最も高く、次いで「父フルタイム×母フルタイム」の割合が 25.8%、「父フルタイム×母働いていない」の割合が 12.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「父フルタイム×母フルタイム」の割合が増加しています。

【就学前児童】

【就学児童】



問 問10(1)(2)で「1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない」～「4. パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にお聞きします。

母親と父親が家を出る時刻と帰宅時刻をそれぞれお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください(お子さんの送迎や習い事、買物などの時間は含まず、出勤～勤務～帰宅の時間でお答えください)。また、主たる勤務先の市町村について、当てはまる番号1つに○をつけてください。(就学前児童：問11、就学児童：問11)

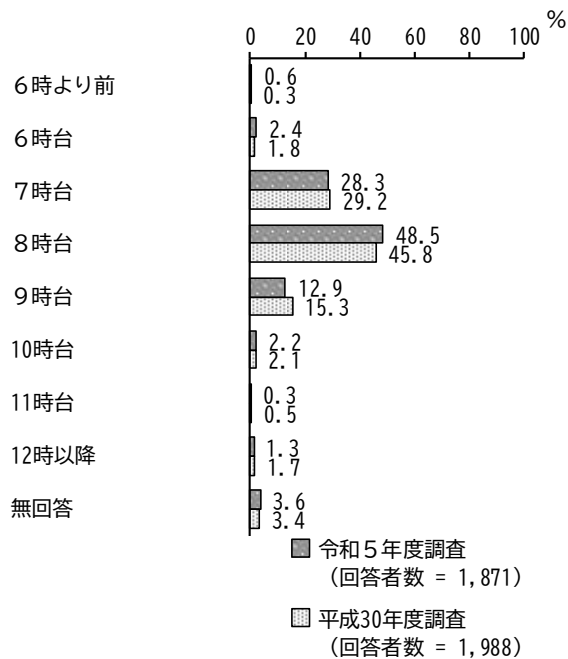
### (1) 母親

#### ア 家を出る時刻

就学前児童では、「8時台」の割合が48.5%と最も高く、次いで「7時台」の割合が28.3%、「9時台」の割合が12.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】

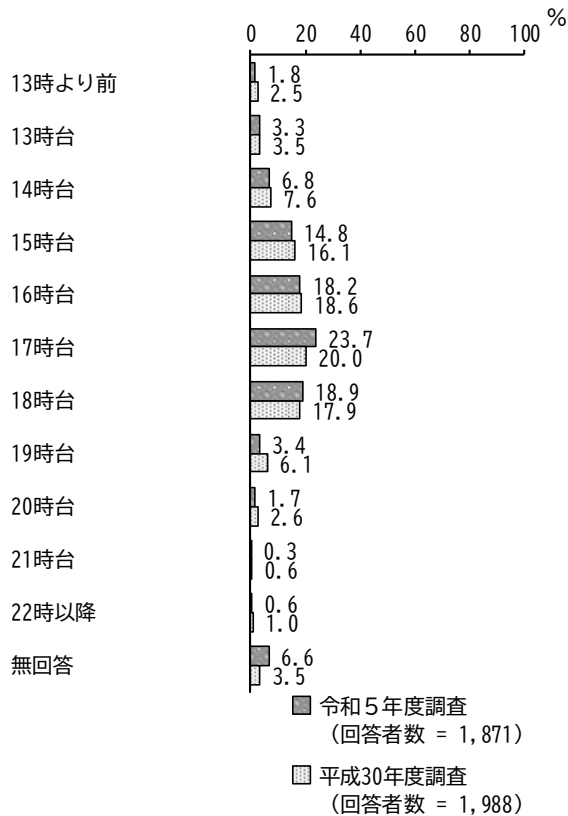


## イ 帰宅時刻

就学前児童では、「17時台」の割合が23.7%と最も高く、次いで「18時台」の割合が18.9%、「16時台」の割合が18.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

### 【就学前児童】



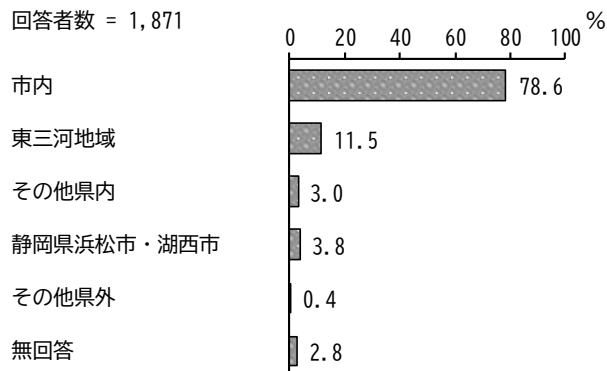
## ウ 勤務先の市町村

就学前児童では、「市内」の割合が78.6%と最も高く、次いで「東三河地域」の割合が11.5%となっています。

就学児童では、「市内」の割合が82.7%と最も高く、次いで「東三河地域」の割合が11.9%となっています。

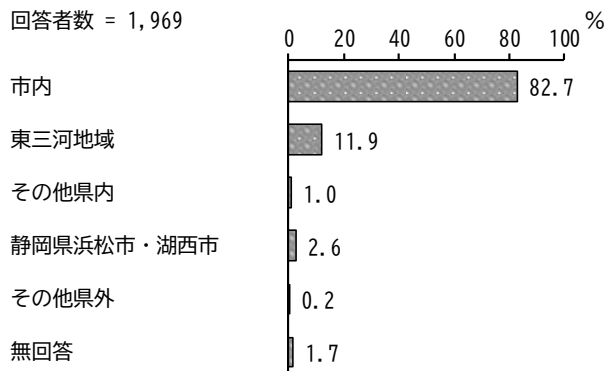
### 【就学前児童】

回答者数 = 1,871



### 【就学児童】

回答者数 = 1,969



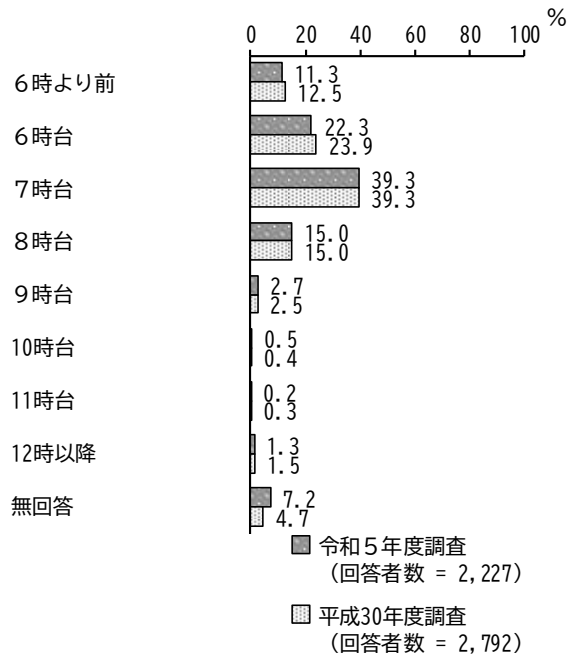
## (2) 父親

### ア 家を出る時刻

就学前児童では、「7時台」の割合が39.3%と最も高く、次いで「6時台」の割合が22.3%、「8時台」の割合が15.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

#### 【就学前児童】

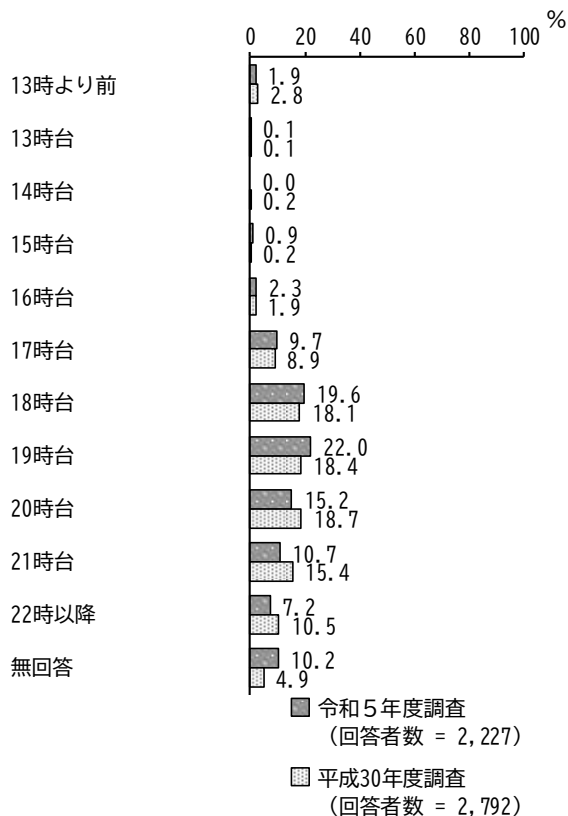


## イ 帰宅時刻

就学前児童では、「19時台」の割合が22.0%と最も高く、次いで「18時台」の割合が19.6%、「20時台」の割合が15.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

### 【就学前児童】



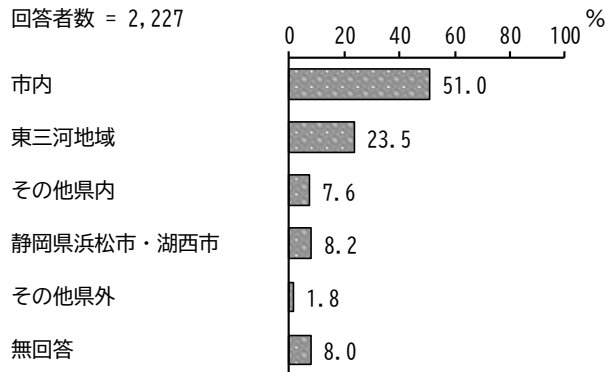
## ウ 勤務先の市町村

就学前児童では、「市内」の割合が51.0%と最も高く、次いで「東三河地域」の割合が23.5%となっています。

就学児童では、「市内」の割合が53.7%と最も高く、次いで「東三河地域」の割合が24.3%となっています。

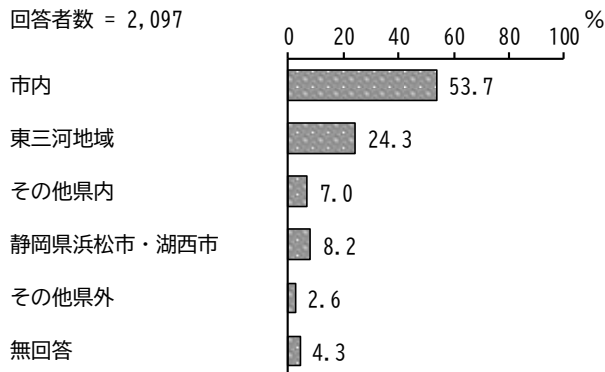
### 【就学前児童】

回答者数 = 2,227



### 【就学児童】

回答者数 = 2,097





問 問10(1)(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」又は「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にお聞きします。就労したいという希望はありますか。母親、父親それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけて、〔 〕内には数字を記入してください。また、「1」又は「2」に○をつけた方は、希望する就労形態について、当てはまる記号いずれかに○をつけてください。(就学前児童：問12、就学児童：問12)

(1) 母親

就学前児童では、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の割合が48.0%と最も高く、次いで「1年以内に就労したい」の割合が22.6%、「就労せず、子育てや家事などに専念したい」の割合が15.2%となっています。

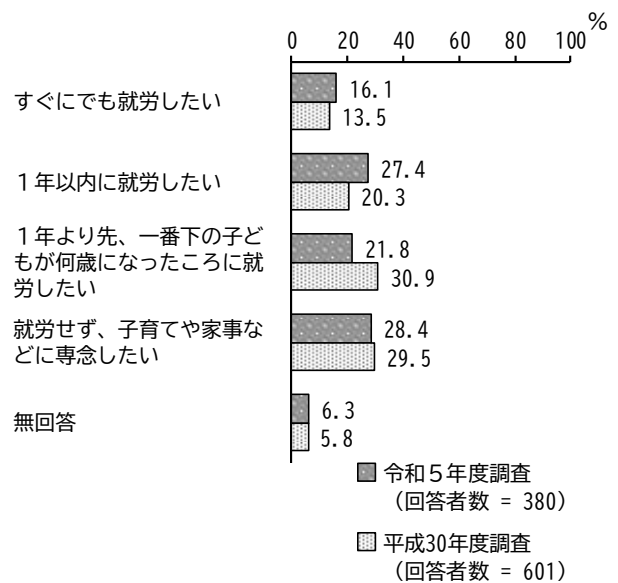
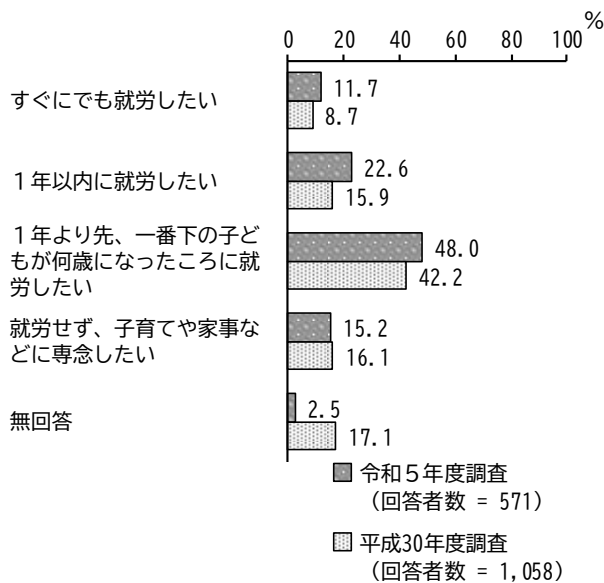
平成30年度調査と比較すると、「1年以内に就労したい」「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の割合が増加しています。

就学児童では、「就労せず、子育てや家事などに専念したい」の割合が28.4%と最も高く、次いで「1年以内に就労したい」の割合が27.4%、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の割合が21.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1年以内に就労したい」の割合が増加しています。一方、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」の割合が減少しています。

【就学前児童】

【就学児童】



### 【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、就学前児童では、2歳～5歳で、「就労せず、子育てや家事などに専念したい」の割合が高くなっています。

就学児童では、全ての年齢で、就学前児童の、「就労せず、子育てや家事などに専念したい」の平均値を上回っています。

### 【就学前児童】

単位：％

区分	回答者数(件)	すぐにも就労したい	1年以内に就労したい	1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい	就労せず、子育てや家事などに専念したい	無回答
全体	571	11.7	22.6	48.0	15.2	2.5
0歳	128	7.8	20.3	57.0	12.5	2.3
1歳	121	9.9	18.2	60.3	7.4	4.1
2歳	88	15.9	34.1	30.7	18.2	1.1
3歳	74	5.4	16.2	59.5	18.9	—
4歳	82	17.1	15.9	41.5	20.7	4.9
5歳	70	15.7	32.9	28.6	21.4	1.4

### 【就学児童】

単位：％

区分	回答者数(件)	すぐにも就労したい	1年以内に就労したい	1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい	就労せず、子育てや家事などに専念したい	無回答
全体	380	16.1	27.4	21.8	28.4	6.3
6歳(1年生)	85	14.1	29.4	28.2	17.6	10.6
7歳(2年生)	78	12.8	24.4	26.9	30.8	5.1
8歳(3年生)	52	11.5	38.5	11.5	32.7	5.8
9歳(4年生)	52	15.4	30.8	21.2	30.8	1.9
10歳(5年生)	41	19.5	24.4	12.2	41.5	2.4
11歳(6年生)	62	25.8	17.7	25.8	25.8	4.8

## ア 希望する就労形態

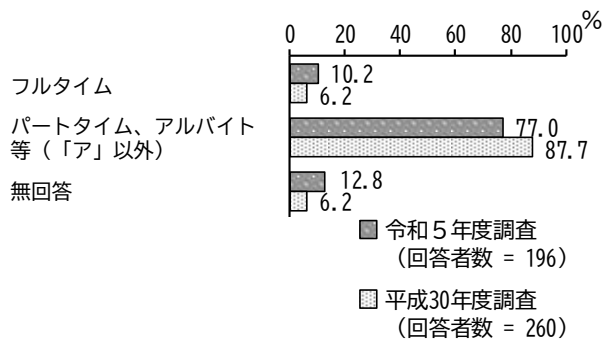
就学前児童では、「フルタイム」の割合が 10.2%、「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」の割合が 77.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」の割合が減少しています。

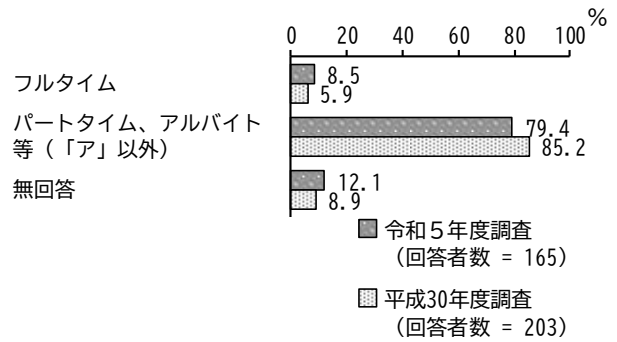
就学児童では、「フルタイム」の割合が 8.5%、「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」の割合が 79.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】



## イ パート・アルバイト等の1週当たりの就労日数

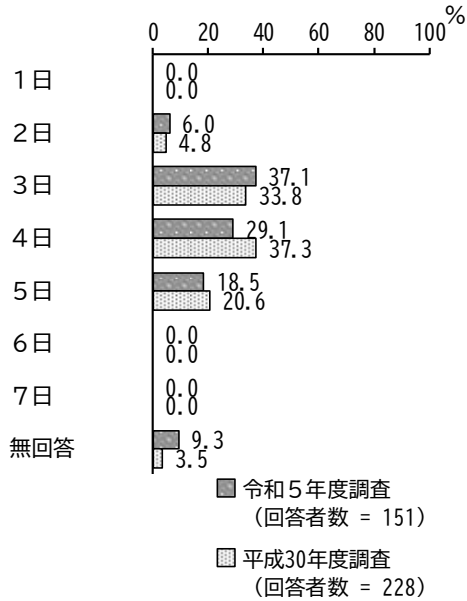
就学前児童では、「3日」の割合が37.1%と最も高く、次いで「4日」の割合が29.1%、「5日」の割合が18.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4日」の割合が減少しています。

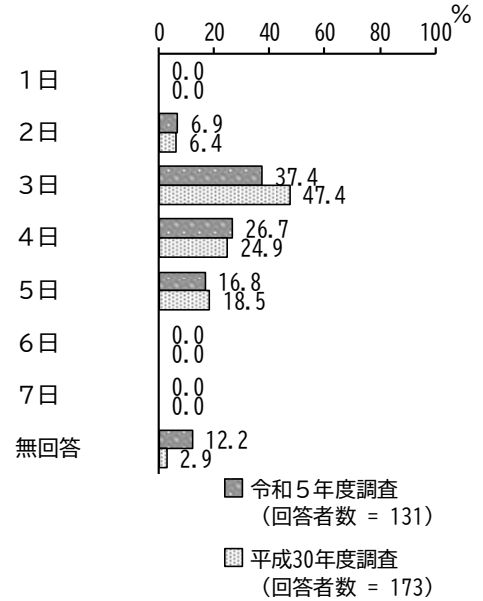
就学児童では、「3日」の割合が37.4%と最も高く、次いで「4日」の割合が26.7%、「5日」の割合が16.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3日」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】



### ウ パート・アルバイト等の1日当たりの就労時間

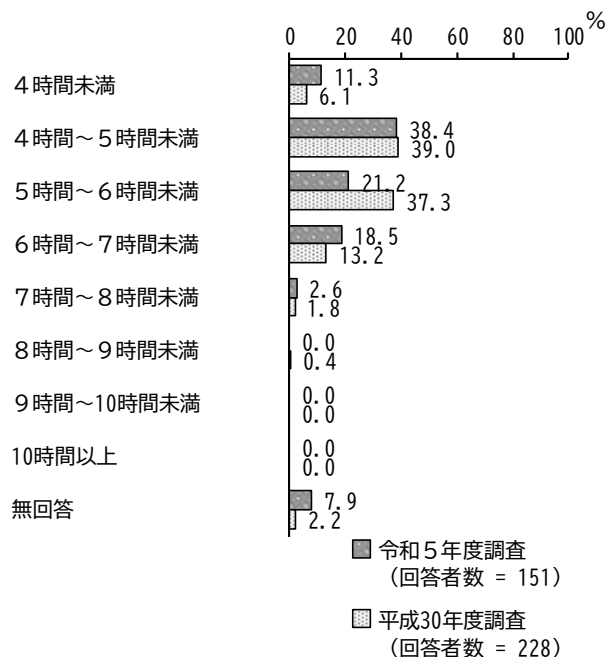
就学前児童では、「4時間～5時間未満」の割合が38.4%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が21.2%、「6時間～7時間未満」の割合が18.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4時間未満」「6時間～7時間未満」の割合が増加しています。一方、「5時間～6時間未満」の割合が減少しています。

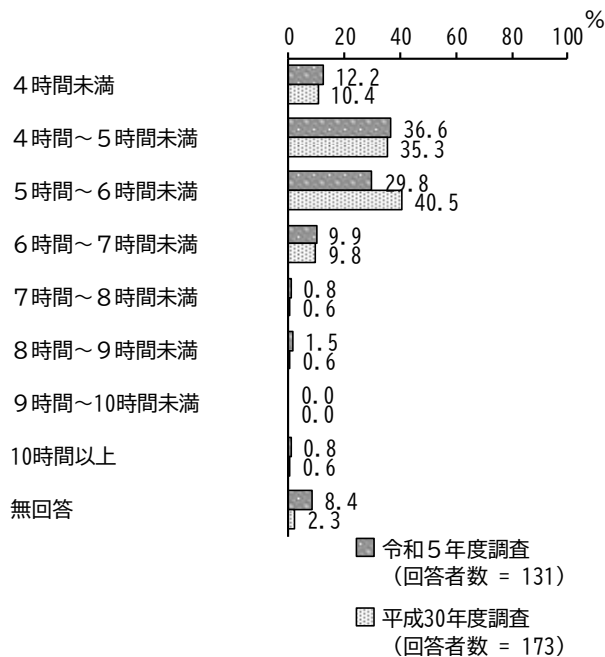
就学児童では、「4時間～5時間未満」の割合が36.6%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が29.8%、「4時間未満」の割合が12.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5時間～6時間未満」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】



## 工 就労したいときの末子の年齢

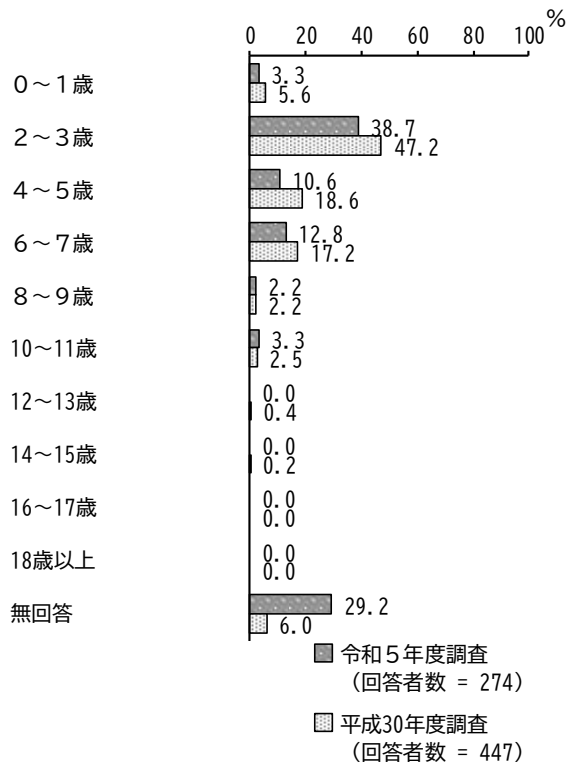
就学前児童では、「2～3歳」の割合が38.7%と最も高く、次いで「6～7歳」の割合が12.8%、「4～5歳」の割合が10.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2～3歳」「4～5歳」の割合が減少しています。

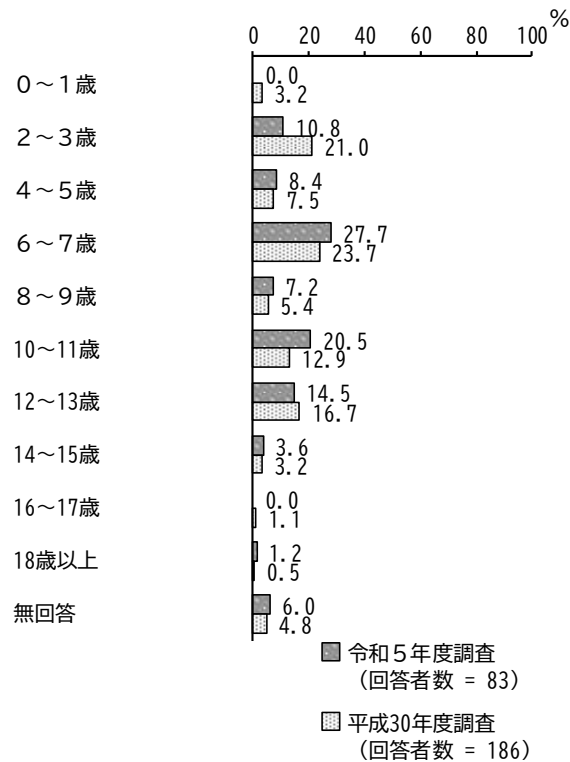
就学児童では、「6～7歳」の割合が27.7%と最も高く、次いで「10～11歳」の割合が20.5%、「12～13歳」の割合が14.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「10～11歳」の割合が増加しています。一方、「2～3歳」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】

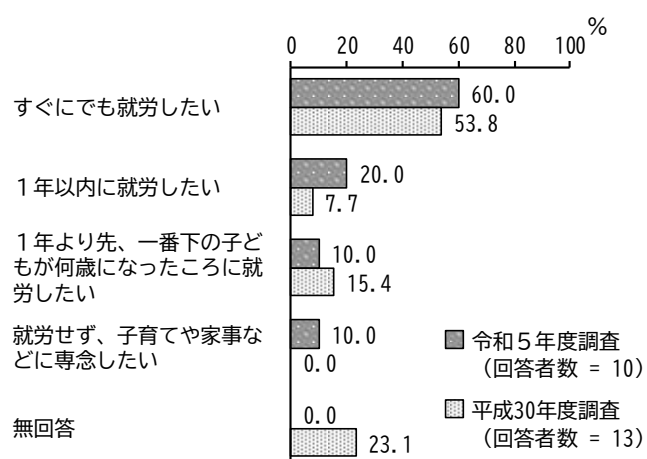


## (2) 父親

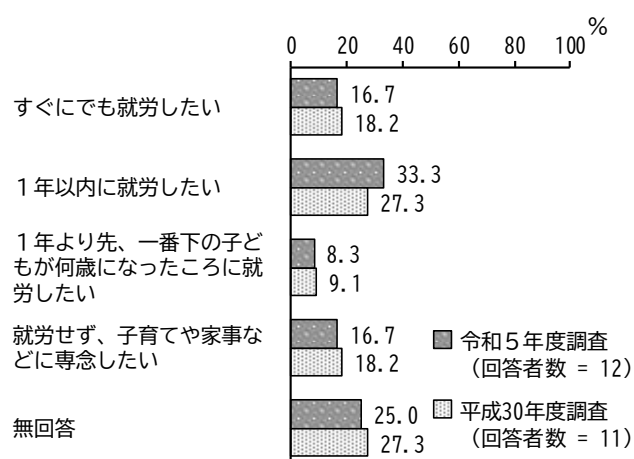
就学前児童では、「すぐにでも就労したい」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「1年以内に就労したい」の割合が 20.0%、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」、「就労せず、子育てや家事などに専念したい」の割合が 10.0%となっています。

就学児童では、「1年以内に就労したい」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「すぐにでも就労したい」、「就労せず、子育てや家事などに専念したい」の割合が 16.7%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



問 問 12 (1) (2) で「1. すぐにでも就労したい」に○をつけた方にお聞きします。  
 就労希望がありながら働いていない理由は何ですか。母親、父親それぞれについて当  
 てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問 13、就学児童：問 13)

(1) 母親

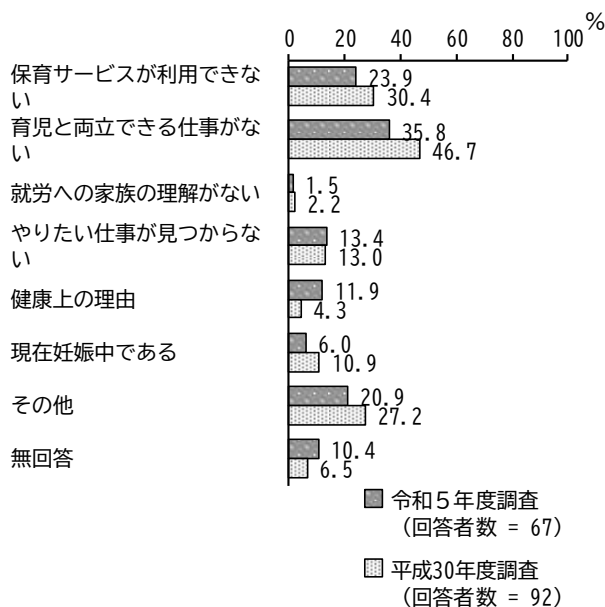
就学前児童では、「育児と両立できる仕事がない」の割合が 35.8%と最も高く、次いで「保育サービスが利用できない」の割合が 23.9%、「やりたい仕事が見つからない」の割合が 13.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「保育サービスが利用できない」「育児と両立できる仕事がない」の割合が減少しています。

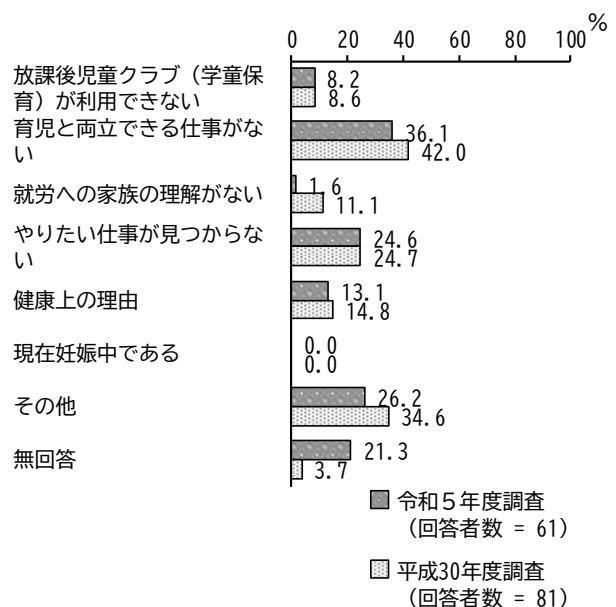
就学児童では、「育児と両立できる仕事がない」の割合が 36.1%と最も高く、次いで「やりたい仕事が見つからない」の割合が 24.6%、「健康上の理由」の割合が 13.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「育児と両立できる仕事がない」「就労への家族の理解がない」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】



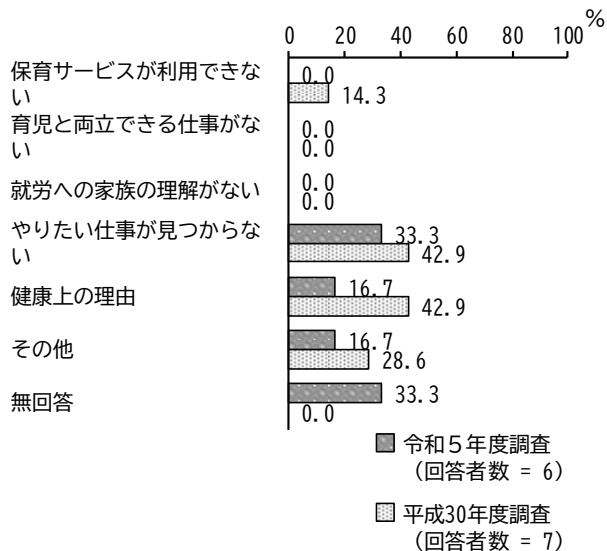


## (2) 父親

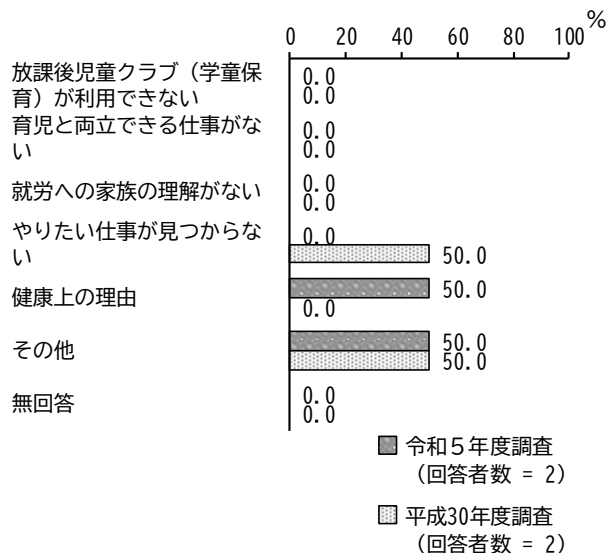
就学前児童では、「やりたい仕事が見つからない」が2件となっています。「健康上の理由」が1件となっています。

就学児童では、「健康上の理由」が1件となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



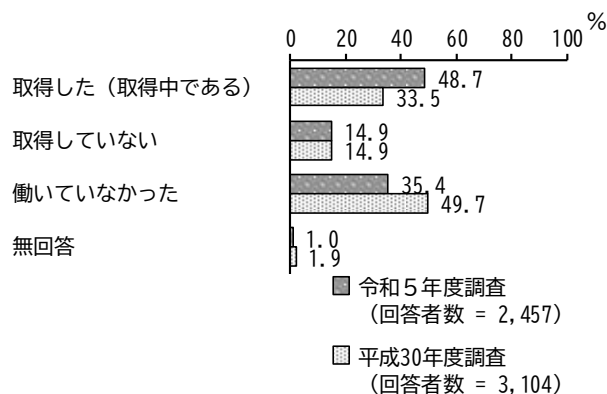
### (3) 育児休業の取得状況について

問 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれか、または双方が育児休業（産後パパ育休を含む）を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。（就学前児童：問14）

#### (1) 母親

「取得した（取得中である）」の割合が48.7%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が35.4%、「取得していない」の割合が14.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。



#### 【子どもをみてもらえる親族・知人の有無別】

子どもをみてもらえる親族・知人の有無別にみると、祖父母などの親族に見てもらえる人の方が、育児休業を取得した割合が高い傾向があります。

単位：%

区分	回答者数 (件)	取得した (取得中である)	取得していない	働いていなかった	無回答
全体	2,457	48.7	14.9	35.4	1.0
日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	740	50.5	15.9	32.3	1.2
緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる	1,552	50.1	13.7	35.2	1.0
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	43	39.5	23.3	37.2	—
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	209	37.8	18.7	42.6	1.0
いずれもない	309	42.4	15.5	41.1	1.0

### 【父親の育児休業取得状況別】

父親の育児休業取得状況別にみると、父親が育児休業を取得した人の方が取得していない人より、母親が育児休業を取得する割合が高くなっています。

単位：％

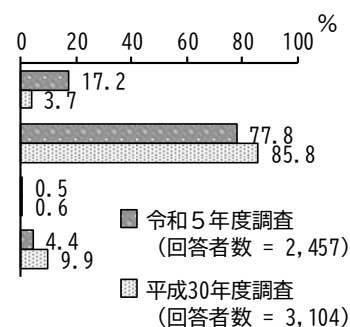
区分	回答者数 (件)	取得した (取得中である)	取得していない	働いていなかった	無回答
全体	2,457	48.7	14.9	35.4	1.0
取得した(取得予定である)	423	61.5	10.9	27.7	—
取得していない(取得予定がない)	1,912	48.4	15.7	35.3	0.6
働いていなかった	13	69.2	7.7	23.1	—

### (2) 父親

「取得していない(取得予定がない)」の割合が77.8%と最も高く、次いで「取得した(取得予定である)」の割合が17.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「取得した(取得予定である)」の割合が増加しています。

取得した(取得予定である)  
取得していない(取得予定がない)  
働いていなかった  
無回答



### 【子どもをみてもらえる親族・知人の有無別】

子どもをみてもらえる親族・知人の有無別にみると、祖父母などの親族に見てもらえる人の方が、育児休業を取得した割合が低い傾向があります。

単位：％

区分	回答者数 (件)	取得した (取得予定 である)	取得していない (取得 予定がない)	働いていなかった	無回答
全体	2,457	17.2	77.8	0.5	4.4
日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	740	16.5	77.7	0.5	5.3
緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる	1,552	16.4	79.6	0.5	3.5
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	43	11.6	81.4	—	7.0
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	209	19.1	74.6	0.5	5.7
いずれもない	309	20.1	73.1	0.6	6.1

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、フルタイムの就労・雇用の方が、パート・アルバイト等の就労・雇用より、「取得した（取得予定である）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	取得した (取得 予定である)	取得していない (取得予定がない)	働いていなかった	無回答
全 体	2,454	17.2	77.8	0.5	4.4
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない	655	14.8	79.2	1.1	4.9
フルタイムの就労・雇用で、産休・育休・介護休業中である	263	31.2	68.4	0.4	—
パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない	870	12.4	83.6	0.2	3.8
パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中である	83	22.9	74.7	—	2.4
以前は就労していたが、現在は就労していない	559	20.4	72.5	0.4	6.8
これまで就労したことがない	12	16.7	75.0	—	8.3

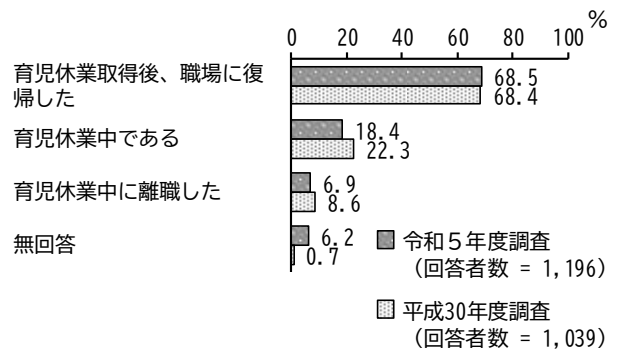
問 問 14 (1) (2) で「1. 取得した (取得予定である)」をつけた方にお聞きします。

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。母親、父親それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。また、「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方は、希望していた復帰時期と実際の復帰時期を、「2. 育児休業中である」に○をつけた方は、現在予定している職場への復帰時期 (取得期間) を〔 〕内に記入してください。(就学前児童：問 15)

### (1) 母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が68.5%と最も高く、次いで「育児休業中である」の割合が18.4%となっています。

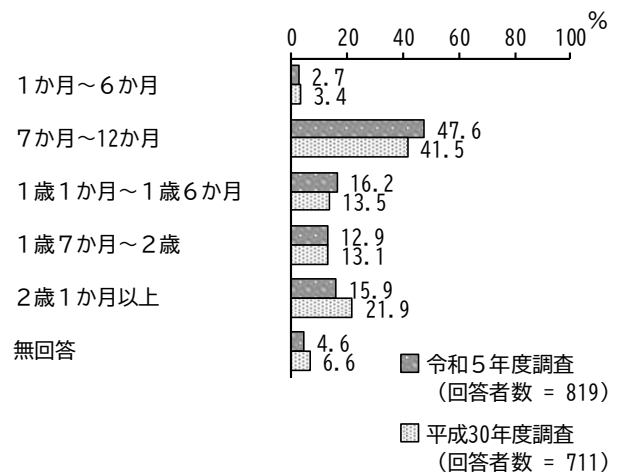
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### ア 希望の取得期間

「7か月～12か月」の割合が47.6%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が16.2%、「2歳1か月以上」の割合が15.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「7か月～12か月」の割合が増加しています。一方、「2歳1か月以上」の割合が減少しています。

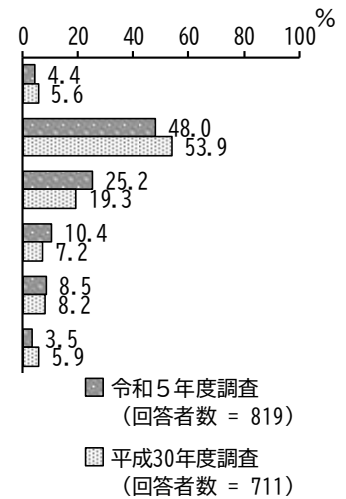


## イ 実際の取得期間

「7か月～12か月」の割合が48.0%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が25.2%、「1歳7か月～2歳」の割合が10.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1歳1か月～1歳6か月」の割合が増加しています。一方、「7か月～12か月」の割合が減少しています。

取得期間	令和5年度調査 (割合%)	平成30年度調査 (割合%)
1か月～6か月	4.4	5.6
7か月～12か月	48.0	53.9
1歳1か月～1歳6か月	25.2	19.3
1歳7か月～2歳	10.4	7.2
2歳1か月以上	8.5	8.2
無回答	3.5	5.9

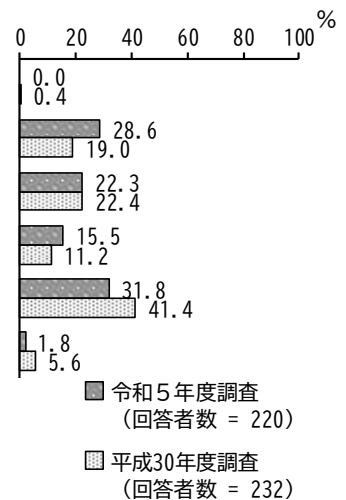


## ウ 育児休業中の場合の取得期間

「2歳1か月以上」の割合が31.8%と最も高く、次いで「7か月～12か月」の割合が28.6%、「1歳1か月～1歳6か月」の割合が22.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「7か月～12か月」の割合が増加しています。一方、「2歳1か月以上」の割合が減少しています。

取得期間	令和5年度調査 (割合%)	平成30年度調査 (割合%)
1か月～6か月	0.0	0.4
7か月～12か月	28.6	19.0
1歳1か月～1歳6か月	22.3	22.4
1歳7か月～2歳	15.5	11.2
2歳1か月以上	31.8	41.4
無回答	1.8	5.6

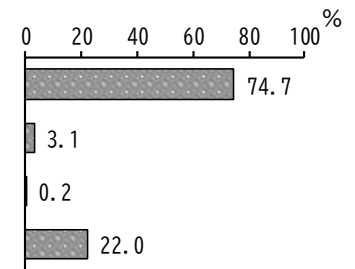


## (2) 父親

「育児休業の取得期間（職場復帰済）」の割合が74.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 423

育児休業の取得期間（職場復帰済）  
育児休業中又は取得予定である  
育児休業中に離職した  
無回答

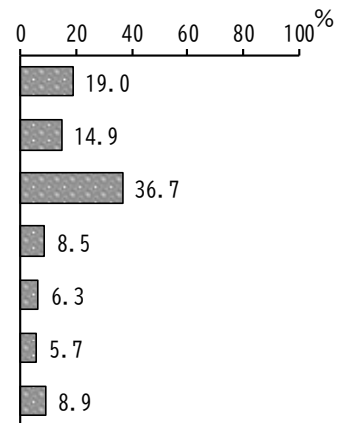


### ア 希望の取得期間

「1か月から3か月未満」の割合が36.7%と最も高く、次いで「10日未満」の割合が19.0%、「10日から1か月未満」の割合が14.9%となっています。

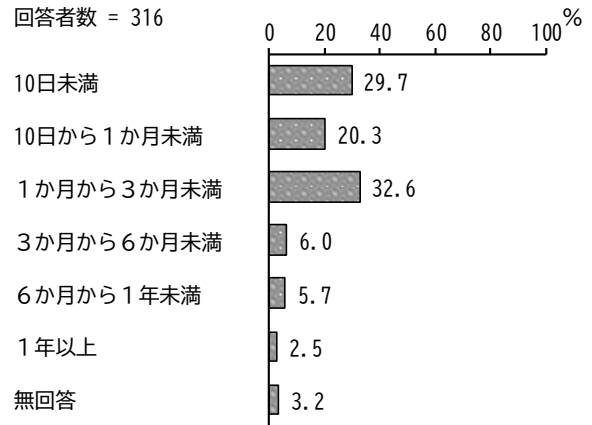
回答者数 = 316

10日未満  
10日から1か月未満  
1か月から3か月未満  
3か月から6か月未満  
6か月から1年未満  
1年以上  
無回答



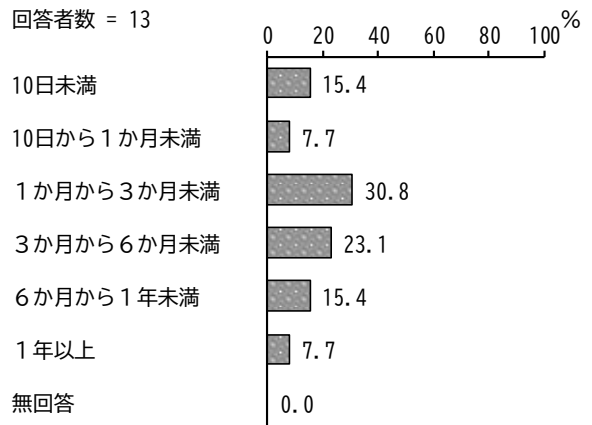
## イ 実際の取得期間

「1か月から3か月未満」の割合が32.6%と最も高く、次いで「10日未満」の割合が29.7%、「10日から1か月未満」の割合が20.3%となっています。



## ウ 育児休業中の場合の取得期間

「1か月から3か月未満」の割合が30.8%と最も高く、次いで「3か月から6か月未満」の割合が23.1%、「10日未満」、「6か月から1年未満」の割合が15.4%となっています。





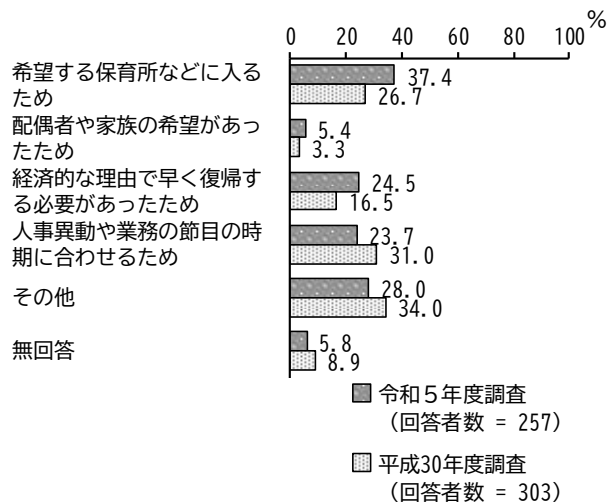
問 問 15 (1) (2) で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方で、育児休業の取得期間が希望と実際に異なる方にお聞きします。育児休業の取得期間が希望と異なる理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。  
(就学前児童：問 16)

(1) 希望より取得期間が短かった方

①母親

「希望する保育所などに入るため」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」の割合が 24.5%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 23.7%となっています。

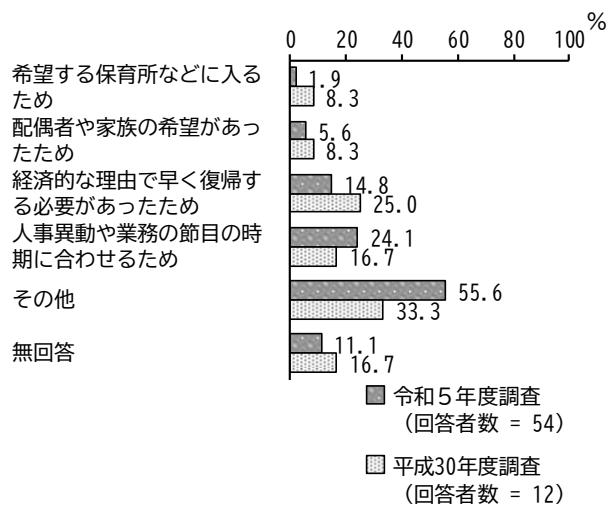
平成 30 年度調査と比較すると、「希望する保育所などに入るため」「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」の割合が増加しています。一方、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が減少しています。



②父親

「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 24.1%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」の割合が 14.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が増加しています。一方、「希望する保育所などに入るため」「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」の割合が減少しています。

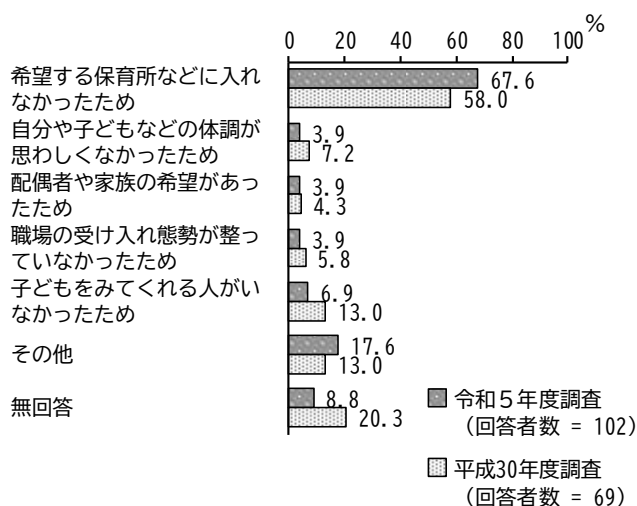


## (2) 希望より取得期間が長かった方

### ①母親

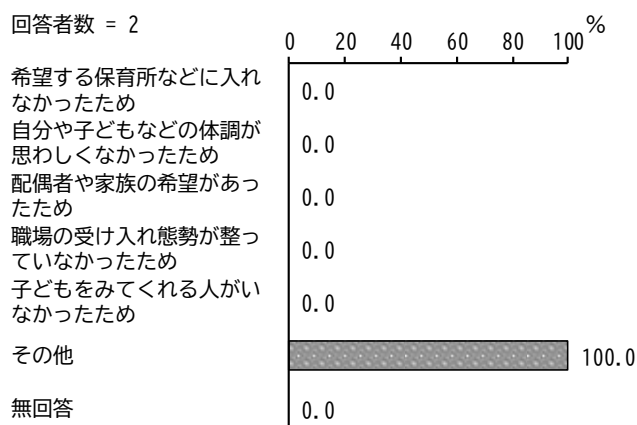
「希望する保育所などに入れなかったため」の割合が67.6%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「希望する保育所などに入れなかったため」の割合が増加しています。一方、「子どもをみてくれる人がいなかったため」の割合が減少しています。



### ②父親

「その他」が2件となっています。

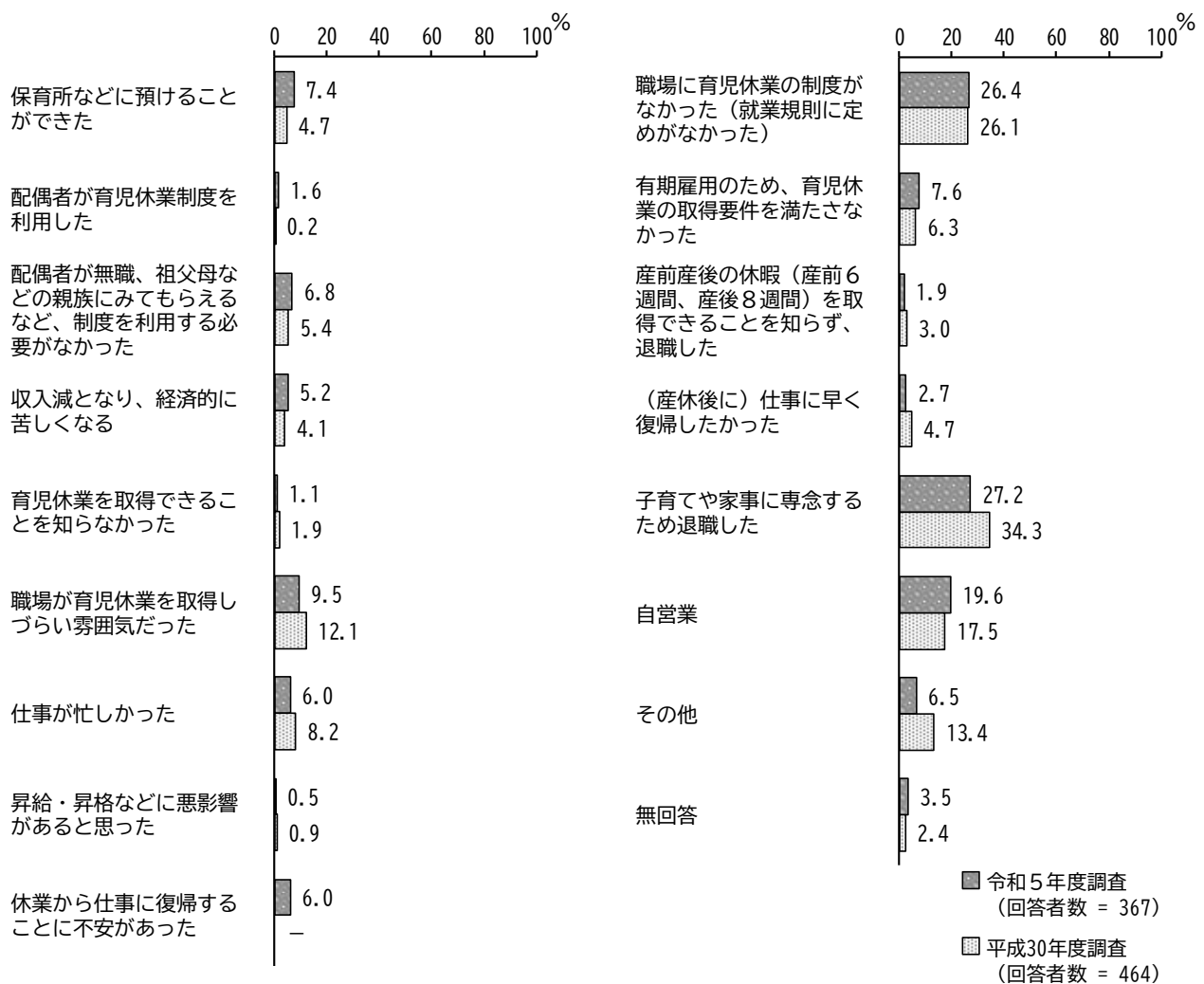


問 問 14 (1) (2) で「2. 取得していない (取得予定がない)」に○をつけた方にお聞きします。  
 育児休業を取得していない理由として、母親、父親それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問 17)

(1) 母親

「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が 27.2%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)」の割合が 26.4%、「自営業」の割合が 19.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が減少しています。

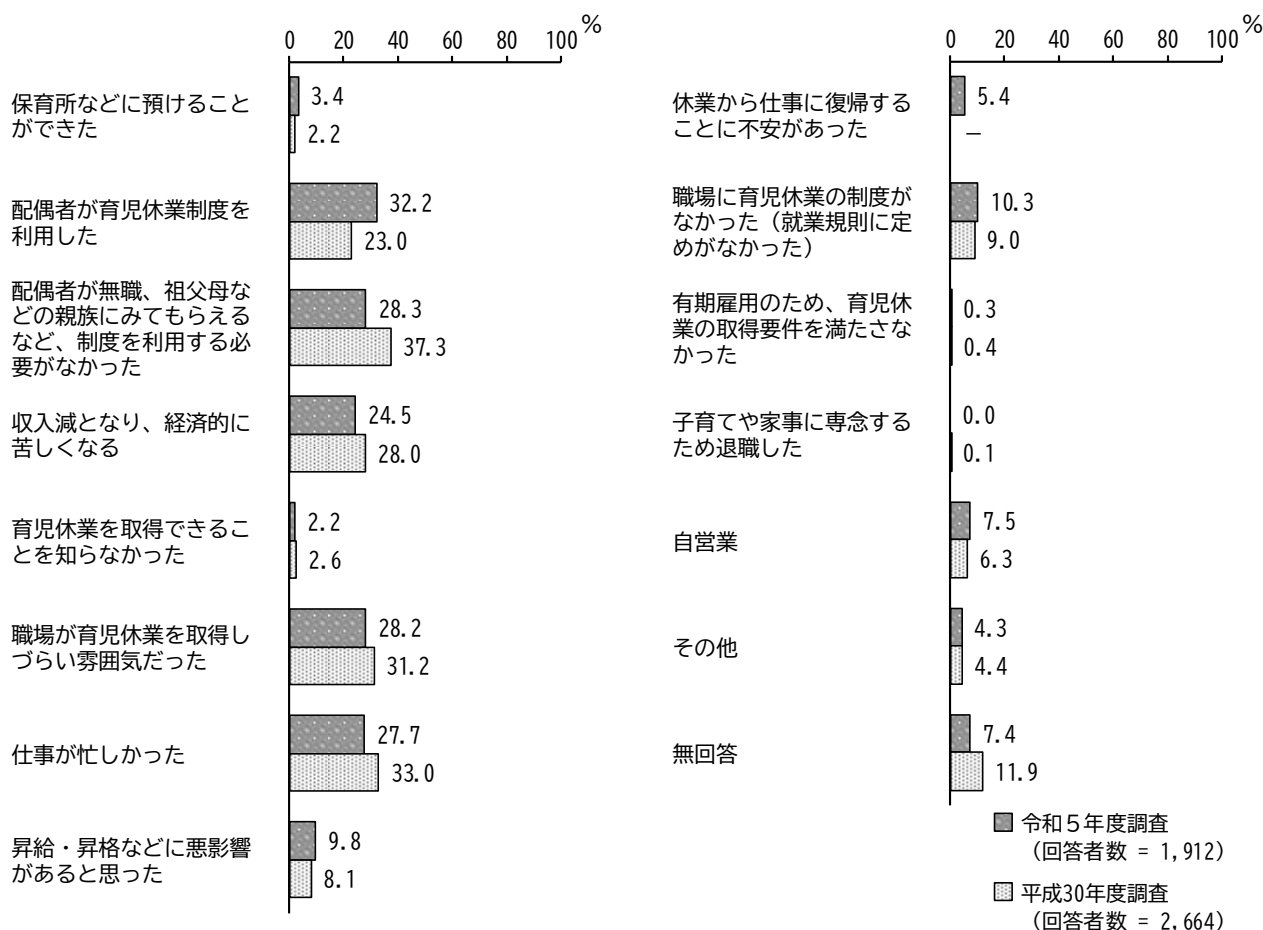


※前回調査では、「休業から仕事に復帰することに不安があった」の選択肢はありませんでした。

## (2) 父親

「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が32.2%と最も高く、次いで「配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が28.3%、「職場が育児休業を取得しづらい雰囲気だった」の割合が28.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が増加しています。一方、「配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」「仕事が忙しかった」の割合が減少しています。



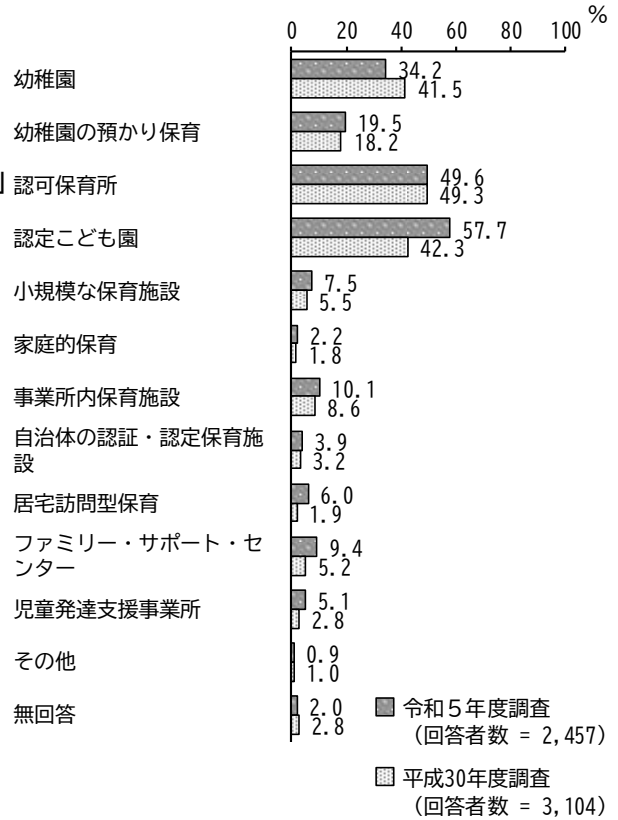
※前回調査では、「休業から仕事に復帰することに不安があった」の選択肢はありませんでした。

#### (4) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 現在、利用している、していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、「5. 小規模な保育施設」「6. 家庭的保育」「8. 自治体の認証・認定保育施設」の事業は豊橋市では現在行われていません。(就学前児童：問18)

「認定こども園」の割合が57.7%と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が49.6%、「幼稚園」の割合が34.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「認定こども園」の割合が増加しています。一方、「幼稚園」の割合が減少しています。



#### 【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、全ての年齢で、「認定こども園」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	幼稚園	育 幼稚園の預かり保	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	居宅訪問型保育	ト・センター	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援事業所	その他	無回答
全 体	2,457	34.2	19.5	49.6	57.7	7.5	2.2	10.1	3.9	6.0	9.4	5.1	0.9	2.0	
0歳	394	33.2	17.3	51.3	62.4	10.4	2.5	12.2	6.1	8.1	12.4	2.3	0.3	3.6	
1歳	427	31.4	19.4	56.4	65.1	8.9	2.6	12.6	5.6	7.7	7.7	4.2	1.6	0.9	
2歳	330	39.1	20.6	45.2	56.4	6.4	1.8	10.6	2.7	6.1	8.2	3.9	1.2	1.8	
3歳	413	33.9	18.6	52.8	52.8	7.0	2.4	9.9	2.4	4.4	9.7	6.8	1.0	1.9	
4歳	436	35.1	20.2	47.7	54.4	6.4	2.8	7.3	3.4	6.0	9.9	6.7	0.9	2.3	
5歳	434	33.9	21.2	43.8	56.5	6.2	1.2	8.1	3.0	4.4	9.0	6.7	0.7	1.6	

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、母親が就労している世帯では、「認定こども園」の割合が高い傾向にあります。

単位：％

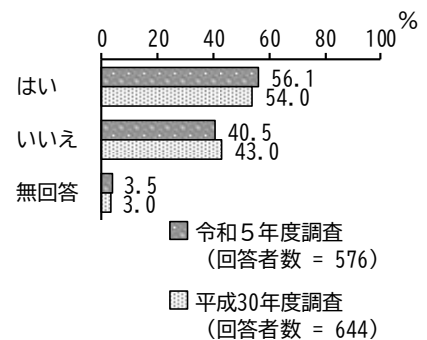
区分	回答者数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育
全 体	2,454	34.1	19.4	49.6	57.7	7.5	2.2
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）の 就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない	655	19.2	16.2	60.5	61.5	7.5	2.1
フルタイムの就労・雇用で、産休・育休・介護休業中である	263	23.6	16.7	58.2	72.6	9.5	3.0
パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就 労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない	870	29.0	20.2	53.2	56.3	7.1	2.3
パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就 労・雇用で、産休・育休・介護休業中である	83	19.3	10.8	60.2	59.0	3.6	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	559	65.7	24.9	26.7	49.7	8.2	2.1
これまで就労したことがない	12	75.0	8.3	25.0	41.7	—	—

区分	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援事業所	その他	無回答
全 体	10.1	3.9	6.0	9.4	5.1	0.9	2.0
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）の 就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない	11.5	4.1	7.2	11.3	4.1	1.7	1.2
フルタイムの就労・雇用で、産休・育休・介護休業中である	12.9	6.5	8.4	10.6	2.7	0.8	3.0
パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就 労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない	9.9	3.0	5.4	8.2	6.1	0.5	1.8
パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就 労・雇用で、産休・育休・介護休業中である	4.8	—	2.4	6.0	3.6	—	3.6
以前は就労していたが、現在は就労していない	8.6	4.5	5.4	9.5	6.4	0.7	2.1
これまで就労したことがない	—	—	—	—	—	—	—

問 問 18 で「1. 幼稚園」又は「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3. 認可保育所」～「12. その他」にも○をつけた方にお聞きします。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号いずれかに○をつけてください。（就学前児童：問 19）

「はい」の割合が 56.1%、「いいえ」の割合が 40.5%となっています。

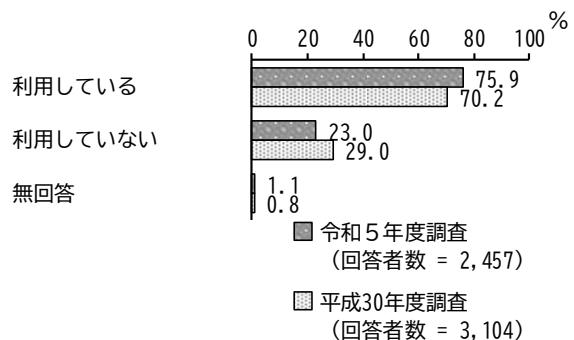
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。当てはまる番号いずれかに○をつけてください。（就学前児童：問 20）

「利用している」の割合が 75.9%、「利用していない」の割合が 23.0%となっています。

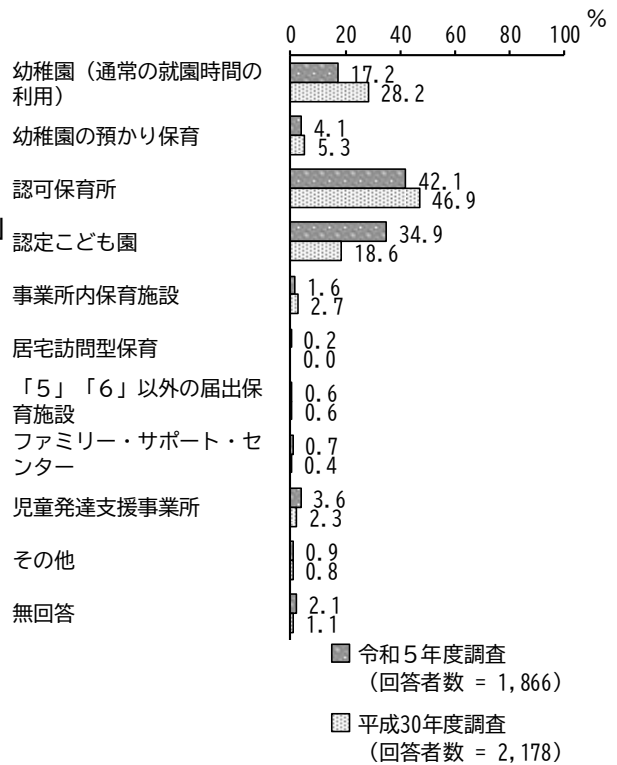
平成 30 年度調査と比較すると、「利用している」の割合が増加しています。



問 問 20 で「1. 利用している」に○をつけた方にお聞きします。  
 平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。  
 (就学前児童：問 21)

「認可保育所」の割合が 42.1%と最も高く、次いで「認定こども園」の割合が 34.9%、「幼稚園(通常の就園時間の利用)」の割合が 17.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「認定こども園」の割合が増加しています。一方、「幼稚園(通常の就園時間の利用)」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、3歳以下では「認可保育所」、4歳以上では「認定こども園」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	幼稚園(通常の就園時間の利用)	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	事業所内保育施設	居宅訪問型保育	「5」「6」以外の届出保育施設	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援事業所	その他	無回答
全体	1,866	17.2	4.1	42.1	34.9	1.6	0.2	0.6	0.7	3.6	0.9	2.1
0歳	89	2.2	—	53.9	28.1	7.9	—	2.2	—	—	2.2	4.5
1歳	257	1.6	0.4	61.5	30.7	4.3	0.8	1.6	0.4	1.6	0.8	1.2
2歳	260	13.8	3.8	42.3	35.0	1.9	—	0.4	0.4	2.3	2.3	3.1
3歳	401	19.5	3.2	41.1	34.4	—	0.2	0.7	1.0	4.5	0.2	1.2
4歳	418	22.5	5.3	36.6	36.6	0.7	—	—	0.5	4.8	0.5	2.2
5歳	424	24.5	7.1	34.2	37.7	0.7	0.2	—	1.2	4.5	0.5	2.4



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、母親が就労している世帯では、「認可保育所」「認定こども園」の順に割合が高くなっています。

単位：％

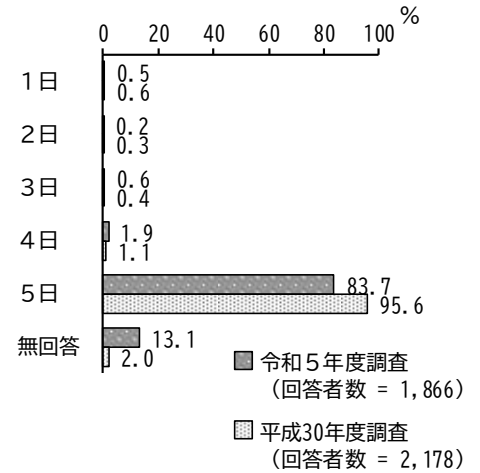
区分	回答者数 (件)	幼稚園(通常の就 園時間の利用)	幼稚園の預かり保 育	認可保育所	認定こども園	事業所内保育施設	居宅訪問型保育	届出保育施設 「5」「6」以外の	ファミリー・サポ ーターセンター	児童発達支援事業 所	その他	無回答
全 体	1,863	17.2	4.1	42.1	35.0	1.6	0.2	0.6	0.7	3.6	0.9	2.1
フルタイム(1週5日程 度・1日8時間程度)の 就労・雇用で、産休・育 休・介護休業中ではない	622	5.1	1.8	50.6	39.1	2.1	0.2	0.8	1.1	2.3	1.0	2.4
フルタイムの就労・雇用 で、産休・育休・介護休業 中である	99	7.1	1.0	44.4	46.5	1.0	—	1.0	—	3.0	—	—
パート・アルバイト等(フ ルタイム以外)の就労・ 雇用で、産休・育休・介護 休業中ではない	813	15.1	6.2	44.0	34.9	1.6	0.2	0.5	0.2	3.2	1.0	2.5
パート・アルバイト等(フ ルタイム以外)の就労・ 雇用で、産休・育休・介護 休業中である	53	9.4	—	58.5	32.1	—	—	—	—	1.9	—	1.9
以前は就労していたが、 現在は就労していない	260	56.2	5.4	12.3	22.3	0.8	0.4	0.4	1.5	8.8	0.8	0.8
これまで就労したことが ない	9	44.4	—	11.1	44.4	—	—	—	—	—	—	—

問 問 20 で「1. 利用している」に○をつけた方にお聞きします。  
 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間かを記入してください。(就学前児童：問 22)

(1) 現在

ア 1週当たりの利用日数

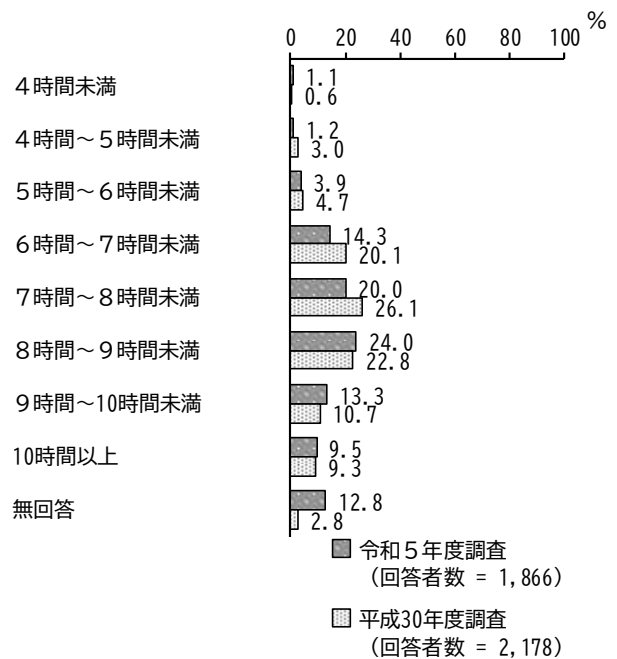
「5日」の割合が83.7%と最も高くなっています。



イ 1日当たりの利用時間

「8時間～9時間未満」の割合が24.0%と最も高く、次いで「7時間～8時間未満」の割合が20.0%、「6時間～7時間未満」の割合が14.3%となっています。

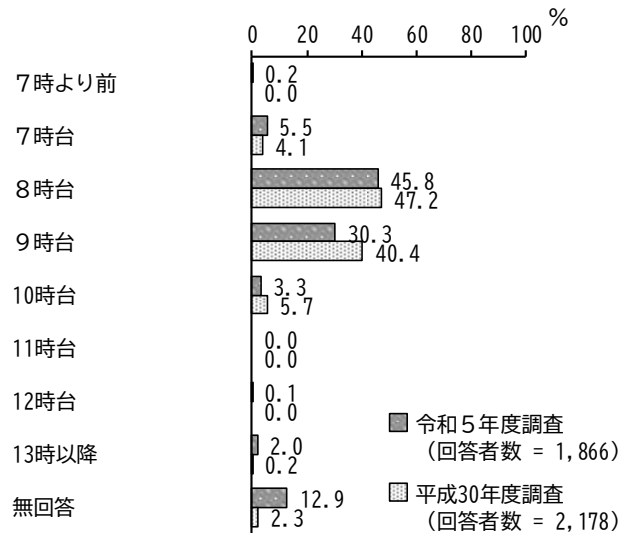
平成30年度調査と比較すると、「6時間～7時間未満」「7時間～8時間未満」の割合が減少しています。



### ウ 利用開始時刻

「8時台」の割合が45.8%と最も高く、次いで「9時台」の割合が30.3%となっています。

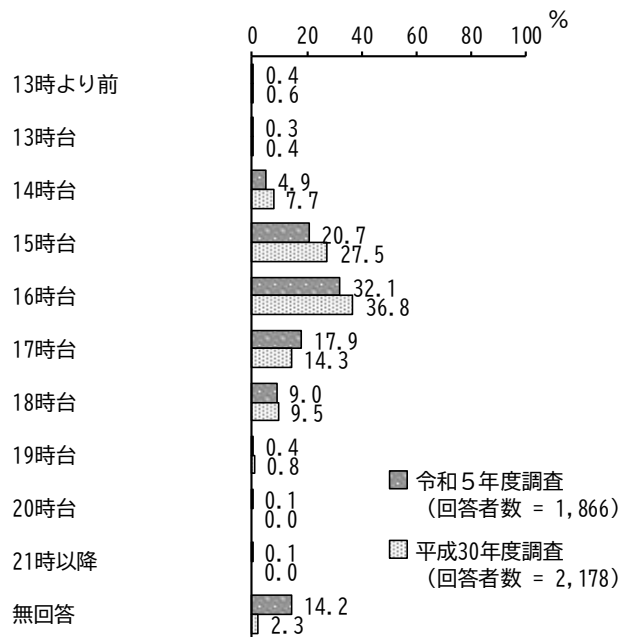
平成30年度調査と比較すると、「9時台」の割合が減少しています。



### エ 利用終了時刻

「16時台」の割合が32.1%と最も高く、次いで「15時台」の割合が20.7%、「17時台」の割合が17.9%となっています。

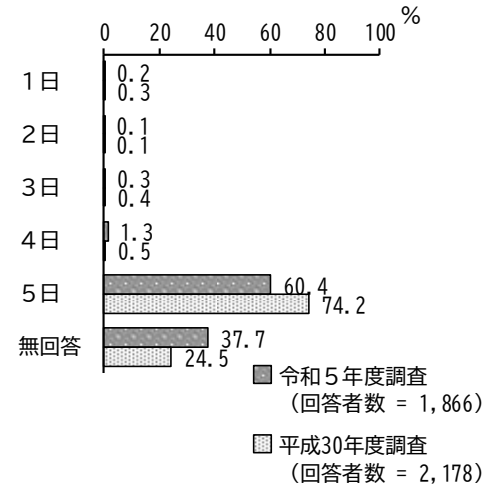
平成30年度調査と比較すると、「15時台」の割合が減少しています。



(2) 希望

ア 1週当たりの希望日数

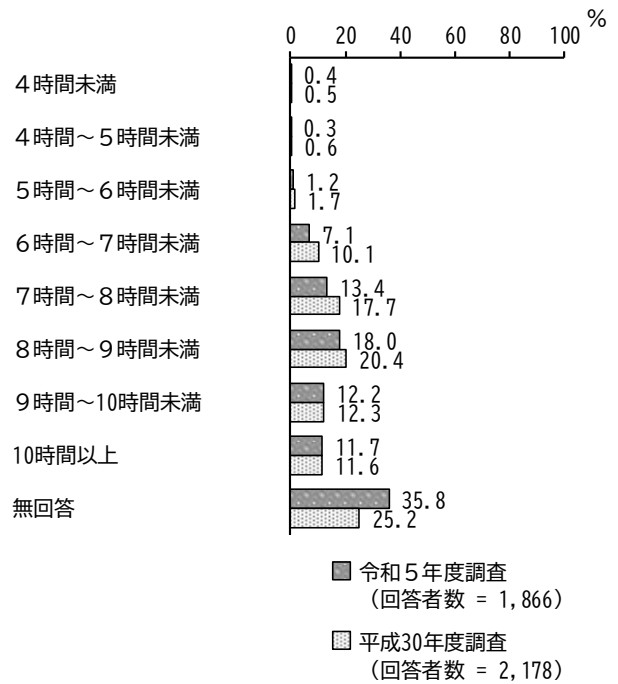
「5日」の割合が60.4%と最も高くなっています。



イ 1日当たりの希望利用時間

「8時間～9時間未満」の割合が18.0%と最も高く、次いで「7時間～8時間未満」の割合が13.4%、「9時間～10時間未満」の割合が12.2%となっています。

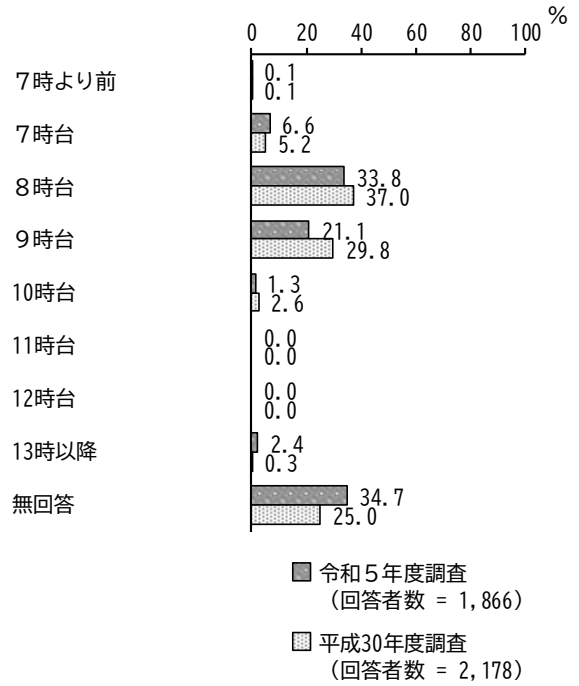
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### ウ 希望の利用開始時刻

「8時台」の割合が33.8%と最も高く、次いで「9時台」の割合が21.1%となっています。

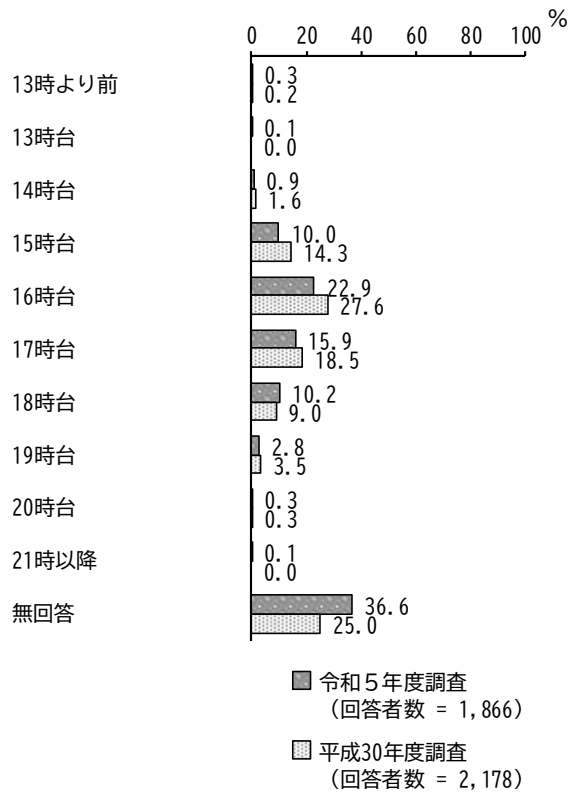
平成30年度調査と比較すると、「9時台」の割合が減少しています。



### エ 希望の利用終了時刻

「16時台」の割合が22.9%と最も高く、次いで「17時台」の割合が15.9%、「18時台」の割合が10.2%となっています。

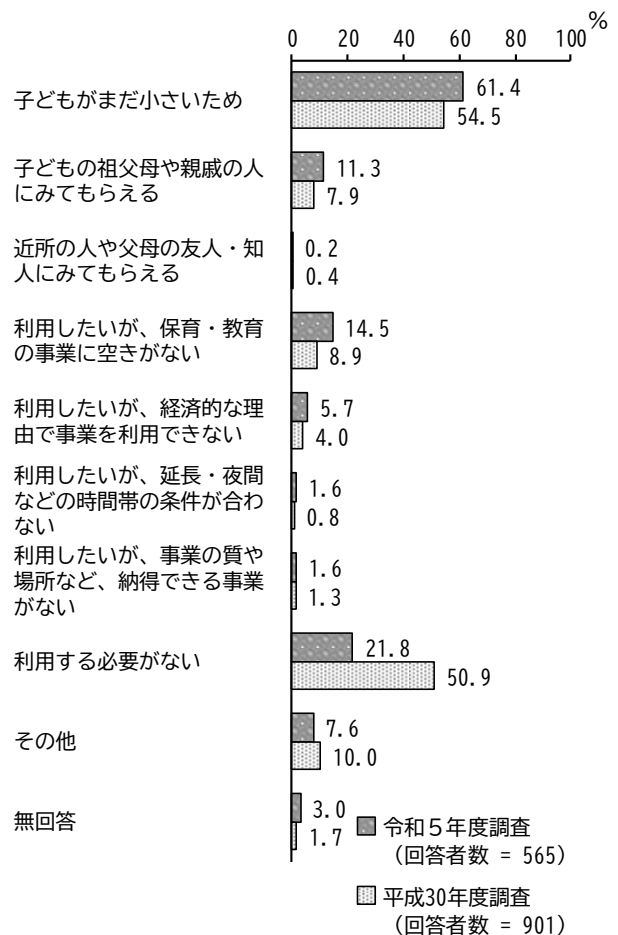
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 問 20 で「2. 利用していない」に○をつけた方にお聞きします。  
 平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、〔 〕内には数字を記入してください。(就学前児童：問 23)

「子どもがまだ小さいため」の割合が 61.4%と最も高く、次いで「利用する必要がない」の割合が 21.8%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」の割合が 14.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「子どもがまだ小さいため」「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」の割合が増加しています。一方、「利用する必要がない」の割合が減少しています。



### 【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、2歳以下では、「子どもがまだ小さいため」の割合が5割を超えています。

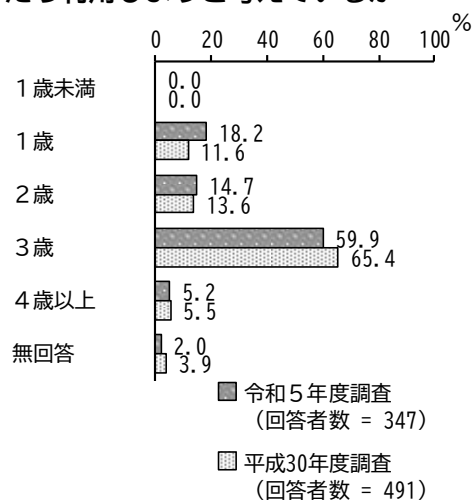
単位：%

区分	回答者数(件)	子どもがまだ小さい	子どもの祖父母や親戚の人にみてもらえる	近所の人や父母の友人・知人にみてもらえる	利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	利用する必要がない	その他	無回答
全体	565	61.4	11.3	0.2	14.5	5.7	1.6	1.6	21.8	7.6	3.0
0歳	294	65.3	10.9	0.3	15.0	4.4	1.4	0.7	17.7	8.2	2.4
1歳	168	68.5	11.9	—	16.1	5.4	1.8	1.2	23.8	7.7	1.8
2歳	67	53.7	6.0	—	14.9	9.0	—	6.0	31.3	6.0	3.0
3歳	9	—	33.3	—	—	33.3	—	—	22.2	—	11.1
4歳	14	—	14.3	—	7.1	7.1	7.1	—	42.9	7.1	21.4
5歳	7	14.3	28.6	—	—	—	14.3	14.3	28.6	—	—

### ア 子どもがまだ小さいためと回答した方で、何歳ぐらいになったら利用しようと考えているか

就学前児童では、「3歳」の割合が59.9%と最も高く、次いで「1歳」の割合が18.2%、「2歳」の割合が14.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1歳」の割合が増加しています。一方、「3歳」の割合が減少しています。



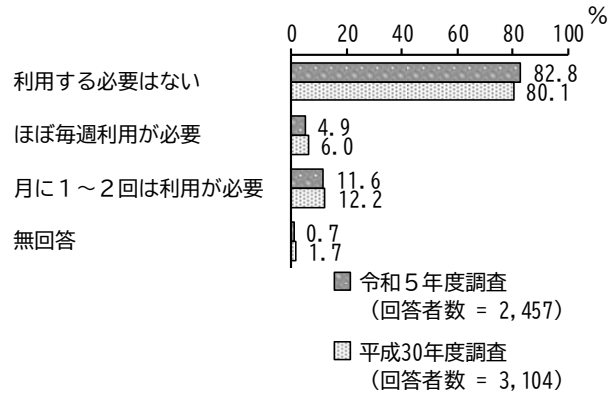
## (5) 休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用について

問 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用が必要ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、「2. ほぼ毎週利用が必要」又は「3. 月に1～2回は利用が必要」に○をつけた方は、利用したい時間帯を〔 〕内に記入してください。(就学前児童：問24)

### (1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が82.8%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用が必要」の割合が11.6%となっています。

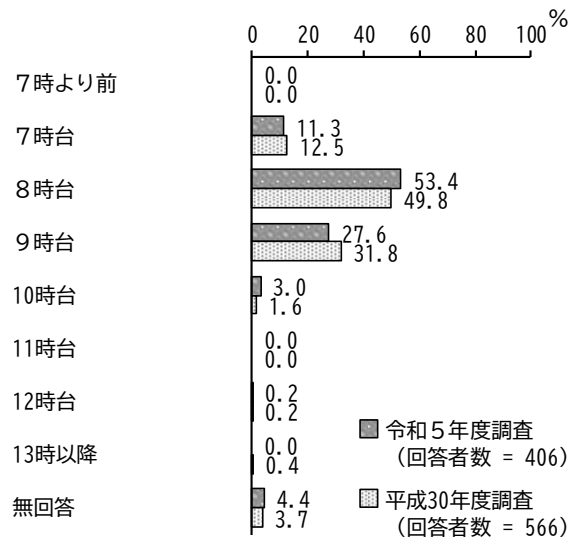
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### ア 希望する利用開始時刻

「8時台」の割合が53.4%と最も高く、次いで「9時台」の割合が27.6%、「7時台」の割合が11.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

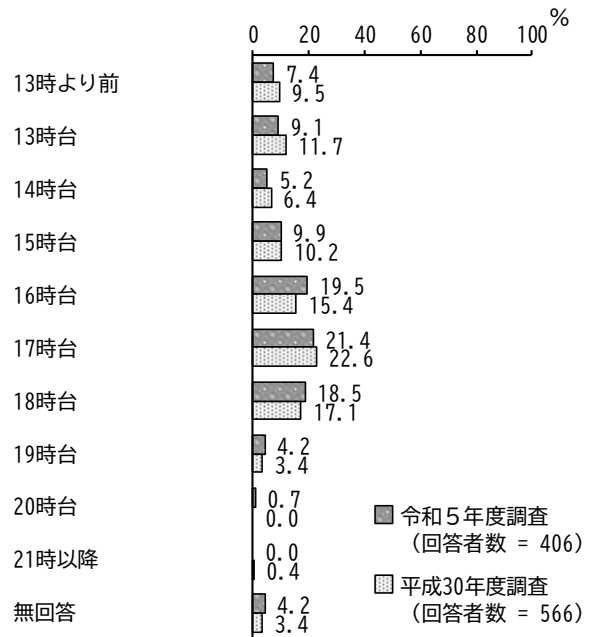




## イ 希望する利用終了時刻

「17 時台」の割合が 21.4%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 19.5%、「18 時台」の割合が 18.5%となっています。

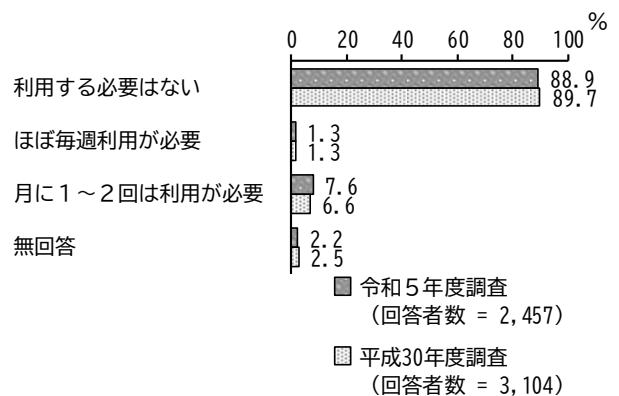
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



## (2) 日曜日・祝日

「利用する必要はない」の割合が 88.9%と最も高くなっています。

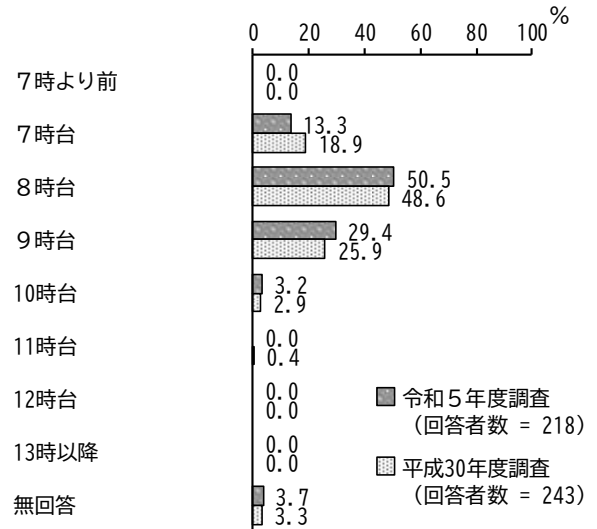
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### ア 希望する利用開始時刻

「8時台」の割合が50.5%と最も高く、次いで「9時台」の割合が29.4%、「7時台」の割合が13.3%となっています。

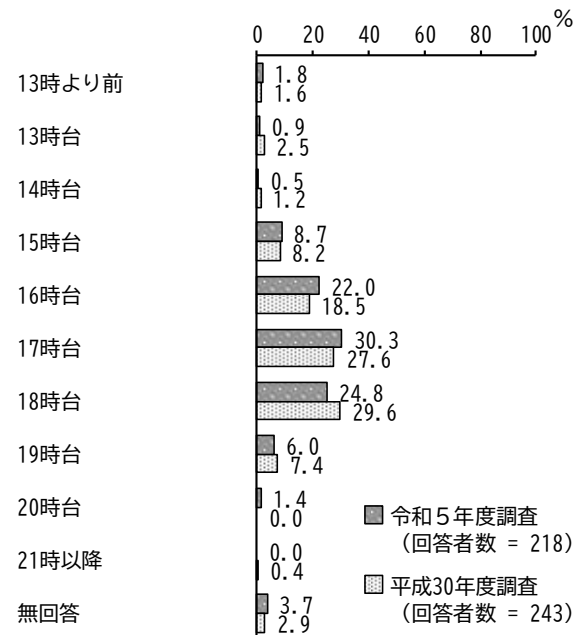
平成30年度調査と比較すると、「7時台」の割合が減少しています。



### イ 希望する利用終了時刻

「17時台」の割合が30.3%と最も高く、次いで「18時台」の割合が24.8%、「16時台」の割合が22.0%となっています。

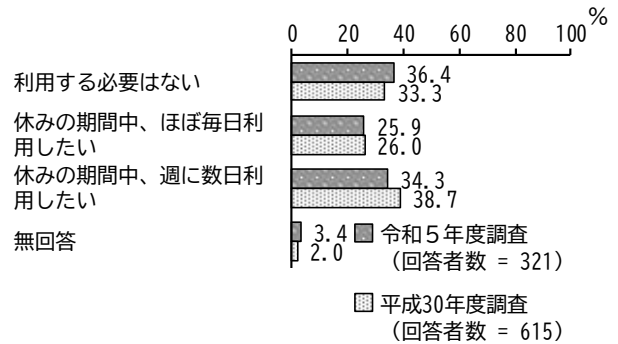
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 あて名のお子さんが「幼稚園」を利用している方にお聞きします。  
夏休み・冬休みなど長期休暇中に教育・保育事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、「2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」又は「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方は、利用したい時間帯を〔 〕内に記入してください。(就学前児童：問 25)

「利用する必要はない」の割合が36.4%と最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が34.3%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が25.9%となっています。

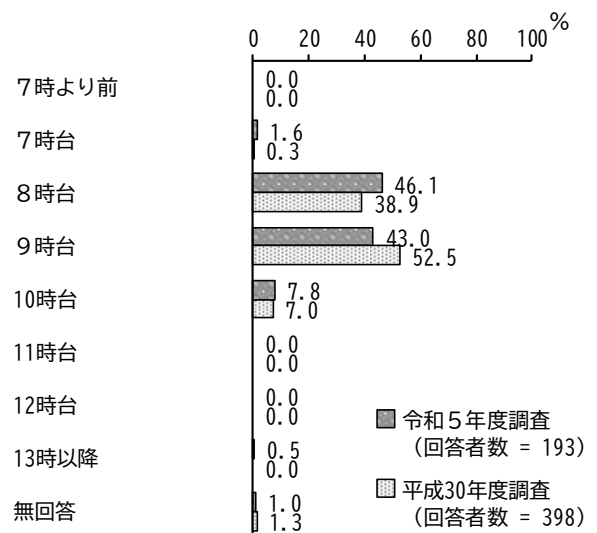
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



#### ア 希望する利用開始時刻

「8時台」の割合が46.1%と最も高く、次いで「9時台」の割合が43.0%となっています。

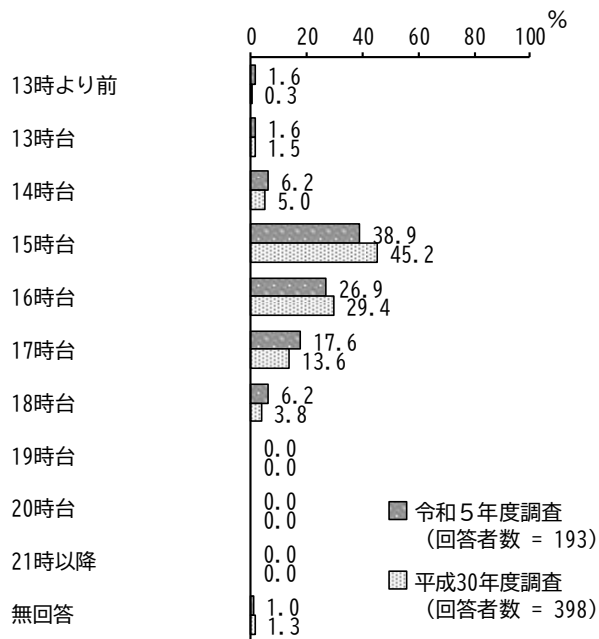
平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が増加しています。一方、「9時台」の割合が減少しています。



### イ 希望する利用終了時刻

「15 時台」の割合が 38.9%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 26.9%、「17 時台」の割合が 17.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「15 時台」の割合が減少しています。



## (6) 病気の際の対応について

問 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた方（問 20 で「1. 利用している」に○をつけた方）にお聞きします。この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号いずれかに○をつけてください。（就学前児童：問 26、就学児童：問 22）

就学前児童では、「あった」の割合が 78.9%、「なかった」の割合が 20.4%となっています。

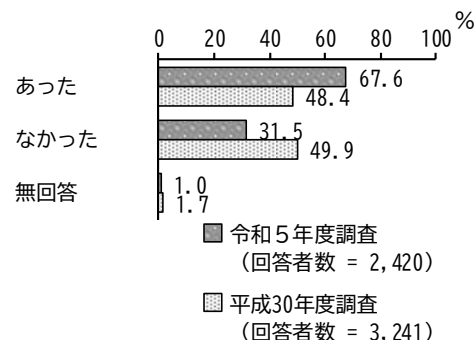
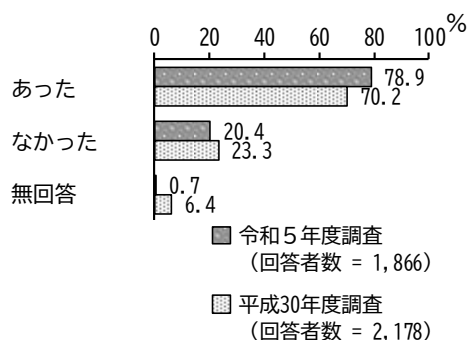
平成 30 年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。

就学児童では、「あった」の割合が 67.6%、「なかった」の割合が 31.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。

【就学前児童】

【就学児童】



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、就学前児童では、全ての年齢で「あった」の割合が7割を超え、また、1歳と2歳では8割を超えています。

就学児童では、全ての年齢で、「あった」の割合が6割を超えています。

【就学前児童】

単位：％

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
全 体	1,866	78.9	20.4	0.7
0歳	89	77.5	21.3	1.1
1歳	257	88.7	11.3	—
2歳	260	83.5	14.6	1.9
3歳	401	77.6	21.7	0.7
4歳	418	78.9	21.1	—
5歳	424	72.2	26.9	0.9

【就学児童】

単位：％

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
全 体	2,420	67.6	31.5	1.0
6歳（1年生）	460	67.6	30.9	1.5
7歳（2年生）	382	75.7	23.6	0.8
8歳（3年生）	381	70.6	29.1	0.3
9歳（4年生）	395	62.5	37.0	0.5
10歳（5年生）	317	63.1	35.6	1.3
11歳（6年生）	417	66.4	32.4	1.2

問 問 26 で「1. あった」に○をつけた方にお聞きします。

お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を〔 〕内に記入してください（半日程度の対応の場合も1日としてください。）。（就学前児童：問 27、就学児童：問 23）

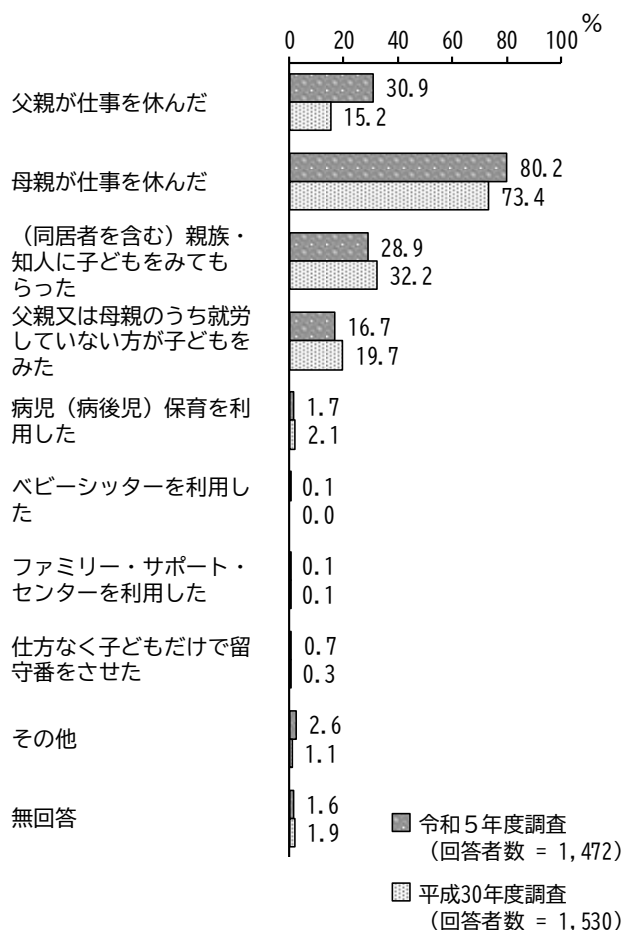
就学前児童では、「母親が仕事を休んだ」の割合が 80.2%と最も高く、次いで「父親が仕事を休んだ」の割合が 30.9%、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が 28.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「父親が仕事を休んだ」の割合が約 2 倍に増加しています。

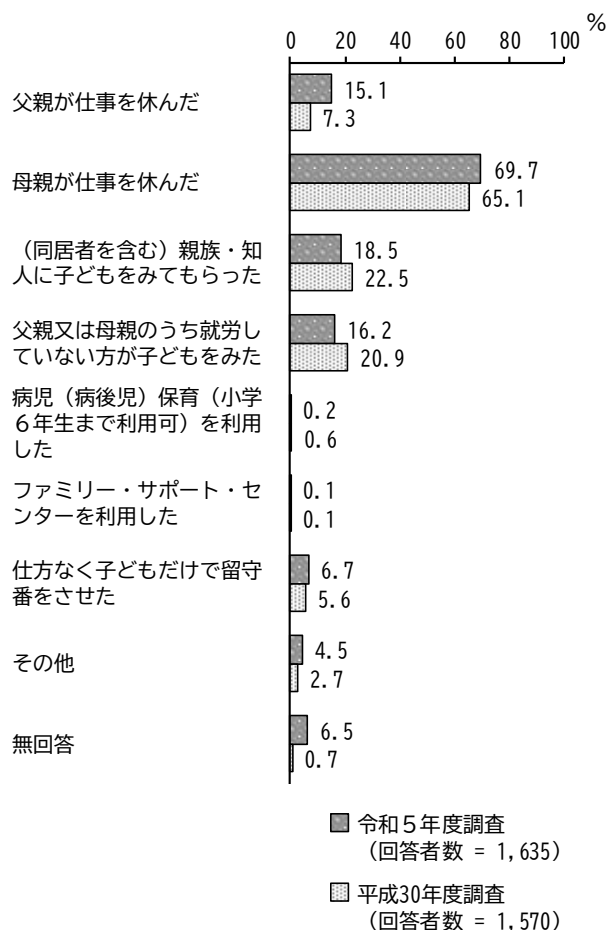
就学児童では、「母親が仕事を休んだ」の割合が 69.7%と最も高く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が 18.5%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が 16.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「父親が仕事を休んだ」の割合が約 2 倍に増加しています。

【就学前児童】



【就学児童】



### 【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、就学前児童では、年齢が低いほど、父母のいずれかが「仕事を休んだ」の割合が高くなる傾向があります。

就学児童では、6歳（1年生）では、「父親が休んだ」割合が、他の年齢を大きく上回っています。

### 【就学前児童】

単位：％

区分	回答者数 (件)	だ 父親が仕事を休んだ	だ 母親が仕事を休んだ	み 族・知人に子どもを てもらった (同居者を含む)親	方 が就労していない 子どもをみた	父 親又は母親のう ちが就労してい ない	病 児(病後児)保 育 を利用した	バ ビーシッターを 利用した	フ ァミリー・サポ ート・センターを 利用した	た けで留守番をさせ た	仕 方なく子どもだ けで留守番をさせ た	そ の他	無 回 答
全 体	1,472	30.9	80.2	28.9	16.7	1.7	0.1	0.1	0.1	0.7	2.6	1.6	
0歳	69	37.7	95.7	29.0	5.8	4.3	—	—	—	1.4	1.4	—	
1歳	228	39.9	91.2	32.9	8.8	4.8	—	0.4	—	—	2.2	0.9	
2歳	217	37.8	87.6	30.0	12.0	1.8	0.5	—	—	0.9	2.3	1.8	
3歳	311	29.6	74.6	29.3	21.5	1.6	—	—	—	0.6	3.9	1.3	
4歳	330	26.7	74.8	28.2	20.9	0.3	—	—	—	0.6	2.1	2.4	
5歳	306	24.2	74.8	26.1	18.6	0.3	—	—	0.3	1.0	2.3	2.0	

### 【就学児童】

単位：％

区分	回答者数 (件)	だ 父親が仕事を休んだ	だ 母親が仕事を休んだ	み 族・知人に子どもを てもらった (同居者を含む)親	方 が就労していない 子どもをみた	父 親又は母親のう ちが就労してい ない	病 児(病後児)保 育 (小学6年生まで 利用可)を利用した	フ ァミリー・サポ ート・センターを 利用した	た けで留守番をさせ た	仕 方なく子どもだ けで留守番をさせ た	そ の他	無 回 答
全 体	1,635	15.1	69.7	18.5	16.2	0.2	0.1	0.1	6.7	4.5	6.5	
6歳(1年生)	311	19.6	70.7	19.6	20.9	0.6	—	—	2.9	3.9	5.8	
7歳(2年生)	289	14.9	64.0	17.0	21.8	0.3	0.3	—	4.2	4.5	6.2	
8歳(3年生)	269	14.5	74.3	22.7	14.1	—	—	—	7.4	3.0	5.2	
9歳(4年生)	247	16.2	72.9	19.8	10.9	0.4	—	—	8.1	4.5	8.9	
10歳(5年生)	200	12.0	68.5	17.0	14.0	—	—	—	8.5	7.0	5.5	
11歳(6年生)	277	11.6	67.5	15.2	14.4	—	—	—	11.6	4.0	6.9	



【子どもをみてもらえる親族・知人の有無別】

子どもをみてもらえる親族・知人の有無別にみると、就学前児童では、日常的に祖父母などの親族にみてもらえるで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が高くなっています。

就学児童では、日常的に祖父母などの親族にみてもらえるで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が高くなっています。

【就学前児童】

単位：%

区分	回答者数(件)	父親が仕事を休んだ	母親が仕事を休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児(病後児)保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	1,472	30.9	80.2	28.9	16.7	1.7	0.1	0.1	0.7	2.6	1.6
日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	390	24.4	78.2	46.9	13.8	1.5	—	—	0.3	1.3	2.3
緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる	950	33.8	80.9	30.1	18.0	1.4	0.1	0.1	0.2	3.1	1.3
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	27	33.3	85.2	37.0	11.1	—	—	—	—	7.4	—
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	125	24.8	74.4	23.2	24.0	1.6	—	—	2.4	1.6	2.4
いずれもない	200	30.0	81.5	3.0	15.0	4.5	—	0.5	2.0	3.0	2.0

【就学児童】

単位：%

区分	回答者数(件)	父親が仕事を休んだ	母親が仕事を休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児(病後児)保育(小学6年生まで利用可)を利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全 体	1,635	15.1	69.7	18.5	16.2	0.2	0.1	6.7	4.5	6.5
日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	472	14.2	66.1	35.8	13.8	0.2	—	4.0	4.2	7.2
緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる	982	15.2	72.2	16.6	17.1	0.1	0.1	7.3	4.4	4.9
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	41	12.2	58.5	22.0	19.5	—	—	2.4	2.4	4.9
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	242	12.0	66.9	16.5	19.4	0.4	—	8.7	3.3	7.0
いずれもない	240	15.8	65.8	1.7	18.3	0.8	—	9.2	5.4	9.2

## 年間日数

### ア 父親が仕事を休んだ日数

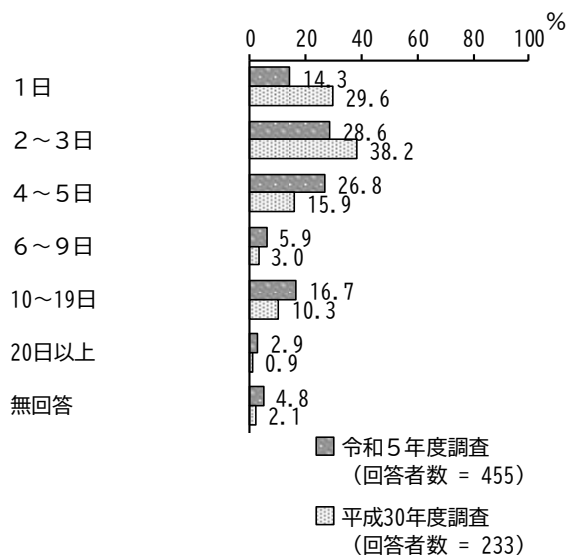
就学前児童では、「2～3日」の割合が28.6%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が26.8%、「10～19日」の割合が16.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4～5日」「10～19日」の割合が増加しています。一方、「1日」「2～3日」の割合が減少しています。

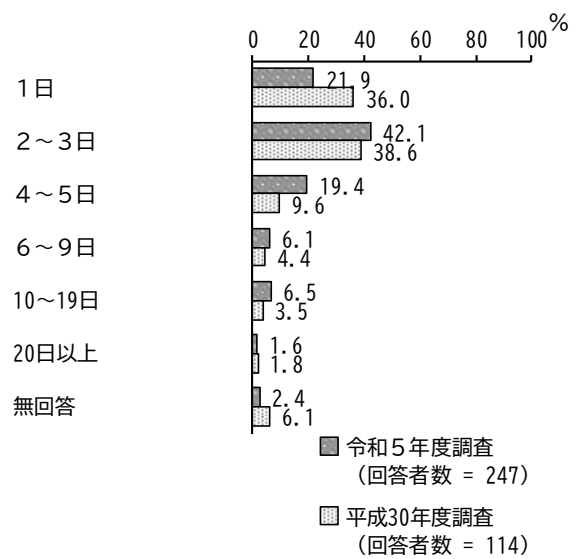
就学児童では、「2～3日」の割合が42.1%と最も高く、次いで「1日」の割合が21.9%、「4～5日」の割合が19.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4～5日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】



## イ 母親が仕事を休んだ日数

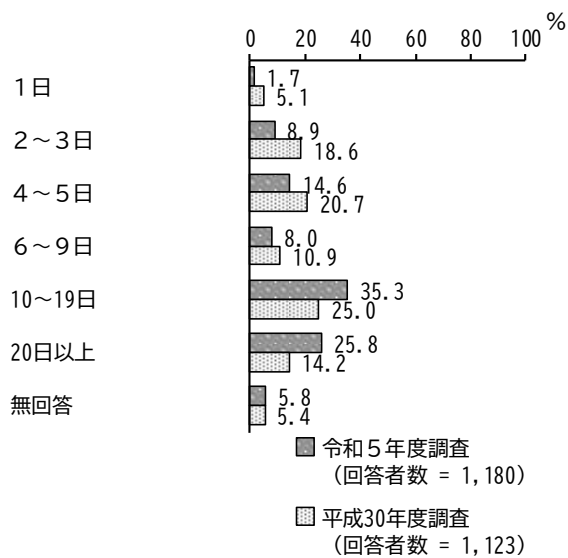
就学前児童では、「10～19日」の割合が35.3%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が25.8%、「4～5日」の割合が14.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「10～19日」「20日以上」の割合が増加しています。一方、「2～3日」「4～5日」の割合が減少しています。

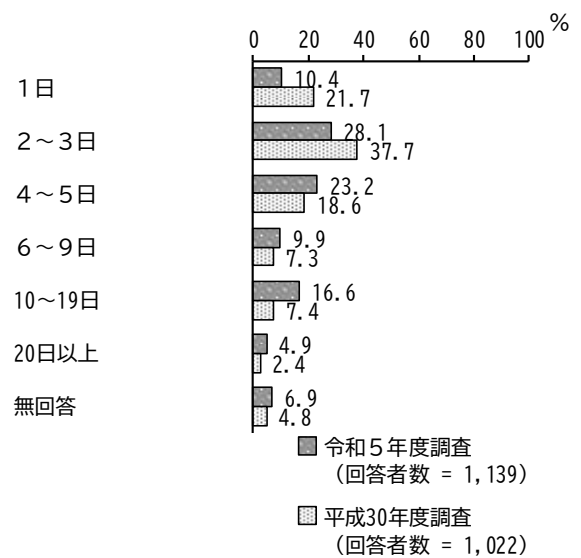
就学児童では、「2～3日」の割合が28.1%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が23.2%、「10～19日」の割合が16.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「10～19日」の割合が増加しています。一方、「1日」「2～3日」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】



ウ 親族・知人にみてもらった日数

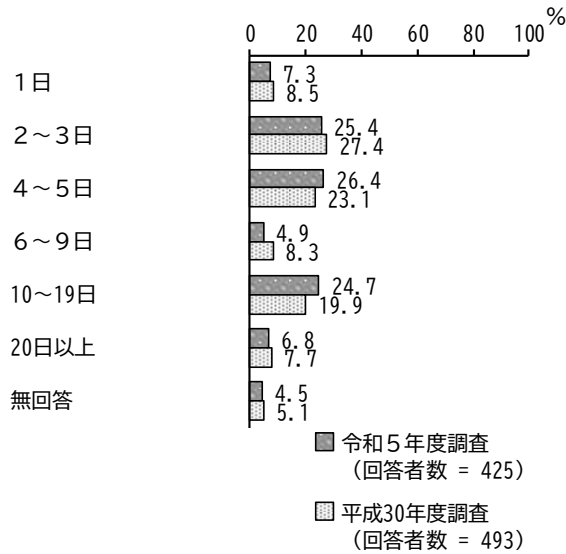
就学前児童では、「4～5日」の割合が26.4%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が25.4%、「10～19日」の割合が24.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

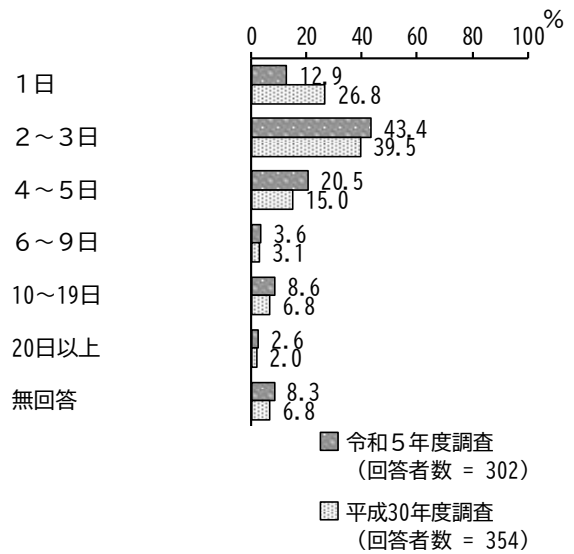
就学児童では、「2～3日」の割合が43.4%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が20.5%、「1日」の割合が12.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4～5日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】



## エ 就労していない父母がみた日数

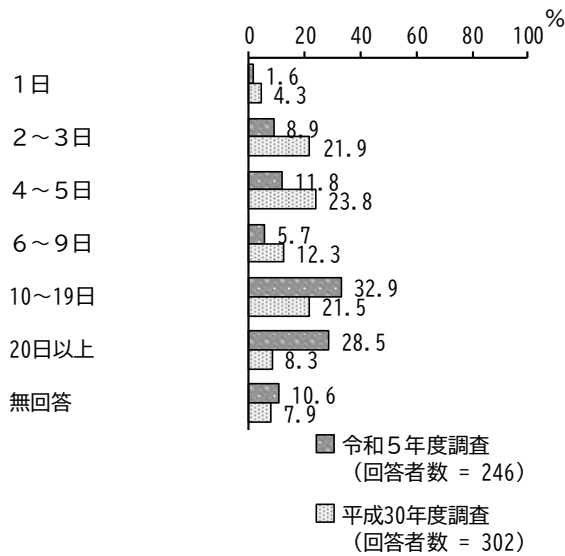
就学前児童では、「10～19日」の割合が32.9%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が28.5%、「4～5日」の割合が11.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「10～19日」「20日以上」の割合が増加しています。一方、「2～3日」「4～5日」「6～9日」の割合が減少しています。

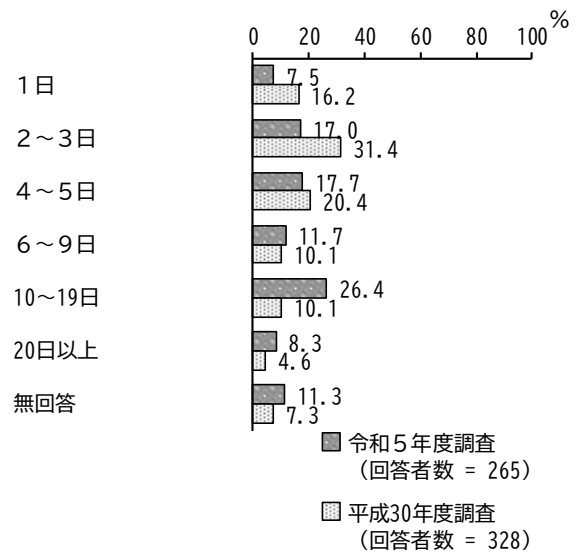
就学児童では、「10～19日」の割合が26.4%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が17.7%、「2～3日」の割合が17.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「10～19日」の割合が増加しています。一方、「1日」「2～3日」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】



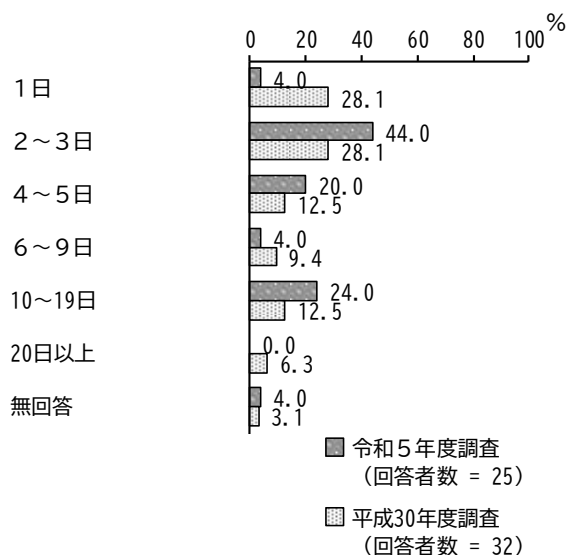
### オ 病児（病後児）保育を利用した日数

就学前児童では、「2～3日」の割合が44.0%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が24.0%、「4～5日」の割合が20.0%となっています。

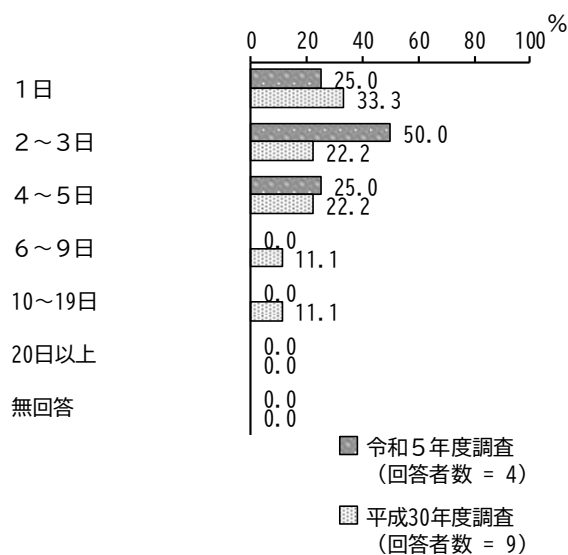
平成30年度調査と比較すると、「2～3日」「4～5日」「10～19日」の割合が増加しています。一方、「1日」「6～9日」「20日以上」の割合が減少しています。

就学児童では、「2～3日」が2件となっています。「1日」、「4～5日」が1件となっています。

【就学前児童】



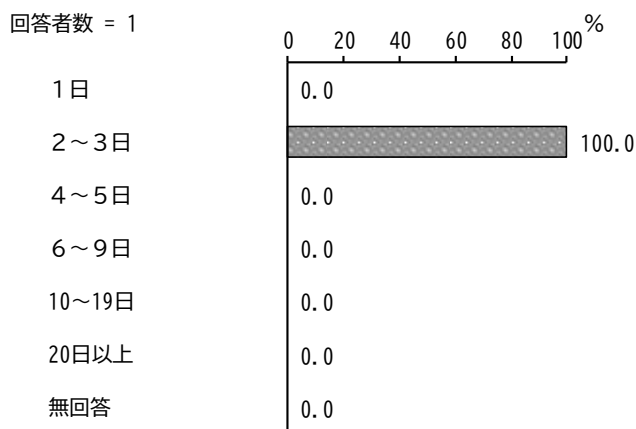
【就学児童】



### カ ベビーシッターを利用した日数

就学前児童では、「2～3日」が1件となっています。

【就学前児童】



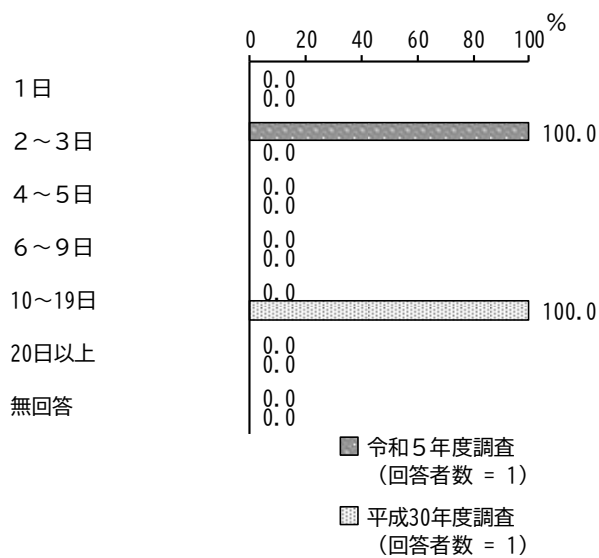
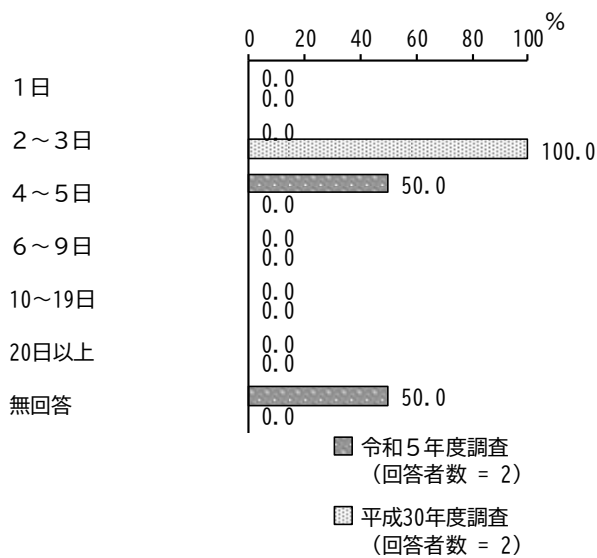
### キ ファミリー・サポート・センターを利用した日数

就学前児童では、「4～5日」が1件となっています。

就学児童では、「2～3日」が1件となっています。

【就学前児童】

【就学児童】





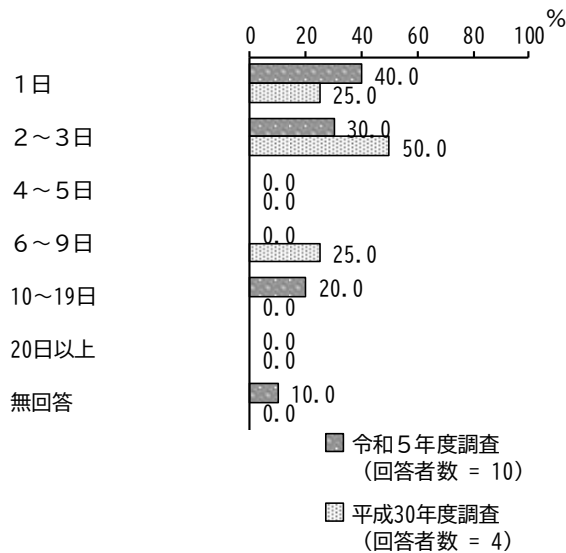
## ク 子どもだけで留守番をさせた日数

就学前児童では、「1日」の割合が40.0%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が30.0%、「10～19日」の割合が20.0%となっています。

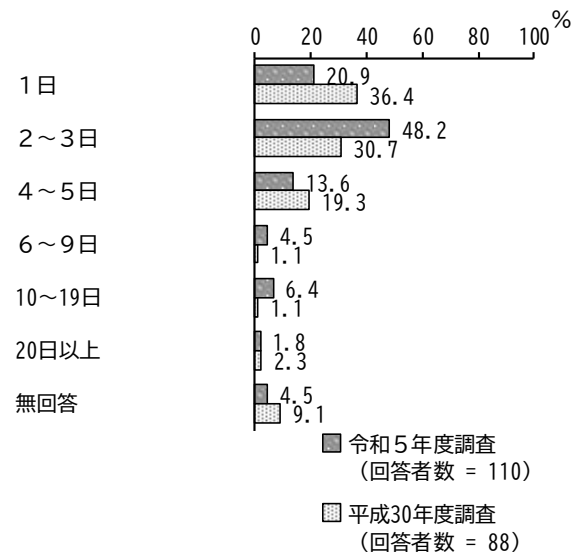
就学児童では、「2～3日」の割合が48.2%と最も高く、次いで「1日」の割合が20.9%、「4～5日」の割合が13.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2～3日」「10～19日」の割合が増加しています。一方、「1日」「4～5日」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】



## ケ その他

### 主な「その他」意見

【就学前児童】

- ・祖母にみてもらった
- ・テレワークにした
- ・子どもを連れて出勤した など

【就学児童】

- ・祖母を呼んだ
- ・テレワーク対応
- ・会社につれていった など

問 問 27 で「1. 父親が仕事を休んだ」又は「2. 母親が仕事を休んだ」に○をつけた方にお聞きします。その際、「できれば病児（病後児）保育を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号いずれか○をつけてください。次に、(1) (2) の質問にお答えください。(就学前児童：問 28、就学児童：問 24)

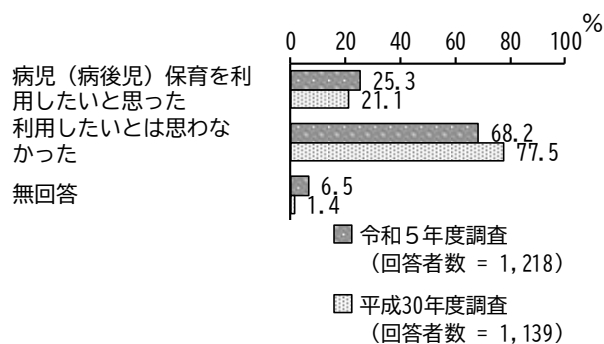
就学前児童では、「病児（病後児）保育を利用したいと思った」の割合が 25.3%、「利用したいとは思わなかった」の割合が 68.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用したいと思った」の割合が増加しています。

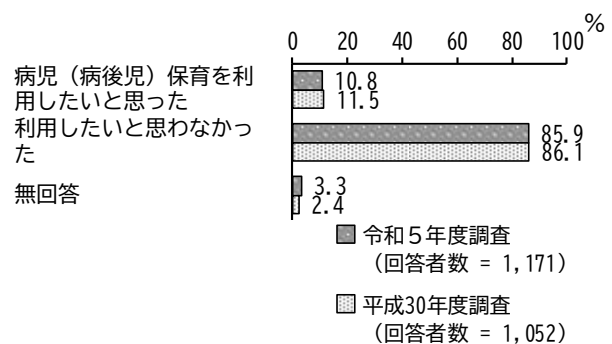
就学児童では、「病児（病後児）保育を利用したいと思った」の割合が 10.8%、「利用したいとは思わなかった」の割合が 85.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】



# 1. 病児（病後児）保育を利用したいと思った

## ア 希望する利用日数

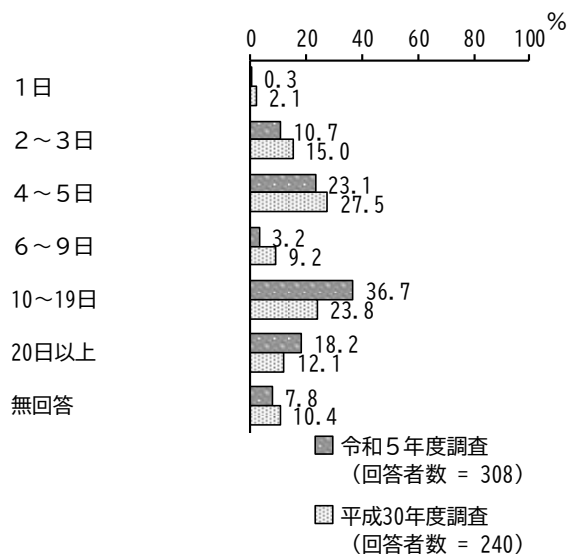
就学前児童では、「10～19日」の割合が36.7%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が23.1%、「20日以上」の割合が18.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「10～19日」「20日以上」の割合が増加しています。一方、「6～9日」の割合が減少しています。

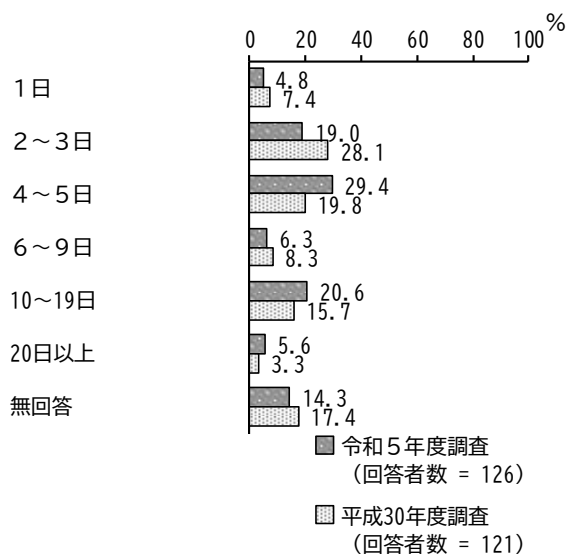
就学児童では、「4～5日」の割合が29.4%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が20.6%、「2～3日」の割合が19.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4～5日」の割合が増加しています。一方、「2～3日」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】



## イ 希望する事業形態

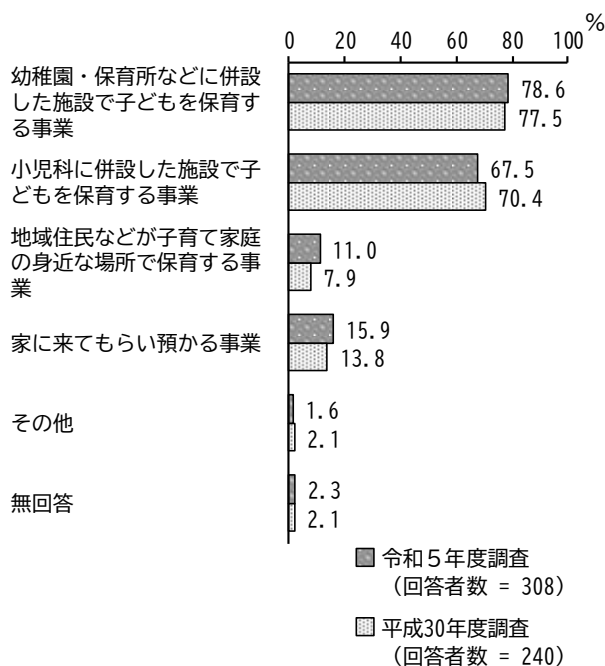
就学前児童では、「幼稚園・保育所などに併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が78.6%と最も高く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が67.5%、「家に来てもらい預かる事業」の割合が15.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

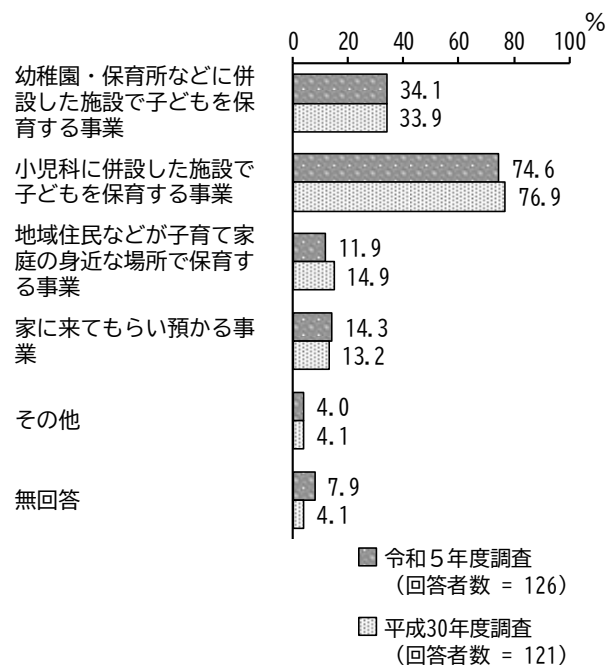
就学児童では、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が74.6%と最も高く、次いで「幼稚園・保育所などに併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が34.1%、「家に来てもらい預かる事業」の割合が14.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】



## 2. 利用したいとは思わなかった

### ウ 利用したいと思わない理由

就学前児童では、「親が仕事を休んで対応する」の割合が 53.9%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」の割合が 52.2%、「利用料がかかる・高い」の割合が 22.5%となっています。

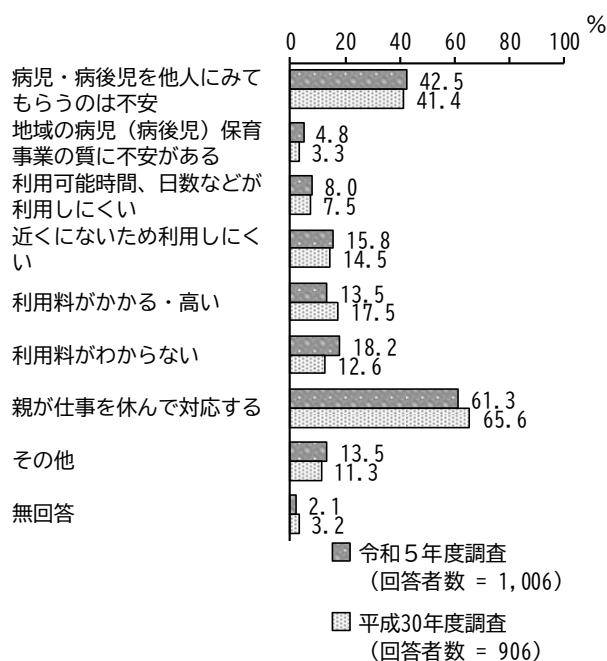
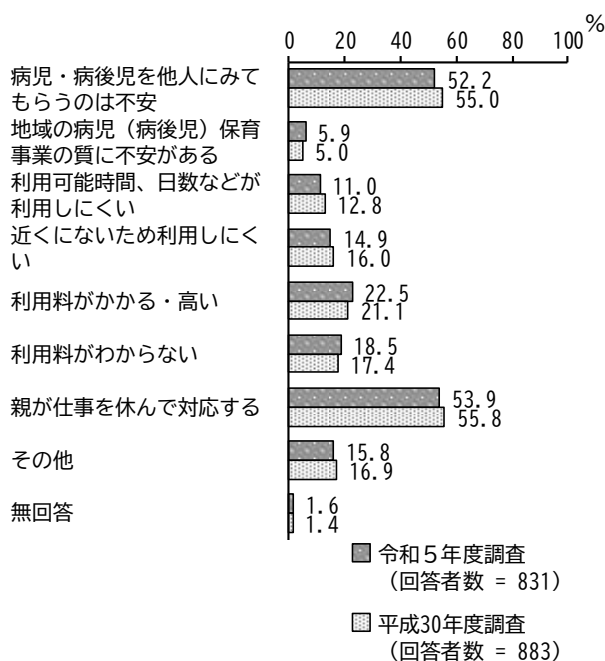
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、「親が仕事を休んで対応する」の割合が 61.3%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」の割合が 42.5%、「利用料がわからない」の割合が 18.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用料がわからない」の割合が増加しています。

【就学前児童】

【就学児童】



## エ 利用したいと思う施設までの所要時間

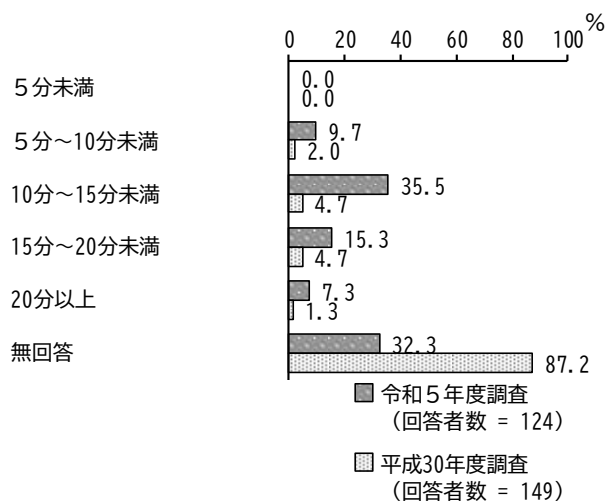
就学前児童では、「10分～15分未満」の割合が35.5%と最も高く、次いで「15分～20分未満」の割合が15.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5分～10分未満」「10分～15分未満」「15分～20分未満」「20分以上」の割合が増加しています。

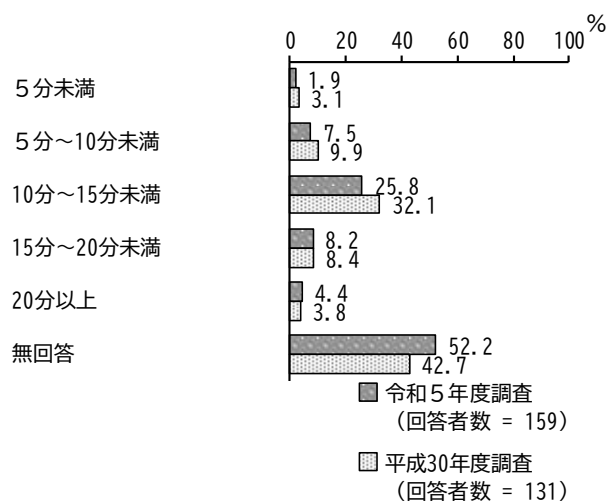
就学児童では、「10分～15分未満」の割合が25.8%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「10分～15分未満」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】



## (7) 不定期な教育・保育事業の利用について

問 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数を〔 〕内に記入してください。(就学前児童：問 29、就学児童：問 25)

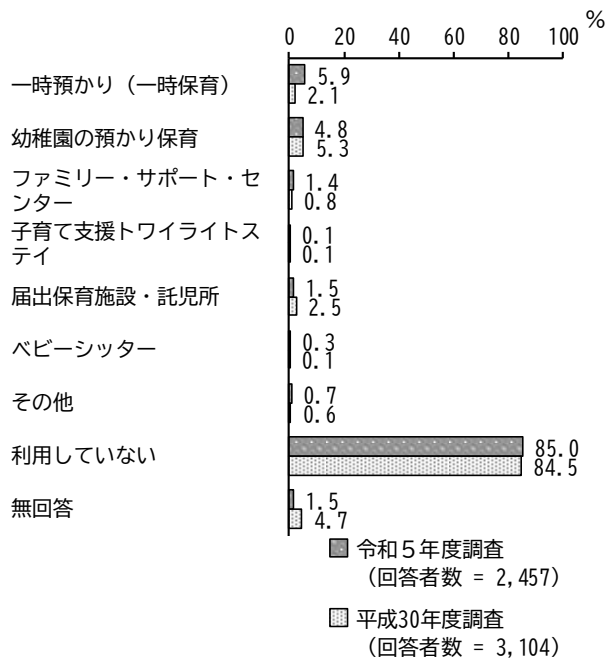
就学前児童では、「利用していない」の割合が85.0%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

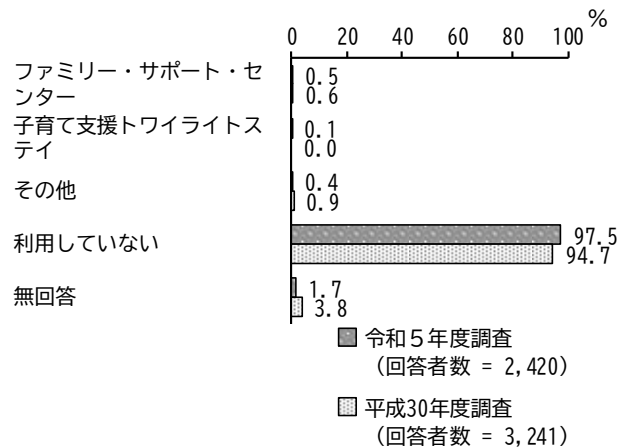
就学児童では、「利用していない」の割合が97.5%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】



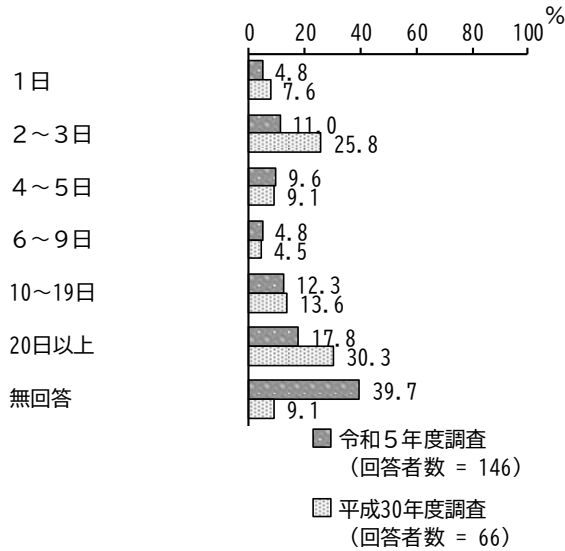
## 1年間の利用日数

### ア 一時預かり（一時保育）の利用日数

就学前児童では、「20日以上」の割合が17.8%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が12.3%、「2～3日」の割合が11.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2～3日」「20日以上」の割合が減少しています。

【就学前児童】

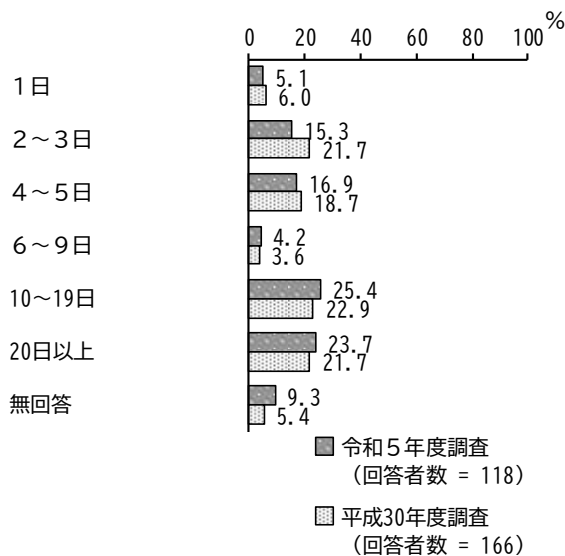


### イ 幼稚園の預かり保育の利用日数

就学前児童では、「10～19日」の割合が25.4%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が23.7%、「4～5日」の割合が16.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2～3日」の割合が減少しています。

【就学前児童】





### ウ ファミリー・サポート・センターの利用日数

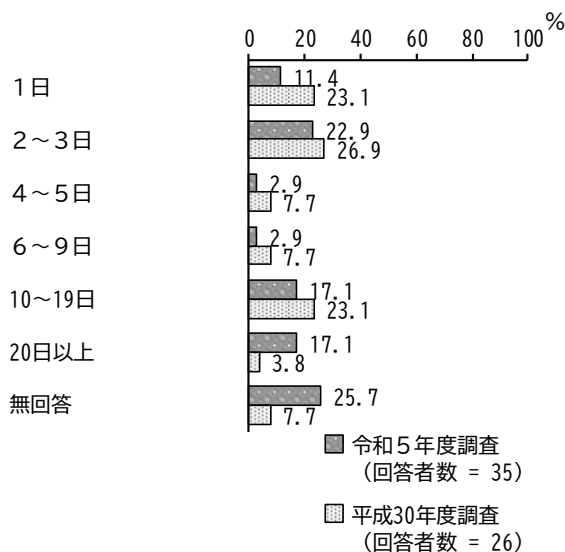
就学前児童では、「2～3日」の割合が22.9%と最も高く、次いで「10～19日」、「20日以上」の割合が17.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「20日以上」の割合が増加しています。一方、「1日」「10～19日」の割合が減少しています。

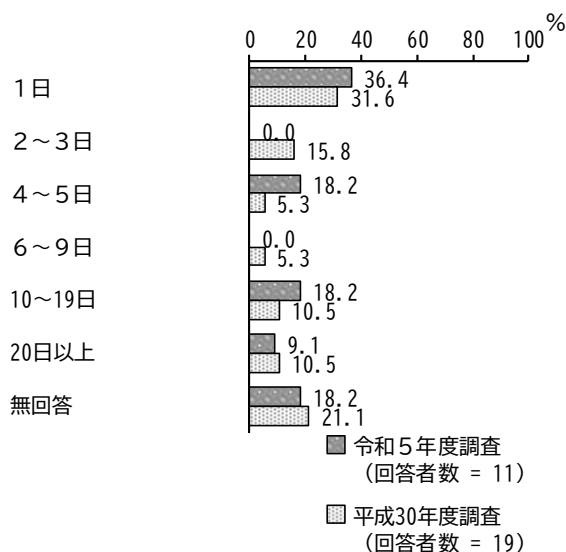
就学児童では、「1日」の割合が36.4%と最も高く、次いで「4～5日」、「10～19日」の割合が18.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4～5日」「10～19日」の割合が増加しています。一方、「2～3日」「6～9日」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】

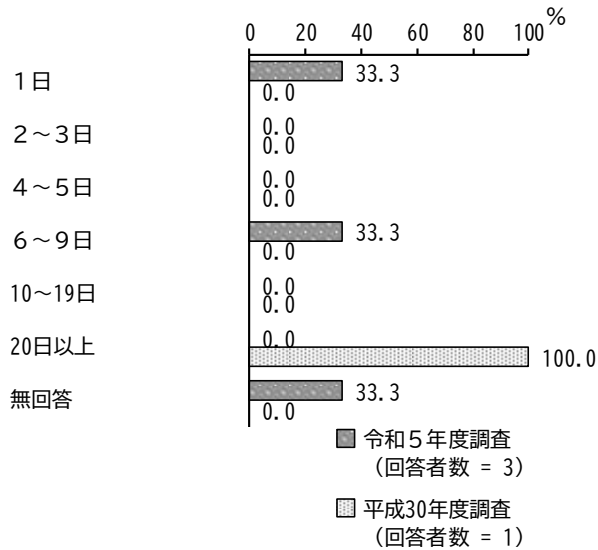


## エ 子育て支援トワイライトステイの利用日数

就学前児童では、有効回答がありませんでした。

就学児童では、「1日」、「6～9日」が1件となっています。

【就学児童】

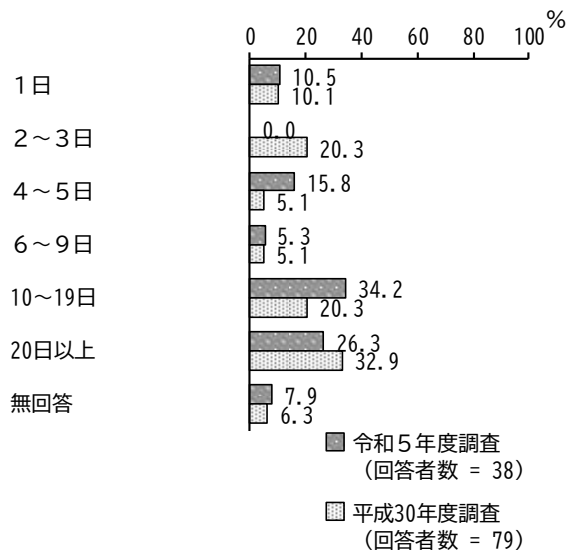


## オ 届出保育施設・託児所の利用日数

就学前児童では、「10～19日」の割合が34.2%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が26.3%、「4～5日」の割合が15.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4～5日」「10～19日」の割合が増加しています。一方、「2～3日」「20日以上」の割合が減少しています。

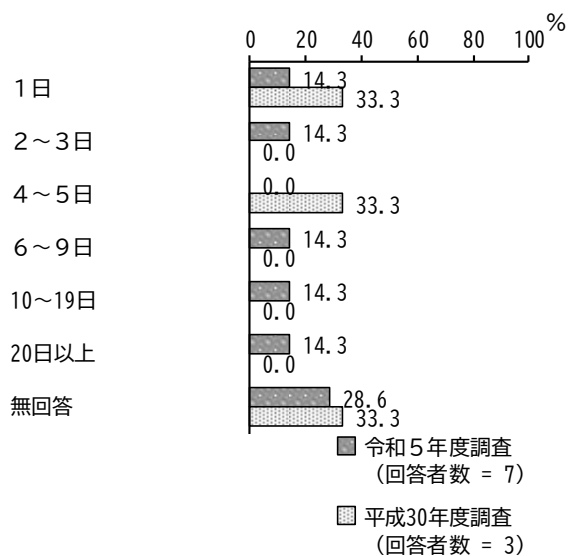
【就学前児童】



## カ ベビーシッターの利用日数

就学前児童では、「1日」、「2～3日」、「6～9日」、「10～19日」「20日以上」が1件となっています。

【就学前児童】



## キ その他

主な「その他」意見

【就学前児童】

- ・事業所内の保育所
- ・保育園の延長
- ・認定こども園の預かり保育 など

【就学児童】

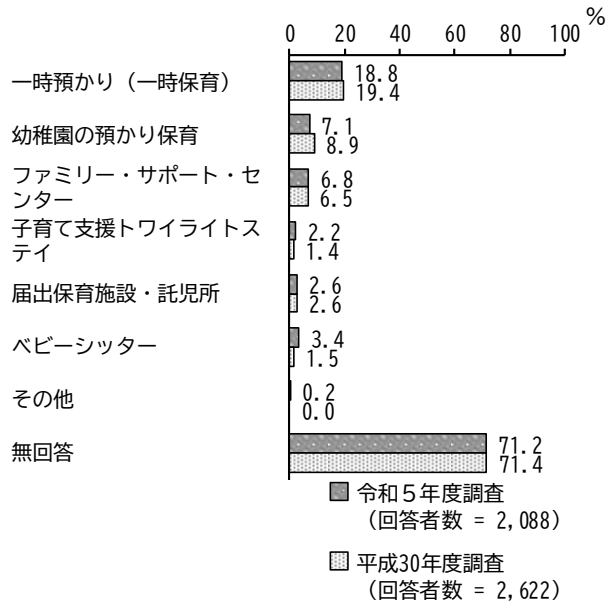
- ・託児所
- ・日中一時支援
- ・ヘルパー など

## ク 今後利用してみたい事業

就学前児童では、「一時預かり（一時保育）」の割合が18.8%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

### 【就学前児童】

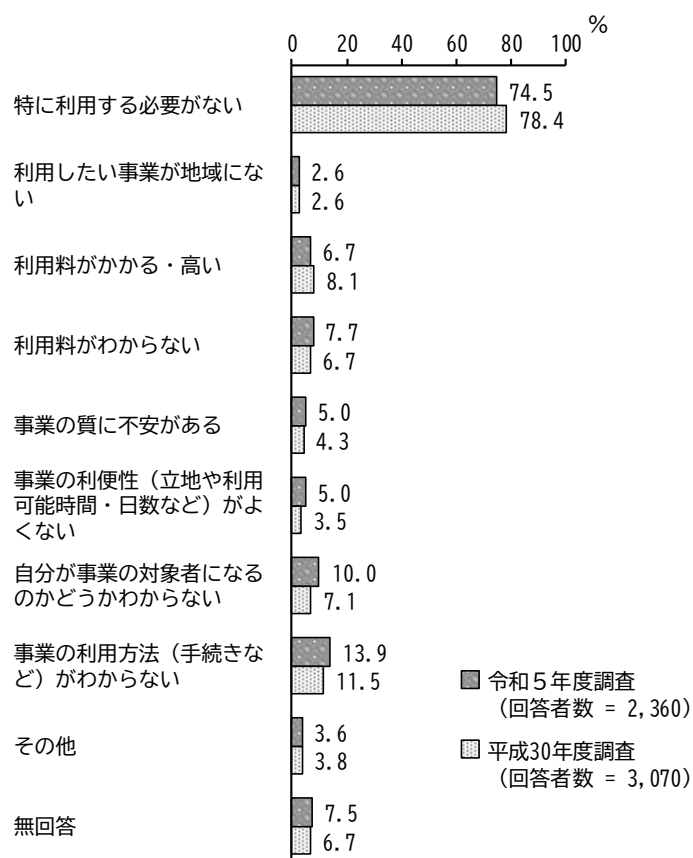


## ケ 利用していない・できなかった理由

就学児童では、「特に利用する必要がない」の割合が74.5%と最も高く、次いで「事業の利用方法（手続きなど）がわからない」の割合が13.9%、「自分が事業の対象になるのかどうかかわからない」の割合が10.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

### 【就学児童】



## 主な「利用していない」理由

### 【就学前児童】

- ・家族で見てもらうことができた
- ・送り迎えをする時間がないため
- ・手続きに時間がかかるから など

### 【就学児童】

- ・システムを知らない
- ・事前の手続きでやる事が多い
- ・手続きはしたが、まだ利用したことがない など

問 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい問29の事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数）を〔 〕内にそれぞれ記入してください。  
 （就学前児童：問30、就学児童：問26）

就学前児童では、「利用したい」の割合が36.3%、「利用する必要はない」の割合が59.4%となっています。

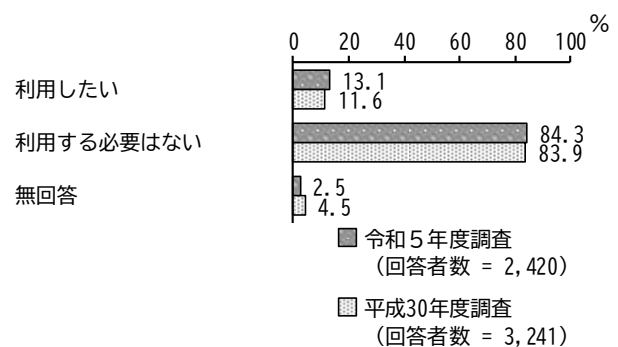
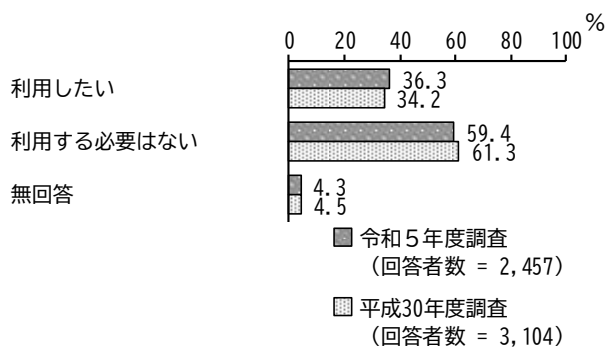
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、「利用したい」の割合が13.1%、「利用する必要はない」の割合が84.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】

【就学児童】



### 【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、就学前児童では、子どもの年齢が低いほど、「利用したい」の割合が高くなる傾向があります。

就学児童では、子どもの年齢が低いほど、「利用したい」の割合が高くなる傾向があります。

### 【就学前児童】

単位：％

区分	回答者数 (件)	利用したい	利用する必要はない	無回答
全 体	2,457	36.3	59.4	4.3
0歳	394	42.4	53.6	4.1
1歳	427	38.2	57.1	4.7
2歳	330	39.4	56.7	3.9
3歳	413	33.7	61.3	5.1
4歳	436	33.0	62.2	4.8
5歳	434	32.5	65.0	2.5

### 【就学児童】

単位：％

区分	回答者数 (件)	利用したい	利用する必要はない	無回答
全 体	2,420	13.1	84.3	2.5
6歳（1年生）	460	18.0	79.8	2.2
7歳（2年生）	382	16.8	80.9	2.4
8歳（3年生）	381	12.9	84.5	2.6
9歳（4年生）	395	11.6	85.6	2.8
10歳（5年生）	317	7.9	88.3	3.8
11歳（6年生）	417	9.6	89.4	1.0

【子どもをみてもらえる親族・知人の有無別】

子どもをみてもらえる親族・知人の有無別にみると、緊急時にみてもらえる親族・知人がいる人でも、「利用したい」の割合が高くなっています。

就学児童では、緊急時にみてもらえる親族・知人がいずれもない人以外で、「利用したい」の割合が低くなっています。

【就学前児童】

単位：％

区分	回答者数 (件)	利用したい	利用する必要はない	無回答
全 体	2,457	36.3	59.4	4.3
日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	740	26.6	68.8	4.6
緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる	1,552	37.6	58.9	3.5
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	43	30.2	62.8	7.0
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	209	42.1	51.2	6.7
いずれもない	309	46.9	46.3	6.8

【就学児童】

単位：％

区分	回答者数 (件)	利用したい	利用する必要はない	無回答
全 体	2,420	13.1	84.3	2.5
日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	755	7.4	90.5	2.1
緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる	1,427	13.3	84.8	1.9
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	76	3.9	96.1	—
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	360	10.8	87.8	1.4
いずれもない	343	21.0	73.8	5.2



## ア 利用したい理由

就学前児童では、「私用（買い物、子ども（きょうだいを含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的」の割合が73.1%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」の割合が62.1%、「不規則の就労」の割合が24.7%となっています。

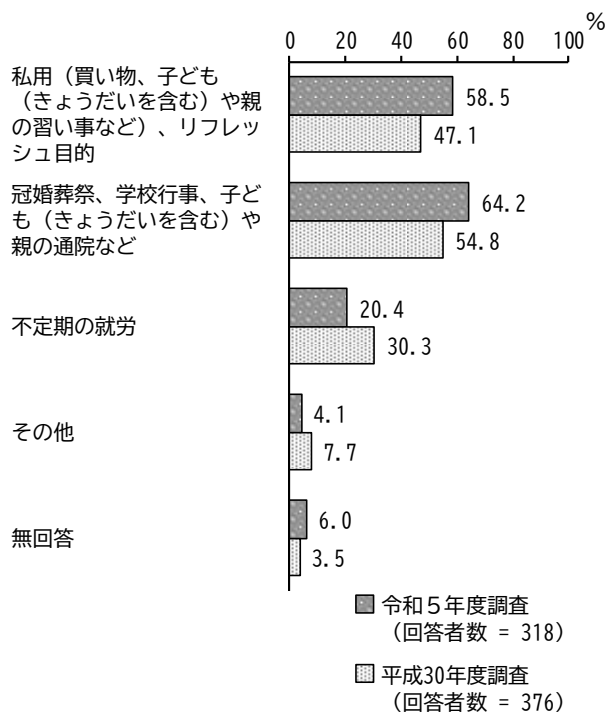
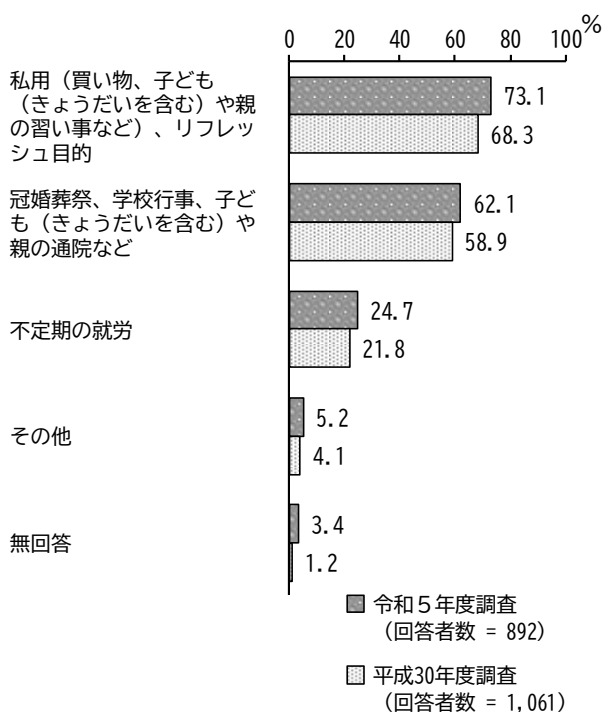
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだいを含む）や親の通院など」の割合が64.2%と最も高く、次いで「私用（買い物、子ども（きょうだいを含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的」の割合が58.5%、「不規則の就労」の割合が20.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「私用（買い物、子ども（きょうだいを含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的」「冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだいを含む）や親の通院など」の割合が増加しています。一方、「不規則の就労」の割合が減少しています。

【就学前児童】

【就学児童】



## イ 年間の利用日数

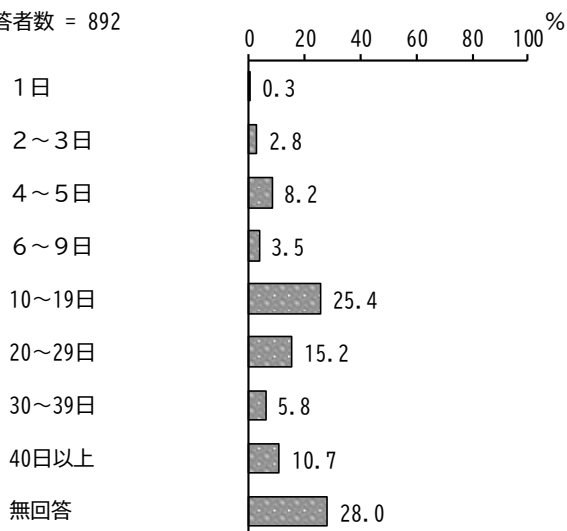
就学前児童では、「10～19日」の割合が25.4%と最も高く、次いで「20～29日」の割合が15.2%、「40日以上」の割合が10.7%となっています。

就学児童では、「10～19日」の割合が19.2%と最も高くなっています。

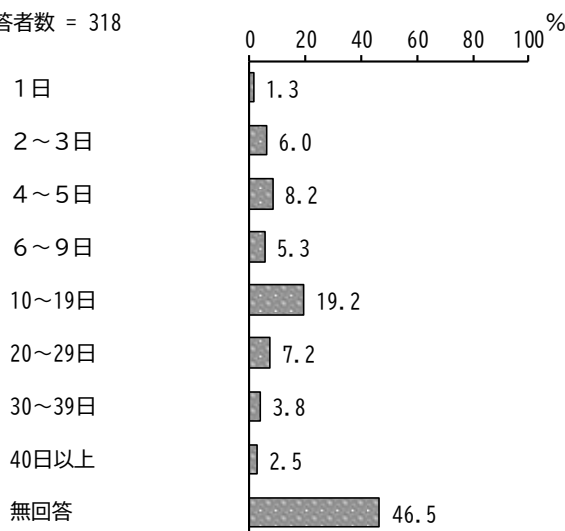
【就学前児童】

【就学児童】

回答者数 = 892



回答者数 = 318



## ウ 私用やリフレッシュ目的での利用日数

就学前児童では、「10～19日」の割合が39.9%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が19.2%、「4～5日」の割合が17.9%となっています。

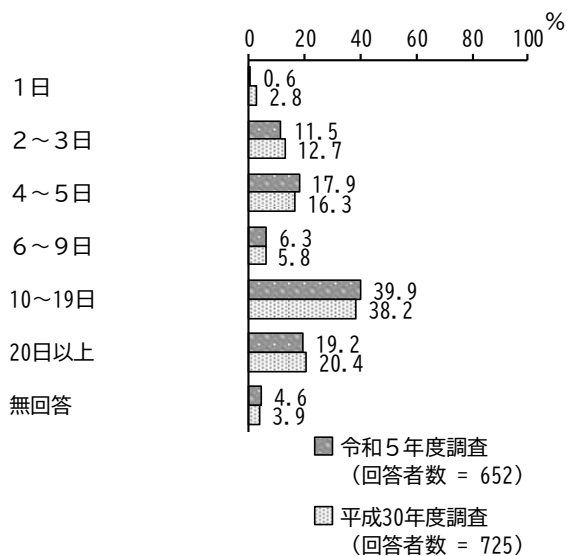
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、「10～19日」の割合が32.3%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が24.7%、「4～5日」の割合が19.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2～3日」の割合が増加しています。一方、「20日以上」の割合が減少しています。

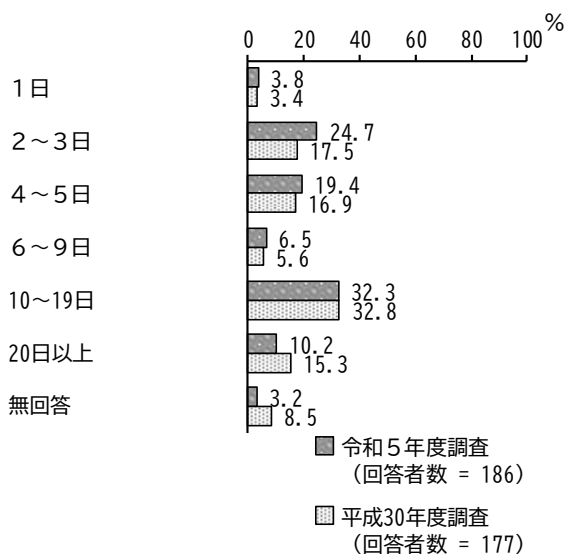
【就学前児童】

【就学児童】



■ 令和5年度調査  
(回答者数 = 652)

▨ 平成30年度調査  
(回答者数 = 725)



■ 令和5年度調査  
(回答者数 = 186)

▨ 平成30年度調査  
(回答者数 = 177)

## 工 冠婚葬祭や学校行事などでの利用日数

就学前児童では、「10～19日」の割合が28.9%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が27.3%、「2～3日」の割合が20.2%となっています。

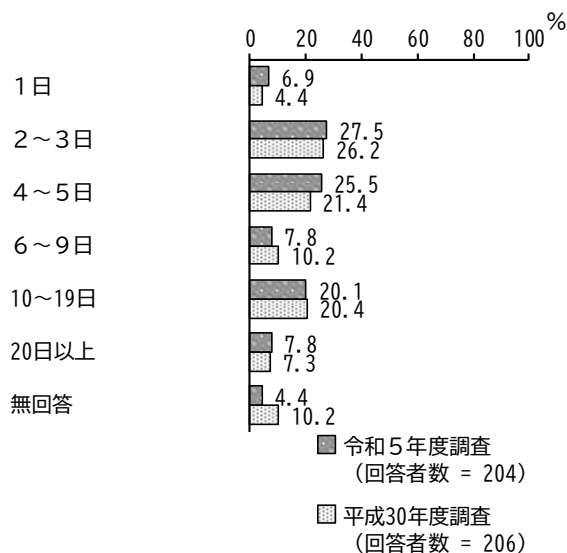
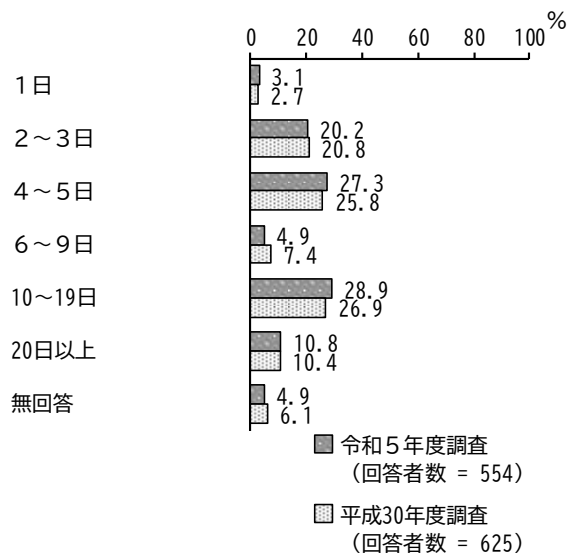
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、「2～3日」の割合が27.5%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が25.5%、「10～19日」の割合が20.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】

【就学児童】



## オ 不定期の就労での利用日数

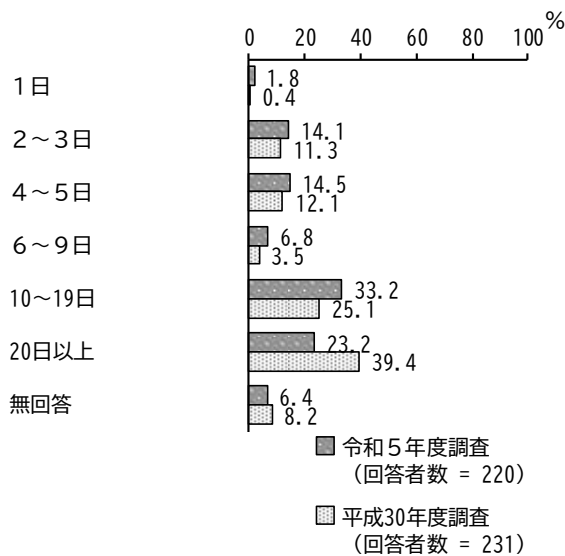
就学前児童では、「10～19日」の割合が33.2%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が23.2%、「4～5日」の割合が14.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「10～19日」の割合が増加しています。一方、「20日以上」の割合が減少しています。

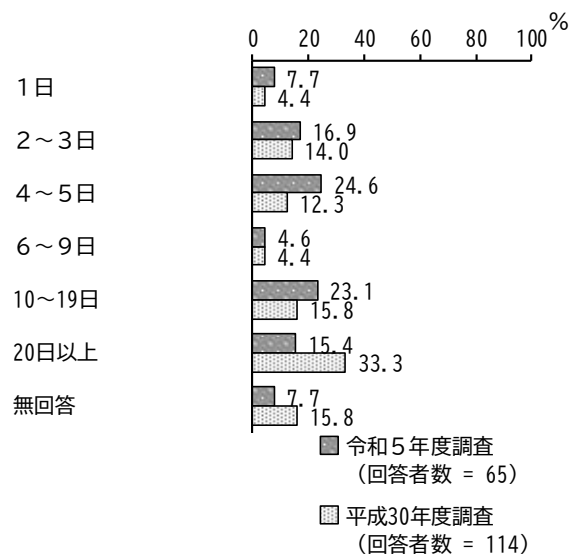
就学児童では、「4～5日」の割合が24.6%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が23.1%、「2～3日」の割合が16.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4～5日」「10～19日」の割合が増加しています。一方、「20日以上」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】



## カ その他

### 主な「その他」意見

【就学前児童】

- ・地域貢献
- ・就職活動
- ・親の体調不良 など

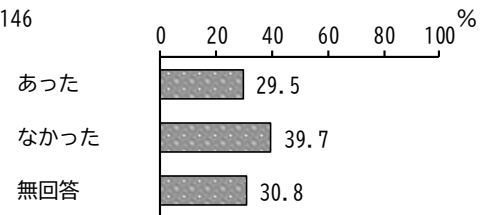
【就学児童】

- ・遠方出張時
- ・急な残業
- ・通っている保育園が休みのとき など

問 問 29 で「1. 一時預かり（一時保育）」に○をつけた方にお聞きします。  
 一時預かりの利用を希望しながら、利用できなかったことはこの1年間にありましたか。当てはまる番号いずれかに○をつけてください。また、「1. あった」に○をつけた方は、利用できなかった日数を〔 〕内に記入してください。（就学前児童：問 31）

「あった」の割合が 29.5%、「なかった」の割合が 39.7%となっています。

回答者数 = 146



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が低いほど、「あった」の割合が高くなっています。

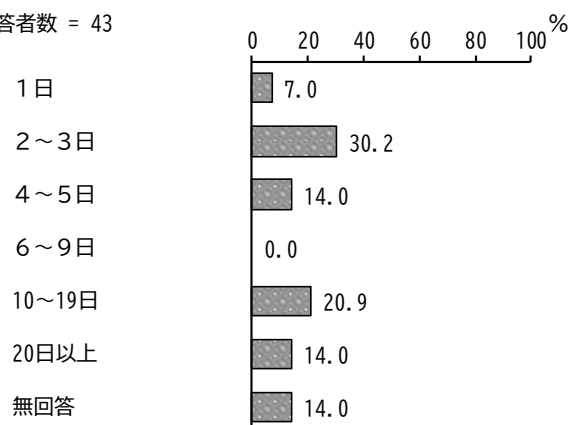
単位：%

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
全 体	146	29.5	39.7	30.8
0歳	22	50.0	27.3	22.7
1歳	36	47.2	22.2	30.6
2歳	20	30.0	55.0	15.0
3歳	23	17.4	52.2	30.4
4歳	23	13.0	39.1	47.8
5歳	19	10.5	52.6	36.8

ア 利用できなかった日数

回答者数 = 43

「2～3日」の割合が 30.2%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が 20.9%、「4～5日」、「20日以上」の割合が 14.0%となっています。

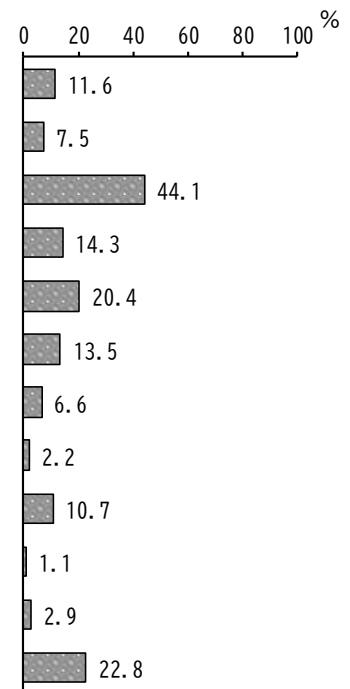


問 問 29 で「1. 一時預かり（一時保育）」に○をつけなかった方にお聞きします。  
一時預かりを利用しなかった理由として、当てはまる番号すべてに○をつけてください。（就学前児童：問 32）

「利用する必要がなかった」の割合が 44.1%と最も高く、次いで「利用方法がわからない、手間がかかる」の割合が 20.4%、「利用料が必要なため」の割合が 14.3%となっています。

回答者数 = 2,274

利用対象でなかった  
事業を知らなかった  
利用する必要がなかった  
利用料が必要なため  
利用方法がわからない、手間がかかる  
預けることに不安がある  
利用する時間や場所の条件が合わない  
希望した日の空きがなかった  
利用することにためらいや後ろめたさがある  
利用することに配偶者などの理解が得られなかった  
その他  
無回答



#### 【子どもの年齢別】

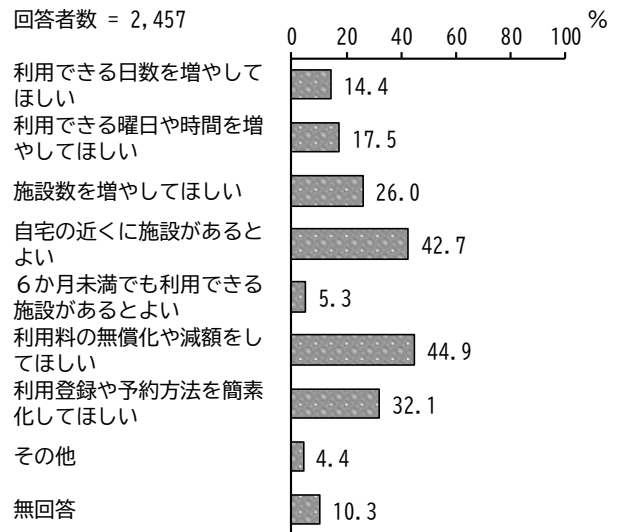
子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が低いほど、「預けることに不安がある」や「利用することにためらいや後ろめたさがある」の割合が高い傾向があります。

単位：%

区分	回答者数（件）	利用対象でなかった	事業を知らなかった	利用する必要がなかった	利用料が必要なため	利用方法がわからない、手間がかかる	預けることに不安がある	利用する時間や場所の条件が合わない	希望した日の空きがなかった	利用することにためらいや後ろめたさがある	利用することに配偶者などの理解が得られなかった	その他	無回答
全体	2,274	11.6	7.5	44.1	14.3	20.4	13.5	6.6	2.2	10.7	1.1	2.9	22.8
0歳	366	10.9	6.6	45.6	19.4	20.2	19.4	8.5	4.4	13.1	1.1	2.2	21.6
1歳	382	14.4	8.1	41.1	14.7	25.1	16.2	8.9	2.6	14.9	1.8	3.9	20.7
2歳	304	10.2	6.9	38.5	12.5	19.4	11.5	4.9	2.6	9.5	1.3	2.6	29.6
3歳	383	13.8	7.6	47.8	13.6	23.2	12.3	6.0	1.3	9.7	1.0	2.1	18.8
4歳	408	9.6	8.6	45.6	14.5	19.4	11.8	6.4	1.2	9.8	0.7	2.7	22.3
5歳	413	10.9	7.3	45.3	11.4	15.7	10.7	5.1	1.7	7.3	1.0	3.6	24.0

問 一時預かりの利用の有無に関わらずお聞きします。一時預かりについて期待することは何ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。(就学前児童：問 33)

「利用料の無償化や減額をしてほしい」の割合が44.9%と最も高く、次いで「自宅の近くに施設があるとよい」の割合が42.7%、「利用登録や予約方法を簡素化してほしい」の割合が32.1%となっています。

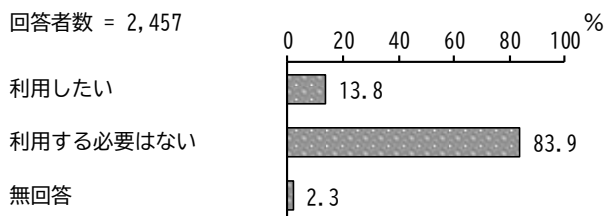


問 あて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設などで一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数）を〔 〕内にそれぞれ記入してください。(就学前児童：問 34、就学児童：問 27)

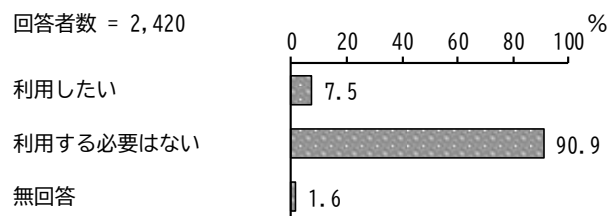
就学前児童では、「利用したい」の割合が13.8%、「利用する必要はない」の割合が83.9%となっています。

就学児童では、「利用したい」の割合が7.5%、「利用する必要はない」の割合が90.9%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



### 【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、就学前児童では、子どもの年齢が低いほど、「利用したい」の割合が高くなる傾向があります。

就学児童では、全ての年齢で、「利用したい」の割合が1割以下となっています。

### 【就学前児童】

単位：％

区分	回答者数 (件)	利用したい	利用する必要はな い	無回答
全 体	2,457	13.8	83.9	2.3
0歳	394	16.8	81.2	2.0
1歳	427	15.5	82.2	2.3
2歳	330	13.9	83.9	2.1
3歳	413	12.8	85.0	2.2
4歳	436	12.2	85.1	2.8
5歳	434	11.1	86.6	2.3

### 【就学児童】

単位：％

区分	回答者数 (件)	利用したい	利用する必要はな い	無回答
全 体	2,420	7.5	90.9	1.6
6歳（1年生）	460	8.5	90.2	1.3
7歳（2年生）	382	9.4	89.5	1.0
8歳（3年生）	381	6.3	91.3	2.4
9歳（4年生）	395	6.6	91.9	1.5
10歳（5年生）	317	7.3	90.9	1.9
11歳（6年生）	417	7.0	91.8	1.2



【子どもをみてもらえる親族・知人の有無別】

子どもをみてもらえる親族・知人の有無別にみると、就学前児童では、緊急時にみてもらえる親族・知人がいずれもない人以外で、「利用したい」の割合が低くなっています。

就学児童では、緊急時にみてもらえる親族・知人がいずれもない人で、「利用したい」の割合が1割を超えています。

【就学前児童】

単位：％

区分	回答者数 (件)	利用したい	利用する必要はな い	無回答
全 体	2,457	13.8	83.9	2.3
日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	740	10.7	87.3	2.0
緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる	1,552	12.8	85.2	2.0
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	43	11.6	83.7	4.7
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	209	12.9	85.2	1.9
いずれもない	309	24.3	71.5	4.2

【就学児童】

単位：％

区分	回答者数 (件)	利用したい	利用する必要はな い	無回答
全 体	2,420	7.5	90.9	1.6
日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	755	3.6	95.0	1.5
緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる	1,427	7.1	91.7	1.2
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	76	3.9	96.1	—
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	360	6.1	93.1	0.8
いずれもない	343	14.0	83.1	2.9

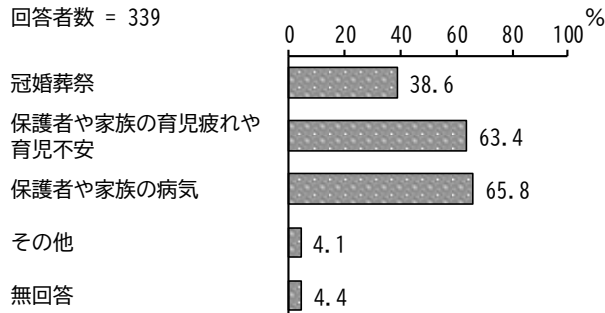
## ア 利用したい理由

就学前児童では、「保護者や家族の病気」の割合が65.8%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れや育児不安」の割合が63.4%、「冠婚葬祭」の割合が38.6%となっています。

就学児童では、「保護者や家族の病気」の割合が65.9%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れや育児不安」の割合が41.8%、「冠婚葬祭」の割合が30.2%となっています。

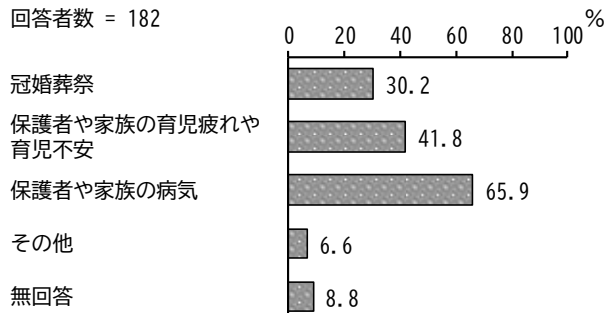
【就学前児童】

回答者数 = 339



【就学児童】

回答者数 = 182



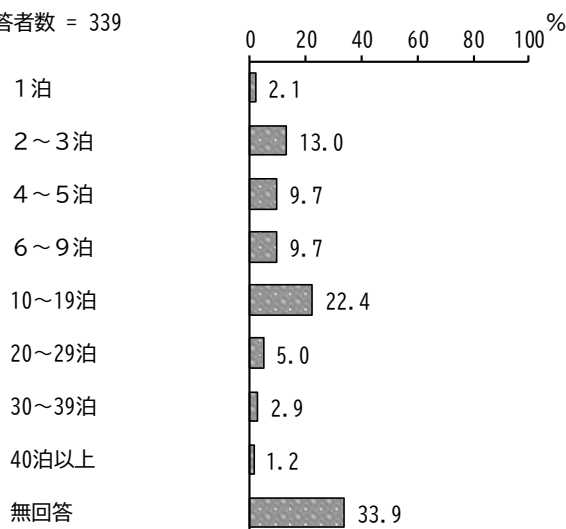
## イ 年間の利用日数

就学前児童では、「10～19泊」の割合が22.4%と最も高く、次いで「2～3泊」の割合が13.0%となっています。

就学児童では、「2～3泊」の割合が12.1%と最も高く、次いで「10～19泊」の割合が10.4%となっています。

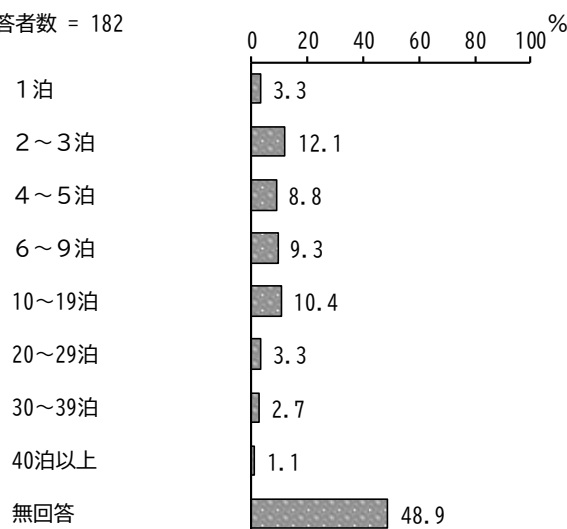
【就学前児童】

回答者数 = 339



【就学児童】

回答者数 = 182



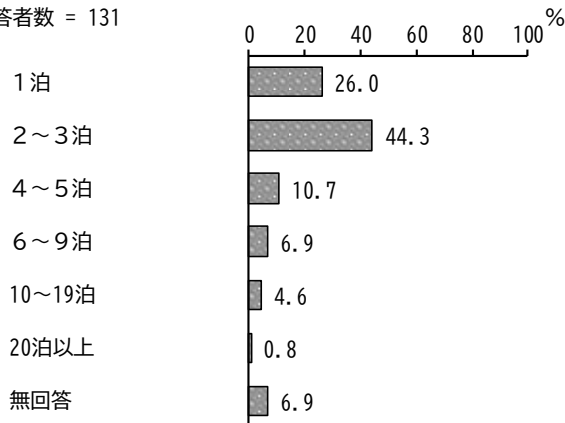
## ウ 冠婚葬祭

就学前児童では、「2～3泊」の割合が44.3%と最も高く、次いで「1泊」の割合が26.0%、「4～5泊」の割合が10.7%となっています。

就学児童では、「2～3泊」の割合が58.2%と最も高く、次いで「1泊」の割合が23.6%となっています。

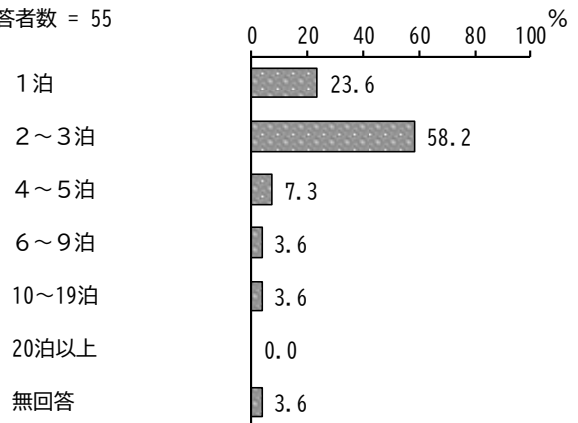
【就学前児童】

回答者数 = 131



【就学児童】

回答者数 = 55



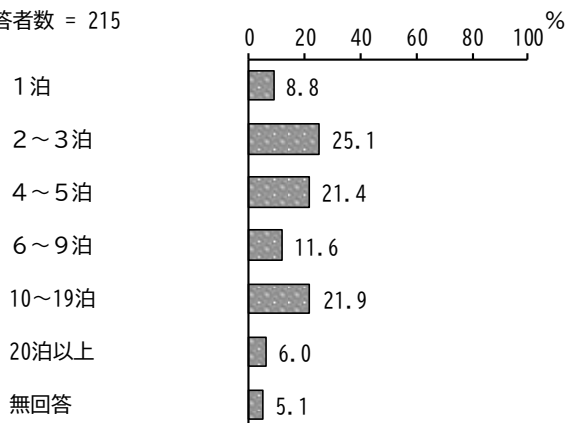
## エ 保護者や家族の育児疲れや育児不安での利用日数

就学前児童では、「2～3泊」の割合が25.1%と最も高く、次いで「10～19泊」の割合が21.9%、「4～5泊」の割合が21.4%となっています。

就学児童では、「2～3泊」の割合が30.3%と最も高く、次いで「10～19泊」の割合が23.7%、「4～5泊」の割合が22.4%となっています。

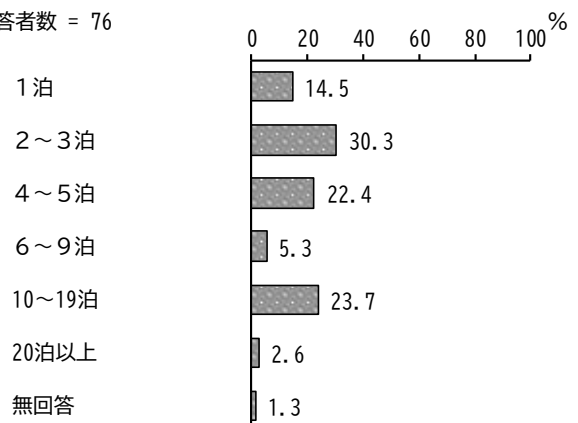
【就学前児童】

回答者数 = 215



【就学児童】

回答者数 = 76



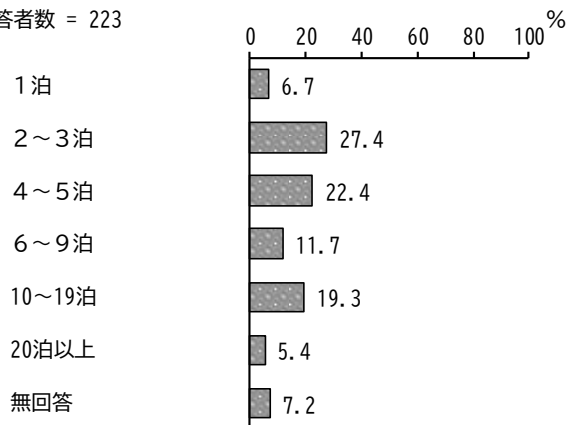
### オ 保護者や家族の病気での利用日数

就学前児童では、「2～3泊」の割合が27.4%と最も高く、次いで「4～5泊」の割合が22.4%、「10～19泊」の割合が19.3%となっています。

就学児童では、「2～3泊」の割合が35.0%と最も高く、次いで「4～5泊」の割合が19.2%、「10～19泊」の割合が16.7%となっています。

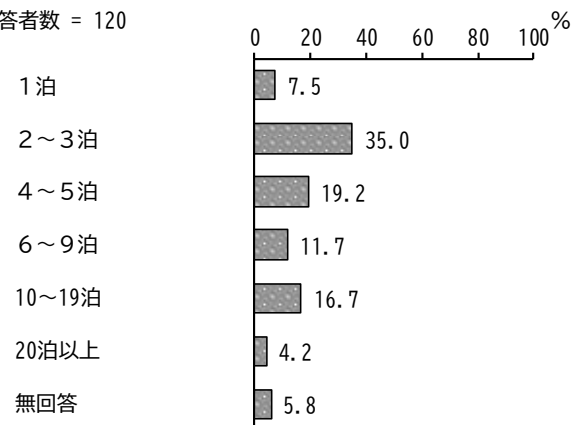
#### 【就学前児童】

回答者数 = 223



#### 【就学児童】

回答者数 = 120



### カ その他

主な「その他」意見

#### 【就学前児童】

- ・ 資格試験が日曜に多いため
- ・ 夜勤のため
- ・ 早朝からの仕事手伝いのため など

#### 【就学児童】

- ・ 泊りを伴う仕事
- ・ 私用
- ・ 家族から離れて過ごす練習 など

## (8) 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 あて名のお子さんについて、小学生のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を記入してください。また、「3. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方は、利用を希望する時間を〔 〕内に記入してください。（就学前児童：問 35、就学児童：問 14）

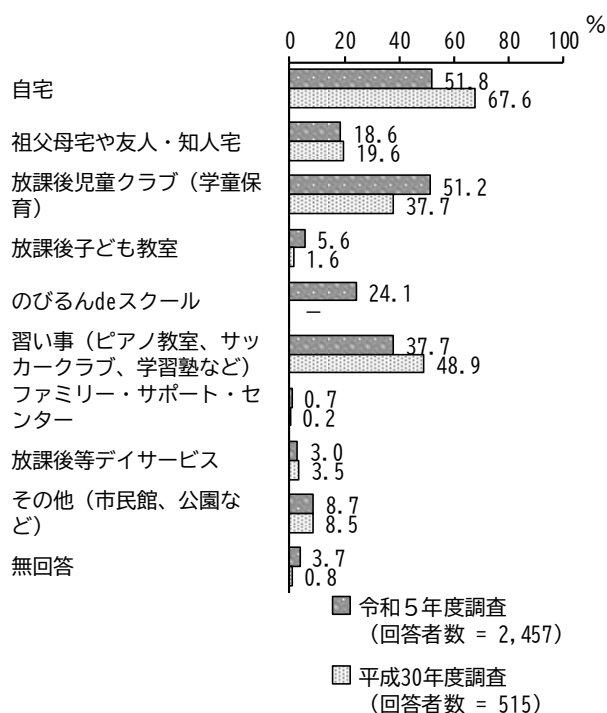
就学前児童では、「自宅」の割合が 51.8%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が 51.2%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 37.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が増加しています。一方、「自宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が減少しています。

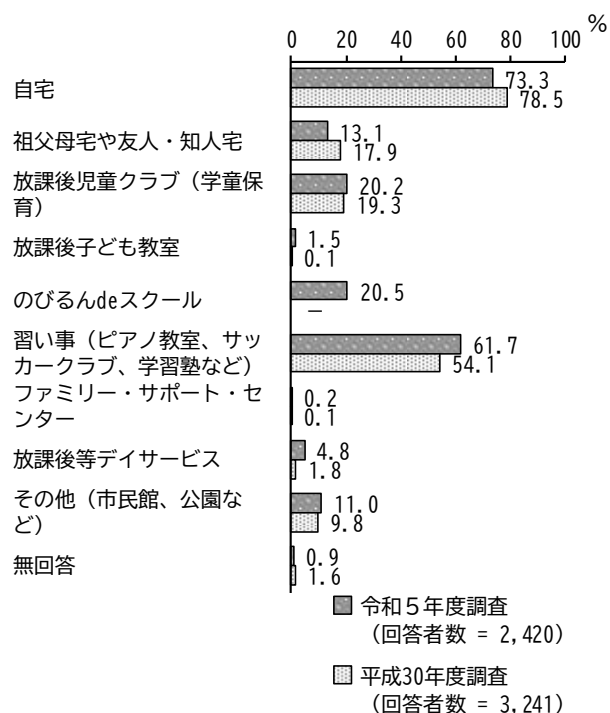
就学児童では、「自宅」の割合が 73.3%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 61.7%、「のびるん de スクール」の割合が 20.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が増加しています。一方、「自宅」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】



※前回調査では、「のびるん de スクール」の選択肢はありませんでした。

### 【子どもの年齢別】

就学前児童では、子どもの年齢が低いほど、「祖父母宅や友人・知人宅」や「放課後児童クラブ」の割合が高い傾向があります。

就学児童では、6歳（1年生）～7歳（2年生）で、「放課後児童クラブ」と「のびるん de スクール」の割合が3割を超えています。

### 【就学前児童】

単位：％

区分	回答者数（件）	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	放課後児童クラブ（学童保育）	放課後子ども教室	のびるん de スクール	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	ファミリィ・サポート・センター	放課後等デイサービス	その他（市民館、公園など）	無回答
全体	2,457	51.8	18.6	51.2	5.6	24.1	37.7	0.7	3.0	8.7	3.7
0歳	394	50.8	25.1	52.8	6.1	20.3	43.1	1.3	1.3	12.9	5.8
1歳	427	53.2	23.7	52.7	6.3	23.2	43.3	0.7	1.4	9.1	5.2
2歳	330	52.1	18.8	53.9	6.4	25.5	37.9	—	0.9	6.4	2.7
3歳	413	51.6	16.0	51.1	5.8	21.5	32.4	0.7	4.6	7.5	3.9
4歳	436	54.1	15.6	48.9	6.0	25.9	34.2	0.2	3.7	7.3	3.7
5歳	434	49.3	13.4	49.1	3.5	28.1	35.0	0.9	5.8	9.2	1.2

### 【就学児童】

単位：％

区分	回答者数（件）	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	放課後児童クラブ（学童保育）	放課後子ども教室	のびるん de スクール	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	ファミリィ・サポート・センター	放課後等デイサービス	その他（市民館、公園など）	無回答
全体	2,420	73.3	13.1	20.2	1.5	20.5	61.7	0.2	4.8	11.0	0.9
6歳（1年生）	460	60.4	13.0	38.9	1.3	31.1	55.0	0.2	5.0	8.5	0.7
7歳（2年生）	382	66.0	11.5	30.4	0.5	34.3	61.0	0.8	5.5	8.4	0.5
8歳（3年生）	381	70.3	12.3	24.4	2.1	19.7	63.5	—	3.7	12.1	0.5
9歳（4年生）	395	79.2	13.7	11.9	2.8	20.3	67.3	—	4.6	11.4	1.5
10歳（5年生）	317	83.6	16.7	6.3	1.3	8.8	64.0	—	5.7	16.7	0.3
11歳（6年生）	417	84.9	11.5	4.3	1.0	6.2	62.8	—	4.8	10.1	0.7

【子どもをみてもらえる親族・知人の有無別】

子どもをみてもらえる親族・知人の有無別にみると、就学前児童では、放課後児童クラブの割合が高いのは、緊急時にみてもらえる親族・知人がいずれもない人、緊急時に親族にみてもらえる人の順となっています。

就学児童では、放課後児童クラブの割合が高いのは、緊急時に親族にみてもらえる人、緊急時にみてもらえる親族・知人がいずれもない人の順となっています。

【就学前児童】

単位：％

区分	回答者数(件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	放課後児童クラブ(学童保育)	放課後子ども教室	のびるん@スクール	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	ファミリー・サポート・センター	放課後等デイサービス	その他(市民館、公園など)	無回答
全体	2,457	51.8	18.6	51.2	5.6	24.1	37.7	0.7	3.0	8.7	3.7
日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	740	55.0	29.9	41.8	4.6	22.0	38.1	0.3	2.4	7.8	4.1
緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる	1,552	51.6	18.8	54.4	6.0	26.4	39.6	0.6	2.9	9.1	3.0
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	43	48.8	34.9	44.2	—	9.3	30.2	—	2.3	4.7	4.7
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	209	54.1	23.4	46.9	7.7	30.1	44.5	1.4	2.9	9.6	4.3
いずれもない	309	46.9	3.2	58.6	8.1	20.7	29.8	1.3	5.2	9.7	6.5

【就学児童】

単位：％

区分	回答者数(件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	放課後児童クラブ(学童保育)	放課後子ども教室	のびるん@スクール	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	ファミリー・サポート・センター	放課後等デイサービス	その他(市民館、公園など)	無回答
全体	2,420	73.3	13.1	20.2	1.5	20.5	61.7	0.2	4.8	11.0	0.9
日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	755	77.7	24.1	14.3	1.7	18.3	67.0	0.5	3.8	10.6	0.9
緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる	1,427	73.6	11.4	22.1	1.8	22.2	62.1	0.1	4.3	10.6	0.6
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	76	82.9	19.7	15.8	1.3	17.1	59.2	—	2.6	7.9	—
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	360	78.3	16.1	16.4	1.9	23.1	69.2	0.3	2.2	12.8	0.8
いずれもない	343	68.5	3.8	21.6	0.6	16.6	50.1	—	10.5	12.5	0.9

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、就学前児童では、フルタイムで就労・雇用の人では、「放課後児童クラブ」の割合が7割を超えています。

就学児童では、フルタイムで就労・雇用の人では、「放課後児童クラブ」の割合が3割を超えています。

【就学前児童】

単位：%

区分	回答者数(件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	放課後児童クラブ(学童保育)	放課後子ども教室	のびるんがスクール	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	ファミリー・サポート・センター	放課後等デイサービス	その他(市民館、公園など)	無回答
全 体	2,454	51.8	18.7	51.3	5.6	24.1	37.7	0.7	3.0	8.7	3.6
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない	655	33.0	17.4	70.4	4.1	24.7	30.5	0.6	2.1	3.8	2.7
フルタイムの就労・雇用で、産休・育休・介護休業中である	263	31.6	26.2	71.9	7.2	21.3	36.1	1.9	1.1	7.2	3.4
パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない	870	55.7	15.4	48.0	6.2	27.8	35.2	0.3	3.6	8.9	3.0
パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中である	83	57.8	20.5	51.8	6.0	21.7	43.4	1.2	3.6	3.6	4.8
以前は就労していたが、現在は就労していない	559	75.3	21.8	26.3	5.5	20.0	50.3	0.5	3.9	15.6	5.2
これまで就労したことがない	12	83.3	8.3	—	—	16.7	41.7	—	—	16.7	8.3



【就学児童】

単位：％

区分	回答者数(件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	放課後児童クラブ(学童保育)	放課後子ども教室	のびるんneスクール	習い事(ピアノ教室、サツカークラブ、学習塾など)	ファミリー・サポート・センター	放課後等デイサービス	その他(市民館、公園など)	無回答
全 体	2,393	73.2	13.0	20.1	1.5	20.7	62.0	0.3	4.9	11.0	0.9
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない	747	57.8	13.9	37.8	1.5	23.7	58.9	—	2.8	6.7	0.7
フルタイムの就労・雇用で、産休・育休・介護休業中である	16	68.8	18.8	31.3	—	25.0	81.3	—	6.3	18.8	—
パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない	1,181	79.0	13.0	15.3	1.9	20.9	66.9	0.2	4.7	12.4	0.6
パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中である	25	76.0	8.0	8.0	—	8.0	52.0	—	12.0	16.0	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	357	86.6	10.9	2.0	0.3	16.5	55.5	1.1	9.2	14.6	1.7
これまで就労したことがない	23	87.0	8.7	—	—	8.7	56.5	—	4.3	13.0	—

## 週あたりの日数

### ア 自宅の日数

就学前児童では、「5日」の割合が26.9%と最も高く、次いで「3日」の割合が19.5%、「2日」の割合が16.9%となっています。

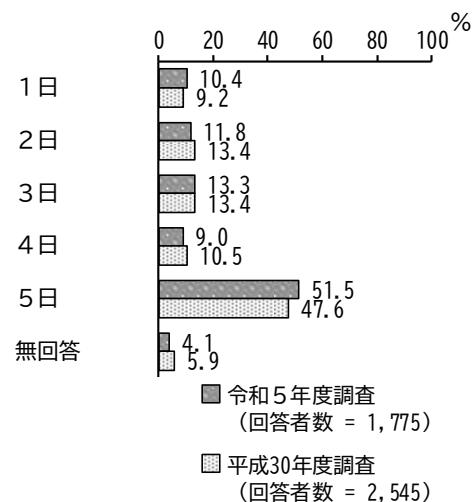
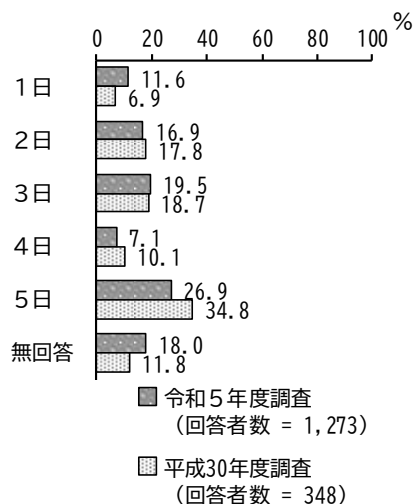
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が減少しています。

就学児童では、「5日」の割合が51.5%と最も高く、次いで「3日」の割合が13.3%、「2日」の割合が11.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】

【就学児童】



### イ 祖父母や友人・知人宅の日数

就学前児童では、「1日」の割合が31.9%と最も高く、次いで「2日」の割合が21.4%、「5日」の割合が14.6%となっています。

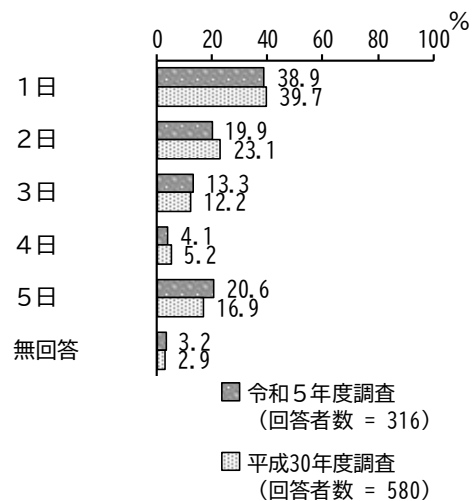
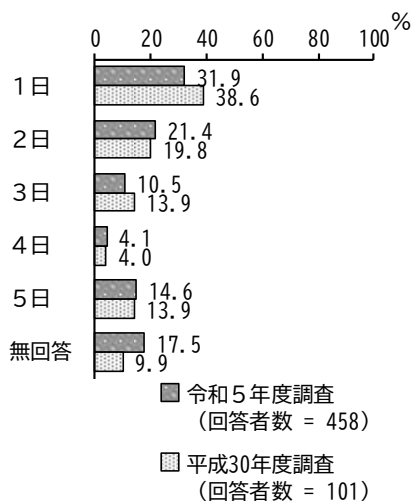
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が減少しています。

就学児童では、「1日」の割合が38.9%と最も高く、次いで「5日」の割合が20.6%、「2日」の割合が19.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】

【就学児童】



### ウ 放課後児童クラブの日数

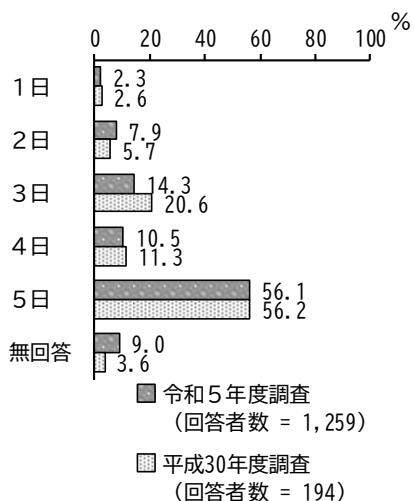
就学前児童では、「5日」の割合が56.1%と最も高く、次いで「3日」の割合が14.3%、「4日」の割合が10.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3日」の割合が減少しています。

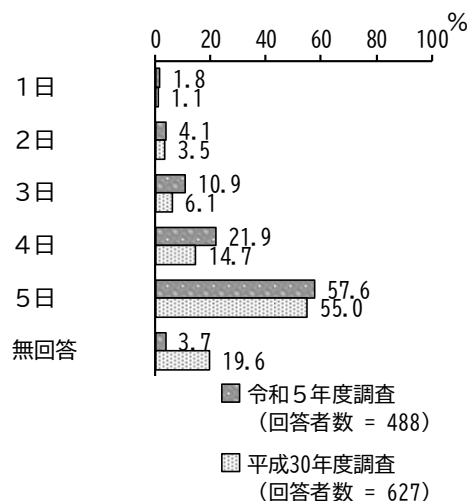
就学児童では、「5日」の割合が57.6%と最も高く、次いで「4日」の割合が21.9%、「3日」の割合が10.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4日」の割合が増加しています。

【就学前児童】



【就学児童】



### エ 放課後児童クラブの終了時刻

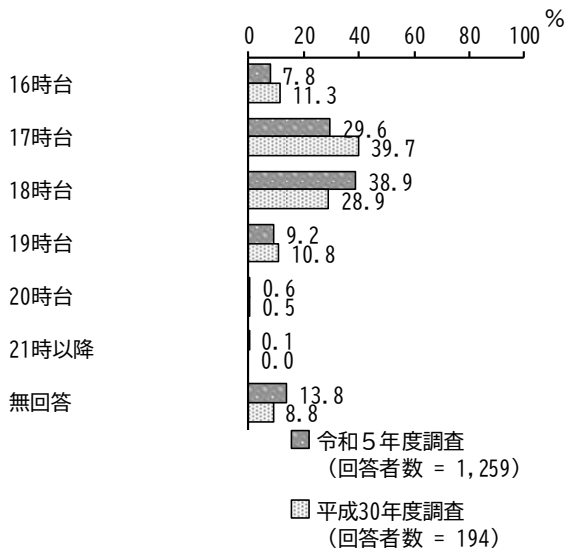
就学前児童では、「18時台」の割合が38.9%と最も高く、次いで「17時台」の割合が29.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「18時台」の割合が増加しています。一方、「17時台」の割合が減少しています。

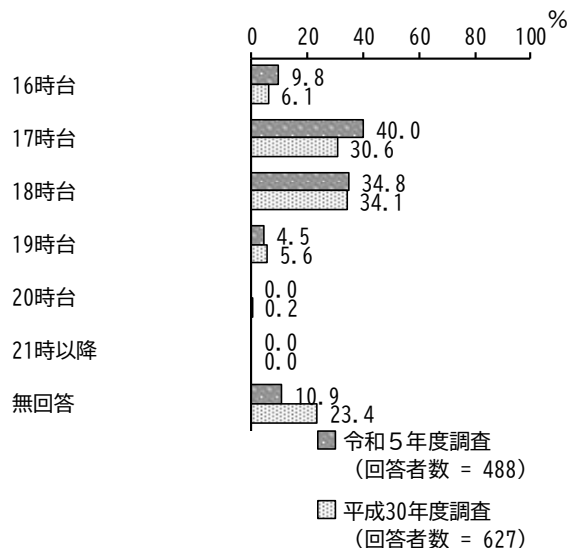
就学児童では、「17時台」の割合が40.0%と最も高く、次いで「18時台」の割合が34.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「17時台」の割合が増加しています。

【就学前児童】



【就学児童】

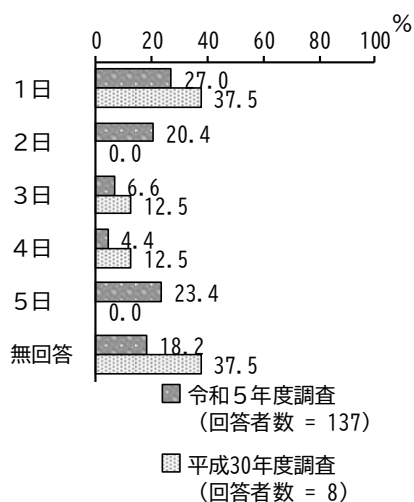


## オ 放課後子ども教室の日数

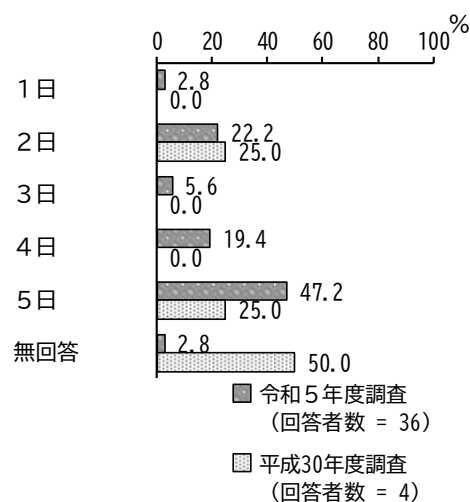
就学前児童では、「1日」の割合が27.0%と最も高く、次いで「5日」の割合が23.4%、「2日」の割合が20.4%となっています。

就学児童では、「5日」の割合が47.2%と最も高く、次いで「2日」の割合が22.2%、「4日」の割合が19.4%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



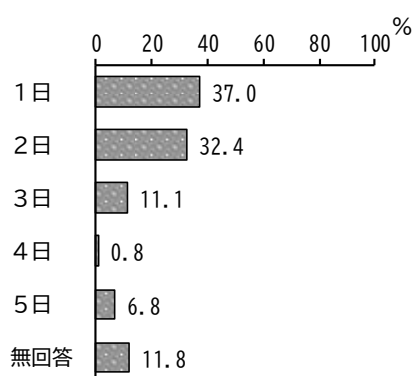
## カ のびるん de スクールの日数

就学前児童では、「1日」の割合が37.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が32.4%、「3日」の割合が11.1%となっています。

就学児童では、「1日」の割合が45.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が39.6%となっています。

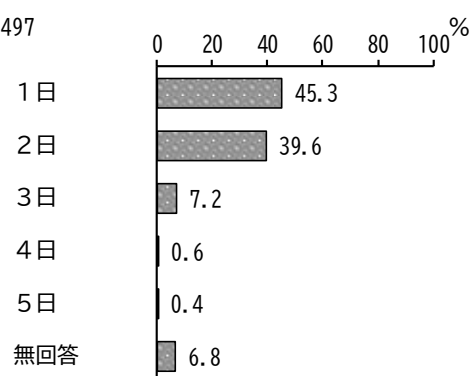
【就学前児童】

回答者数 = 592



【就学児童】

回答者数 = 497



## キ 習い事の日数

就学前児童では、「1日」の割合が42.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が36.7%となっています。

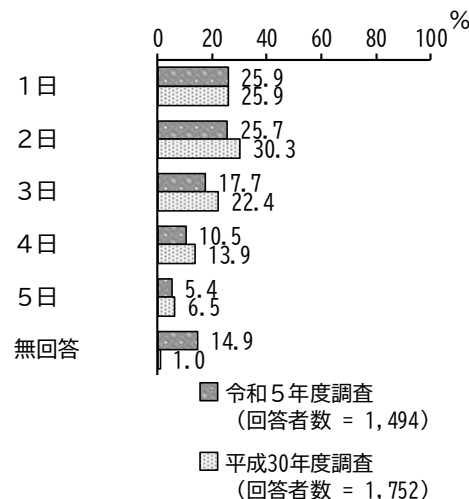
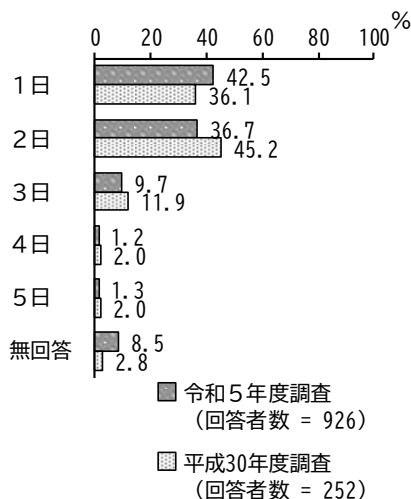
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。

就学児童では、「1日」の割合が25.9%と最も高く、次いで「2日」の割合が25.7%、「3日」の割合が17.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】

【就学児童】



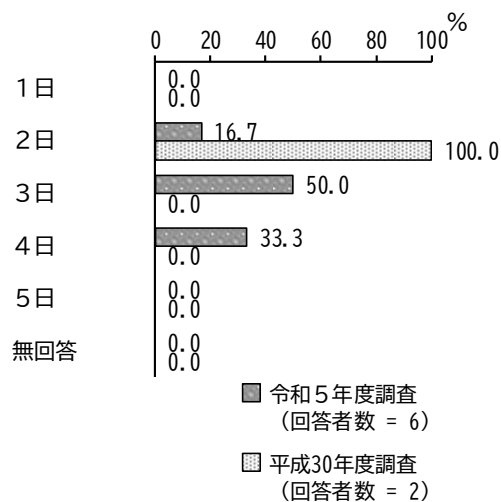
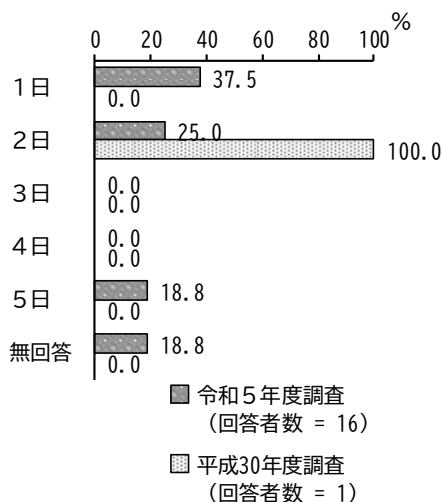
## ク ファミリー・サポート・センターの日数

就学前児童では、「1日」の割合が37.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が25.0%、「5日」の割合が18.8%となっています。

就学児童では、「3日」が3件となっています。「4日」が2件、「2日」が1件となっています。

【就学前児童】

【就学児童】



## ケ 放課後等デイサービスの日数

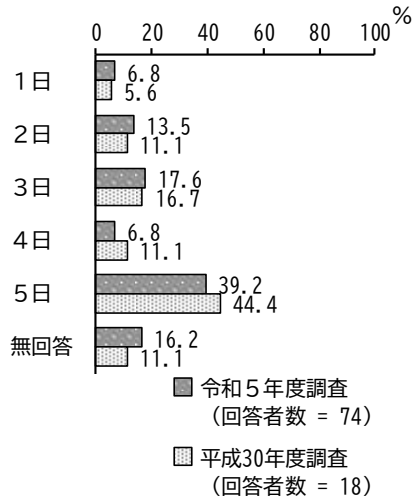
就学前児童では、「5日」の割合が39.2%と最も高く、次いで「3日」の割合が17.6%、「2日」の割合が13.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が減少しています。

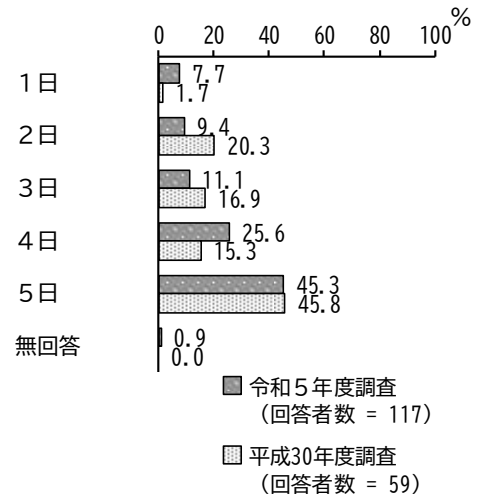
就学児童では、「5日」の割合が45.3%と最も高く、次いで「4日」の割合が25.6%、「3日」の割合が11.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」「4日」の割合が増加しています。一方、「2日」「3日」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】



問 問 35 で「3. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にお聞きします。あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」又は「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方は、利用したい時間帯を〔 〕内に記入してください。（就学前児童：問 36、就学児童：問 15）

**（1）土曜日**

就学前児童では、「利用する必要はない」の割合が 70.1%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が 16.2%となっています。

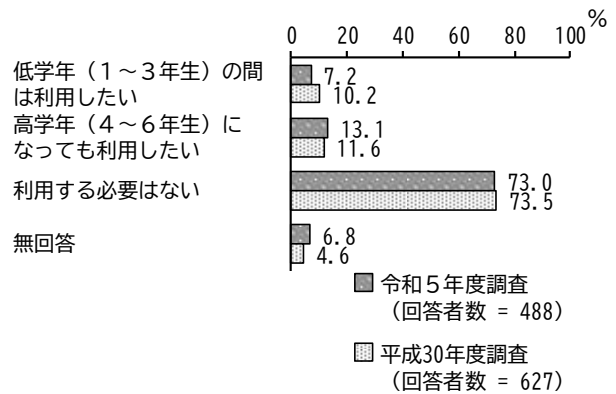
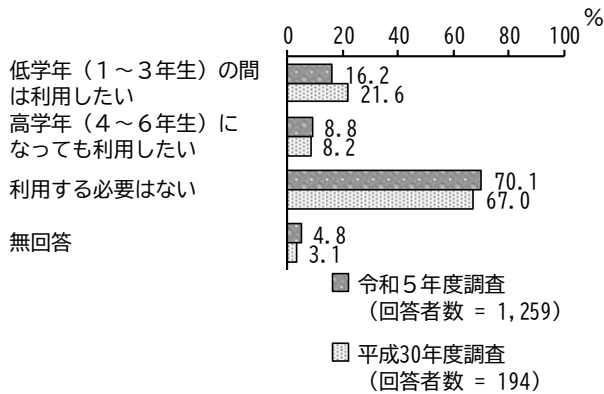
平成 30 年度調査と比較すると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が減少しています。

就学児童では、「利用する必要はない」の割合が 73.0%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が 13.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

**【就学前児童】**

**【就学児童】**



ア 希望する利用開始時刻

就学前児童では、「8時台」の割合が46.0%と最も高く、次いで「9時台」の割合が32.4%、「7時台」の割合が10.8%となっています。

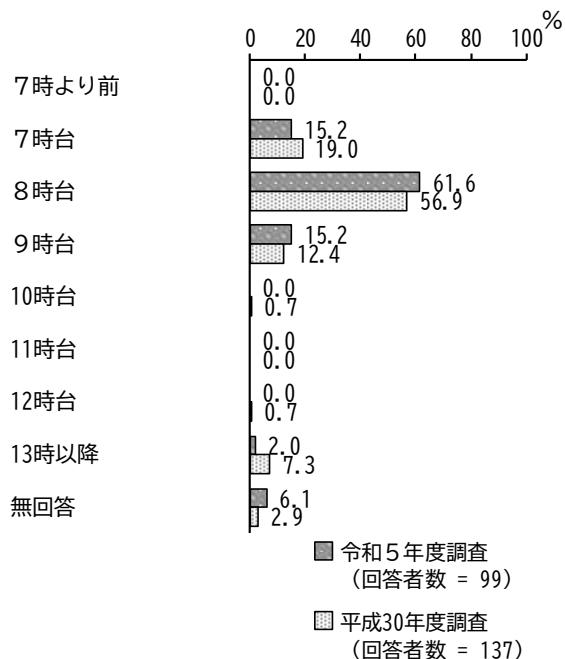
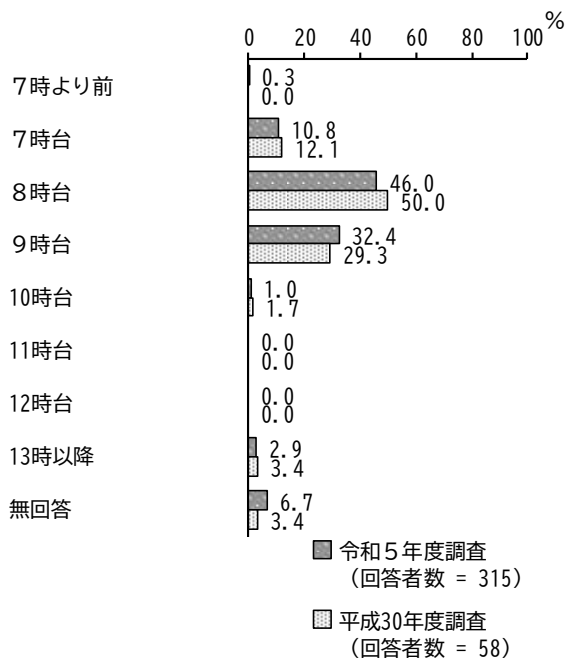
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、「8時台」の割合が61.6%と最も高く、次いで「7時台」、「9時台」の割合が15.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「13時以降」の割合が減少しています。

【就学前児童】

【就学児童】





## イ 希望する利用終了時刻

就学前児童では、「17時台」の割合が29.5%と最も高く、次いで「18時台」の割合が25.7%となっています。

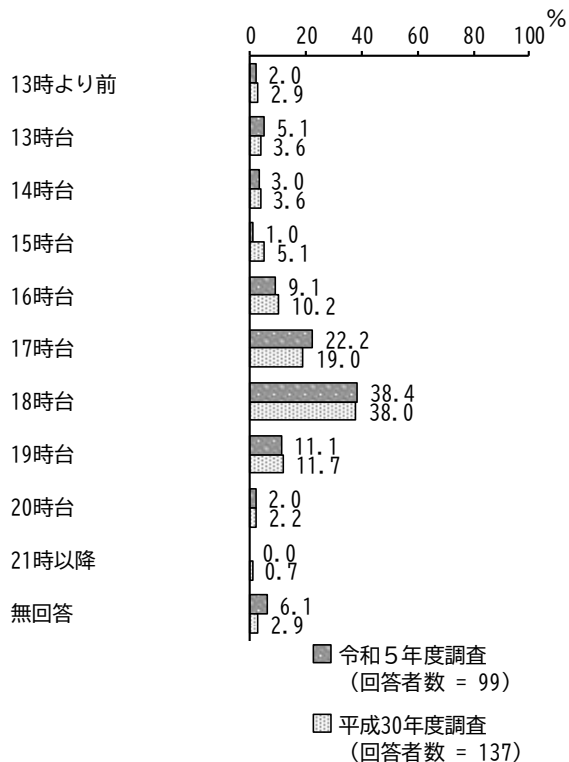
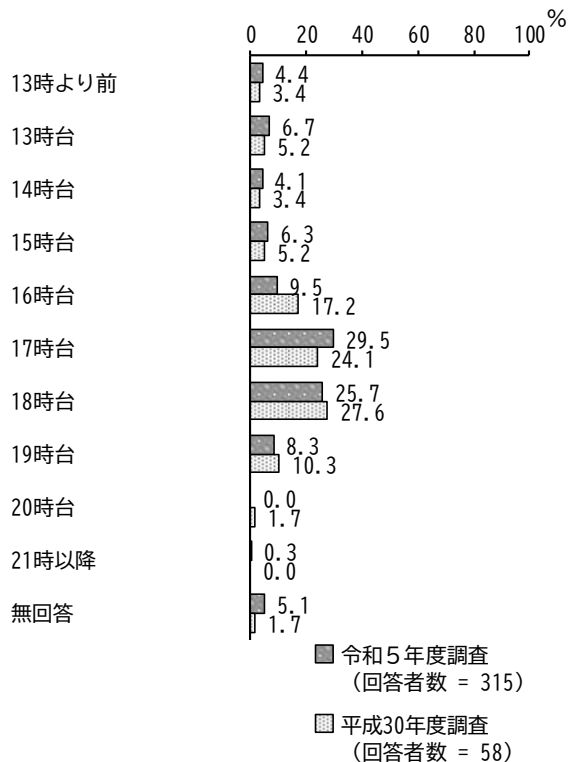
平成30年度調査と比較すると、「17時台」の割合が増加しています。一方、「16時台」の割合が減少しています。

就学児童では、「18時台」の割合が38.4%と最も高く、次いで「17時台」の割合が22.2%、「19時台」の割合が11.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】

【就学児童】



## (2) 日曜日・祝日

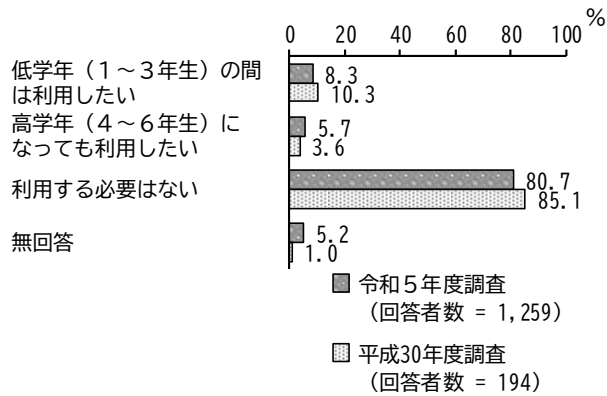
就学前児童では、「利用する必要はない」の割合が80.7%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

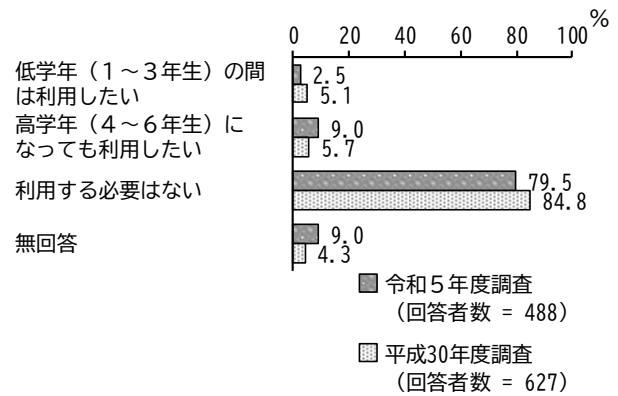
就学児童では、「利用する必要はない」の割合が79.5%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】



### ア 希望する利用開始時刻

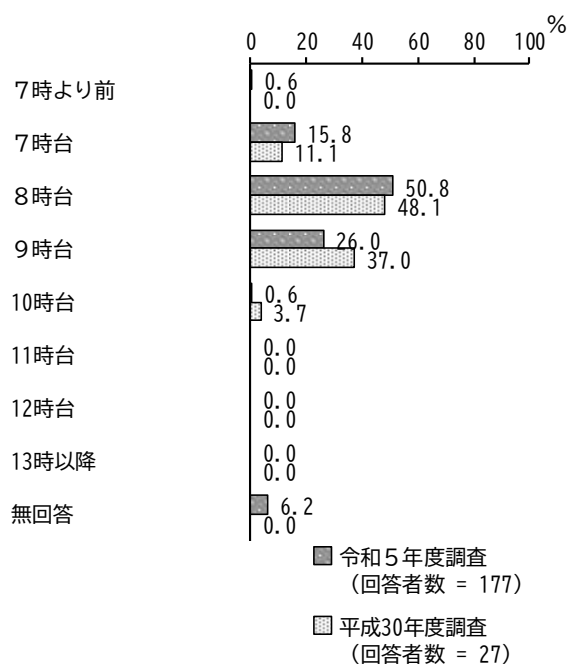
就学前児童では、「8時台」の割合が50.8%と最も高く、次いで「9時台」の割合が26.0%、「7時台」の割合が15.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「9時台」の割合が減少しています。

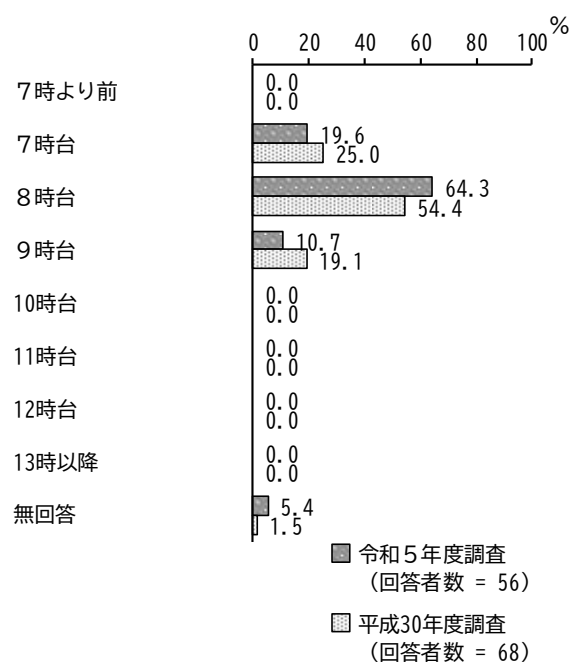
就学児童では、「8時台」の割合が64.3%と最も高く、次いで「7時台」の割合が19.6%、「9時台」の割合が10.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が増加しています。一方、「7時台」「9時台」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】



## イ 希望する利用終了時刻

就学前児童では、「17時台」、「18時台」の割合が31.1%と最も高く、次いで「19時台」の割合が13.6%となっています。

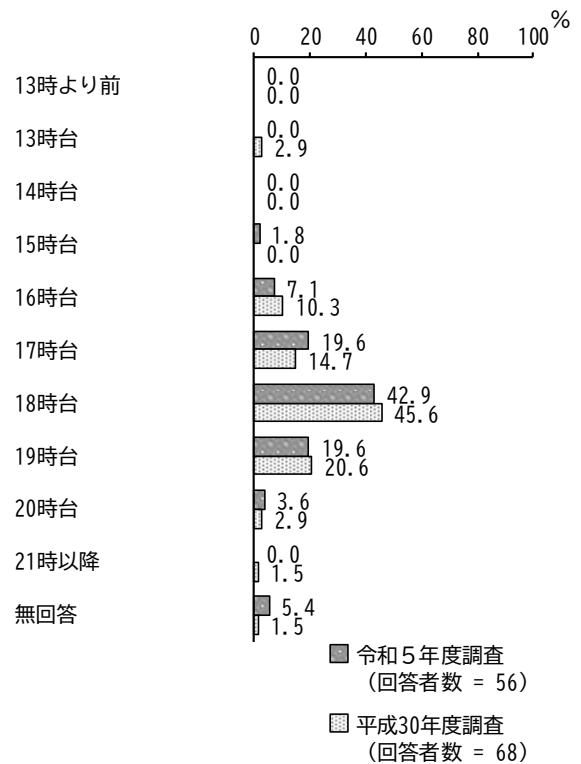
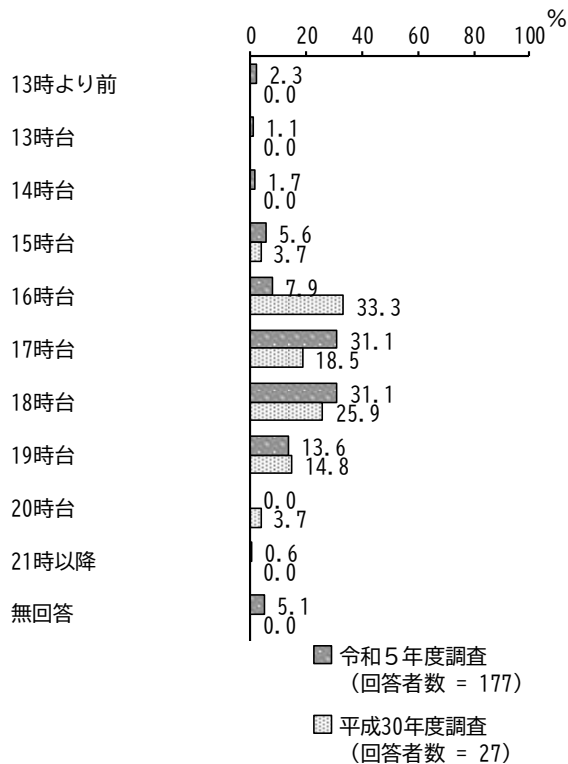
平成30年度調査と比較すると、「17時台」「18時台」の割合が増加しています。一方、「16時台」の割合が減少しています。

就学児童では、「18時台」の割合が42.9%と最も高く、次いで「17時台」、「19時台」の割合が19.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

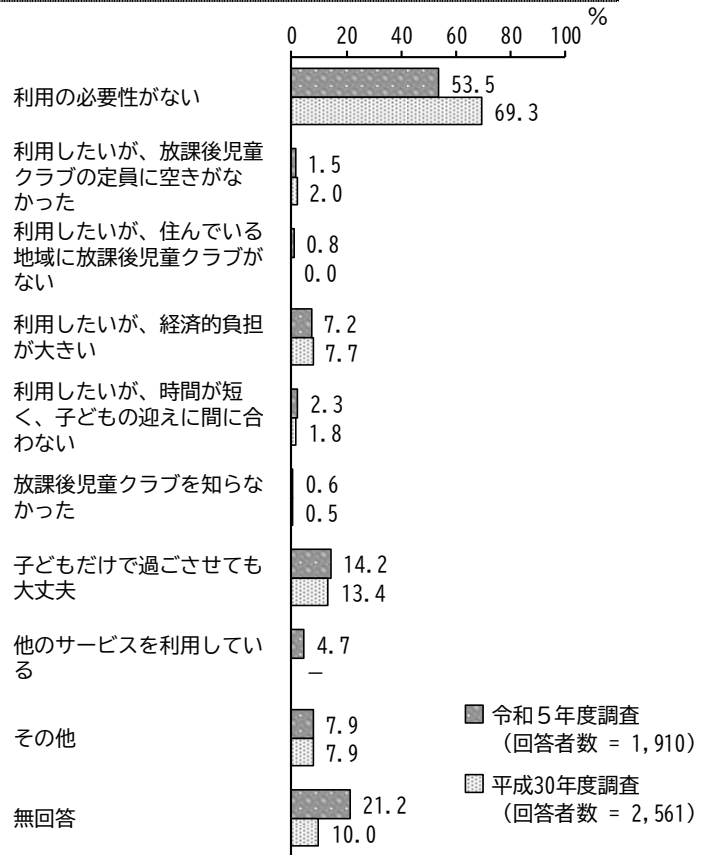
【就学前児童】

【就学児童】



問 問 14 で「3. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけなかった方にお聞きします。放課後児童クラブを利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。（就学児童：問 16）

「利用の必要性がない」の割合が 53.5% と最も高く、次いで「子どもだけで過ごさせても大丈夫」の割合が 14.2% となっています。  
平成 30 年度調査と比較すると、「利用の必要性がない」の割合が減少しています。



※前回調査では、「他のサービスを利用している」の選択肢はありませんでした。

### 【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、年齢が低いほど、「利用の必要性がない」の割合が高い傾向があります。

単位：%

区分	回答者数 (件)	利用の必要性がない	利用したいが、放課後児童クラブの定員に空きがなかった	利用したいが、住んでいる地域に放課後児童クラブがない	利用したいが、経済的負担が大きい	利用したいが、時間が短く、子どもの迎えに間に合わない	放課後児童クラブを知らなかった	子どもだけで過ごさせても大丈夫	他のサービスを利用している	その他	無回答
全体	1,910	53.5	1.5	0.8	7.2	2.3	0.6	14.2	4.7	7.9	21.2
6歳 (1年生)	278	60.4	1.8	0.4	10.8	0.7	-	4.7	5.8	7.2	19.1
7歳 (2年生)	264	62.9	1.9	0.4	8.3	1.1	1.1	7.2	7.2	8.7	13.6
8歳 (3年生)	286	52.8	1.0	1.4	8.7	4.5	0.7	8.7	3.1	7.3	23.4
9歳 (4年生)	342	52.9	4.1	1.2	7.6	3.5	0.9	13.7	4.4	7.3	19.9
10歳 (5年生)	296	48.6	-	0.7	5.4	1.0	0.3	21.6	4.4	8.1	24.3
11歳 (6年生)	396	47.7	0.3	1.0	3.8	2.3	0.8	24.5	4.0	8.3	23.5

問 問 35 で「3. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にお聞きします。あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」又は「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」に○をつけた方は、利用したい時間帯を〔 〕内に記入してください。（就学前児童：問 37、就学児童：問 17）

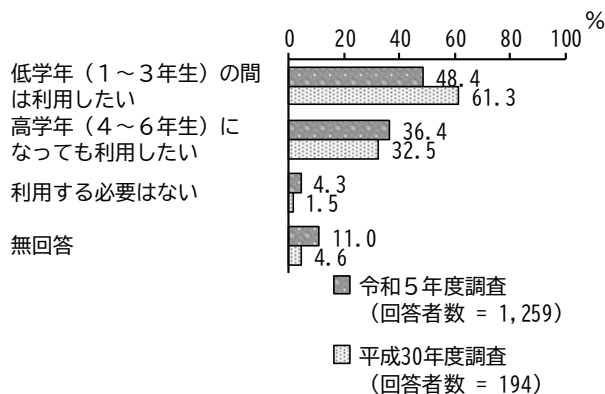
就学前児童では、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が48.4%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が36.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が減少しています。

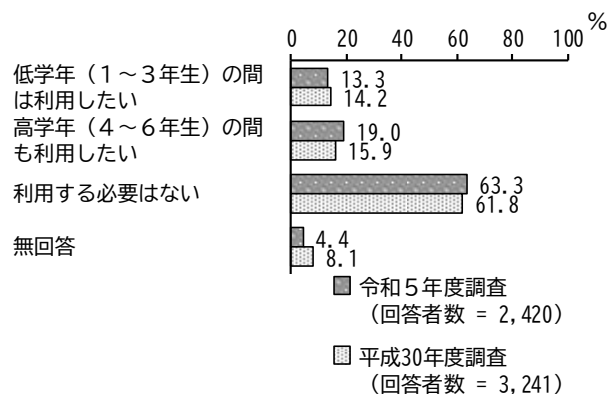
就学児童では、「利用する必要はない」の割合が63.3%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）の間も利用したい」の割合が19.0%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が13.3%となっています。

就学児童では、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】



ア 希望する利用開始時刻

就学前児童では、「8時台」の割合が56.2%と最も高く、次いで「9時台」の割合が26.0%、「7時台」の割合が12.0%となっています。

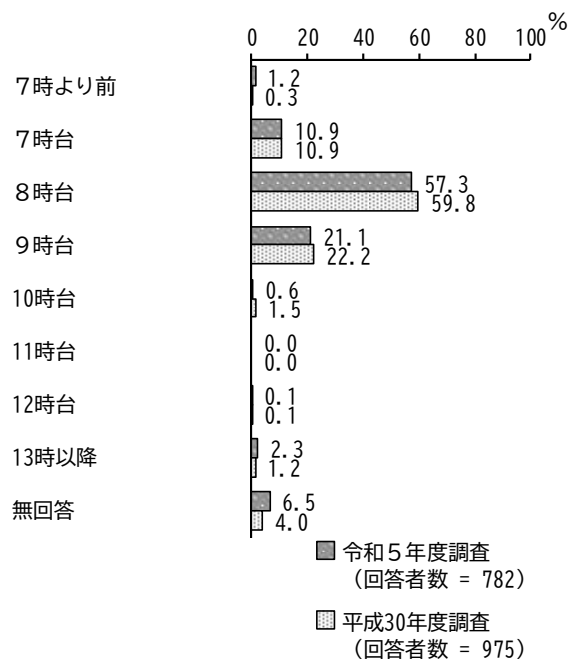
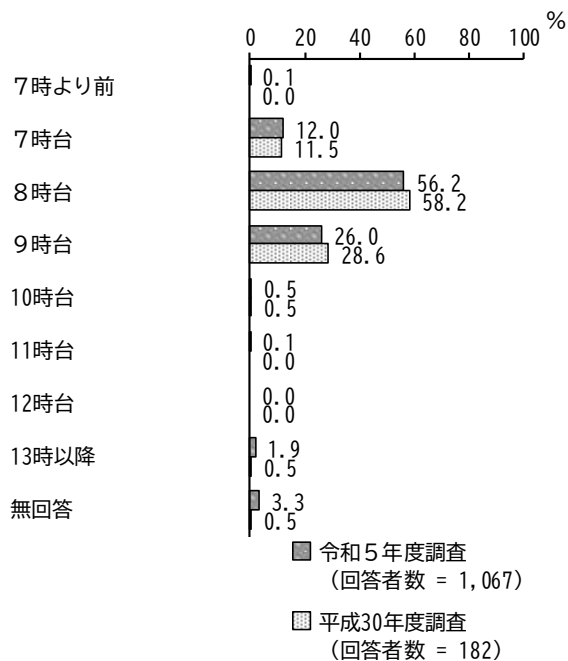
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、「8時台」の割合が57.3%と最も高く、次いで「9時台」の割合が21.1%、「7時台」の割合が10.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】

【就学児童】



## イ 希望する利用終了時刻

就学前児童では、「17時台」の割合が36.6%と最も高く、次いで「18時台」の割合が34.7%、「16時台」の割合が14.9%となっています。

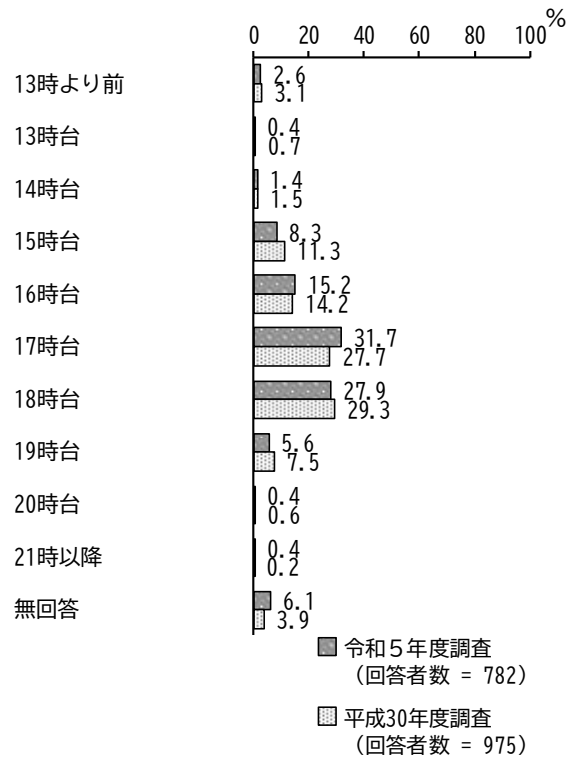
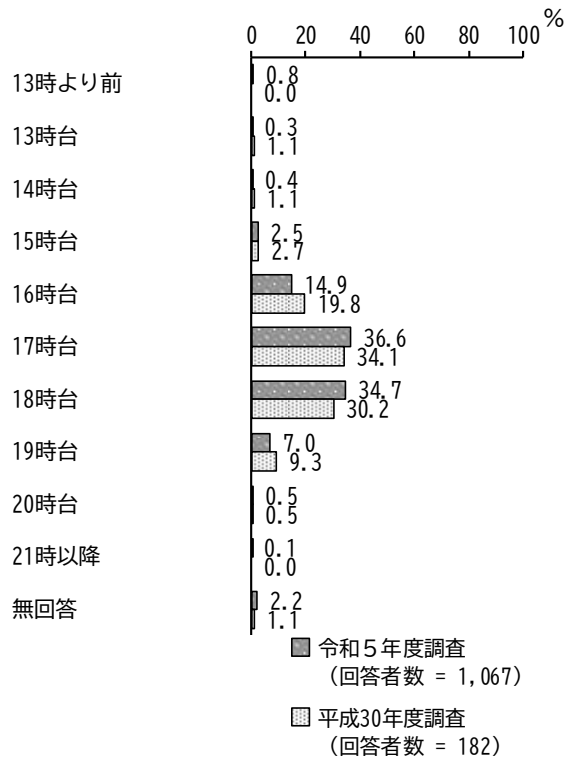
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、「17時台」の割合が31.7%と最も高く、次いで「18時台」の割合が27.9%、「16時台」の割合が15.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】

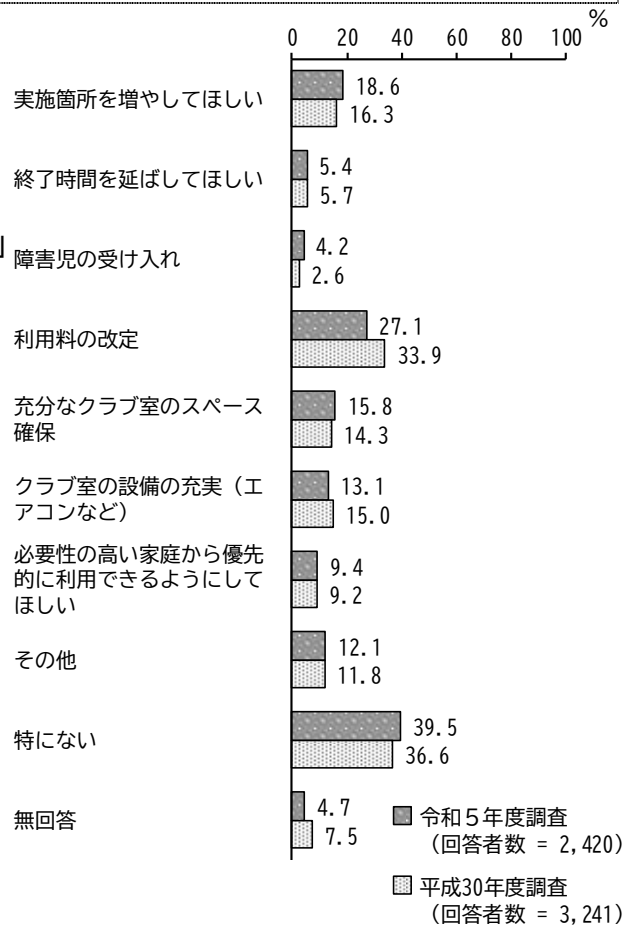
【就学児童】



問 放課後児童クラブについて、今後期待することは何ですか。  
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学児童：問 18)

「特にない」の割合が39.5%と最も高く、次いで「利用料の改定」の割合が27.1%、「実施箇所を増やしてほしい」の割合が18.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用料の改定」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、年齢が低いほど、「利用料の改定」や「実施箇所数を増やしてほしい」の割合が高い傾向があります。

単位：%

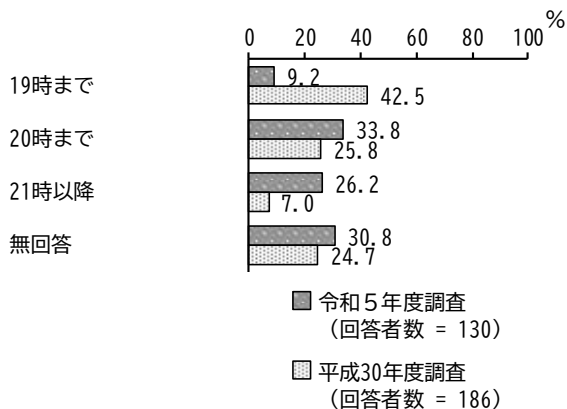
区分	回答者数(件)	実施箇所を増やしてほしい	終了時間を延ばしてほしい	障害児の受け入れ	利用料の改定	十分なクラブ室のスペース確保	クラブ室の設備の充実(エアコンなど)	必要性の高い家庭から優先的に利用できるようにしてほしい	その他	特にない	無回答
全体	2,420	18.6	5.4	4.2	27.1	15.8	13.1	9.4	12.1	39.5	4.7
6歳(1年生)	460	24.1	5.2	4.3	36.7	17.8	13.5	8.7	15.2	28.7	3.5
7歳(2年生)	382	21.7	4.5	3.9	28.0	17.8	13.9	8.9	16.0	32.7	4.5
8歳(3年生)	381	22.0	5.2	5.8	29.7	16.8	16.0	9.4	15.2	34.9	4.7
9歳(4年生)	395	17.7	6.3	2.8	23.5	18.5	13.9	9.9	12.2	41.0	5.1
10歳(5年生)	317	11.7	4.7	5.0	23.7	13.9	11.4	11.4	6.0	49.8	5.0
11歳(6年生)	417	12.7	6.2	3.1	18.9	10.1	10.6	9.6	7.4	53.0	5.0



## ア 希望終了時刻

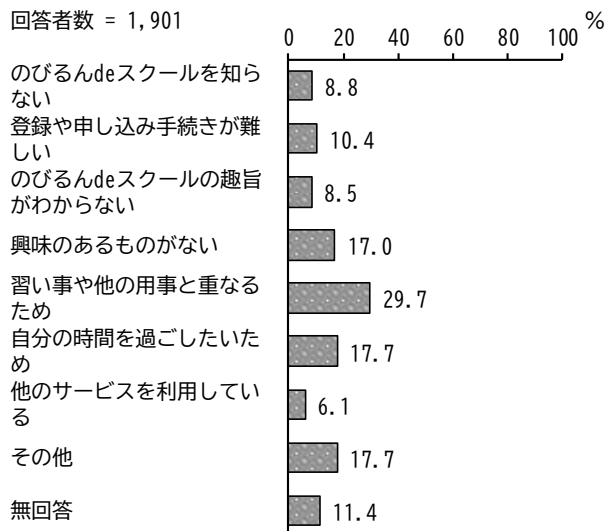
終了時間を延ばしてほしいと回答した方では、「20時まで」の割合が33.8%と最も高く、次いで「21時以降」の割合が26.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「20時まで」「21時以降」の割合が増加しています。一方、「19時まで」の割合が減少しています。



問 問 14で「5. のびるん de スクール」に○をつけなかった方にお聞きします。のびるん de スクールを利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学児童：問 19)

「習い事や他の用事と重なるため」の割合が29.7%と最も高く、次いで「自分の時間を過ごしたいため」の割合が17.7%、「興味のあるものがない」の割合が17.0%となっています。



### 【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、年齢が高いほど、「自分の時間を過ごしたいため」や「興味のあるものがない」の割合が高い傾向があります。

単位：%

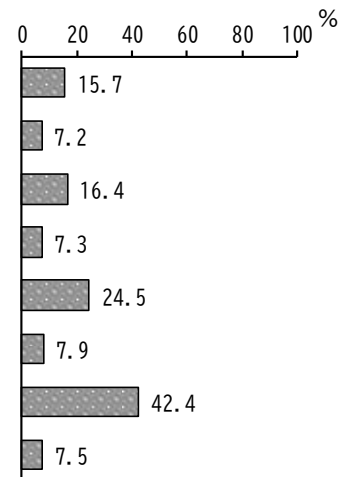
区分	回答者数 (件)	のびるん de スクールを知らない	登録や申し込み手続きが難しい	のびるん de スクールの趣旨がわからない	興味のあるものがない	習い事や他の用事と重なるため	自分の時間を過ごしたいため	他のサービスを利用している	その他	無回答
全体	1,901	8.8	10.4	8.5	17.0	29.7	17.7	6.1	17.7	11.4
6歳 (1年生)	314	12.1	12.7	8.6	14.3	26.1	9.2	8.3	19.1	11.1
7歳 (2年生)	249	4.0	13.3	14.1	11.2	32.1	12.0	9.6	21.7	9.6
8歳 (3年生)	304	5.9	10.2	6.9	19.1	29.6	15.5	5.9	22.0	12.2
9歳 (4年生)	309	9.4	10.4	9.1	16.8	31.1	18.1	3.9	19.4	9.1
10歳 (5年生)	288	8.3	9.0	6.9	18.1	30.6	22.6	6.3	14.9	13.9
11歳 (6年生)	388	11.1	8.0	7.0	20.6	29.9	26.5	4.1	11.6	11.9

問 のびるん de スクールについて、今後期待することは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学児童：問 20)

「特にない」の割合が 42.4%と最も高く、次いで「体験活動を充実してほしい」の割合が 24.5%、「全学年で自力下校を許可してほしい」の割合が 16.4%となっています。

回答者数 = 2,420

実施日数を増やしてほしい  
お迎えの時間を延ばしてほしい  
全学年で自力下校を許可してほしい  
利用料の改定  
体験活動を充実してほしい  
その他  
特にない  
無回答



### 【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、年齢が低いほど、「体験活動を充実してほしい」や「実施日数を増やしてほしい」の割合が高い傾向があります。

単位：%

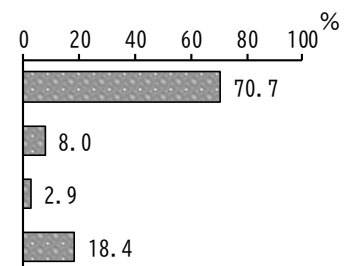
区分	回答者数 (件)	実施日数を増やしてほしい	お迎えの時間を延ばしてほしい	全学年で自力下校を許可してほしい	利用料の改定	体験活動を充実してほしい	その他	特にない	無回答
全体	2,420	15.7	7.2	16.4	7.3	24.5	7.9	42.4	7.5
6歳 (1年生)	460	19.6	9.6	20.0	7.6	28.7	9.8	33.9	6.7
7歳 (2年生)	382	17.5	5.8	16.2	6.5	27.2	12.0	34.8	7.6
8歳 (3年生)	381	19.2	9.7	16.8	8.4	28.1	10.8	36.2	6.6
9歳 (4年生)	395	15.7	8.4	17.2	7.1	26.6	7.1	41.3	7.3
10歳 (5年生)	317	11.7	4.7	16.1	6.0	18.3	5.0	53.3	8.2
11歳 (6年生)	417	9.1	5.3	12.5	7.4	17.0	2.9	57.1	7.0

### ア 希望するお迎えの時間

お迎えの時間を延ばしてほしいと回答した方では、「19時まで」の割合が 70.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 174

19時まで  
20時まで  
21時以降  
無回答

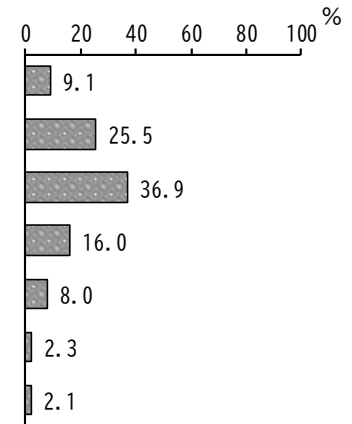


問 問 14で「6. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」に○をつけた方（習い事をしている）にお聞きします。習い事に月に平均してかかる費用（月謝や道具代など）はいくらぐらいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。（就学児童：問 21）

「10,000円～20,000円未満」の割合が36.9%と最も高く、次いで「5,000円～10,000円未満」の割合が25.5%、「20,000円～30,000円未満」の割合が16.0%となっています。

回答者数 = 1,494

5,000円未満  
5,000円～10,000円未満  
10,000円～20,000円未満  
20,000円～30,000円未満  
30,000円～50,000円未満  
50,000円以上  
無回答



### 【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	5,000円未満	5,000円～10,000円未満	10,000円～20,000円未満	20,000円～30,000円未満	30,000円～50,000円未満	50,000円以上	無回答
全体	1,494	9.1	25.5	36.9	16.0	8.0	2.3	2.1
6歳 (1年生)	253	9.1	29.6	37.9	14.2	5.9	1.6	1.6
7歳 (2年生)	233	10.3	19.3	40.8	16.7	8.6	2.1	2.1
8歳 (3年生)	242	3.7	24.0	40.5	19.0	7.4	2.5	2.9
9歳 (4年生)	266	11.7	24.4	32.7	16.5	10.2	3.4	1.1
10歳 (5年生)	203	7.4	25.1	38.4	14.8	7.9	2.0	4.4
11歳 (6年生)	262	11.1	27.9	33.6	15.3	8.8	2.3	1.1

## (9) 出産や子育てについて

問 理想とする子どもの数と、実際にいる（予定している）子どもの数は何人ですか。  
 （就学前児童：問 38、就学児童：問 28）

### ア 理想とする子どもの人数

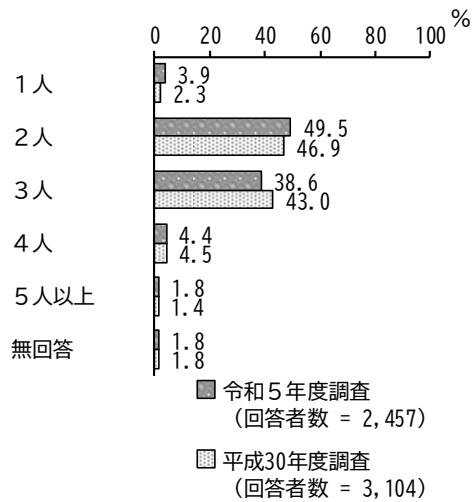
就学前児童では、「2人」の割合が49.5%と最も高く、次いで「3人」の割合が38.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、わずかですが1人～2人の割合が増加し、3人～4人の割合が減少しています。

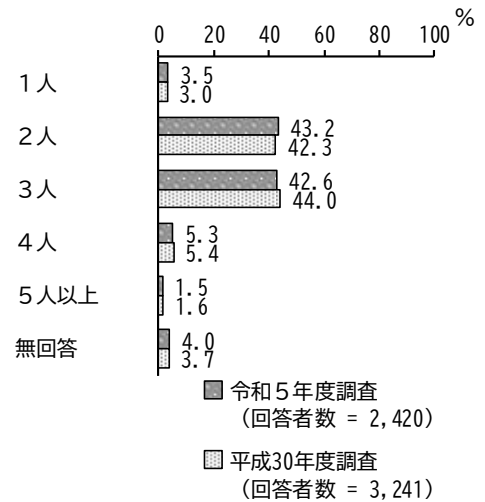
就学児童では、「2人」の割合が43.2%と最も高く、次いで「3人」の割合が42.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、わずかですが1人～2人の割合が増加し、3人～5人以上の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】



【子どもをみてもらえる親族・知人の有無別】

子どもをみてもらえる親族・知人の有無別にみると、就学前児童では、子どもをみてもらえる親族・知人の有無により、理想とする人数に大きな差はみられません。

就学児童では、子どもをみてもらえる親族・知人の有無で、理想とする人数に大きな差はみられません。

【就学前児童】

単位：％

区分	回答者数 (件)	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全 体	2,457	3.9	49.5	38.6	4.4	1.8	1.8
日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	740	3.9	51.6	37.2	4.6	0.8	1.9
緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる	1,552	3.4	48.5	40.5	4.1	1.9	1.7
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	43	4.7	34.9	41.9	9.3	4.7	4.7
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	209	2.9	41.6	44.0	8.6	1.4	1.4
いずれもない	309	6.1	47.6	35.6	5.8	2.6	2.3

【就学児童】

単位：％

区分	回答者数 (件)	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全 体	2,420	3.5	43.2	42.6	5.3	1.5	4.0
日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	755	3.2	43.7	43.3	5.7	1.1	3.0
緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる	1,427	3.1	43.7	44.1	4.9	1.0	3.2
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	76	3.9	48.7	36.8	7.9	1.3	1.3
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	360	3.3	38.9	47.2	4.4	1.1	5.0
いずれもない	343	5.0	41.7	37.3	6.4	3.2	6.4

## イ 実際（予定）の子どもの人数

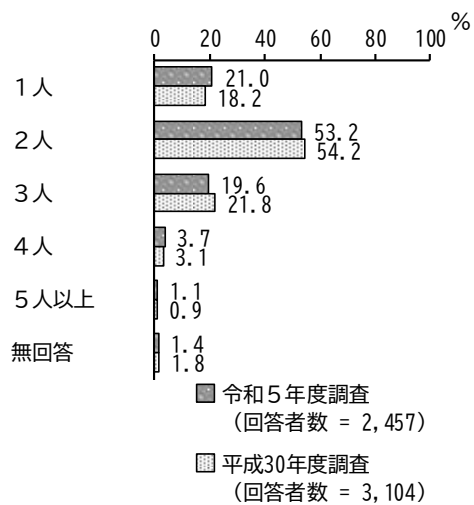
就学前児童では、「2人」の割合が53.2%と最も高く、次いで「1人」の割合が21.0%、「3人」の割合が19.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、わずかですが1人の割合が増加し、2人～3人の割合が減少しています。

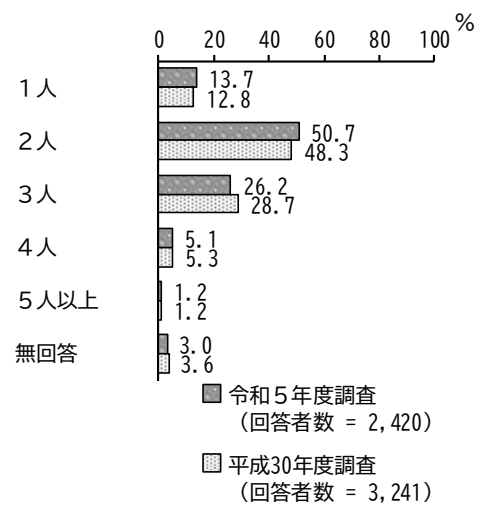
就学児童では、「2人」の割合が50.7%と最も高く、次いで「3人」の割合が26.2%、「1人」の割合が13.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、わずかですが1人～2人の割合が増加し、3人～4人の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】



【子どもをみてもらえる親族・知人の有無別】

子どもをみてもらえる親族・知人の有無別にみると、就学前児童では、日常的に祖父母などの親族にみてもらえる人より、それ以外の人の「3人」の割合が高くなっています。

就学児童では、日常的に祖父母などの親族にみてもらえる人より、緊急時や用事の際に親族・知人にみてもらえる人の「3人」の割合が高くなっています。

【就学前児童】

単位：％

区分	回答者数 (件)	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全 体	2,457	21.0	53.2	19.6	3.7	1.1	1.4
日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	740	20.9	53.4	19.5	3.8	0.9	1.5
緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる	1,552	19.4	55.3	20.1	3.2	0.8	1.2
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	43	20.9	41.9	25.6	4.7	—	7.0
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	209	12.0	52.2	28.2	3.8	1.9	1.9
いずれもない	309	30.1	41.7	19.7	4.2	2.6	1.6

【就学児童】

単位：％

区分	回答者数 (件)	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全 体	2,420	13.7	50.7	26.2	5.1	1.2	3.0
日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	755	13.4	52.1	25.8	5.3	0.4	3.0
緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる	1,427	12.9	52.2	28.0	4.0	1.2	1.8
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	76	17.1	48.7	18.4	10.5	2.6	2.6
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	360	12.5	49.7	29.2	5.0	1.7	1.9
いずれもない	343	16.6	43.7	23.0	7.9	2.3	6.4

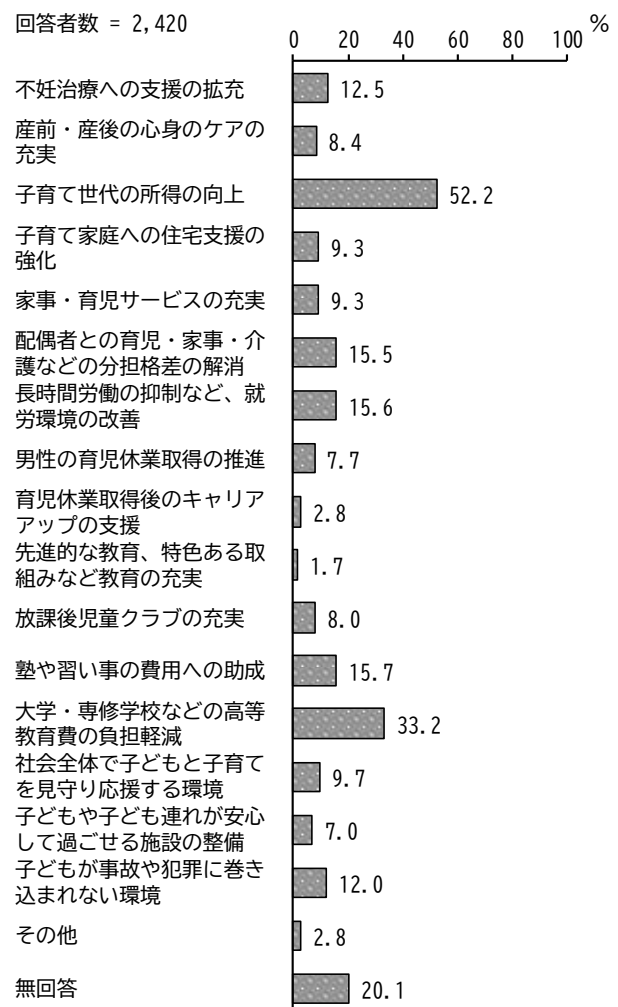
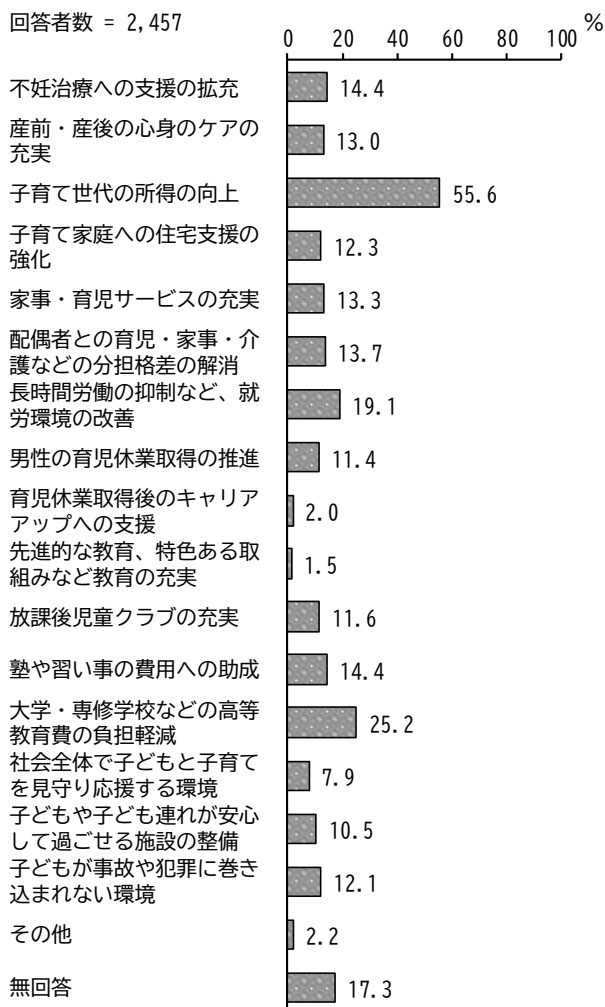
問 理想とする子どもの数を実現するためには、どのようなことが必要とお考えですか。特に必要と思われること3つに○をつけてください。  
 (就学前児童：問 39、就学児童：問 29)

就学前児童では、「子育て世代の所得の向上」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「大学・専修学校などの高等教育費の負担軽減」の割合が 25.2%、「長時間労働の抑制など、就労環境の改善」の割合が 19.1%となっています。

就学児童では、「子育て世代の所得の向上」の割合が 52.2%と最も高く、次いで「大学・専修学校などの高等教育費の負担軽減」の割合が 33.2%、「塾や習い事の費用への助成」の割合が 15.7%となっています。

【就学前児童】

【就学児童】





## 【子どもの人数別】

子どもの人数別にみると、就学前児童では、子どもの人数が多いほど、「子育て世代の所得の向上」や「高等教育費の負担軽減」の割合が高くなる傾向にある一方、人数が少ないほど、「長時間労働の抑制など」の割合が高くなる傾向があります。

就学児童では、子どもの人数が多いほど、「子育て世代の所得の向上」や「高等教育費の負担軽減」の割合が高くなる傾向があります。

## 【就学前児童】

単位：％

区分	回答者数(件)	不妊治療への支援の拡充	産前・産後の心身のケアの充実	子育て世代の所得の向上	子育て家庭への住宅支援の強化	家事・育児サービスの充実	配偶者との育児・家事・介護などの分担格差の解消	長時間労働の抑制など、就業環境の改善	男性の育児休業取得の推進	育児休業取得後のキャリアアップへの支援
全体	2,457	14.4	13.0	55.6	12.3	13.3	13.7	19.1	11.4	2.0
1人	703	20.2	13.8	52.1	14.5	13.1	13.5	19.2	13.7	1.1
2人	1,217	13.5	13.3	57.4	11.2	14.1	14.1	20.2	11.2	3.0
3人	435	10.6	10.8	54.0	11.5	12.6	12.6	16.8	8.5	1.1
4人	77	1.3	16.9	66.2	10.4	7.8	13.0	15.6	13.0	1.3
5人以上	22	—	4.5	68.2	22.7	13.6	18.2	13.6	9.1	—

区分	先進的な教育、特色ある取組みなど教育の充実	放課後児童クラブの充実	塾や習い事の費用への助成	大学・専修学校などの高等教育費の負担軽減	社会全体で子どもと子育てを見守り応援する環境	子どもや子ども連が安心して過ごせる施設の整備	子どもが巻き込まれやすい環境	その他	無回答
全体	1.5	11.6	14.4	25.2	7.9	10.5	12.1	2.2	17.3
1人	1.8	9.8	8.4	21.9	6.4	10.2	12.1	2.8	18.6
2人	1.5	13.0	14.2	24.7	7.4	10.9	11.0	2.0	16.6
3人	1.4	10.8	21.6	28.5	12.2	9.2	14.9	1.8	18.4
4人	1.3	11.7	23.4	39.0	3.9	14.3	13.0	2.6	13.0
5人以上	—	—	31.8	40.9	9.1	9.1	13.6	—	13.6

【就学児童】

単位：％

区分	回答者数(件)	不妊治療への支援の拡充	産前・産後の心身のケアの充実	子育て世代の所得の向上	子育て家庭への住宅支援の強化	家事・育児サービスの充実	格差の解消 事・介護などの分擔	配偶者との育児・家事・介護などの分擔	長時間労働の抑制など、就労環境の改善	男性の育児休業取得の推進	育児休業取得後のキャリアアップの支援
全体	2,420	12.5	8.4	52.2	9.3	9.3	15.5	15.6	7.7	2.8	
1人	376	20.7	10.9	48.9	9.8	9.0	13.6	14.6	7.7	1.6	
2人	1,254	12.2	8.1	52.3	8.9	10.3	17.3	16.5	7.7	3.0	
3人	630	8.6	7.9	52.7	9.4	8.6	14.6	15.4	7.9	3.0	
4人	120	12.5	7.5	56.7	12.5	6.7	10.8	10.8	4.2	2.5	
5人以上	23	4.3	8.7	56.5	8.7	—	4.3	4.3	8.7	—	

区分	先進的な教育、特色ある取組みなど教育の充実	放課後児童クラブの充実	塾や習い事の費用への助成	担軽減 大学・専修学校などの高等教育費の負担軽減	社会全体で子どもと子育てを見守り応援する環境	子どもや子ども連が安心して過ごせる施設の整備	子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境	その他	無回答
全体	1.7	8.0	15.7	33.2	9.7	7.0	12.0	2.8	20.1
1人	1.6	7.4	10.9	24.2	11.4	5.6	10.9	5.9	21.3
2人	1.8	8.9	14.7	31.9	9.6	7.4	11.9	2.6	19.9
3人	1.6	7.0	18.4	38.9	8.7	7.0	13.2	1.3	20.8
4人	1.7	6.7	24.2	42.5	11.7	7.5	12.5	3.3	16.7
5人以上	—	4.3	13.0	47.8	4.3	8.7	—	8.7	21.7

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、就学前児童では、フルタイムの就労・雇用の方が、パート・アルバイト等の就労・雇用や就労していない人より、「長時間労働の抑制など」の割合が約2倍になっています。また、産休・育休・介護休業中の方が、それ以外の人より「男性の育児休業取得の推進」の割合が高くなっています。

就学児童では、フルタイムの就労・雇用の人で、「長時間労働の抑制など」や「放課後児童クラブの充実」の割合が高くなっています。

【就学前児童】

単位：％

区分	回答者数(件)	不妊治療への支援の拡充	産前・産後の心身のケアの充実	子育て世代の所得の向上	子育て家庭への住宅支援の強化	家事・育児サービスの充実	配偶者との育児・家事・介護などの分担格差の解消	長時間労働の抑制など、就労環境の改善	男性の育児休業取得の推進	育児休業取得後のキャリアアップへの支援
全体	2,454	14.4	13.0	55.5	12.2	13.2	13.7	19.2	11.5	2.0
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない	655	12.8	11.3	55.6	8.2	12.8	14.4	26.4	9.6	2.9
フルタイムの就労・雇用で、産休・育休・介護休業中である	263	14.1	11.0	60.1	12.9	14.1	12.9	31.2	15.6	2.3
パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない	870	13.0	12.8	55.4	14.5	14.3	14.7	13.1	10.5	2.1
パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中である	83	15.7	12.0	57.8	8.4	9.6	18.1	14.5	19.3	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	559	19.0	16.3	53.8	13.2	12.3	11.4	15.9	11.8	1.3
これまで就労したことがない	12	—	25.0	66.7	25.0	16.7	8.3	—	16.7	—

区分	先進的な教育、特色ある取組みなど教育の充実	放課後児童クラブの充実	塾や習い事の費用への助成	大学・専修学校などの高等教育費の負担軽減	社会全体で子どもと子育てを見守り応援する環境	子どもや子ども連れが安心して過ごせる施設の整備	子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境	その他	無回答
全体	1.5	11.6	14.4	25.2	7.9	10.4	12.1	2.2	17.4
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない	1.7	14.5	12.7	22.6	6.4	9.6	8.5	2.0	19.4
フルタイムの就労・雇用で、産休・育休・介護休業中である	0.8	16.7	8.0	25.1	5.7	8.0	9.5	3.4	14.4
パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない	1.7	12.9	18.2	28.0	8.5	10.0	14.5	1.7	16.3
パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中である	—	8.4	15.7	25.3	6.0	8.4	8.4	2.4	19.3
以前は就労していたが、現在は就労していない	1.8	4.7	13.6	24.3	9.7	13.4	14.5	2.5	17.2
これまで就労したことがない	—	—	8.3	16.7	8.3	8.3	8.3	—	25.0

【就学児童】

単位：％

区分	回答者数(件)	不妊治療への支援の拡充	産前・産後の心身のケアの充実	子育て世代の所得の向上	子育て家庭への住宅支援の強化	家事・育児サービスの充実	配偶者との育児・家事・介護などの分担格差の解消	長時間労働の抑制など、就労環境の改善	男性の育児休業取得の推進	育児休業取得後のキャリアアップの支援
全 体	2,393	12.5	8.5	52.1	9.1	9.4	15.6	15.7	7.6	2.8
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない	747	13.0	5.8	48.6	8.4	8.6	16.3	21.3	7.1	4.1
フルタイムの就労・雇用で、産休・育休・介護休業中である	16	25.0	12.5	56.3	18.8	6.3	6.3	12.5	12.5	—
パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない	1,181	11.9	8.5	53.6	9.2	9.2	15.7	13.3	7.9	2.0
パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中である	25	8.0	8.0	64.0	28.0	16.0	12.0	20.0	8.0	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	357	13.4	15.4	54.3	9.0	12.0	14.8	12.6	7.6	2.5
これまで就労したことがない	23	8.7	4.3	56.5	8.7	13.0	8.7	13.0	13.0	—

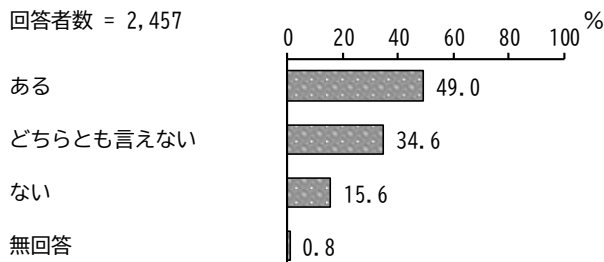
区分	先進的な教育、特色ある取組みなど教育の充実	放課後児童クラブの充実	塾や習い事の費用への助成	大学・専修学校などの高等教育費の負担軽減	社会全体で子どもと子育てを見守り応援する環境	子どもや子ども連れが安心して過ごせる施設の整備	子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境	その他	無回答
全 体	1.6	7.9	15.5	33.2	9.7	6.9	12.0	2.8	20.2
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない	1.9	11.4	16.5	30.5	10.0	4.7	10.8	2.7	20.3
フルタイムの就労・雇用で、産休・育休・介護休業中である	—	—	31.3	37.5	18.8	6.3	12.5	—	12.5
パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中ではない	1.4	7.8	15.0	34.4	10.1	7.6	12.2	2.5	20.6
パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労・雇用で、産休・育休・介護休業中である	4.0	4.0	20.0	32.0	4.0	8.0	8.0	4.0	12.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	2.0	3.1	14.3	36.7	8.7	8.7	13.7	4.5	17.4
これまで就労したことがない	4.3	—	13.0	26.1	8.7	21.7	26.1	—	17.4

問 子育てに関して、不安などを感じることはありますか。  
 (就学前児童：問 40、就学児童：問 30)

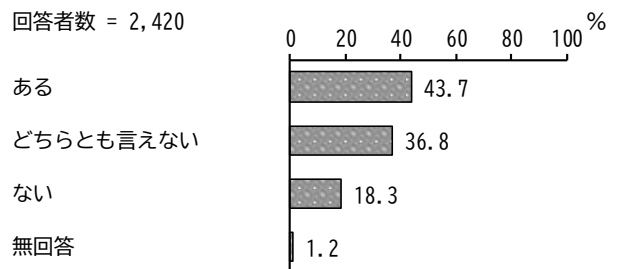
就学前児童では、「ある」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が 34.6%、「ない」の割合が 15.6%となっています。

就学児童では、「ある」の割合が 43.7%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が 36.8%、「ない」の割合が 18.3%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、就学前児童では、子どもの年齢が低いほど、「ある」の割合が高い傾向があります。

就学児童では、大きな差はみられません。

【就学前児童】

単位：%

区分	回答者数 (件)	ある	どちらとも言えない	ない	無回答
全 体	2,457	49.0	34.6	15.6	0.8
0歳	394	56.3	26.6	16.5	0.5
1歳	427	50.8	32.3	16.2	0.7
2歳	330	48.2	34.8	16.4	0.6
3歳	413	46.2	39.7	13.6	0.5
4歳	436	48.9	36.9	12.2	2.1
5歳	434	44.0	36.2	19.4	0.5

【就学児童】

単位：％

区分	回答者数 (件)	ある	ど ち ら と も 言 え な い	ない	無 回 答
全 体	2,420	43.7	36.8	18.3	1.2
6歳（1年生）	460	46.3	35.4	17.4	0.9
7歳（2年生）	382	40.1	42.1	16.8	1.0
8歳（3年生）	381	47.2	34.4	16.3	2.1
9歳（4年生）	395	42.3	36.2	21.3	0.3
10歳（5年生）	317	43.2	39.4	15.8	1.6
11歳（6年生）	417	42.9	34.8	21.1	1.2

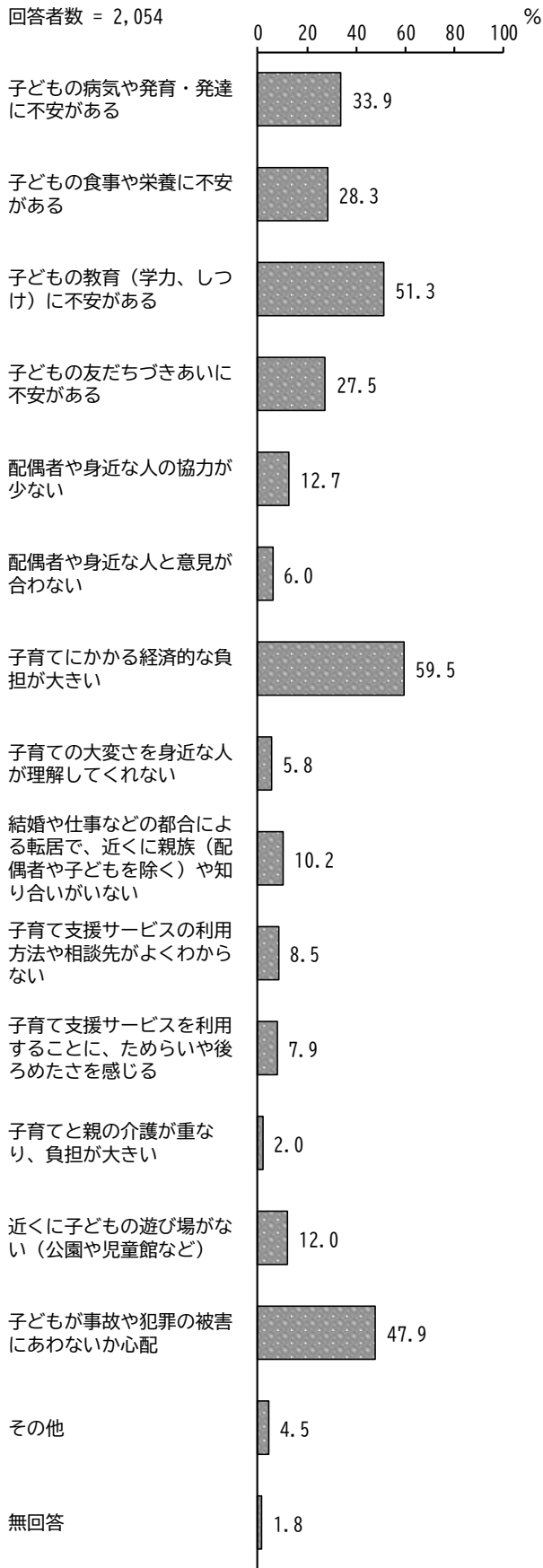
問 問40で「1. ある」又は「2. どちらとも言えない」に○をつけた方にお聞きします。その理由として、当てはまる番号すべてに○を付けてください。  
(就学前児童：問41、就学児童：問31)

就学前児童では、「子育てにかかる経済的な負担が大きい」の割合が59.5%と最も高く、次いで「子どもの教育（学力、しつけ）に不安がある」の割合が51.3%、「子どもが事故や犯罪の被害にあわないか心配」の割合が47.9%となっています。

就学児童では、「子育てにかかる経済的な負担が大きい」の割合が59.4%と最も高く、次いで「子どもの教育（学力、しつけ）に不安がある」の割合が56.6%、「子どもが事故や犯罪の被害にあわないか心配」の割合が46.2%となっています。

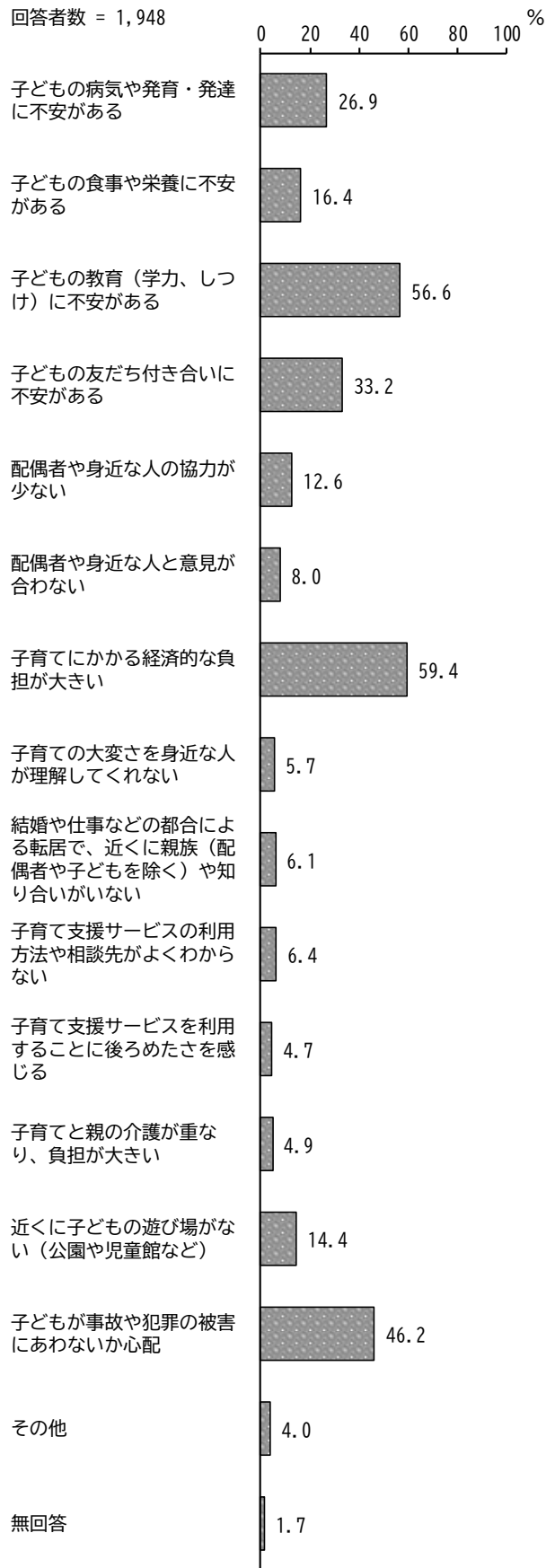
【就学前児童】

回答者数 = 2,054



【就学児童】

回答者数 = 1,948



## 【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、就学前児童では、子どもの年齢が低いほど、「子育てにかかる経済的な負担が大きい」の割合が高い傾向にある一方、年齢が高いほど、「子どもが事故や犯罪の被害にあわないか心配」の割合が高くなっています。

就学児童では、大きな差はみられません。

## 【就学前児童】

単位：%

区分	回答者数(件)	子どもの病気や発育・発達に不安がある	子どもの食事や栄養に不安がある	子どもの教育(学力、しつけ)に不安がある	子どもの友だちつきあいに不安がある	配偶者や身近な人の協力が少ない	配偶者や身近な人と意見が合わない	子育てにかかる経済的な負担が大きい	子育ての大変さを身近な人が理解してくれない
全体	2,054	33.9	28.3	51.3	27.5	12.7	6.0	59.5	5.8
0歳	327	38.8	33.3	52.3	24.2	13.5	6.4	63.9	4.6
1歳	355	34.6	32.7	46.2	21.4	12.7	5.6	62.5	5.6
2歳	274	32.1	27.0	52.2	22.6	14.6	4.4	62.4	5.8
3歳	355	36.3	27.0	53.2	27.6	13.0	6.5	54.1	6.2
4歳	374	29.1	25.1	56.7	34.2	13.1	6.7	60.7	6.1
5歳	348	33.0	25.0	47.1	32.2	9.8	6.3	54.0	6.3

区分	結婚や仕事などの都合による転居で、近くに親族(配偶者や子どもを除く)や知り合いがいない	子育て支援サービスの利用方法や相談先がよくわからない	子育て支援サービスを利用することに、ためらいや後ろめたさを感じる	子育てと親の介護が重なり、負担が大きい	近くに子どもの遊び場がない(公園や児童館など)	子どもが事故や犯罪の被害にあわないか心配	その他	無回答
全体	10.2	8.5	7.9	2.0	12.0	47.9	4.5	1.8
0歳	12.5	10.4	9.5	0.9	11.9	43.7	5.2	1.8
1歳	12.1	9.0	9.3	2.3	11.3	45.6	6.8	0.6
2歳	9.9	8.8	7.7	2.2	9.9	46.7	4.4	1.8
3歳	11.8	8.2	6.8	2.3	14.6	48.7	4.2	1.1
4歳	9.4	8.6	5.9	2.9	12.6	50.0	2.1	2.1
5歳	6.0	5.7	8.6	1.1	10.3	51.7	4.9	3.4



【就学児童】

単位：%

区分	回答者数(件)	子どもの病気や発育・発達に不安がある	子どもの食事や栄養に不安がある	子どもの教育(学力、しつけ)に不安がある	子どもの友だち付き合いに不安がある	配偶者や身近な人の協力が少ない	配偶者や身近な人と意見が合わない	子育てにかかる経済的な負担が大きい	子育ての大変さを身近な人が理解してくれない
全体	1,948	26.9	16.4	56.6	33.2	12.6	8.0	59.4	5.7
6歳(1年生)	376	27.1	20.5	56.4	30.6	13.8	9.6	57.2	7.4
7歳(2年生)	314	28.7	18.2	59.2	31.2	14.0	4.5	56.7	2.9
8歳(3年生)	311	26.0	18.6	55.0	37.9	17.0	8.0	62.7	7.1
9歳(4年生)	310	26.8	13.2	59.7	33.5	9.7	8.7	57.4	4.5
10歳(5年生)	262	26.3	17.2	56.9	32.8	11.5	8.0	58.4	5.0
11歳(6年生)	324	25.9	10.2	53.1	33.3	9.3	7.7	63.6	6.8

区分	結婚や仕事などの都合による転居で、近くに親族(配偶者や子どもを除く)や知り合いがいない	子育て支援サービスの利用方法や相談先がよくわからない	子育て支援サービスを利用することに後ろめたさを感じる	子育てと親の介護が重なり、負担が大きい	近くに子どもの遊び場がない(公園や児童館など)	子どもが事故や犯罪の被害にあわないか心配	その他	無回答
全体	6.1	6.4	4.7	4.9	14.4	46.2	4.0	1.7
6歳(1年生)	7.7	8.0	6.9	4.5	14.1	45.7	4.8	1.6
7歳(2年生)	6.1	5.1	4.8	4.1	12.1	44.3	2.2	1.0
8歳(3年生)	7.7	7.7	4.2	5.1	16.4	50.2	7.1	1.9
9歳(4年生)	4.8	6.1	4.8	5.5	16.1	48.7	2.6	1.6
10歳(5年生)	4.2	6.5	4.2	6.1	16.8	42.7	5.7	1.5
11歳(6年生)	4.9	4.3	2.8	4.3	11.4	46.0	1.9	3.1

【子どもをみてもらえる親族・知人の有無別】

子どもをみてもらえる親族・知人の有無別にみると、就学前児童では、子どもをみてもらえる親族や知人がいずれもない人で、「子育てにかかる経済的な負担が大きい」や「近くに親族や知り合いがいない」、「配偶者や身近な人の協力が少ない」などの項目の割合が最も高くなっています。

就学児童では、子どもをみてもらえる親族や知人がいずれもない人で、「子どもや事故や犯罪の被害にあわないか心配」や、「子どもの友だち付き合いに不安がある」、「配偶者や身近な人の協力が少ない」などの割合が最も高くなっています。

【就学前児童】

単位：%

区分	回答者数(件)	子どもの病気や発育・発達に不安がある	子どもの食事や栄養に不安がある	子どもの教育(学力、しつけ)に不安がある	子どもの友だちつきあいに不安がある	配偶者や身近な人の協力が少ない	配偶者や身近な人と意見が合わない	子育てにかかる経済的な負担が大きい	子育ての大変さを身近な人が理解してくれない
全体	2,054	33.9	28.3	51.3	27.5	12.7	6.0	59.5	5.8
日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	592	35.6	30.7	52.9	31.1	4.4	6.4	58.1	3.4
緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる	1,315	32.6	28.0	52.5	27.2	10.9	5.7	60.0	5.9
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	28	50.0	21.4	67.9	28.6	7.1	7.1	53.6	7.1
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	167	31.7	25.1	50.9	28.7	11.4	6.6	58.7	6.0
いずれもない	267	39.7	31.8	46.4	26.2	34.1	6.7	62.9	10.1

区分	結婚や仕事などの都合による転居で、近くに親族(配偶者や子どもを除く)や知り合いがいない	子育て支援サービスの利用方法や相談先がよくわからない	子育て支援サービスを利用することに、ためらいや後ろめたさを感じる	子育てと親の介護が重なり、負担が大きい	近くに子どもの遊び場がない(公園や児童館など)	子どもが事故や犯罪の被害にあわないか心配	その他	無回答
全体	10.2	8.5	7.9	2.0	12.0	47.9	4.5	1.8
日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	1.4	7.8	6.9	1.4	11.8	47.5	4.6	2.2
緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる	7.0	8.2	8.1	2.1	12.9	49.1	4.6	1.7
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	3.6	10.7	7.1	3.6	32.1	60.7	3.6	-
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	6.0	6.6	7.2	1.8	13.8	49.7	3.0	2.4
いずれもない	38.6	12.4	11.6	3.0	10.1	45.3	3.7	2.2

【就学児童】

単位：%

区分	回答者数(件)	子どもの病気や発育・発達に不安がある	子どもの食事や栄養に不安がある	子どもの教育(学力、しつけ)に不安がある	子どもの友だち付き合いに不安がある	配偶者や身近な人の協力が少ない	配偶者や身近な人と意見が合わない	子育てにかかる経済的な負担が大きい	子育ての大変さを身近な人が理解してくれない
全体	1,948	26.9	16.4	56.6	33.2	12.6	8.0	59.4	5.7
日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	576	24.1	15.1	59.5	31.1	4.0	6.3	57.6	3.6
緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる	1,157	26.1	16.6	57.0	33.2	10.2	8.6	60.1	5.1
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	58	15.5	17.2	60.3	29.3	3.4	3.4	53.4	3.4
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	284	24.3	14.1	60.6	32.4	12.0	7.0	56.7	3.9
いずれもない	294	32.3	17.0	53.1	39.5	30.6	9.9	57.8	11.6

区分	結婚や仕事などの都合による転居で、近くに親族(配偶者や子どもを除く)や知り合いがいない	子育て支援サービスの利用方法や相談先がよくわからない	子育て支援サービスを利用することに後ろめたさを感じる	子育てと親の介護が重なり、負担が大きい	近くに子どもの遊び場がない(公園や児童館など)	子どもが事故や犯罪の被害にあわないか心配	その他	無回答
全体	6.1	6.4	4.7	4.9	14.4	46.2	4.0	1.7
日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	0.5	4.9	2.3	4.0	11.8	42.9	4.9	1.9
緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる	2.2	5.5	5.2	4.4	15.0	47.2	4.0	1.9
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	1.7	1.7	-	5.2	12.1	43.1	-	-
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	3.9	5.6	4.2	4.2	15.8	48.2	2.8	1.4
いずれもない	26.9	11.6	6.8	9.9	15.0	50.3	3.1	1.7

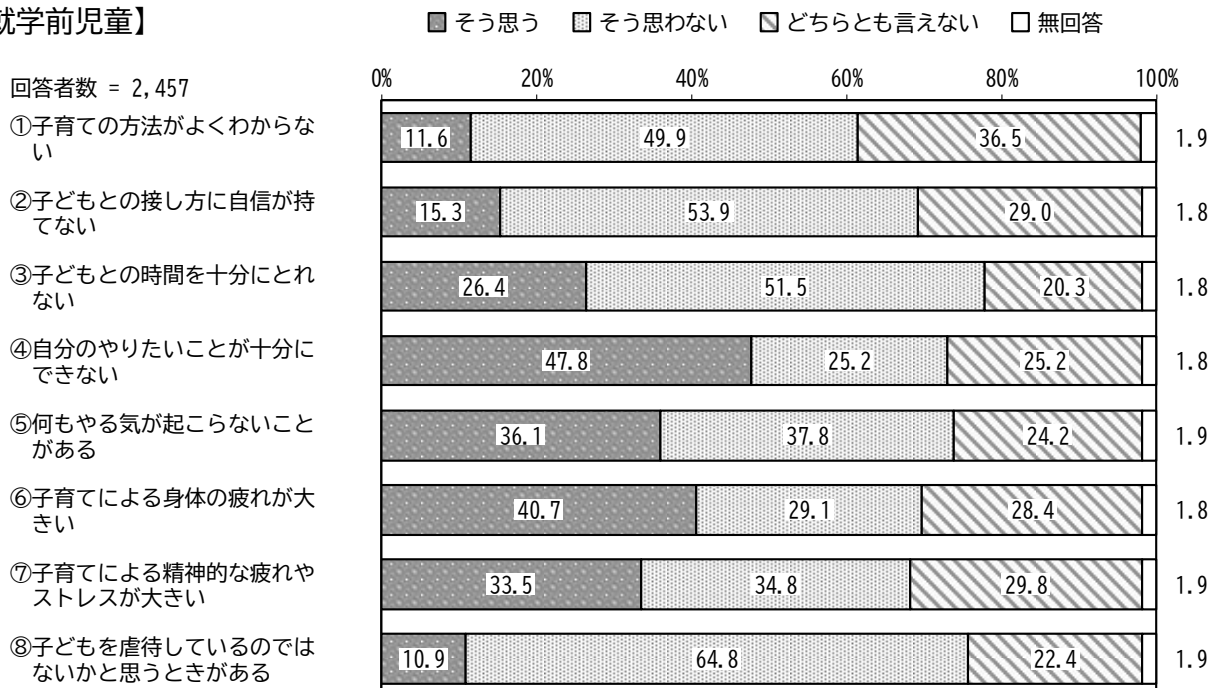
問 子育てをする上で、母親と父親それぞれの体調やお気持ちなどについてお答えください。①～⑧について1つずつ○をつけてください。配偶者の方の欄については、配偶者の方に聞きながら回答してください。(就学前児童：問 42、就学児童：問 32)

(1) 母親

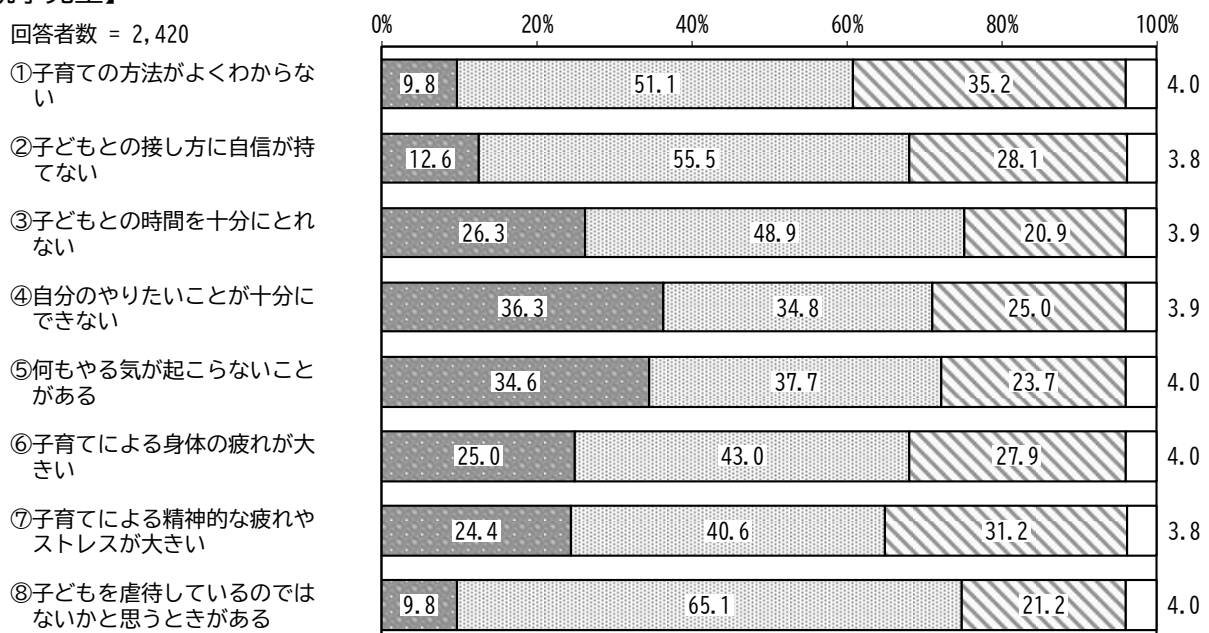
就学前児童では、「自分のやりたいことが十分にできない」と「子育てによる身体の疲れが大きい」で、「そう思う」の割合が4割を超えています。また、「子育ての方法がわからない」や「子どもを虐待しているのではないかと思うときがある」の、「そう思う」の割合は低くなっています。

就学児童では、「自分のやりたいことが十分にできない」と「何もやる気が起こらないことがある」で、「そう思う」の割合が3割を超えています。また、「子育ての方法がわからない」や「子どもを虐待しているのではないかと思うときがある」の、「そう思う」の割合は1割以下と低くなっています。

【就学前児童】



【就学児童】

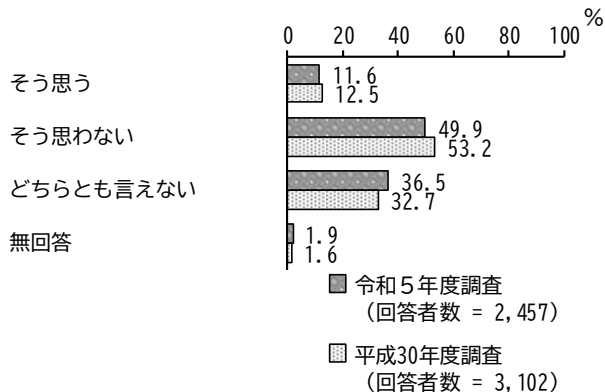


### ①子育ての方法がよくわからない

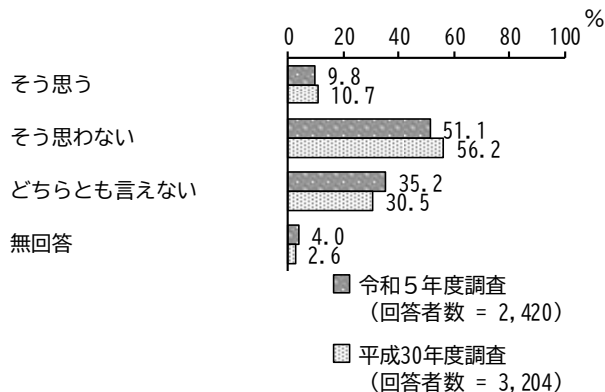
就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、平成30年度調査と比較すると、「そう思う」、「そう思わない」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】

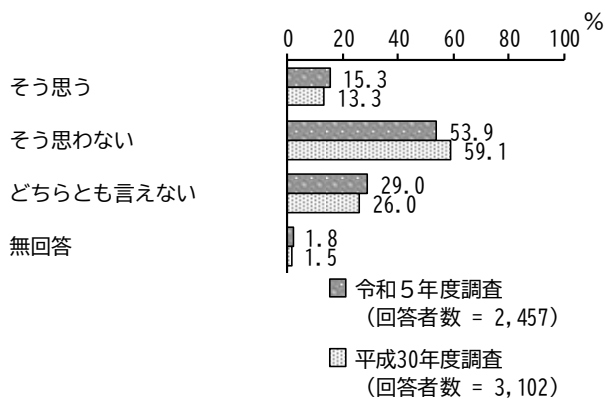


### ②子どもとの接し方に自信が持てない

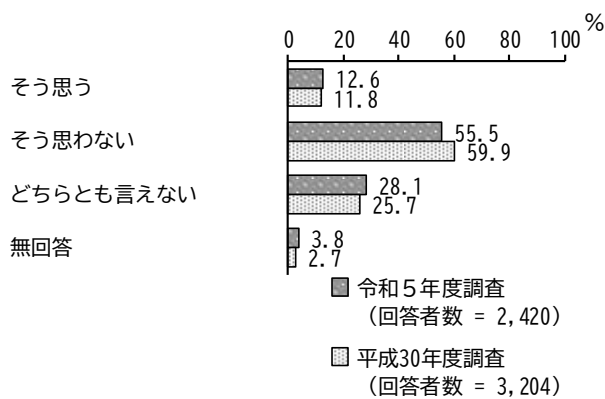
就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合が減少しています。

就学児童では、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】

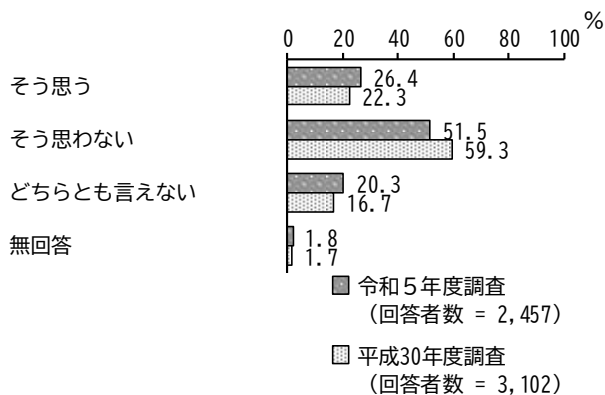


### ③子どもとの時間を十分にとれない

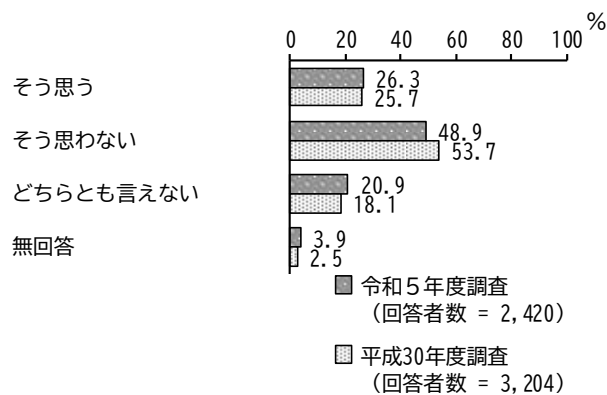
就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合が減少しています。

就学児童では、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】

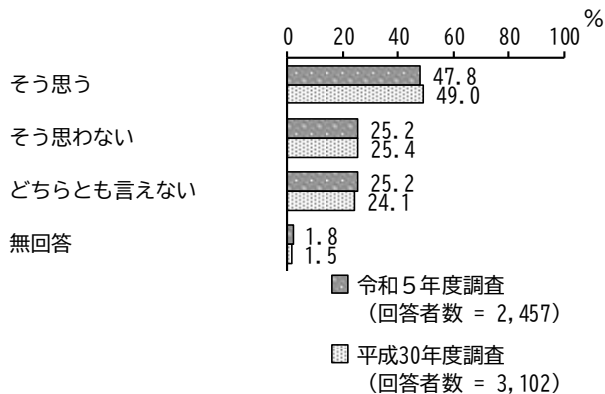


### ④自分のやりたいことが十分にできない

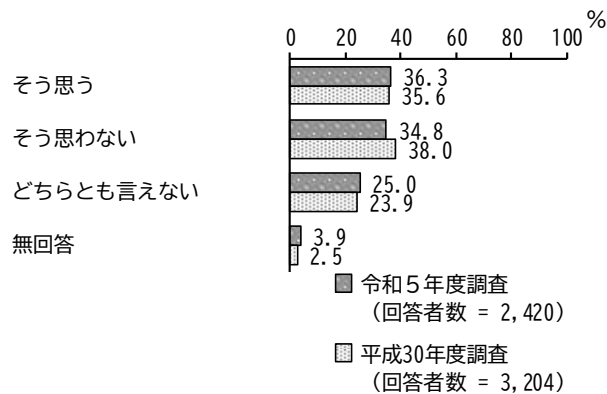
就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】

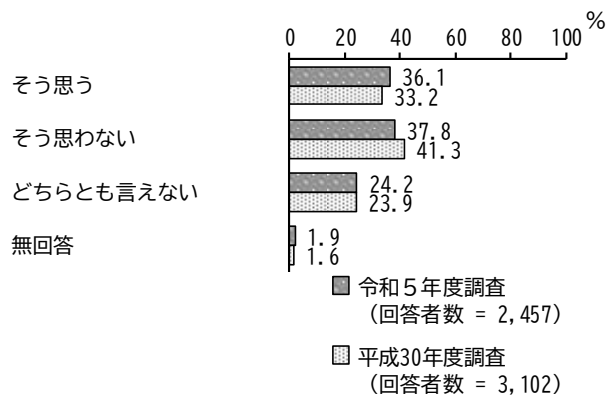


### ⑤何もやる気が起こらないことがある

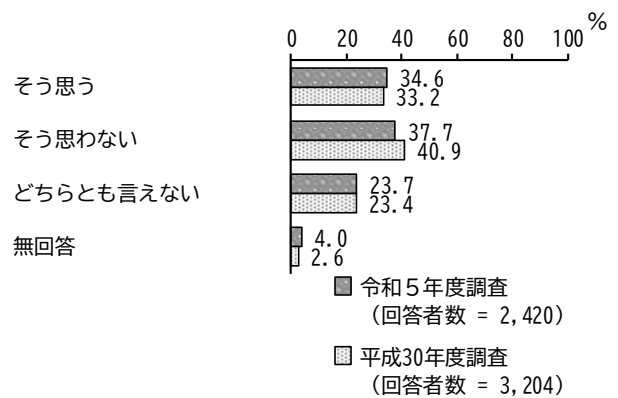
就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】

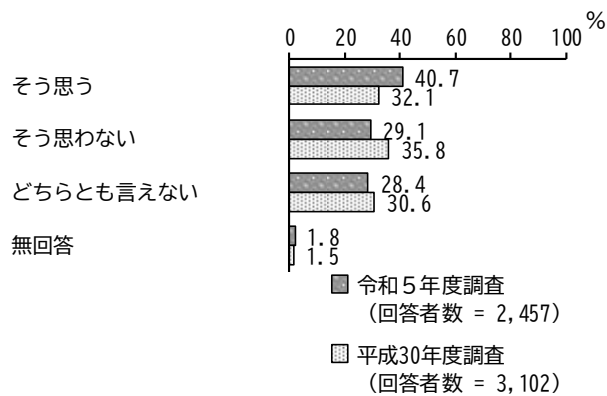


### ⑥子育てによる身体の疲れが大きい

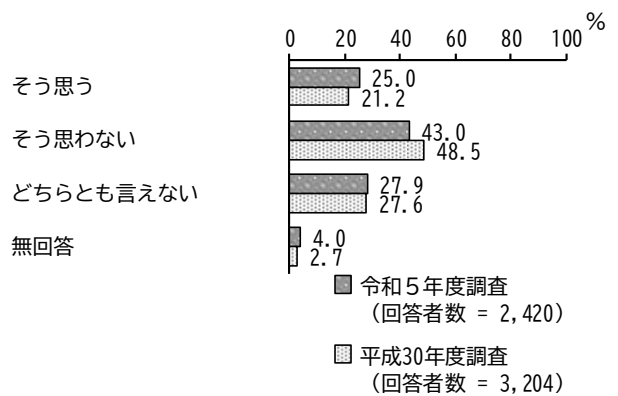
就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加しています。

就学児童では、平成30年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】

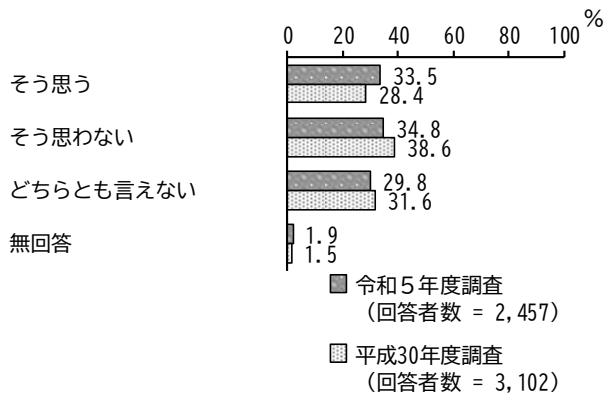


⑦子育てによる精神的な疲れやストレスが大きい

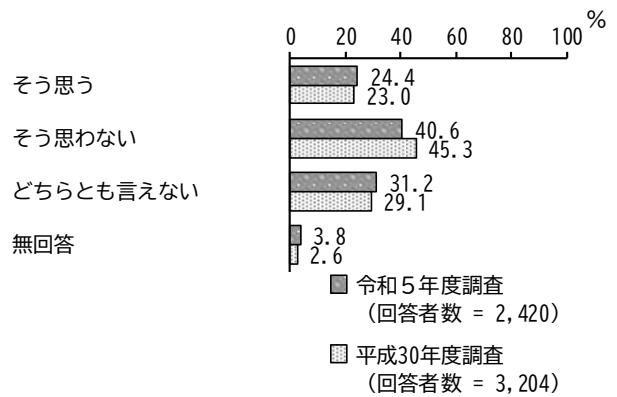
就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加しています。

就学児童では、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】

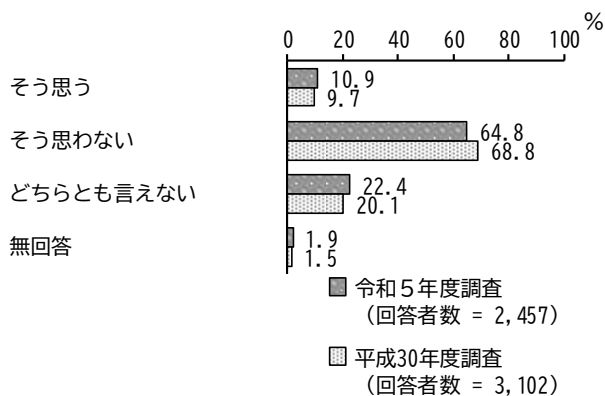


⑧子どもを虐待しているのではないかとと思うときがある

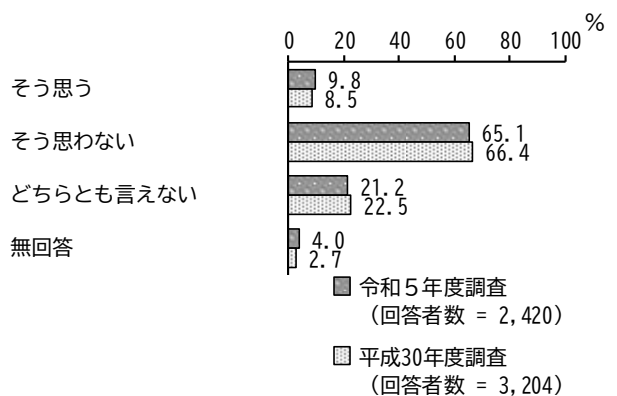
就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】



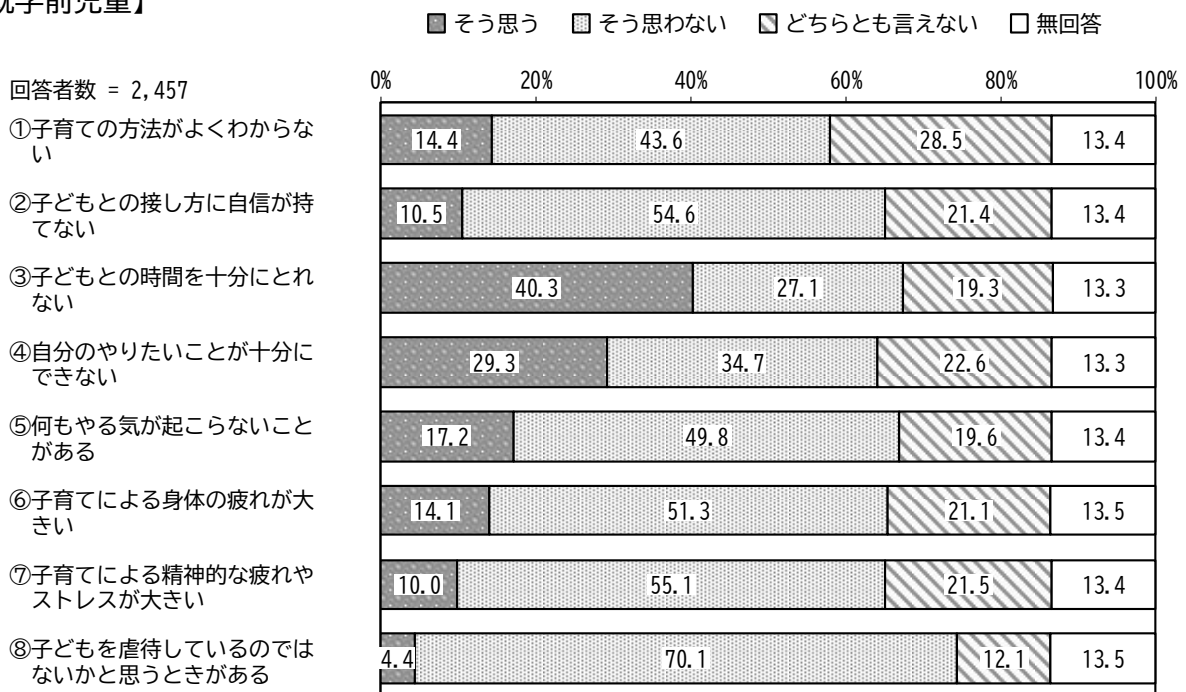


## (2) 父親

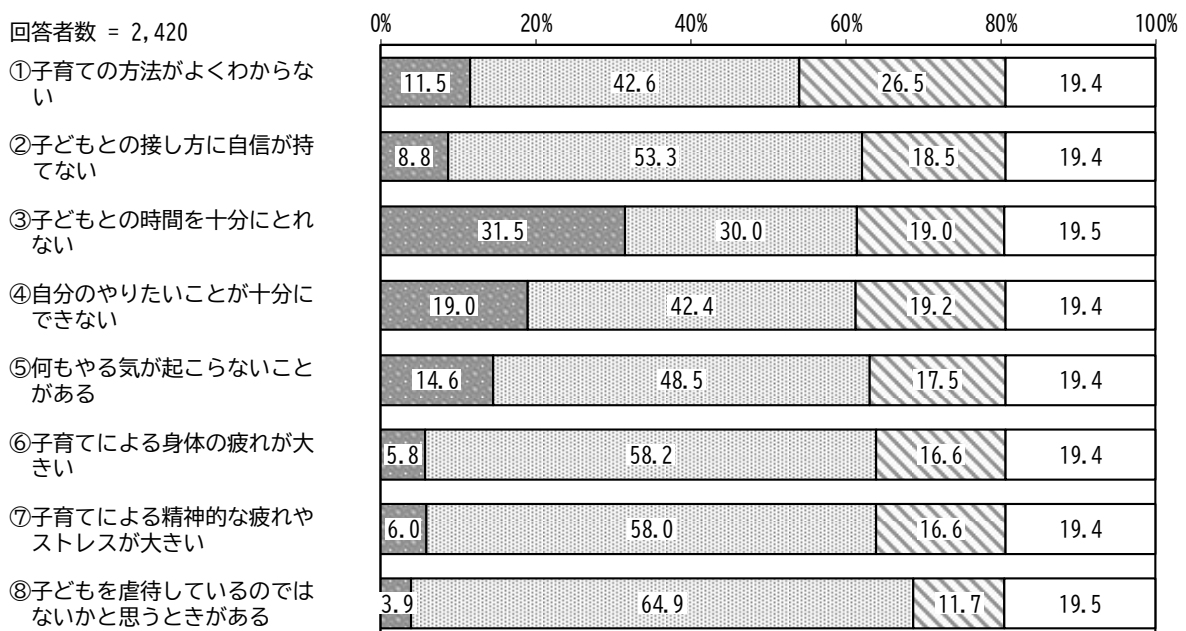
就学前児童では、「子どもとの時間を十分にとれない」や「自分のやりたいことが十分にできない」で、「そう思う」の割合が高くなっています。一方、「子育てによる身体の疲れが大きい」や「子育てによる精神的な疲れが大きい」の「そう思う」の割合は、母親と比べて低くなっています。

就学児童では、「子どもとの時間を十分にとれない」や「自分のやりたいことが十分にできない」で、「そう思う」の割合が高くなっています。一方、「子育てによる身体の疲れが大きい」や「子育てによる精神的な疲れが大きい」の「そう思う」の割合は、母親と比べて低くなっています。

### 【就学前児童】



### 【就学児童】

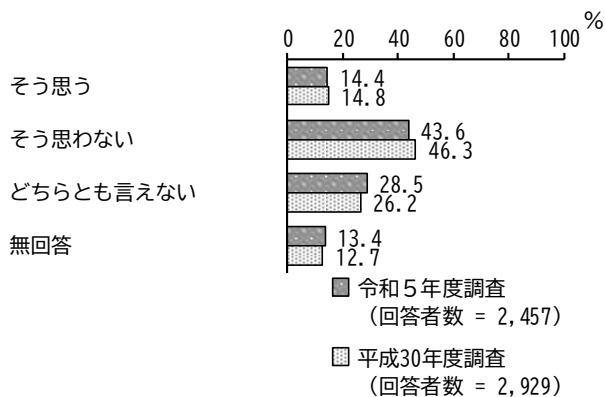


### ①子育ての方法がよくわからない

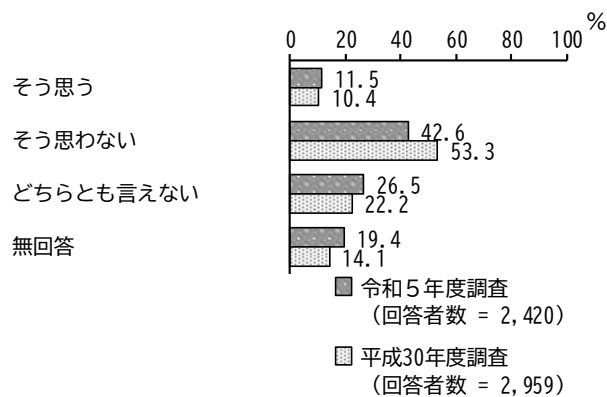
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】

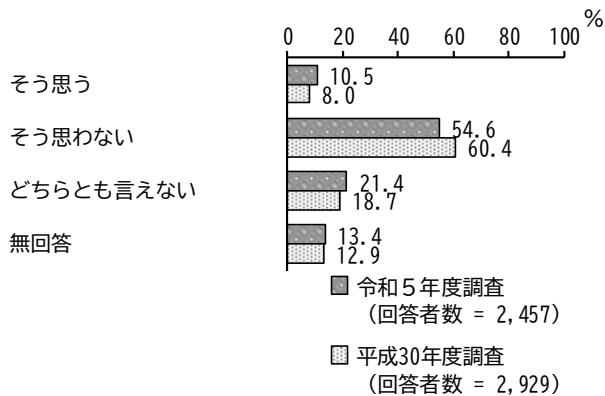


### ②子どもとの接し方に自信が持てない

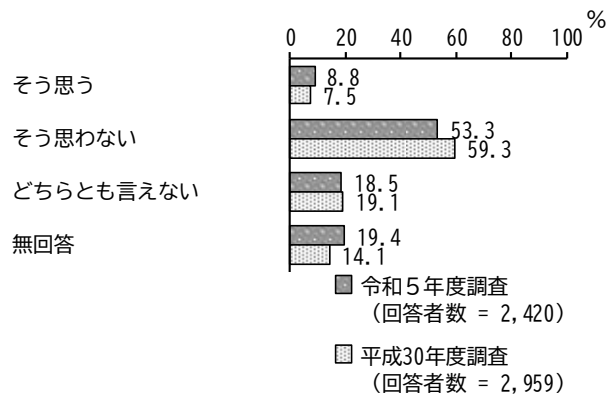
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合が減少しています。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】

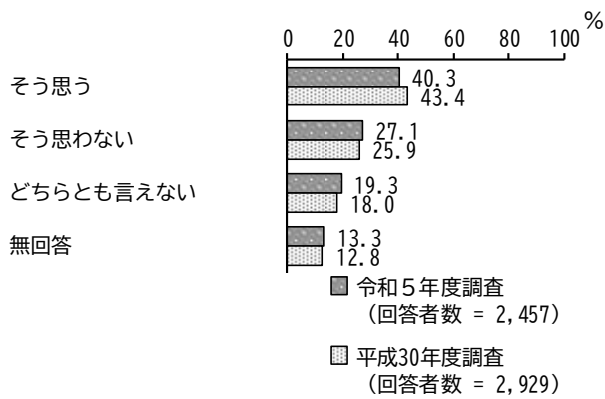


### ③子どもとの時間を十分にとれない

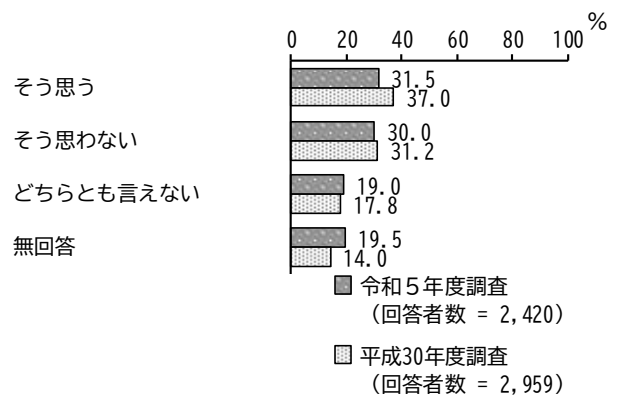
就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、平成30年度調査と比較すると、「そう思う」、「そう思わない」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】

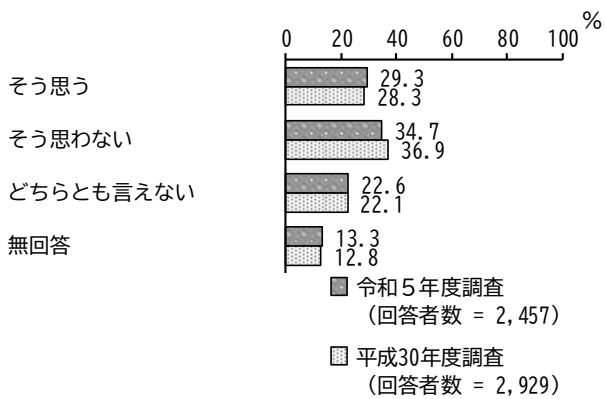


### ④自分のやりたいことが十分にできない

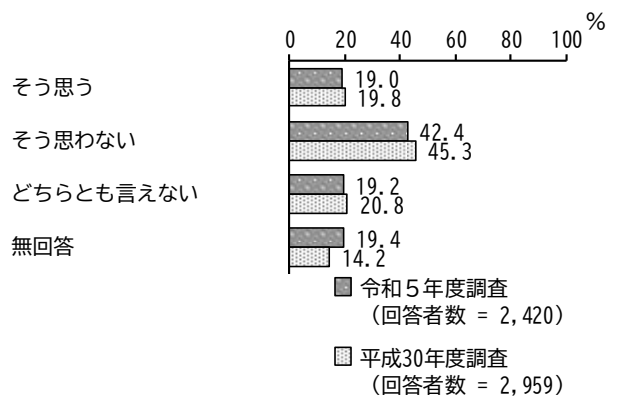
就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】

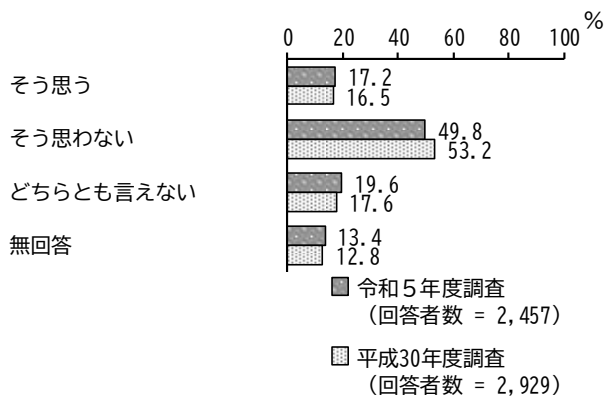


### ⑤何もやる気が起こらないことがある

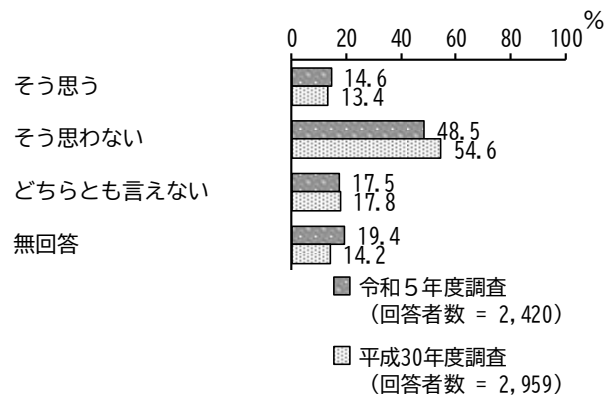
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】

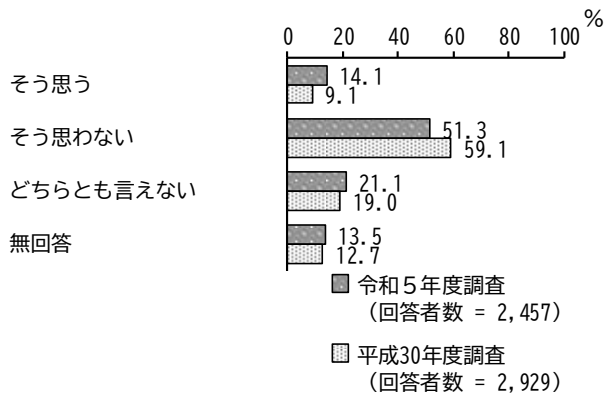


### ⑥子育てによる身体の疲れが大きい

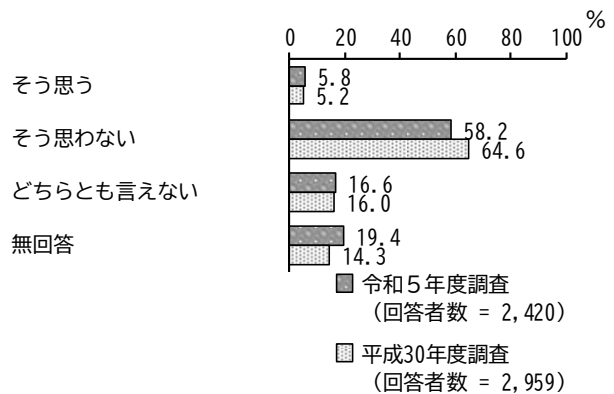
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合が減少しています。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】

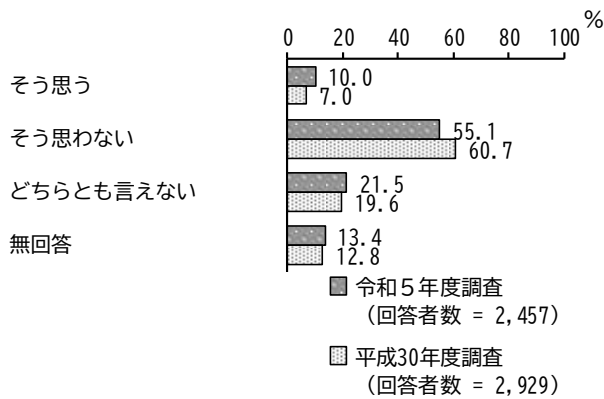


⑦子育てによる精神的な疲れやストレスが大きい

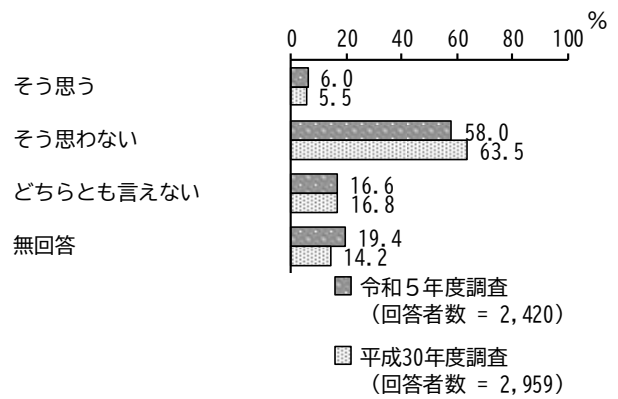
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合が減少しています。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】

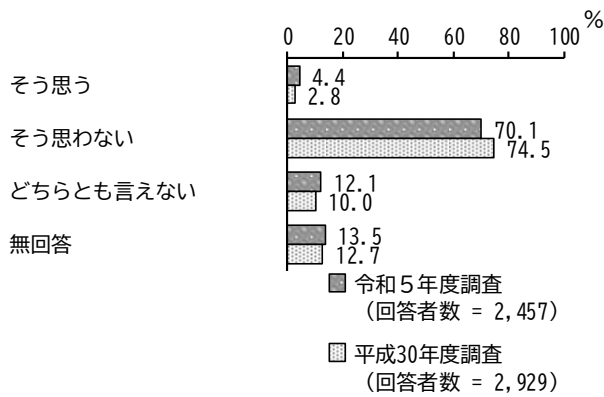


⑧子どもを虐待しているのではないかとと思うときがある

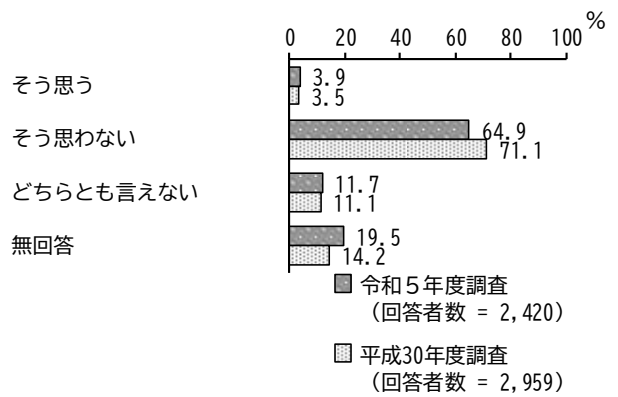
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】



問 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。（就学前児童：問43、就学児童：問33）

就学前児童では、「いる／ある」の割合が95.4%、「いない／ない」の割合が4.1%となっています。

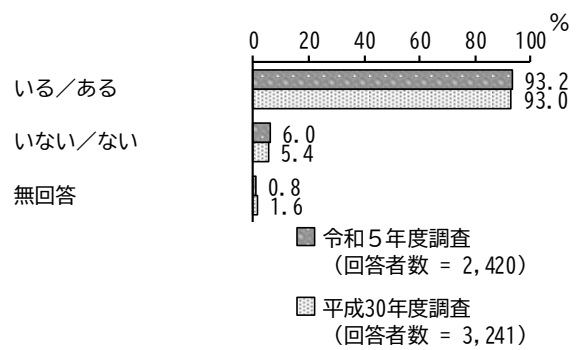
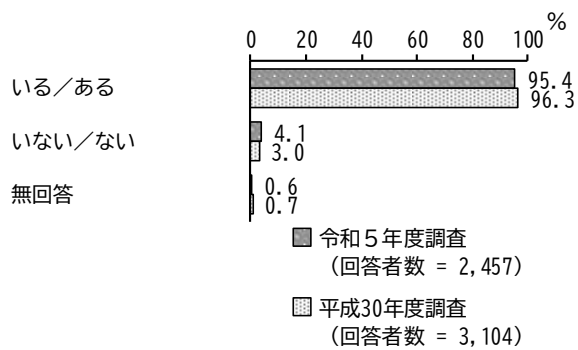
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、「いる／ある」の割合が93.2%、「いない／ない」の割合が6.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】

【就学児童】



問 問 43 で「1. いる／ある」に○をつけた方にお聞きします。  
 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。  
 （就学前児童：問 44、就学児童：問 34）

就学前児童では、「配偶者」の割合が 81.2%と最も高く、次いで「祖父母などの親族」の割合が 79.8%、「友人や知人」の割合が 63.1%となっています。

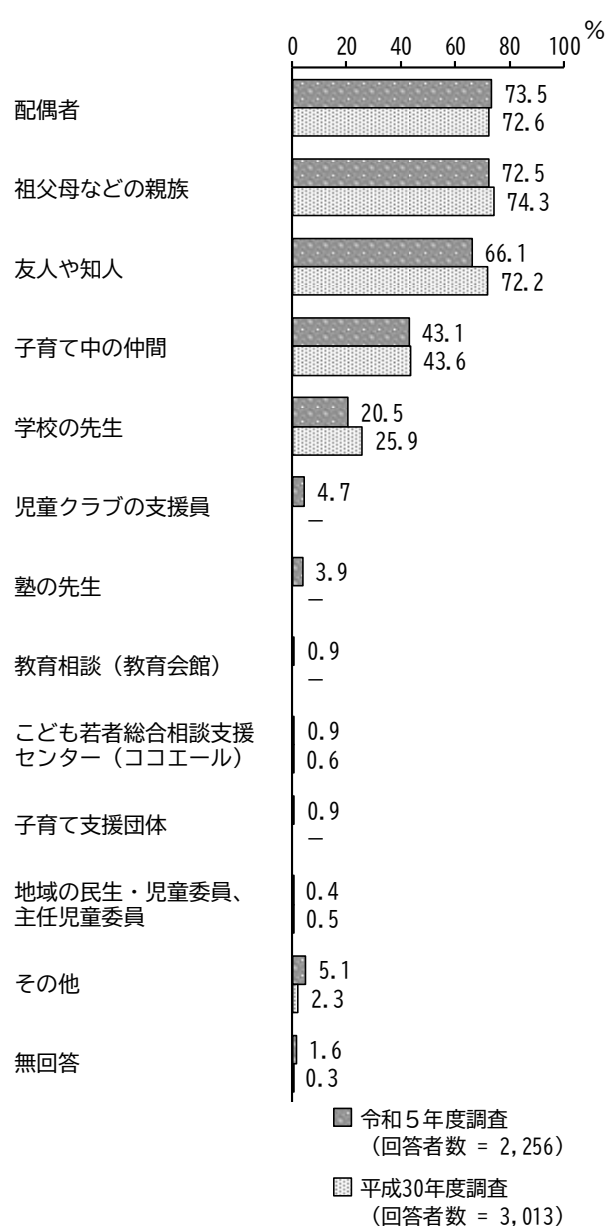
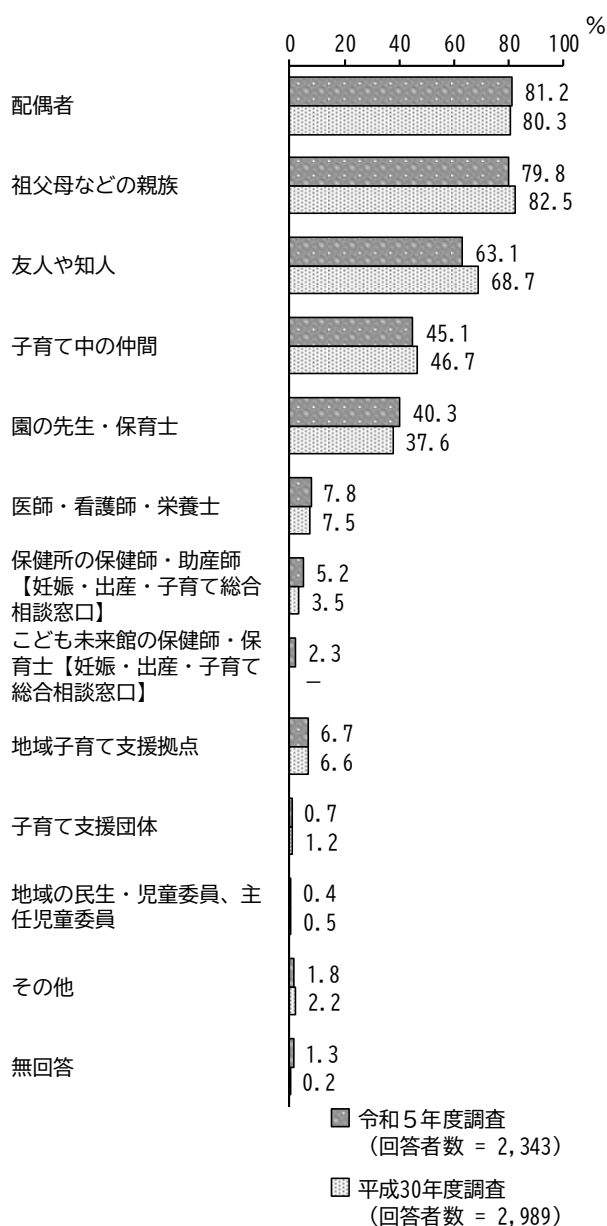
平成 30 年度調査と比較すると、「友人や知人」の割合が減少しています。

就学児童では、「配偶者」の割合が 73.5%と最も高く、次いで「祖父母などの親族」の割合が 72.5%、「友人や知人」の割合が 66.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「友人や知人」「学校の先生」の割合が減少しています。

【就学前児童】

【就学児童】



※就学前児童の前回調査では、「こども未来館の保健師・保育士【妊娠・出産・子育て総合相談窓口】」の選択肢はありませんでした。

※就学児童の前回調査では、「児童クラブの支援員」「塾の先生」「教育相談（教育会館）」「子育て支援団体」の選択肢はありませんでした。

## (10) 個別の子育て支援施策に関することについて

問 あなたは普段、子育てに関する情報はどこから入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、「9. WEB サイト」[10. SNS]に○をつけた方は、( ) 内でよく利用するものすべてに○をつけてください。  
(就学前児童：問 45、就学児童：問 35)

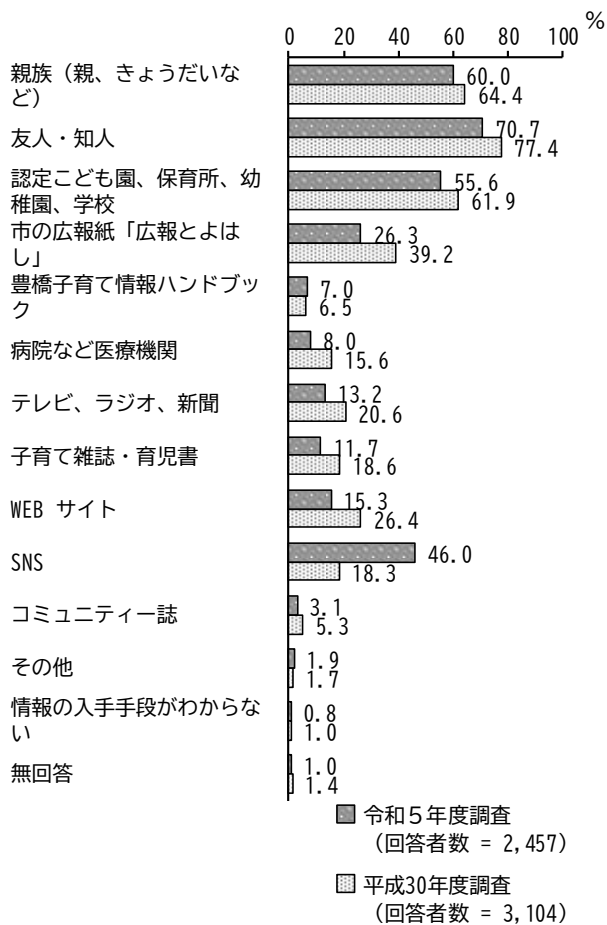
就学前児童では、「友人・知人」の割合が 70.7%と最も高く、次いで「親族（親、きょうだいなど）」の割合が 60.0%、「認定こども園、保育所、幼稚園、学校」の割合が 55.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「SNS」の割合が増加しています。一方、「友人・知人」「認定こども園、保育所、幼稚園、学校」「市の広報紙「広報とよはし」「病院など医療機関」「テレビ、ラジオ、新聞」「子育て雑誌・育児書」「WEB サイト」の割合が減少しています。

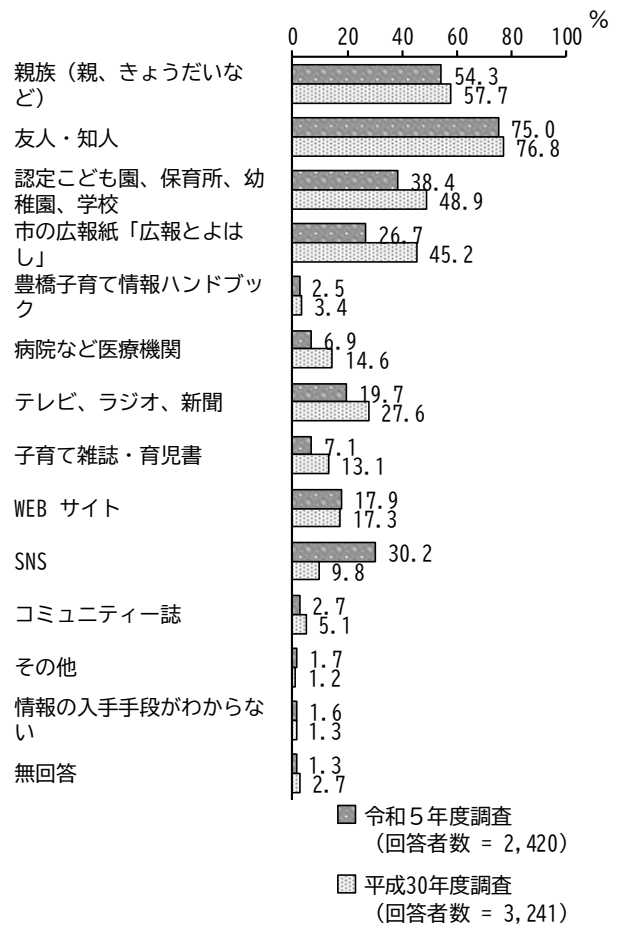
就学児童では、「友人・知人」の割合が 75.0%と最も高く、次いで「親族（親、きょうだいなど）」の割合が 54.3%、「認定こども園、保育所、幼稚園、学校」の割合が 38.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「SNS」の割合が増加しています。一方、「認定こども園、保育所、幼稚園、学校」「市の広報紙「広報とよはし」「病院など医療機関」「テレビ、ラジオ、新聞」「子育て雑誌・育児書」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】





### 【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、就学前児童では、子どもの年齢が低いほど、「SNS」の割合が高い傾向があります。一方、年齢が高いほど、「広報とよはし」の割合が低くなる傾向があります。

就学児童では、子どもの年齢が低いほど、「SNS」の割合が高くなる傾向があります。

### 【就学前児童】

単位：％

区分	回答者数(件)	親族(親、きょうだいなど)	友人・知人	学校 認定こども園、保育所、幼稚園、	市の広報紙「広報とよはし」	豊橋子育て情報ハンドブック	病院など医療機関	テレビ、ラジオ、新聞	子育て雑誌・育児書	WEBサイト	SNS	コミュニティー誌	その他	情報の入手手段がわからない	無回答
全体	2,457	60.0	70.7	55.6	26.3	7.0	8.0	13.2	11.7	15.3	46.0	3.1	1.9	0.8	1.0
0歳	394	57.4	71.3	37.3	30.7	8.6	7.1	8.4	16.2	23.6	60.9	3.3	3.8	0.8	0.5
1歳	427	64.4	67.4	53.2	29.0	10.8	8.9	15.9	11.2	17.8	53.9	3.3	2.1	0.2	0.7
2歳	330	60.6	65.8	57.3	25.8	3.6	8.2	11.2	11.5	15.5	50.9	3.3	1.8	1.2	0.9
3歳	413	58.6	73.4	62.7	22.0	6.8	9.9	12.6	11.6	12.6	40.9	1.9	1.9	0.7	0.5
4歳	436	58.3	69.0	60.1	24.8	5.0	7.1	15.1	10.1	11.0	35.8	3.9	0.9	0.9	2.1
5歳	434	60.1	76.0	62.2	25.1	6.7	6.9	15.0	9.7	12.0	37.1	3.0	1.2	0.9	1.2

### 【就学児童】

単位：％

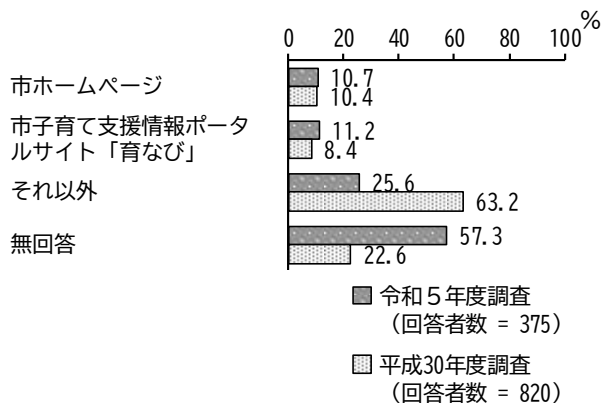
区分	回答者数(件)	親族(親、きょうだいなど)	友人・知人	学校 認定こども園、保育所、幼稚園、	市の広報紙「広報とよはし」	豊橋子育て情報ハンドブック	病院など医療機関	テレビ、ラジオ、新聞	子育て雑誌・育児書	WEBサイト	SNS	コミュニティー誌	その他	情報の入手手段がわからない	無回答
全体	2,420	54.3	75.0	38.4	26.7	2.5	6.9	19.7	7.1	17.9	30.2	2.7	1.7	1.6	1.3
6歳 (1年生)	460	56.5	73.5	48.7	27.8	4.1	7.0	17.2	6.1	18.9	38.0	1.7	1.7	1.3	0.4
7歳 (2年生)	382	51.6	71.7	42.9	30.4	2.6	6.8	20.2	8.4	19.1	32.2	2.9	2.1	1.3	1.6
8歳 (3年生)	381	55.1	76.1	36.0	25.5	2.6	6.8	18.1	6.8	17.1	27.6	2.4	2.1	1.6	1.0
9歳 (4年生)	395	54.9	78.7	33.2	22.5	2.5	3.3	19.0	6.8	18.5	31.4	2.8	1.0	1.8	1.5
10歳 (5年生)	317	54.6	74.8	37.5	28.7	1.6	9.1	22.7	6.3	17.7	26.8	3.2	1.3	1.9	1.3
11歳 (6年生)	417	54.2	77.2	30.2	26.6	1.2	8.9	23.3	7.2	16.1	23.3	3.4	1.7	1.7	1.7

## ア WEB サイト

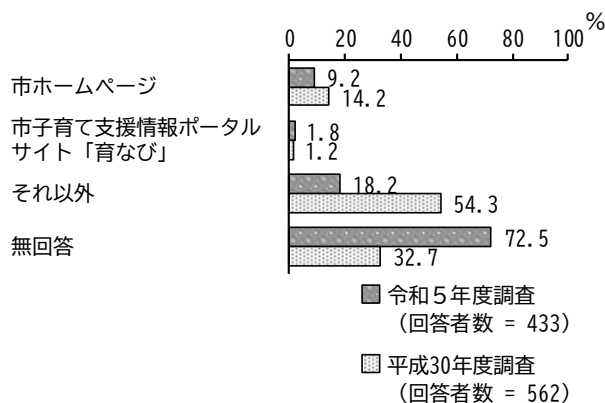
就学前児童では、「市ホームページ」が10.7%、「市子育て支援方法ポータルサイト「育なび」」が11.2%となっています。

就学児童では、「市ホームページ」が9.2%、「市子育て支援方法ポータルサイト「育なび」」が1.8%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



## イ SNS

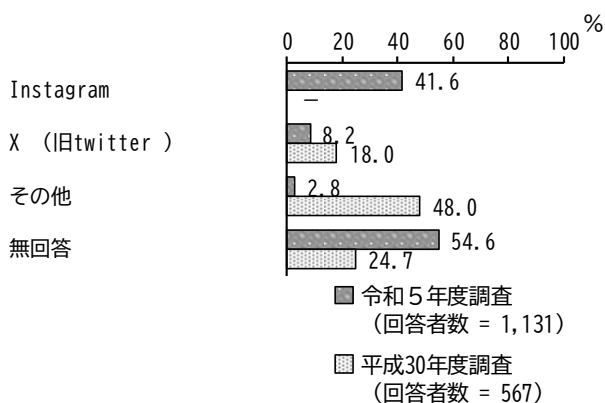
就学前児童では、「Instagram」の割合が41.6%、「X (旧twitter)」の割合が8.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「X (旧twitter)」の割合が減少しています。

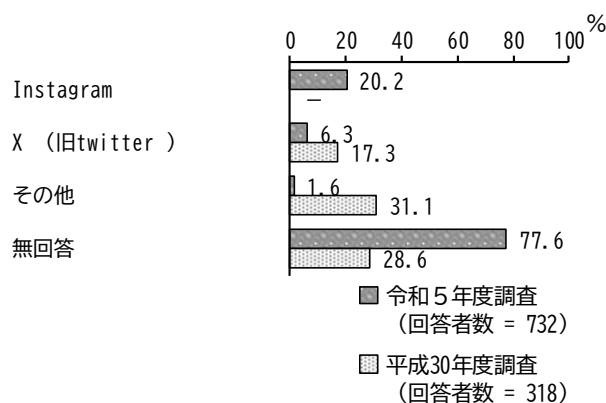
就学児童では、「Instagram」の割合が20.2%、「X (旧twitter)」の割合が6.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「X (旧twitter)」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】



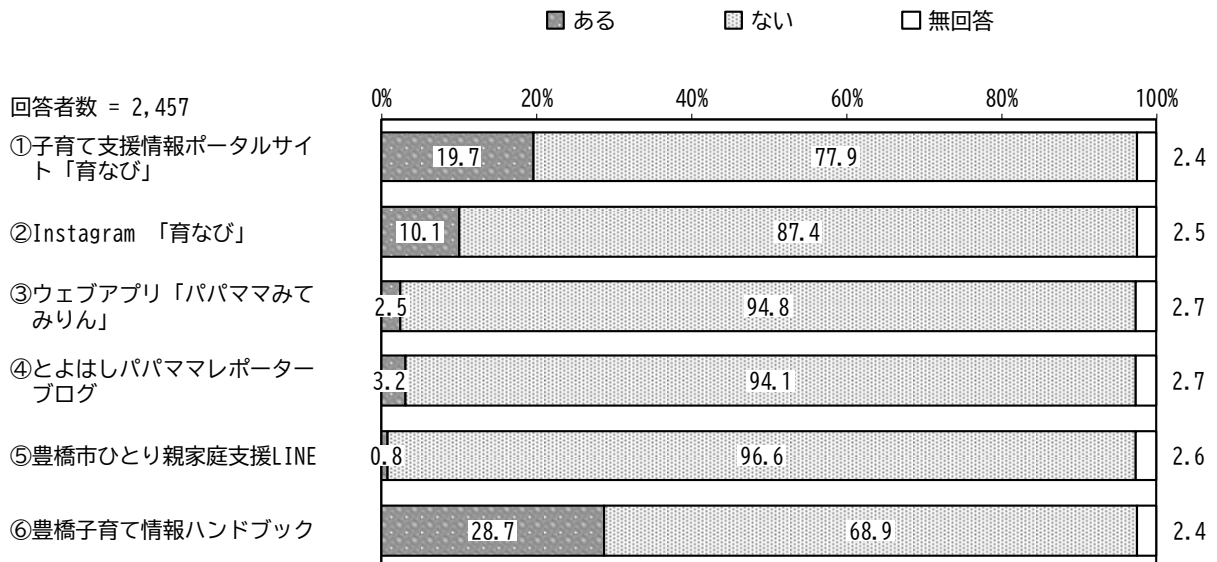
※前回調査では、「Instagram」の選択肢はありませんでした。

問 次の豊橋市の子育てに関する情報提供ツールの利用（閲覧、フォローなど）について、当てはまる番号いずれかに○をつけてください。  
（就学前児童：問 46、就学児童：問 36）

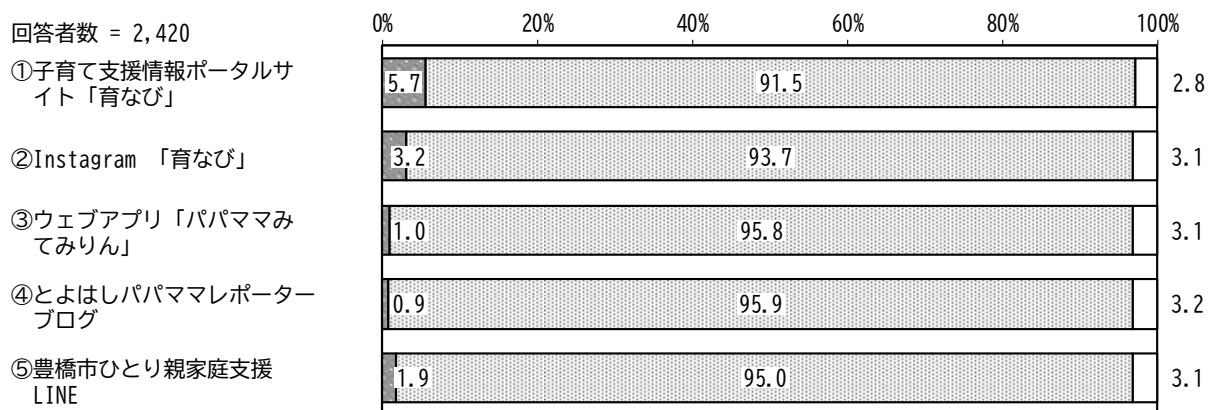
就学前児童では、「子育て情報ハンドブック」や「子育て支援情報ポータルサイト「育なび」」以外の割合が低くなっています。

就学児童では、いずれの情報提供ツールの利用割合も低くなっています。

【就学前児童】



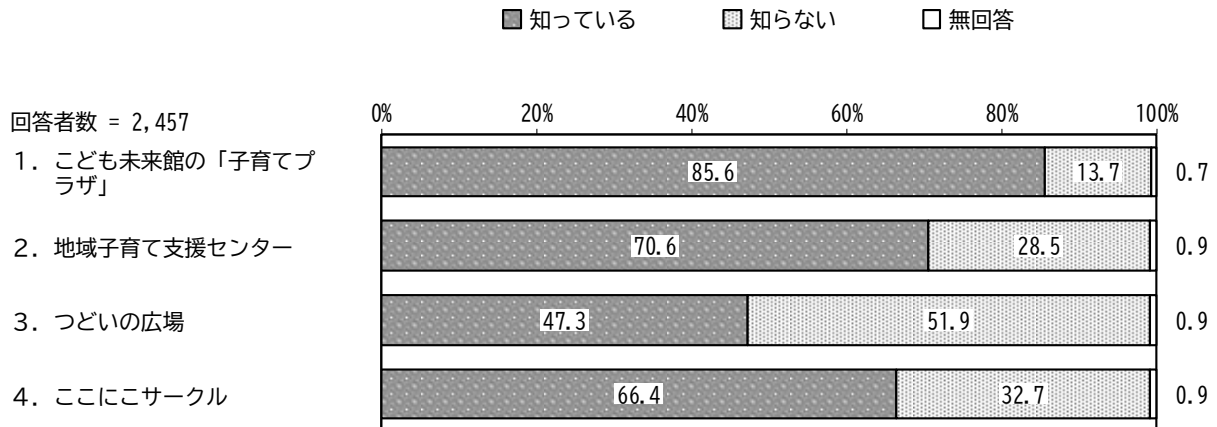
【就学児童】



問 あて名のお子さんの「地域子育て支援拠点事業」（0～3歳の親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）について、（1）～（3）のそれぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。（就学前児童：問47）

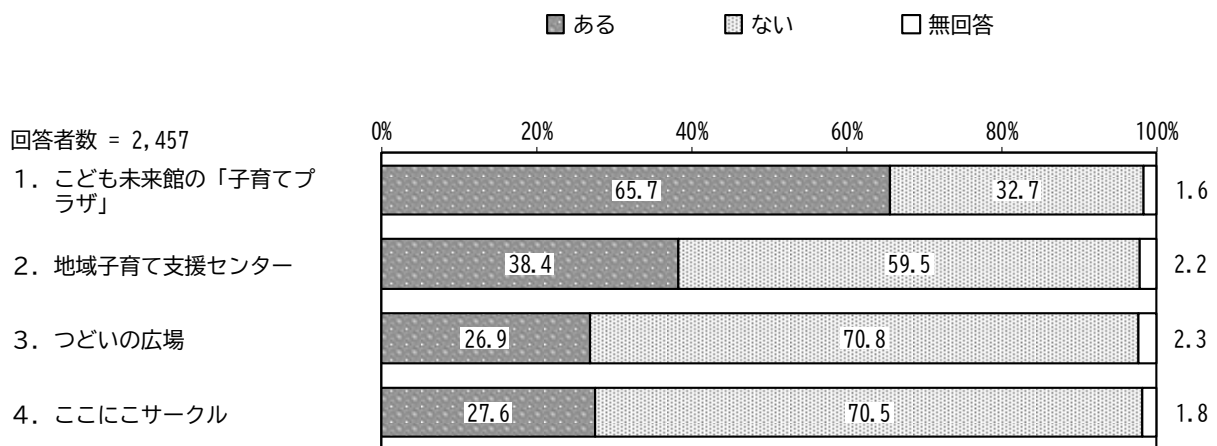
（1）認知

「子育てプラザ」、「地域子育て支援センター」、「ここにこサークル」の順で、「知っている」の割合が高くなっています。



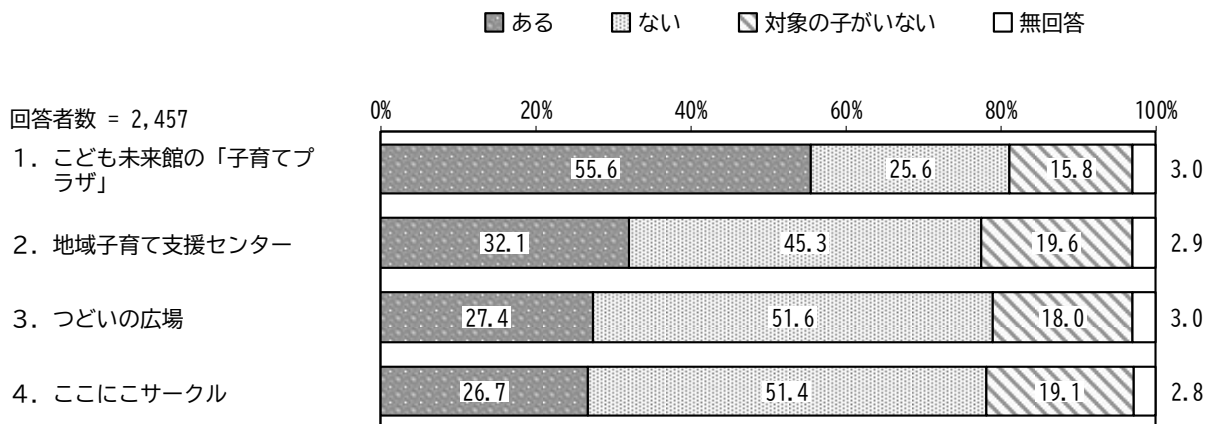
（2）利用経験

「子育てプラザ」、「地域子育て支援センター」の順で、「ある」の割合が高くなっています。



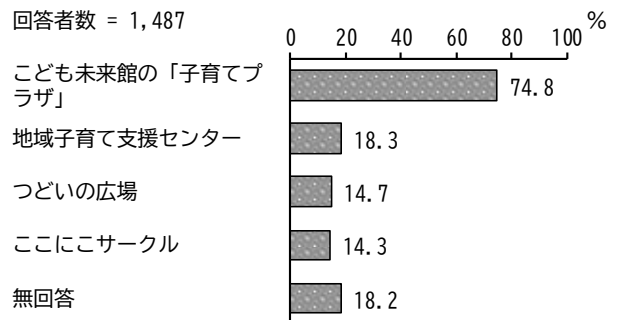
### (3) 利用希望

「子育てプラザ」、「地域子育て支援センター」の順で、「ある」の割合が高くなっています。



問 問 47 (3) で「1. ある」に○をつけた方にお聞きします。  
 希望する事業に○をつけ、それぞれの希望する利用回数(頻度)を〔 〕内に記入してください。(就学前児童：問 48)

「こども未来館の「子育てプラザ」の割合が74.8%と最も高く、次いで「地域子育て支援センター」の割合が18.3%、「つどいの広場」の割合が14.7%となっています。



問 問 47 (3) で「ない」に○をつけた方にお聞きします。  
 利用希望がない理由を記入してください。  
 (就学前児童：問 49)

#### 主な意見

- ・時間がないから
- ・時間が合わないから
- ・仕事をしていて、行けないから
- ・家から遠いから
- ・保育園やこども園などにすでに通っているから
- ・よく知らないから
- ・必要ないから など

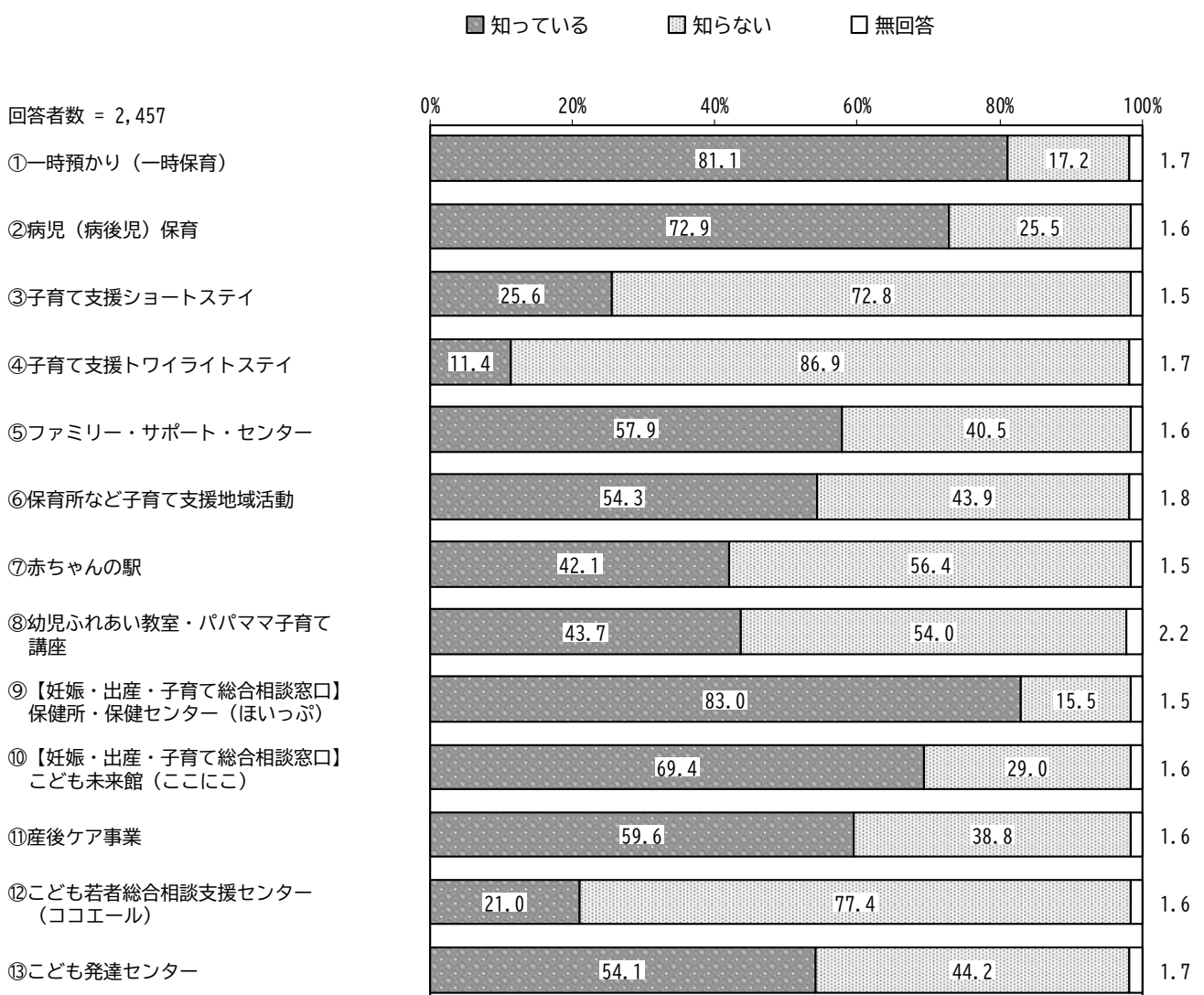
問 次の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。次の事業ごとに、(1)～(3)のそれぞれについて、当てはまる番号いずれかに○をつけてください。  
(就学前児童：問 50、就学児童：問 37)

(1) 認知

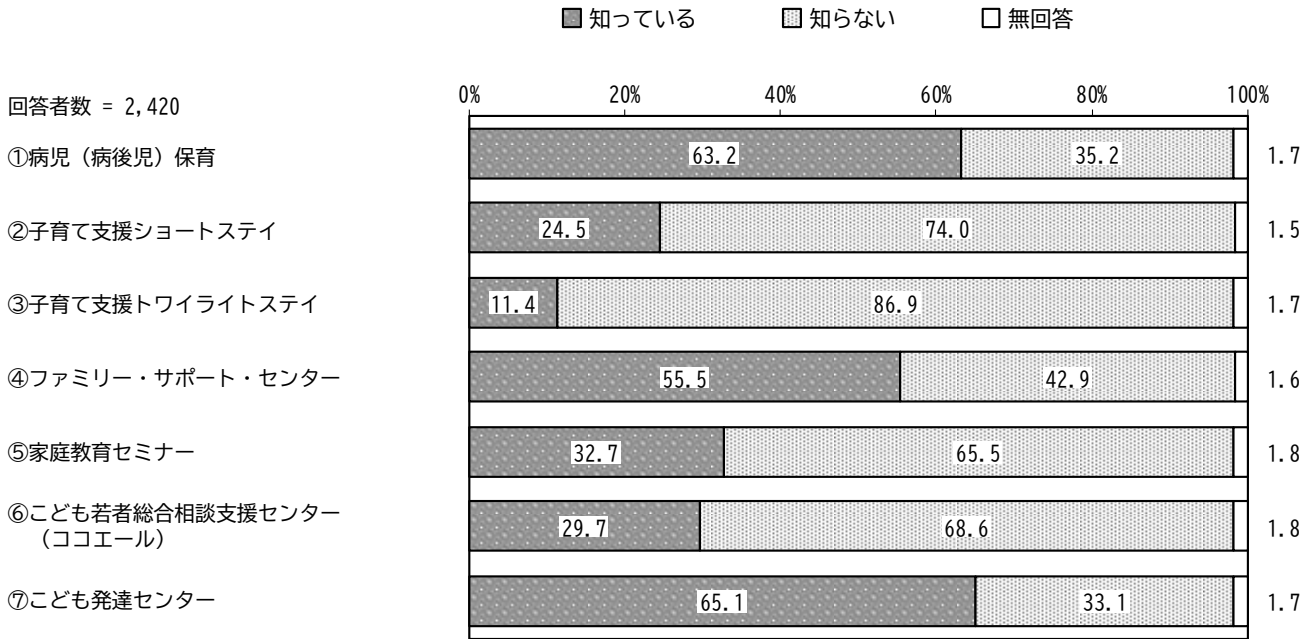
就学前児童では、『⑨【妊娠・出産・子育て総合相談窓口】保健所・保健センター(ほいっぴ)』、『①一時預かり(一時保育)』、『②病児(病後児)保育』の順で、「知っている」の割合が高くなっています。

就学児童では、『③子育て支援トワイライトステイ』で「知らない」の割合が高くなっています。一方、『⑦こども発達センター』で「知っている」の割合が高くなっています。

【就学前児童】



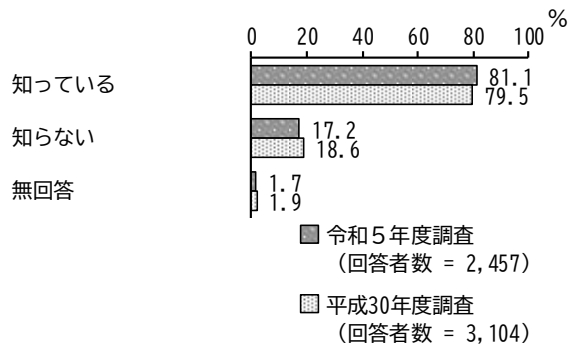
## 【就学児童】



### ア 一時預かり（一時保育）

就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

#### 【就学前児童】

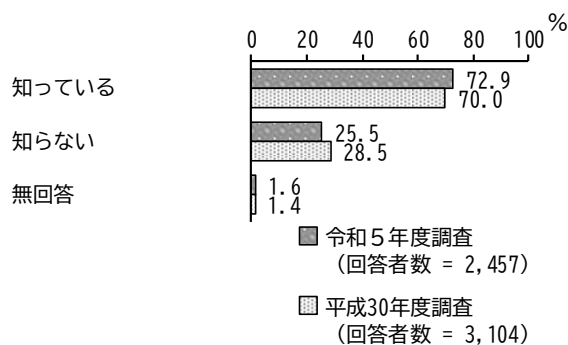


### イ 病児（病後児）保育

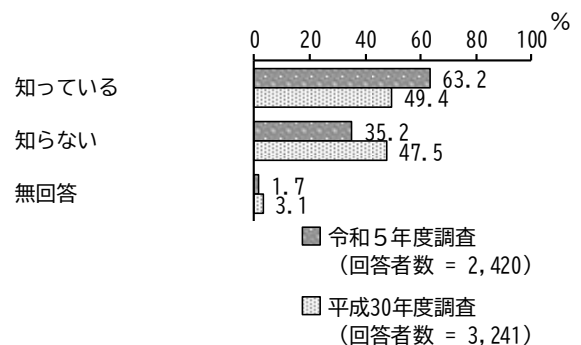
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。

#### 【就学前児童】



#### 【就学児童】

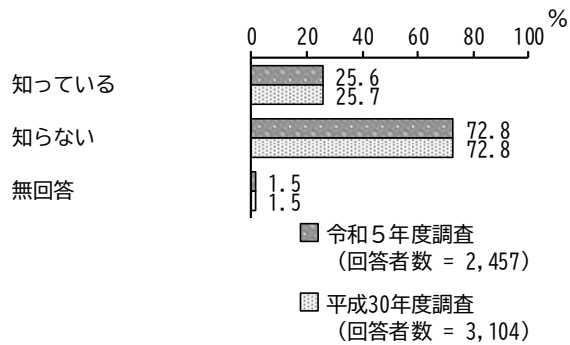


## ウ 子育て支援ショートステイ

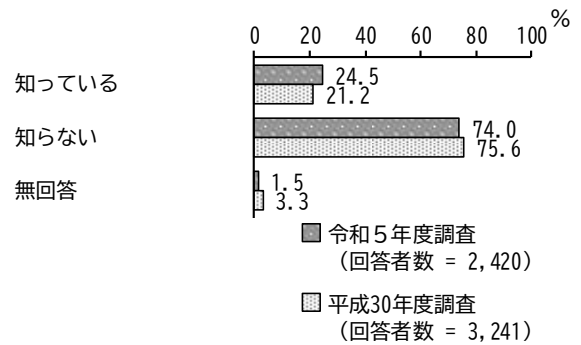
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】

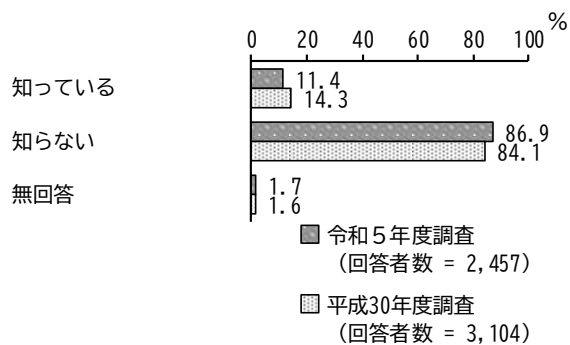


## エ 子育て支援トワイライトステイ

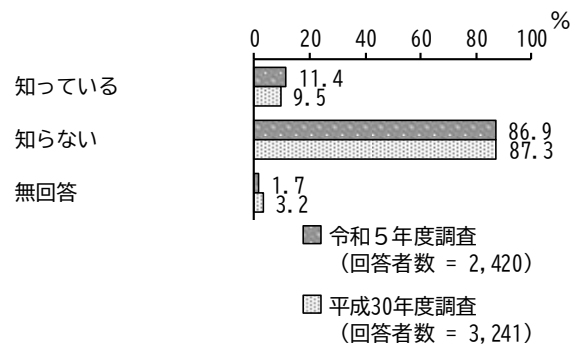
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】

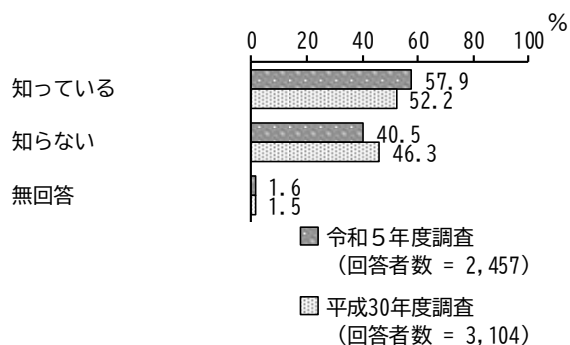


## オ ファミリー・サポート・センター

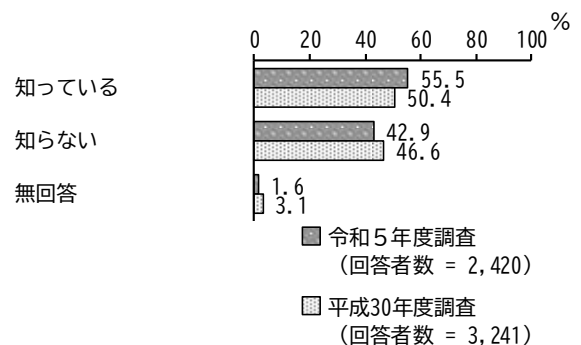
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。

【就学前児童】



【就学児童】

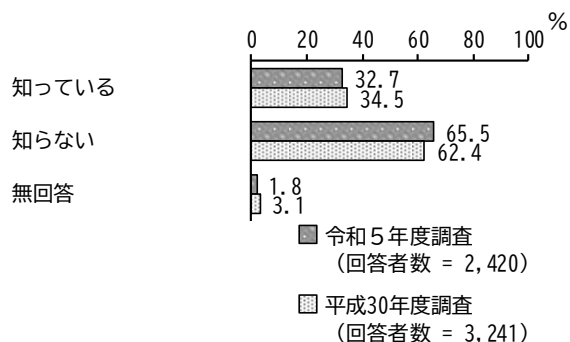




## カ 家庭教育セミナー

就学児童では、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

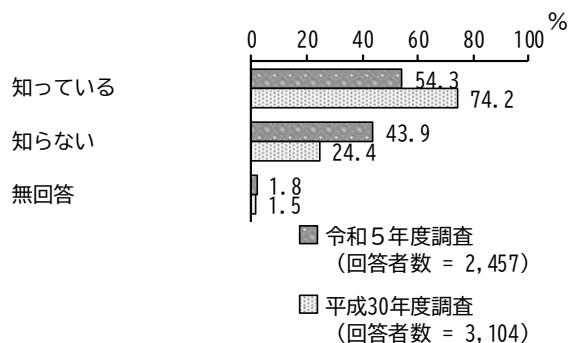
【就学児童】



## キ 保育所など子育て支援地域活動

就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、「知っている」の割合が減少しています。

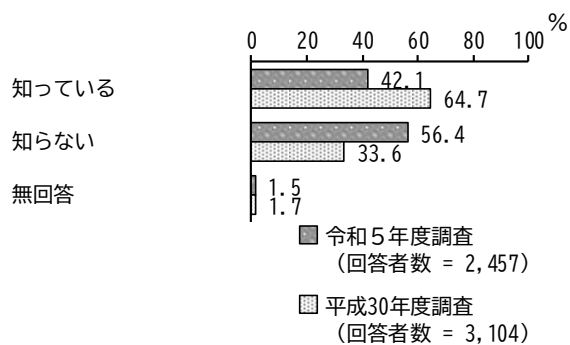
【就学前児童】



## ク 赤ちゃんの駅

就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、「知っている」の割合が減少しています。

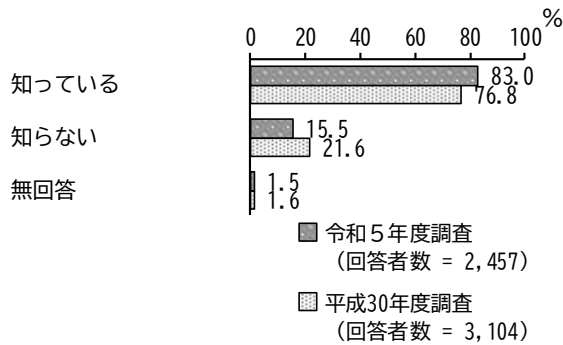
【就学前児童】



ケ 【妊娠・出産・子育て総合相談窓口】 保健所・保健センター（ほいっぴ）

就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。

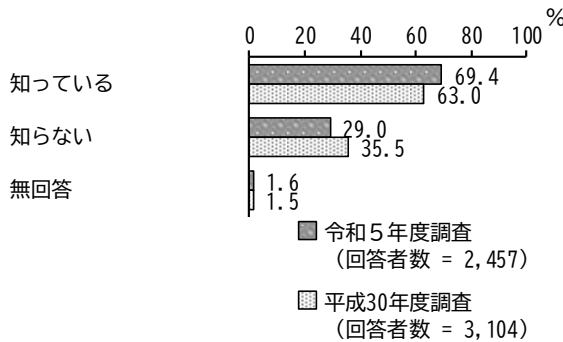
【就学前児童】



コ 【妊娠・出産・子育て総合相談窓口】 こども未来館（ここここ）

就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。

【就学前児童】



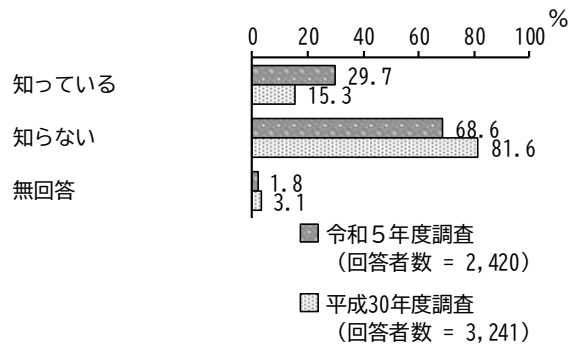
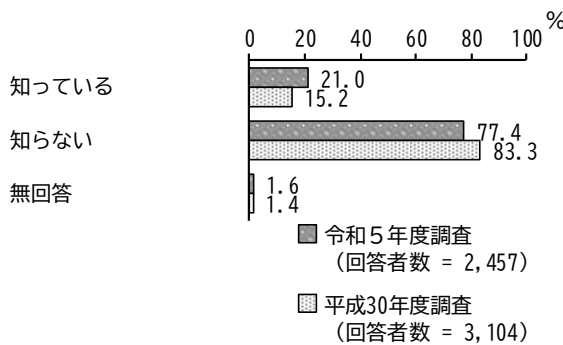
サ こども若者総合相談支援センター（ココエール）

就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。

【就学前児童】

【就学児童】

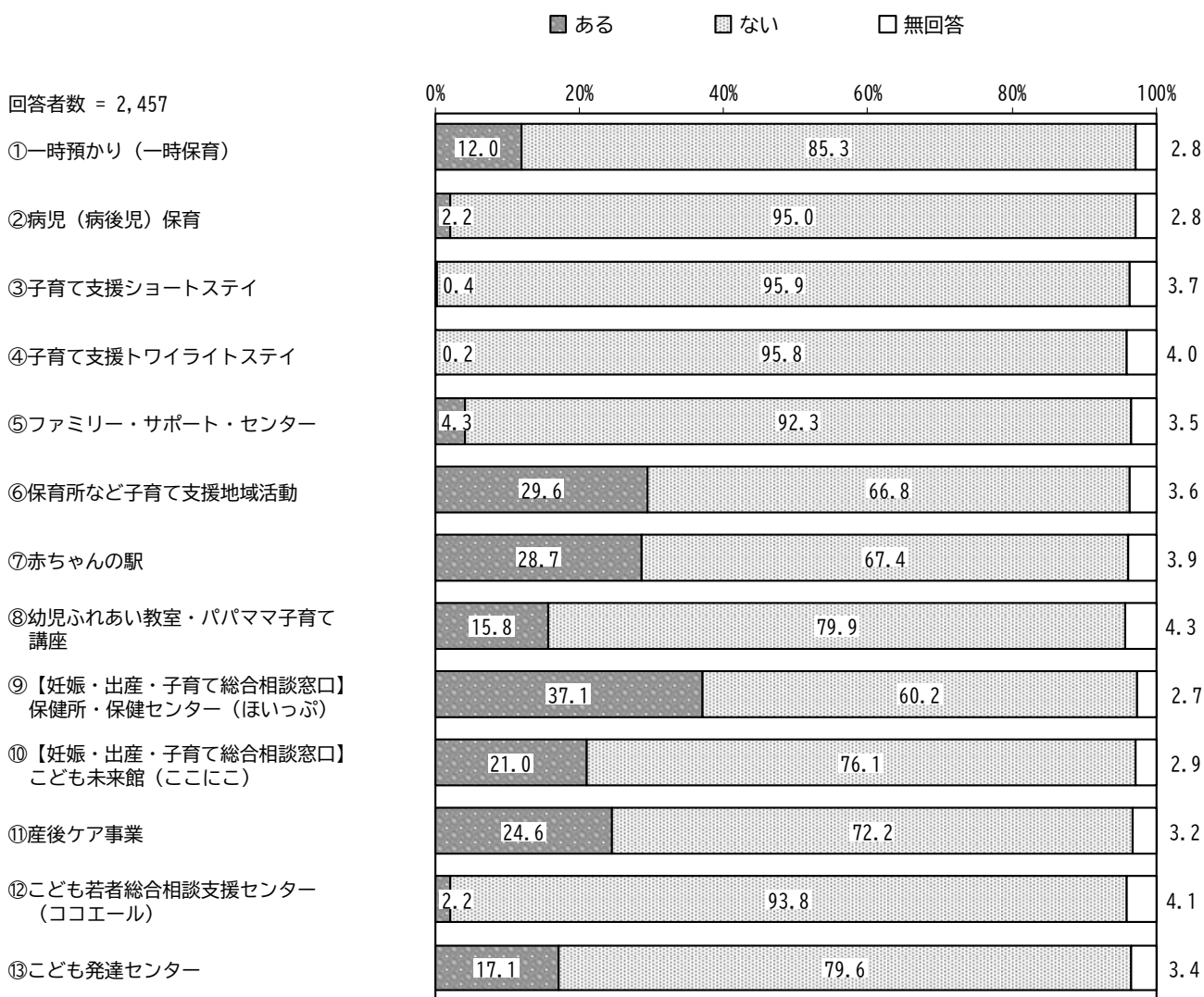


## (2) 利用経験

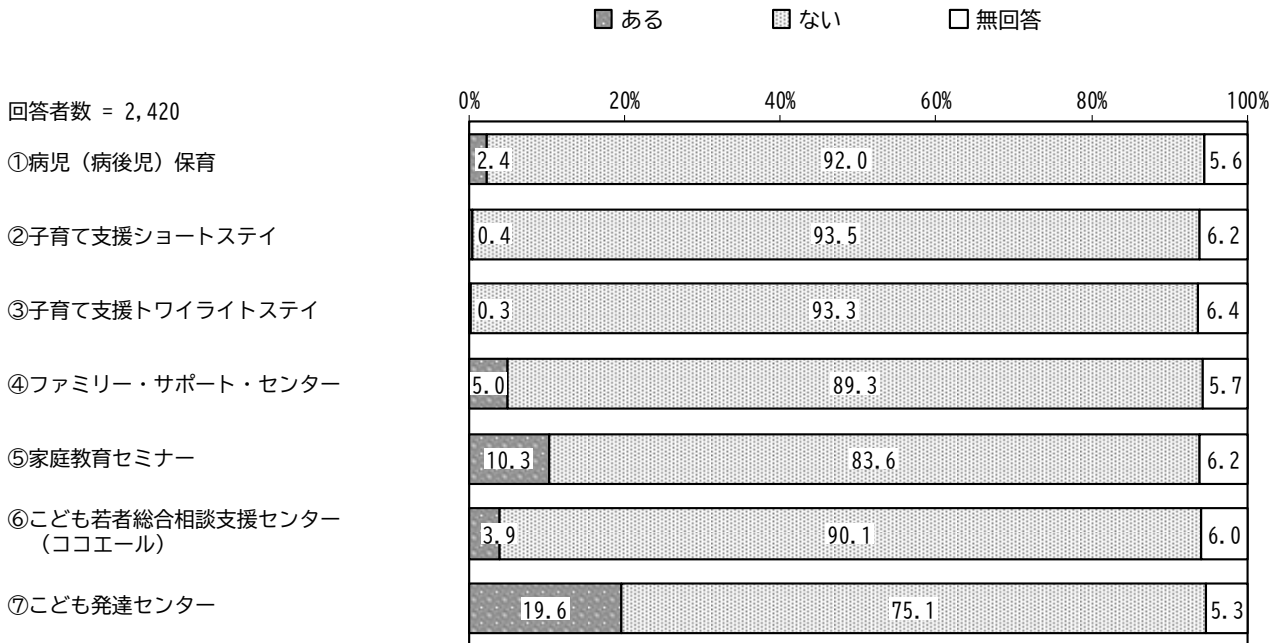
就学前児童では、『⑨【妊娠・出産・子育て総合相談窓口】保健所・保健センター（ほいっぷ）』、『⑥保育所など子育て支援地域活動』、『⑦赤ちゃんの駅』の順で、「ある」の割合が高くなっています。

就学児童では、『②子育て支援ショートステイ』、『③子育て支援トワイライトステイ』で「ない」の割合が高くなっています。一方、『⑦こども発達センター』で「ある」の割合が高くなっています。

### 【就学前児童】



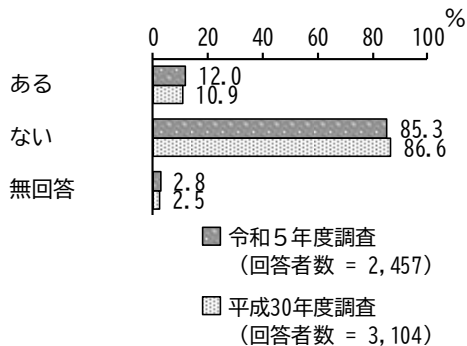
## 【就学児童】



### ア 一時預かり（一時保育）

就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

#### 【就学前児童】

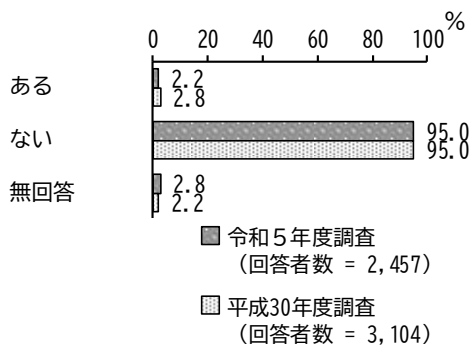


### イ 病児（病後児）保育

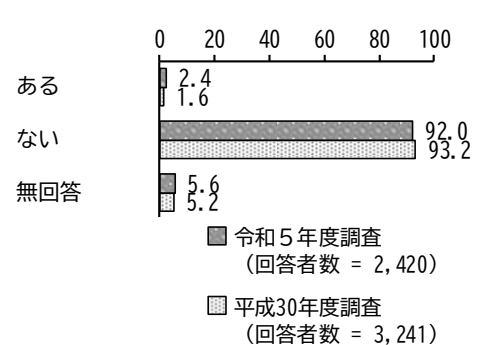
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

#### 【就学前児童】



#### 【就学児童】

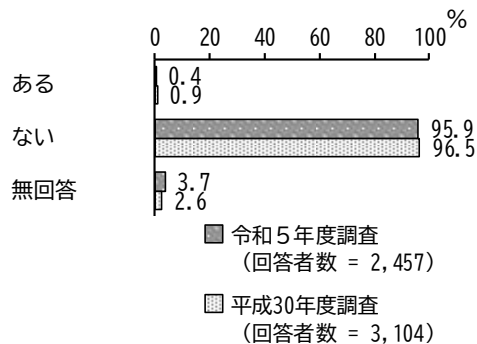


### ウ 子育て支援ショートステイ

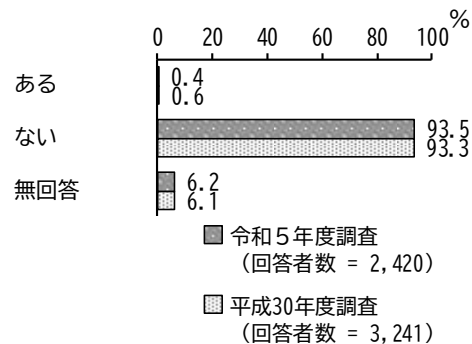
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】

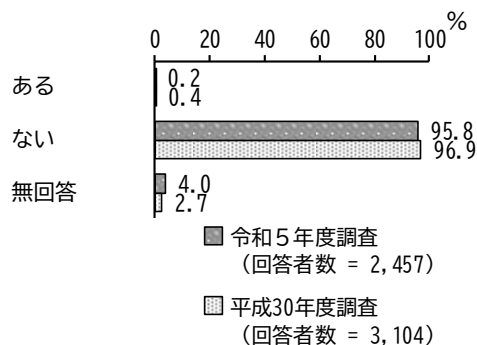


### エ 子育て支援トワイライトステイ

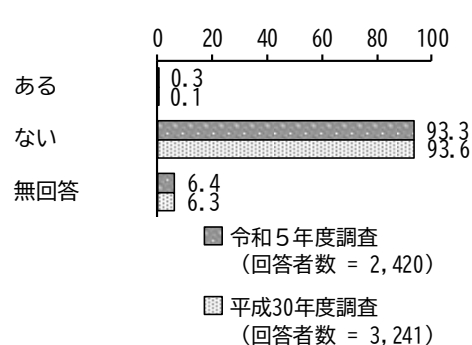
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】

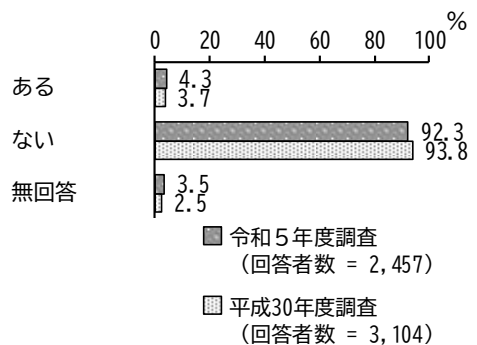


### オ ファミリー・サポート・センター

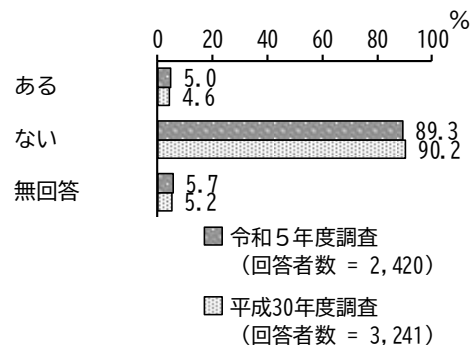
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



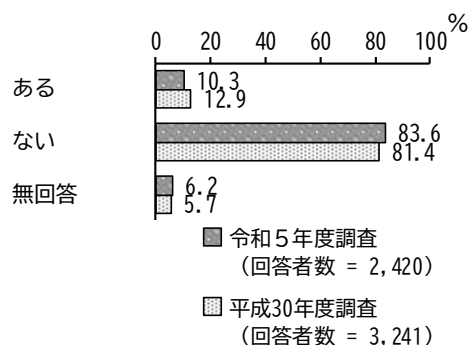
【就学児童】



## カ 家庭教育セミナー

就学児童では、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

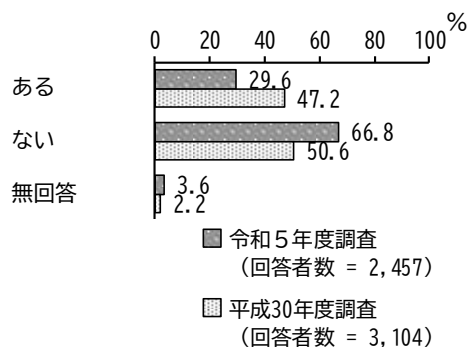
【就学児童】



## キ 保育所など子育て支援地域活動

就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、「ある」の割合が減少しています。

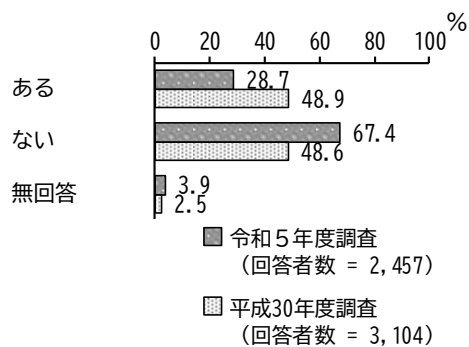
【就学前児童】



## ク 赤ちゃんの駅

就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、「ある」の割合が減少しています。

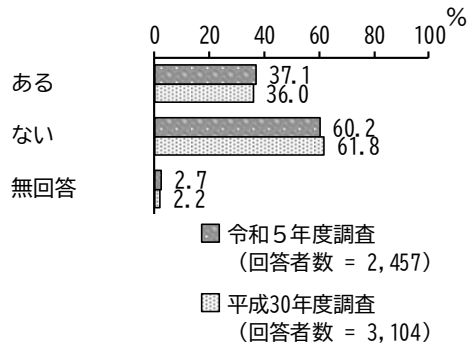
【就学前児童】



ケ 【妊娠・出産・子育て総合相談窓口】 保健所・保健センター（ほいっぴ）

就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

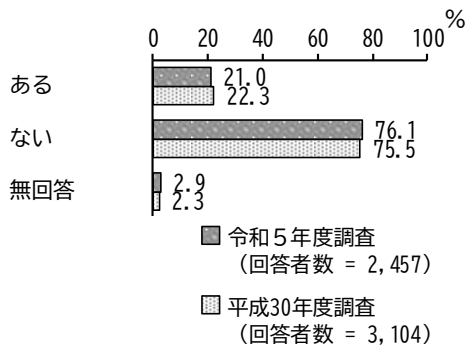
【就学前児童】



コ 【妊娠・出産・子育て総合相談窓口】 こども未来館（ここここ）

就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】

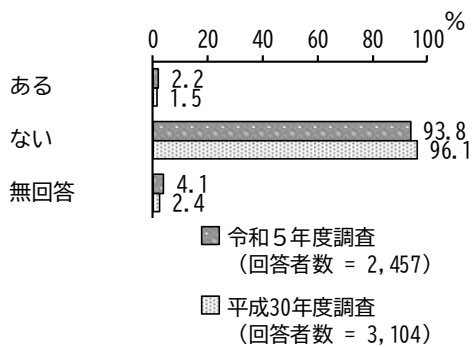


サ こども若者総合相談支援センター（ココエール）

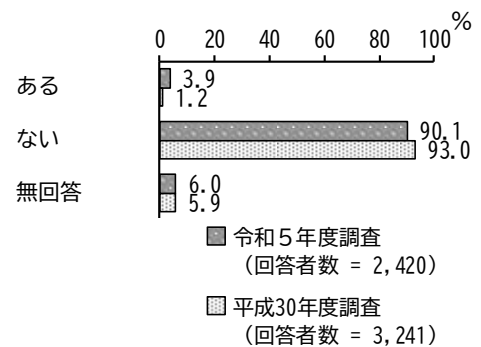
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】

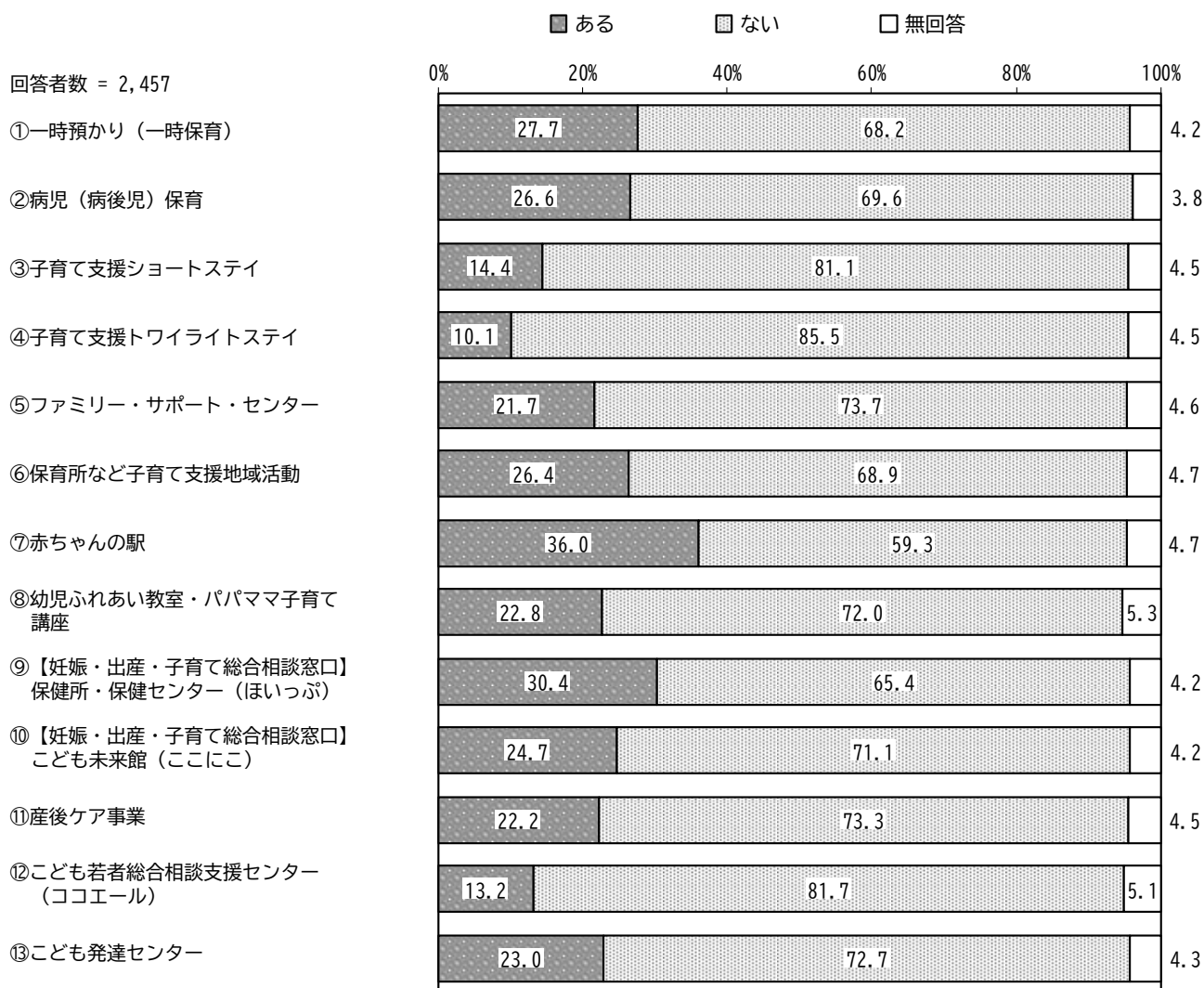


### (3) 利用希望

就学前児童では、『⑦赤ちゃんの駅』、『⑨【妊娠・出産・子育て総合相談窓口】保健所・保健センター（ほいっぴ）』、『①一時預かり（一時保育）』の順で、「ある」の割合が高くなっています。

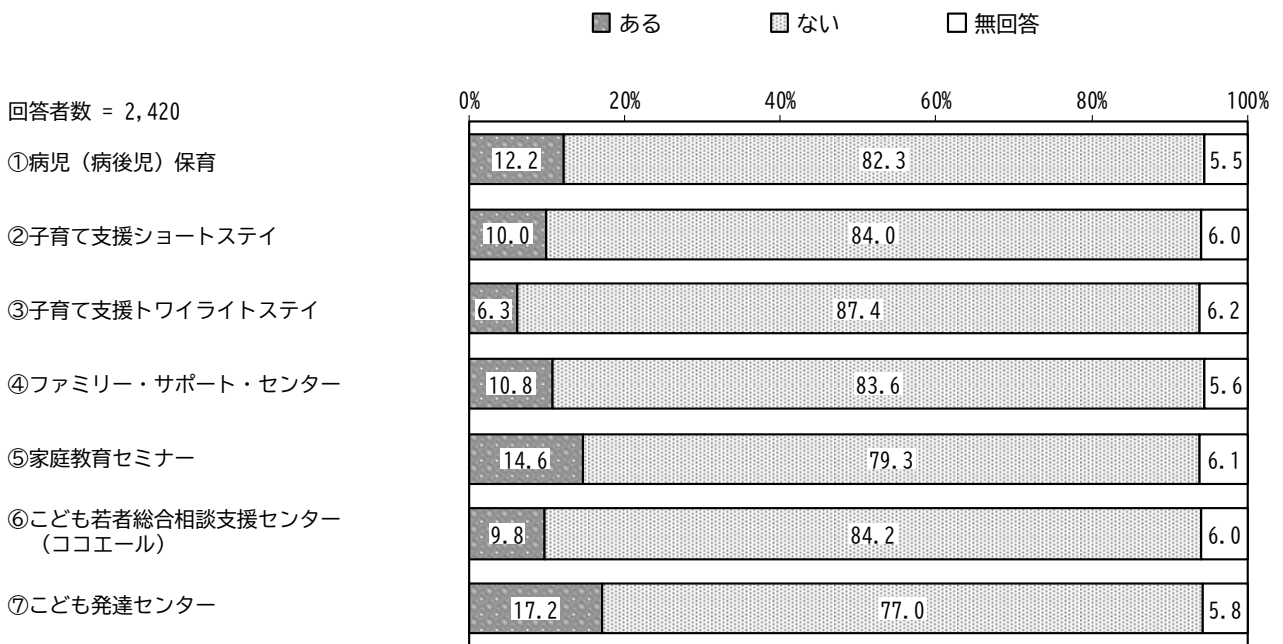
就学児童では、『③子育て支援トワイライトステイ』で「ない」の割合が高くなっています。一方、『⑦こども発達センター』で「ある」の割合が高くなっています。

#### 【就学前児童】





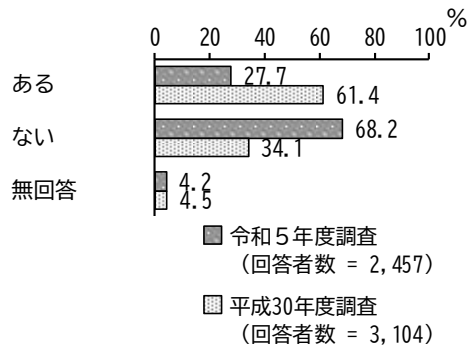
## 【就学児童】



## ア 一時預かり（一時保育）

就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、「ある」の割合が減少しています。

### 【就学前児童】

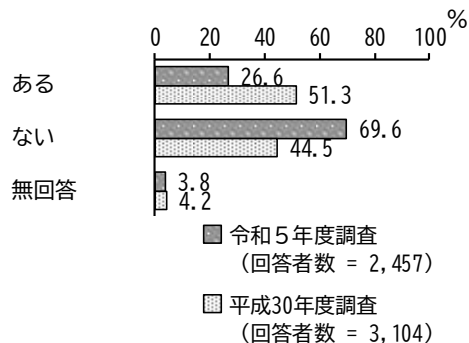


## イ 病児（病後児）保育

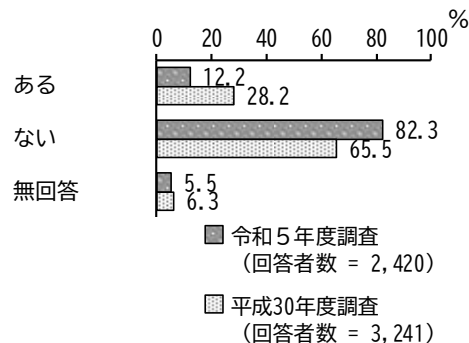
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「ある」の割合が減少しています。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「ある」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】

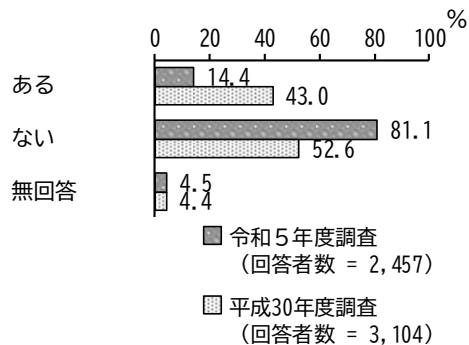


## ウ 子育て支援ショートステイ

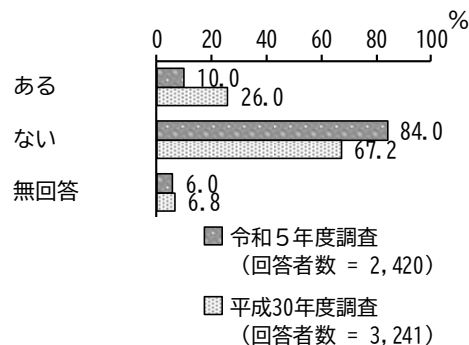
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「ある」の割合が減少しています。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「ある」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】

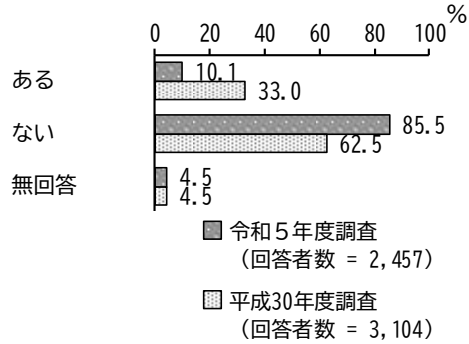


## エ 子育て支援トワイライトステイ

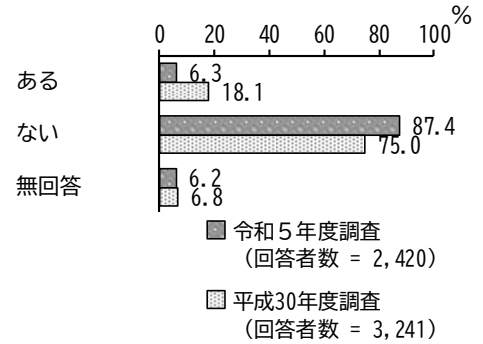
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「ある」の割合が減少しています。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「ある」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】

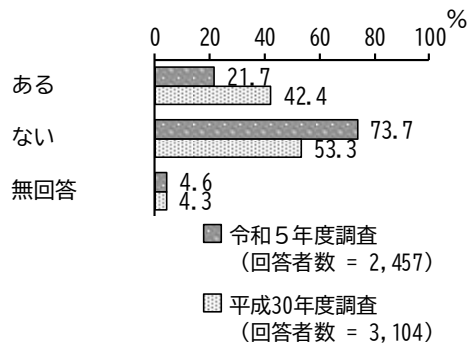


## オ ファミリー・サポート・センター

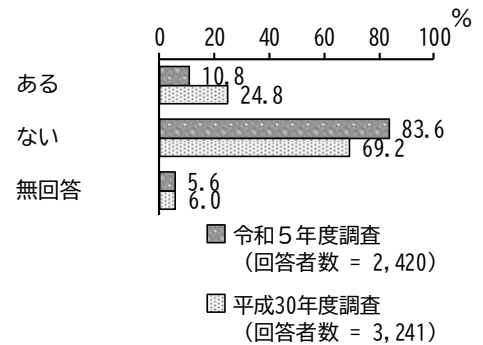
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「ある」の割合が減少しています。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「ある」の割合が減少しています。

【就学前児童】



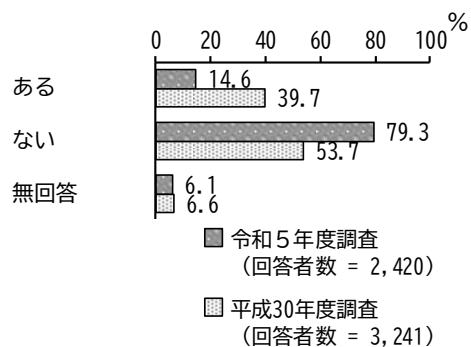
【就学児童】



## カ 家庭教育セミナー

就学児童では、平成30年度調査と比較すると、「ある」の割合が減少しています。

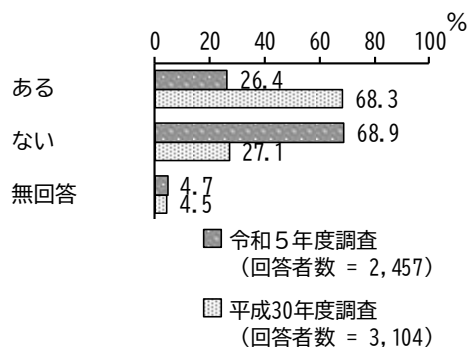
【就学児童】



## キ 保育所など子育て支援地域活動

就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、「ある」の割合が減少しています。

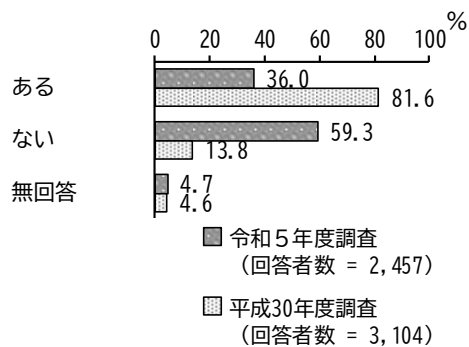
【就学前児童】



## ク 赤ちゃんの駅

就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、「ある」の割合が減少しています。

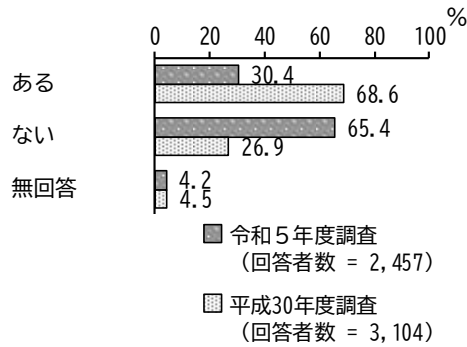
【就学前児童】



ケ 【妊娠・出産・子育て総合相談窓口】 保健所・保健センター（ほいっぴ）

就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「ある」の割合が減少しています。

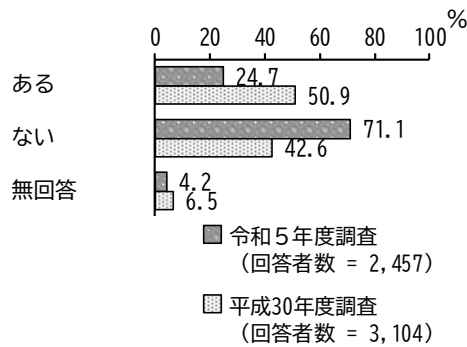
【就学前児童】



コ 【妊娠・出産・子育て総合相談窓口】 こども未来館（ここニコ）

就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「ある」の割合が減少しています。

【就学前児童】

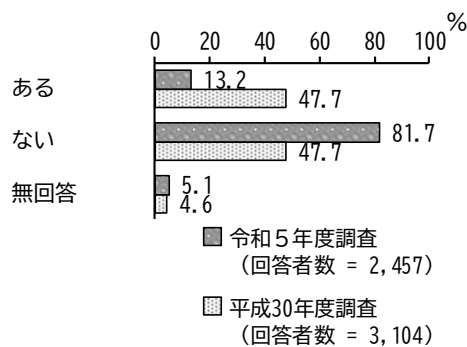


サ こども若者総合相談支援センター（ココエール）

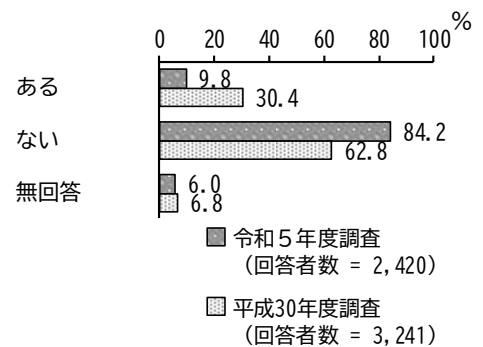
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「ある」の割合が減少しています。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「ある」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】



問 豊橋市内にはさまざまな子育て支援団体がありますが、(1)(2)について当てはまる番号いずれかに○をつけてください。(就学前児童：問 51、就学児童：問 38)

(1) 市内で活動する子育て支援団体を知っていますか

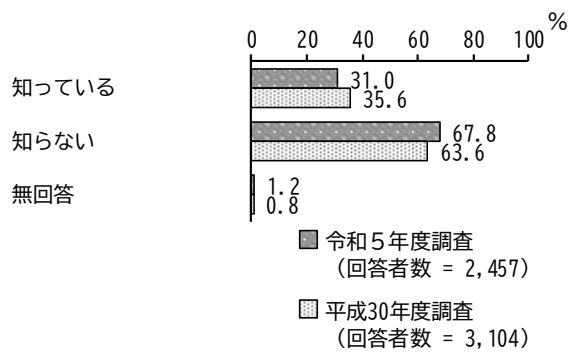
就学前児童では、「知っている」の割合が 31.0%、「知らない」の割合が 67.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「知っている」の割合が減少しています。

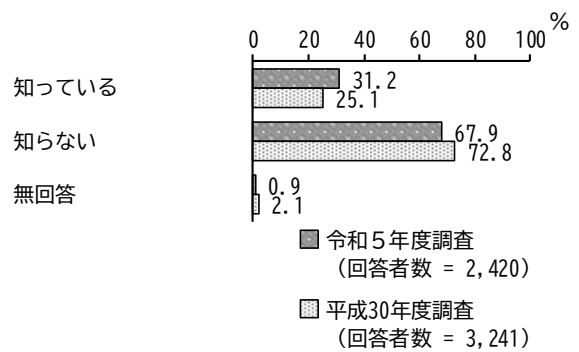
就学児童では、「知っている」の割合が 31.2%、「知らない」の割合が 67.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。

【就学前児童】



【就学児童】



(2) これまでに子育て支援団体の行う支援や活動を利用したことがありますか

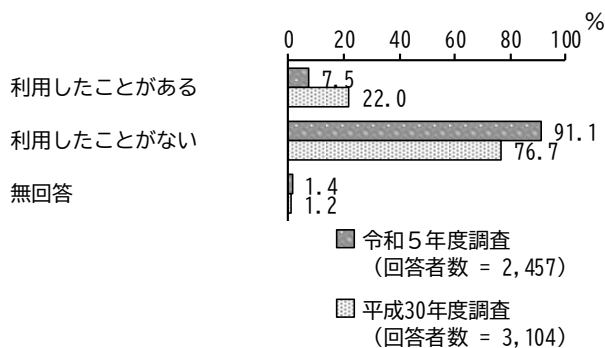
就学前児童では、「利用したことがある」の割合が 7.5%、「利用したことがない」の割合が 91.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用したことがある」の割合が減少しています。

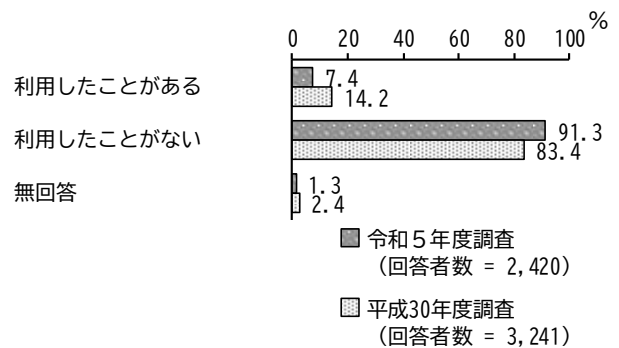
就学児童では、「利用したことがある」の割合が 7.4%、「利用したことがない」の割合が 91.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用したことがある」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】



問 問 51 (2) で「1. 利用したことがある」に○をつけた方にお聞きします。  
これまでに利用したことがある団体名やサービス名を記入してください。また、それをどこで(何で、誰から)知ったのかを記入してください。  
(就学前児童：問 52、就学児童：問 39)

(1) 団体名又はサービス名

主な意見

【就学前児童】

- ・ NPO まんま
- ・ おとなりさん
- ・ ここにこサークル
- ・ ファミリーサポートセンター
- ・ 明照保育園 など

【就学児童】

- ・ ここにこサークル
- ・ 子ども食堂
- ・ ねこのて
- ・ ファミリーサポートセンター など

(2) どこで知りましたか

主な意見

【就学前児童】

- ・ SNS やネット
- ・ チラシ
- ・ ホームページ
- ・ 知り合いや友人
- ・ 保健所や保健師さん など

【就学児童】

- ・ SNS やネット
- ・ 学校からのチラシ
- ・ 市民館
- ・ 知り合いや友人 など

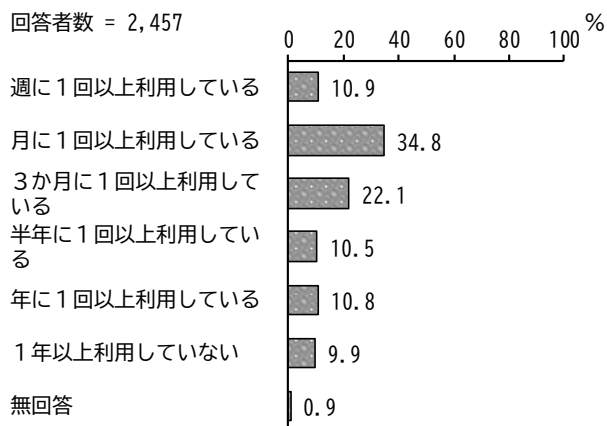
問 総合公園（豊橋公園、幸公園、向山緑地、高師緑地）又は運動公園（岩田運動公園、豊橋総合スポーツ公園、明海公園）を子ども連れで普段利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。（就学前児童：問 53、就学児童：問 40）

就学前児童では、「月に1回以上利用している」の割合が34.8%と最も高く、次いで「3か月に1回以上利用している」の割合が22.1%、「週に1回以上利用している」の割合が10.9%となっています。

就学児童では、「1年以上利用していない」の割合が22.6%と最も高く、次いで「年に1回以上利用している」の割合が19.1%、「月に1回以上利用している」の割合が18.3%となっています。

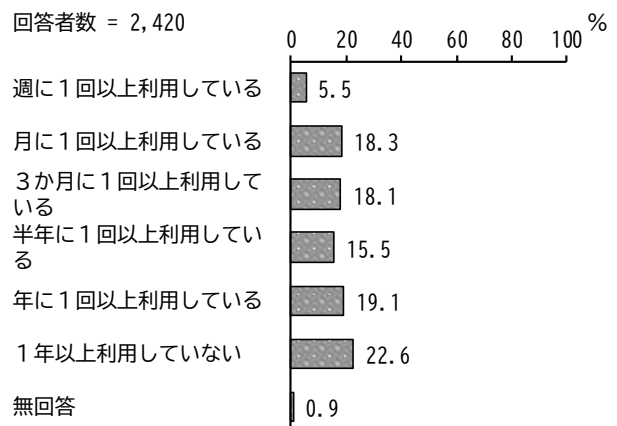
【就学前児童】

回答者数 = 2,457



【就学児童】

回答者数 = 2,420



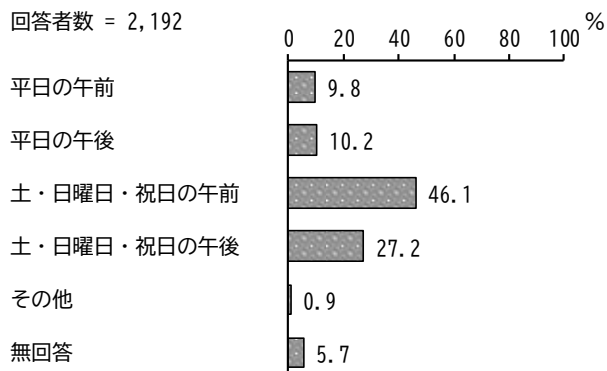
問 問 53で「1. 週に1回以上利用している」～「5. 年に1回以上利用している」に○をつけた方にお聞きします。公園を主に利用する時間帯について、最も当てはまる番号1つに○をつけてください。（就学前児童：問 54、就学児童：問 41）

就学前児童では、「土・日曜日・祝日の午前」の割合が46.1%と最も高く、次いで「土・日曜日・祝日の午後」の割合が27.2%、「平日の午後」の割合が10.2%となっています。

就学児童では、「土・日曜日・祝日の午後」の割合が45.2%と最も高く、次いで「土・日曜日・祝日の午前」の割合が41.5%となっています。

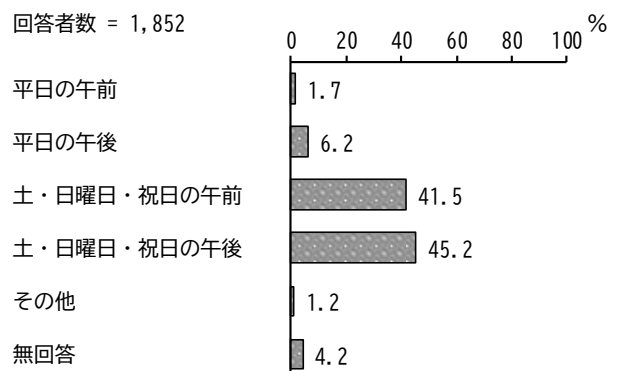
【就学前児童】

回答者数 = 2,192



【就学児童】

回答者数 = 1,852





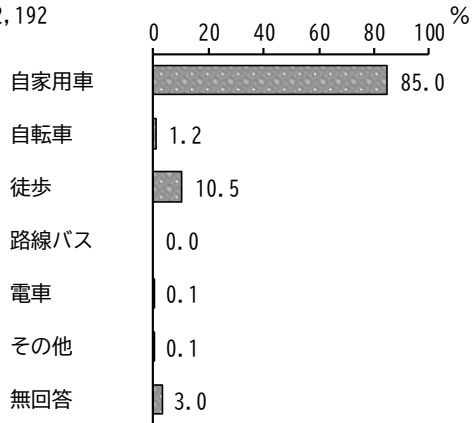
問 問 53 で「1. 週に1回以上利用している」～「5. 年に1回以上利用している」に○をつけた方にお聞きします。公園への主な移動手段について、最も当てはまる番号1つに○をつけてください。(就学前児童：問 55、就学児童：問 42)

就学前児童では、「自家用車」の割合が85.0%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が10.5%となっています。

就学児童では、「自家用車」の割合が86.3%と最も高くなっています。

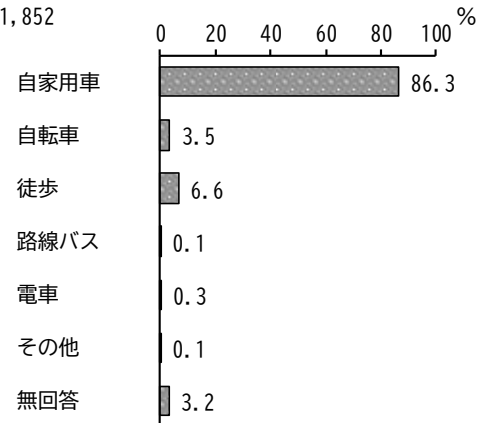
【就学前児童】

回答者数 = 2,192



【就学児童】

回答者数 = 1,852



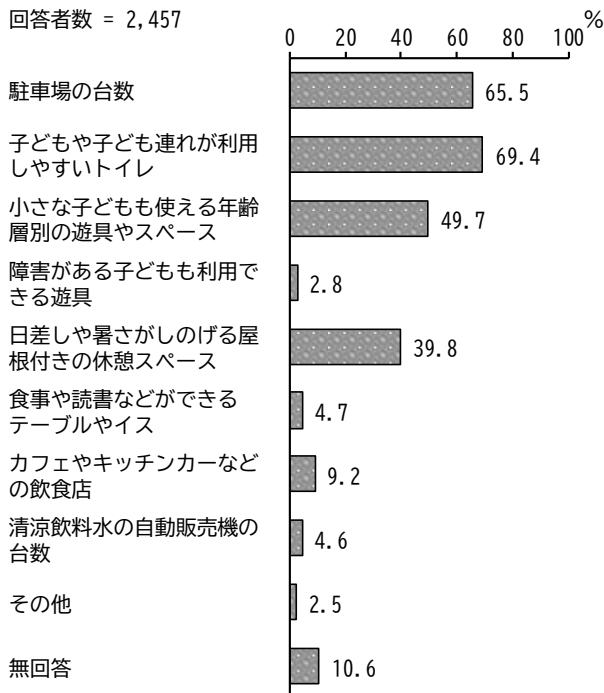
問 子どもや子ども連れで公園を利用するにあたり、どのような設備が充実すると利用しやすくなると思いますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。  
 (就学前児童：問 56、就学児童：問 43)

就学前児童では、「子どもや子ども連れが利用しやすいトイレ」の割合が 69.4%と最も高く、次いで「駐車場の台数」の割合が 65.5%、「小さな子どもも使える年齢層別の遊具やスペース」の割合が 49.7%となっています。

就学児童では、「駐車場の台数」の割合が 70.0%と最も高く、次いで「子どもや子ども連れが利用しやすいトイレ」の割合が 57.9%、「日差しや暑さがしのげる屋根付きの休憩スペース」の割合が 49.8%となっています。

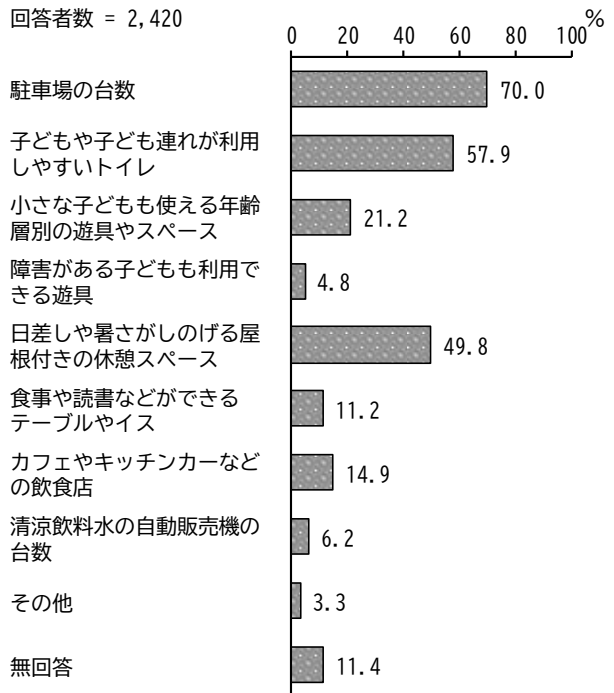
【就学前児童】

回答者数 = 2,457



【就学児童】

回答者数 = 2,420



### 【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、就学前児童では、子どもの年齢が低いほど、「小さな子どもも使える年齢層別の遊具やスペース」の割合が高い傾向があり、一方、年齢が高いほど、「子どものや子ども連れが利用しやすいトイレ」の割合が高い傾向があります。

就学児童では、子どもの年齢が低いほど、「小さな子どもも使える年齢層別の遊具やスペース」や「子どものや子ども連れが利用しやすいトイレ」の割合が高くなっています。

### 【就学前児童】

単位：％

区分	回答者数(件)	駐車場の台数	子どもや子ども連れが利用しやすいトイレ	小さな子どもも使える年齢層別の遊具やスペース	障害がある子どもも利用できる遊具	日差しや暑さがしのげる屋根付きの休憩スペース	食事や読書などができるテーブルやイス	カフェやキッチンカーなどの飲食店	清涼飲料水の自動販売機の台数	その他	無回答
全体	2,457	65.5	69.4	49.7	2.8	39.8	4.7	9.2	4.6	2.5	10.6
0歳	394	58.4	66.8	57.1	0.8	42.4	1.8	7.6	4.3	3.3	13.5
1歳	427	62.5	66.5	58.8	2.3	38.4	5.2	8.2	3.3	4.2	11.0
2歳	330	62.1	65.8	57.6	3.9	43.6	3.9	9.7	3.0	2.1	11.2
3歳	413	67.6	71.7	50.6	2.7	38.3	4.4	9.9	3.4	1.5	9.2
4歳	436	70.6	73.2	40.8	2.8	39.9	7.6	10.3	6.2	2.3	8.5
5歳	434	71.7	71.9	36.6	4.6	37.3	4.8	9.7	6.7	1.6	10.1

### 【就学児童】

単位：％

区分	回答者数(件)	駐車場の台数	子どもや子ども連れが利用しやすいトイレ	小さな子どもも使える年齢層別の遊具やスペース	障害がある子どもも利用できる遊具	日差しや暑さがしのげる屋根付きの休憩スペース	食事や読書などができるテーブルやイス	カフェやキッチンカーなどの飲食店	清涼飲料水の自動販売機の台数	その他	無回答
全体	2,420	70.0	57.9	21.2	4.8	49.8	11.2	14.9	6.2	3.3	11.4
6歳(1年生)	460	73.7	65.2	25.4	4.6	49.1	6.5	12.2	5.4	2.4	11.3
7歳(2年生)	382	72.0	60.7	22.0	4.2	51.3	10.7	14.4	4.2	3.1	10.5
8歳(3年生)	381	69.6	59.8	22.0	4.7	51.7	11.3	14.4	8.4	3.1	11.0
9歳(4年生)	395	67.8	55.7	20.5	4.3	48.4	12.2	13.2	5.3	4.1	13.7
10歳(5年生)	317	70.7	53.3	20.5	6.9	47.9	12.9	18.6	6.0	2.8	10.1
11歳(6年生)	417	67.9	53.2	16.3	4.6	52.3	15.1	17.3	8.4	3.6	10.3

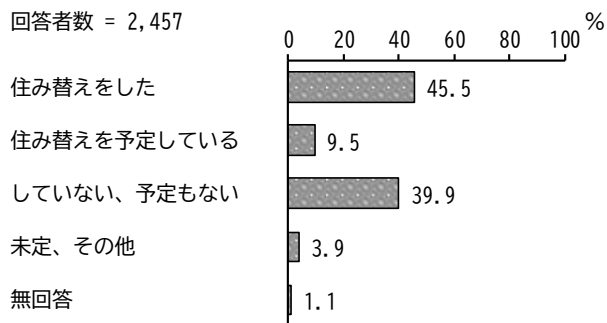
問 お子さんの出生後、住宅の住み替えをしましたか。又は今後予定がありますか。当  
てはまる番号1つに○をつけてください。  
また、「1. 住み替えをした」に○をつけた方は、住み替え前の地域に、「2. 住み  
替えを予定している」に○をつけた方は、住み替え予定や希望する地域に○をつ  
け、〔 〕内に地名を記入してください。(就学前児童：問 57、就学児童：問 44)

就学前児童では、「住み替えをした」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「していない、予定  
もない」の割合が 39.9%となっています。

就学児童では、「住み替えをした」の割合が 60.2%と最も高く、次いで「していない、予定も  
ない」の割合が 34.2%となっています。

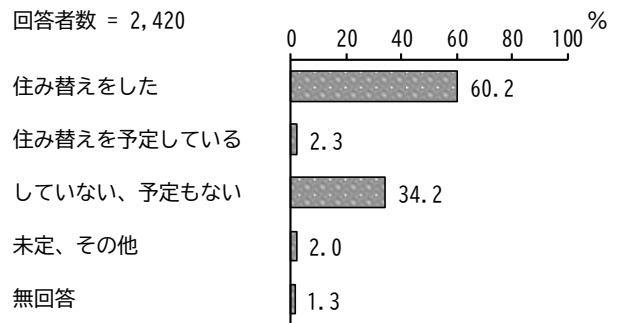
【就学前児童】

回答者数 = 2,457



【就学児童】

回答者数 = 2,420



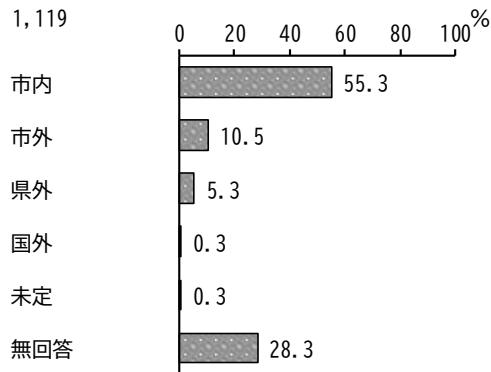
## ア 住み替え前の地域

就学前児童で住み替えをした人の住み替え前の地域については、「市内」の割合が 55.3%と最も高く、次いで「市外」の割合が 10.5%となっています。

就学児童で住み替えをした人の住み替え前の地域については、「市内」の割合が 67.7%と最も高くなっています。

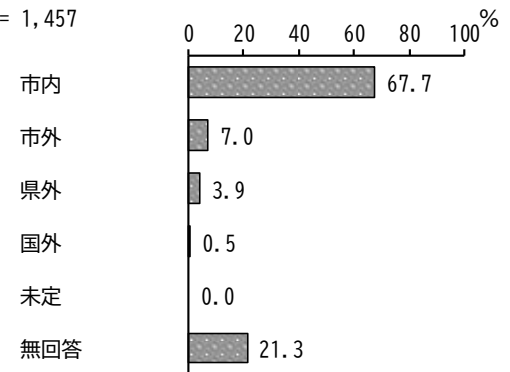
【就学前児童】

回答者数 = 1,119



【就学児童】

回答者数 = 1,457



## イ 住み替え前の市町村、都道府県（主なもの）

就学前児童、就学児童ともに、県内では豊川市、県外では静岡県が最も多くなっています。

【就学前児童】

県内		県外	
自治体	件数	自治体	件数
豊川市	35	静岡県	30
岡崎市	11	三重県	6
田原市	10	東京都	4
蒲郡市	8	岐阜県	2
新城市	6	長野県ほか	2

【就学児童】

県内		県外	
自治体	件数	自治体	件数
豊川市	54	静岡県	44
田原市	17	東京都	10
名古屋市	16	岐阜県	7
岡崎市	8	神奈川県	7
蒲郡市	7	三重県	4

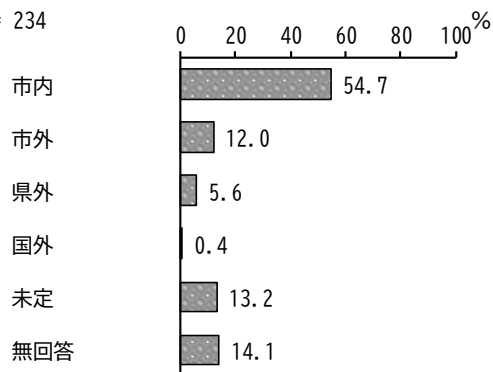
### ウ 住み替え予定の地域

就学前児童で住み替えを予定している人の住み替え予定の地域については、「市内」の割合が54.7%と最も高く、次いで「未定」の割合が13.2%、「市外」の割合が12.0%となっています。

就学児童で住み替えを予定している人の住み替え予定の地域については、「市内」の割合が63.6%と最も高くなっています。

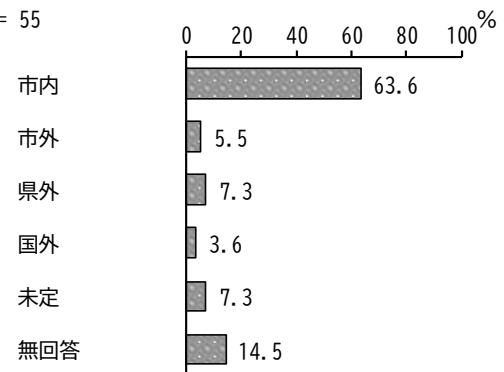
【就学前児童】

回答者数 = 234



【就学児童】

回答者数 = 55



### エ 住み替え予定の市町村、都道府県（主なもの）

就学前児童では、県内では豊川市、県外では静岡県が最も多くなっています。

就学児童では、住み替え予定は少なくなっています。

【就学前児童】

県内		県外	
自治体	件数	自治体	件数
豊川市	12	静岡県	4
田原市	4	岐阜県	2
名古屋市	3	長野県ほか	1

【就学児童】

県内		県外	
自治体	件数	自治体	件数
田原市	1	兵庫県	2
名古屋市	1	神奈川県	1
蒲郡市	1	沖縄県	1

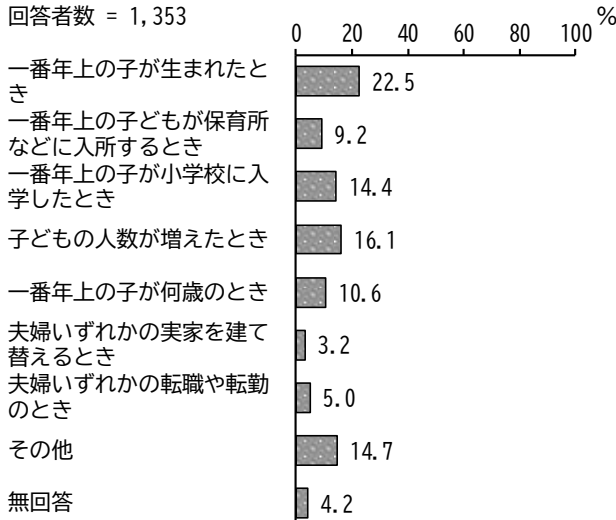
問 問 57 で「1. 住み替えをした」又は「2. 住み替えを予定している」に○をつけた方にお聞きします。住み替えの時期として、何を重視しましたか（しますか）。最も当てはまる番号1つに○をつけて下さい。  
 (就学前児童：問 58、就学児童：問 45)

就学前児童では、「一番年上の子が生まれたとき」の割合が 22.5%と最も高く、次いで「子どもの人数が増えたとき」の割合が 16.1%、「一番年上の子が小学校に入学したとき」の割合が 14.4%となっています。

就学児童では、「一番年上の子が小学校に入学したとき」の割合が 19.5%と最も高く、次いで「一番年上の子が生まれたとき」の割合が 14.9%、「一番年上の子が何歳のとき」の割合が 14.0%となっています。

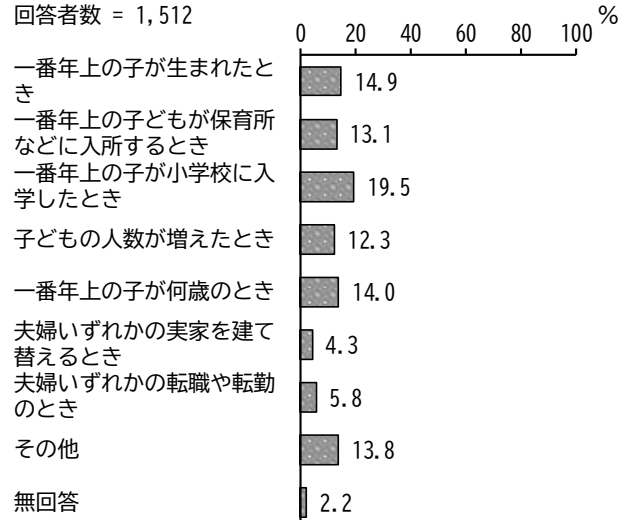
【就学前児童】

回答者数 = 1,353



【就学児童】

回答者数 = 1,512



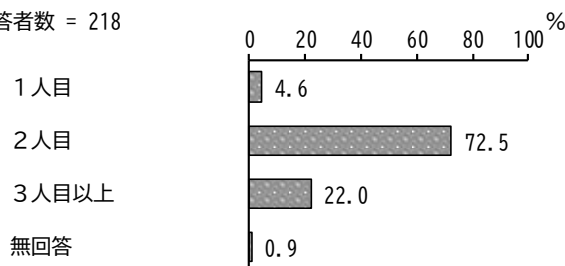
ア 子どもの人数が増えたときと回答した方の、住み替え時期の子どもの人数

就学前児童では、「2人目」の割合が 72.5%と最も高く、次いで「3人目以上」の割合が 22.0%となっています。

就学児童では、「2人目」の割合が 64.0%と最も高く、次いで「3人目」の割合が 19.4%となっています。

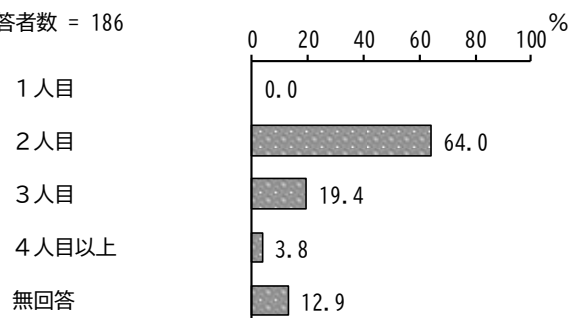
【就学前児童】

回答者数 = 218



【就学児童】

回答者数 = 186



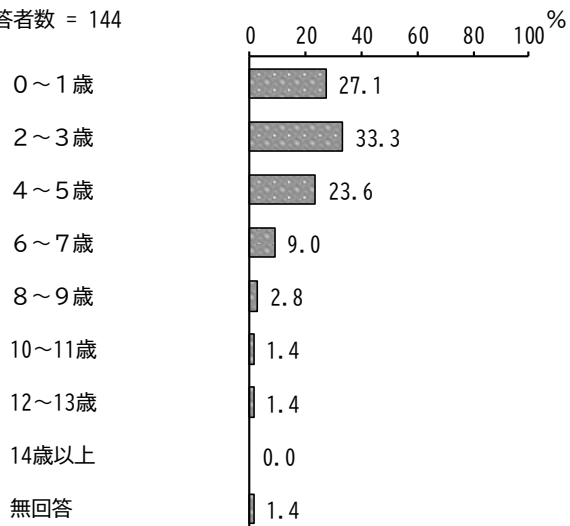
イ 一番年上の子が何歳のときと回答した方の、住み替え時期の子どもの年齢

就学前児童では、「2～3歳」の割合が33.3%と最も高く、次いで「0～1歳」の割合が27.1%、「4～5歳」の割合が23.6%となっています。

就学児童では、「2～3歳」の割合が25.6%と最も高く、次いで「4～5歳」の割合が19.9%、「0～1歳」の割合が16.1%となっています。

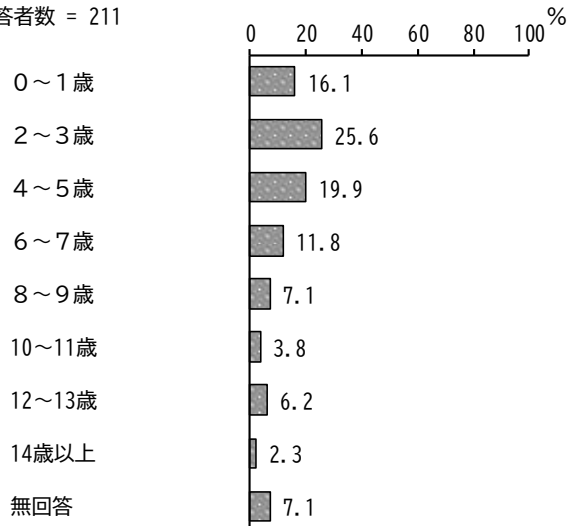
【就学前児童】

回答者数 = 144



【就学児童】

回答者数 = 211





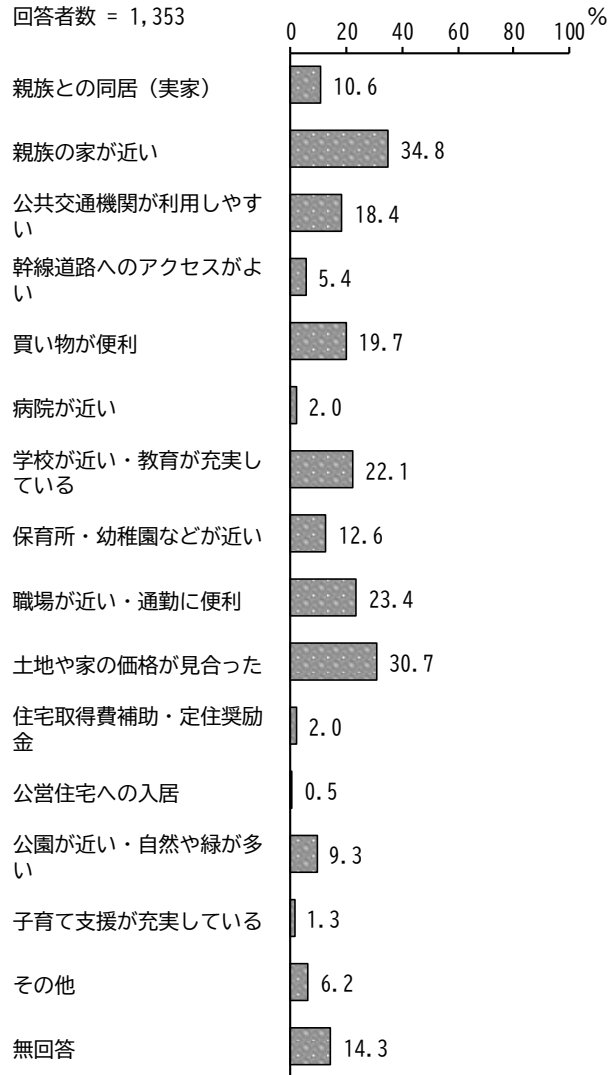
問 問 57 で「1. 住み替えをした」又は「2. 住み替えを予定している」に○をつけた方にお聞きします。住み替えの際に重視した（する）ことについて、当てはまる番号3つまで○をつけてください。（就学前児童：問 59、就学児童：問 46）

就学前児童では、「親族の家が近い」の割合が 34.8%と最も高く、次いで「土地や家の価格が見合った」の割合が 30.7%、「職場が近い・通勤に便利」の割合が 23.4%となっています。

就学児童では、「親族の家が近い」の割合が 34.3%と最も高く、次いで「土地や家の価格が見合った」の割合が 31.3%、「学校が近い・教育が充実している」の割合が 24.2%となっています。

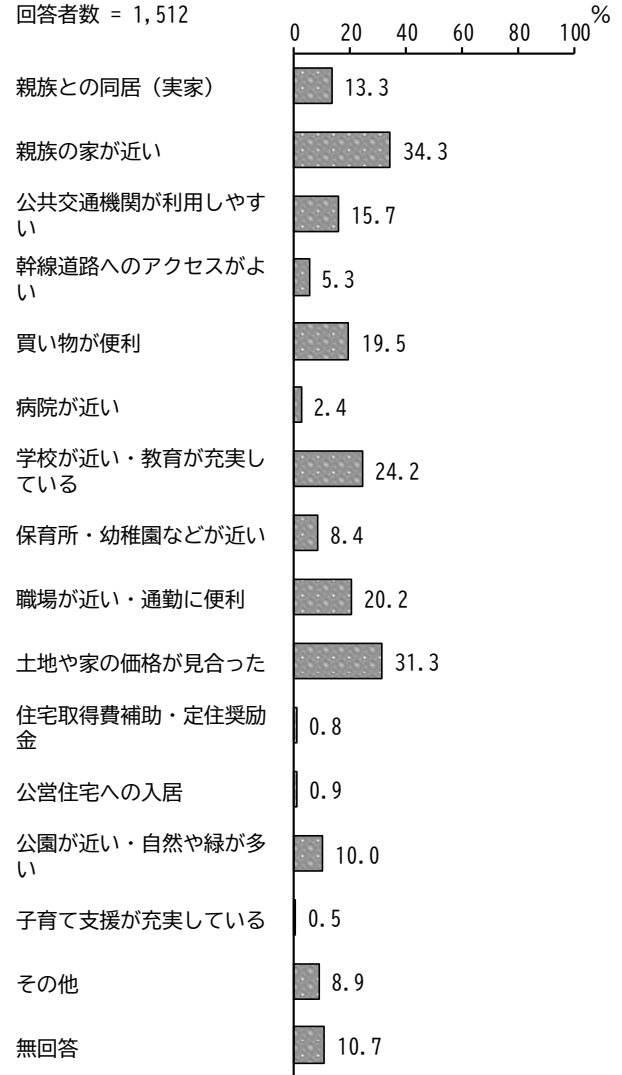
【就学前児童】

回答者数 = 1,353



【就学児童】

回答者数 = 1,512



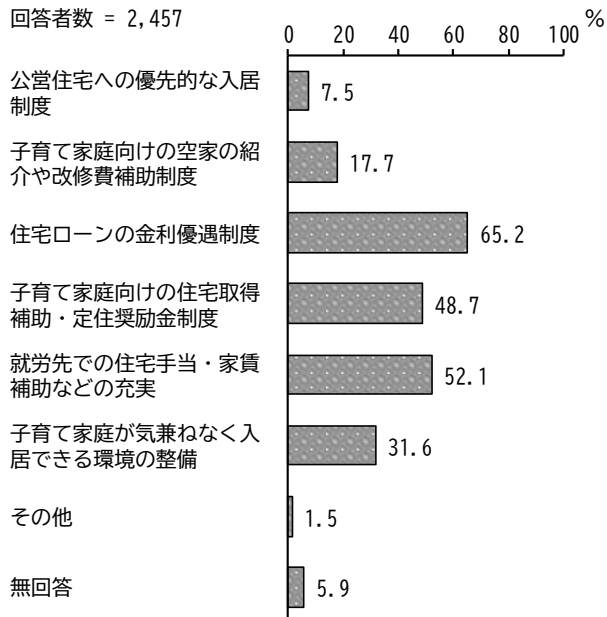
問 子育て家庭が、住み替える際にあると望ましいものについて、当てはまる番号3つまで○をつけてください。(就学前児童：問 60、就学児童：問 47)

就学前児童では、「住宅ローンの金利優遇制度」の割合が 65.2%と最も高く、次いで「就労先での住宅手当・家賃補助などの充実」の割合が 52.1%、「子育て家庭向けの住宅取得補助・定住奨励金制度」の割合が 48.7%となっています。

就学児童では、「住宅ローンの金利優遇制度」の割合が 63.4%と最も高く、次いで「就労先での住宅手当・家賃補助などの充実」の割合が 49.5%、「子育て家庭向けの住宅取得補助・定住奨励金制度」の割合が 44.8%となっています。

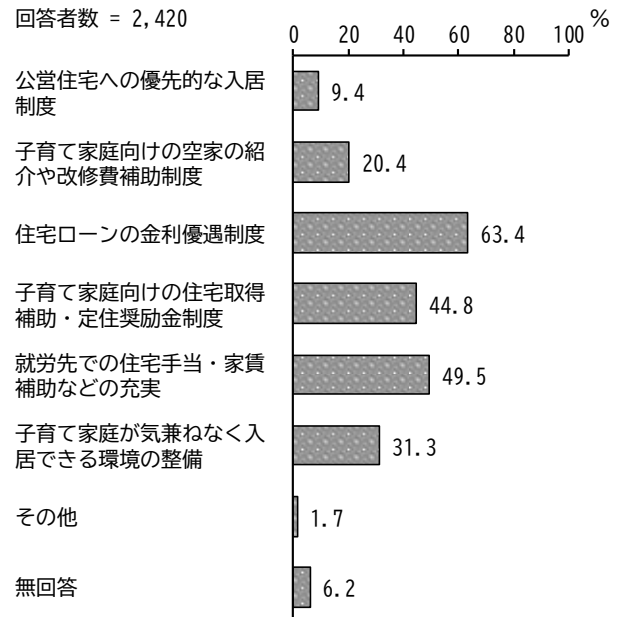
【就学前児童】

回答者数 = 2,457



【就学児童】

回答者数 = 2,420



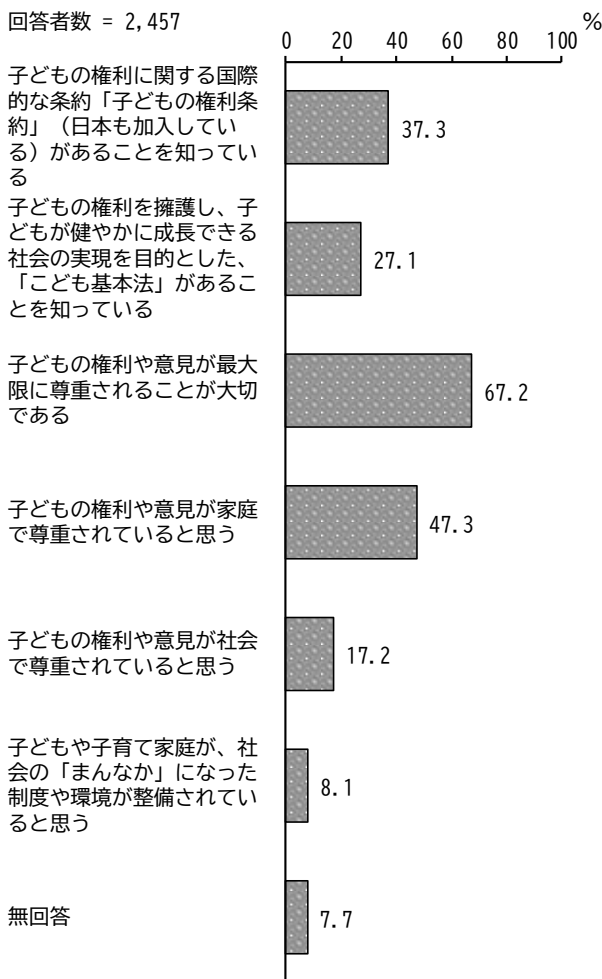
問 あなたは、子どもの権利に関してどう考えますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問 61、就学児童：問 48)

就学前児童では、「子どもの権利や意見が最大限に尊重されることが大切である」の割合が 67.2%と最も高く、次いで「子どもの権利や意見が家庭で尊重されていると思う」の割合が 47.3%、「子どもの権利に関する国際的な条約「子どもの権利条約」(日本も加入している)があることを知っている」の割合が 37.3%となっています。

就学児童では、「子どもの権利や意見が最大限に尊重されることが大切である」の割合が 57.8%と最も高く、次いで「子どもの権利や意見が家庭で尊重されていると思う」の割合が 42.2%、「子どもの権利に関する国際的な条約「子どもの権利条約」(日本も加入している)があることを知っている」の割合が 32.3%となっています。

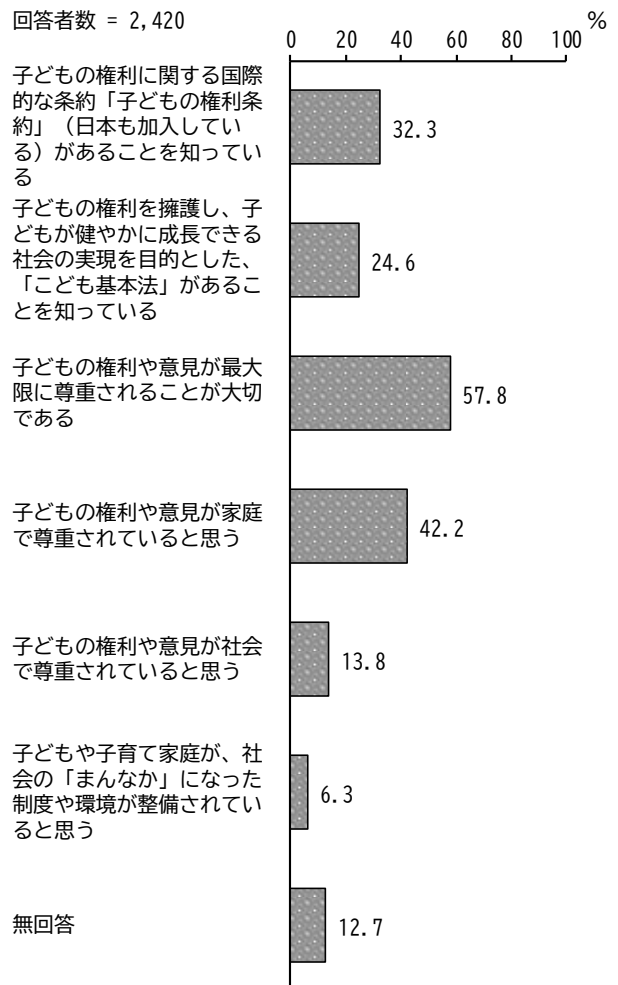
【就学前児童】

回答者数 = 2,457



【就学児童】

回答者数 = 2,420



## (11) 子育て環境や子育て支援サービス全般について

問 豊橋市の子育て環境について、現在どのように感じていますか。また、これからの子育て環境を充実させるために何が重要だとおもいますか。次の各設問について、(1)(2)のそれぞれ1つずつに○をつけてください。  
(就学前児童：問 62、就学児童：問 49)

### (1) 現在

就学前児童では、「子育ての相談窓口が充実している」と思う（どちらかといえばを含む）人が77.3%と高い一方、「子育て支援に積極的な企業が多い」と思う人が、30.1%にとどまっています。

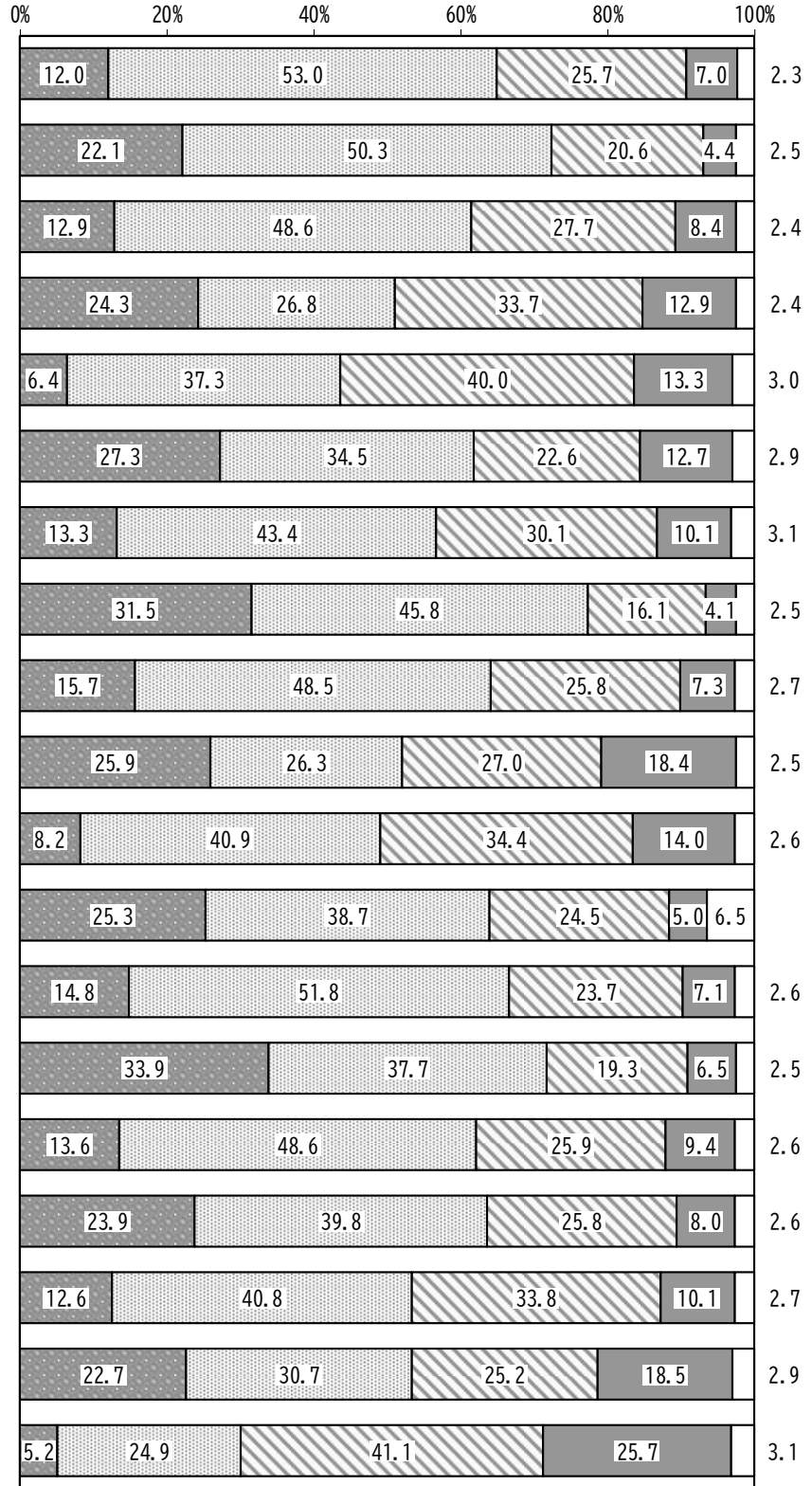
就学児童では、「妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している」と思う（どちらかといえばを含む）人が65.6%と高い一方、「子育て支援に積極的な企業が多い」と思う人が、25.8%にとどまっています。

【就学前児童】

- そう思う
- ▨ どちらかといえばそう思う
- ▩ どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- 無回答

回答者数 = 2,457

- ① 親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している
- ② 子どもの教育環境が充実している
- ③ 子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている
- ④ 子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある
- ⑤ 児童虐待の早期発見や防止など、子どもの権利を守る体制が整っている
- ⑥ 希望した時期に保育サービスを利用できる
- ⑦ 保育所などでの多様な保育サービスが充実している
- ⑧ 子育ての相談窓口が充実している
- ⑨ 子育てに関する情報が簡単に入手できる
- ⑩ 子育て家庭への経済的援助が充実している
- ⑪ 子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている
- ⑫ 外国籍家庭への子育て支援が充実している
- ⑬ 妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している
- ⑭ 子どものための医療施設が充実している
- ⑮ 子育てが家族や地域の人に支えられている
- ⑯ 同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている
- ⑰ 地域で子育てをする環境が整備されている
- ⑱ 女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる
- ⑲ 子育て支援に積極的な企業が多い

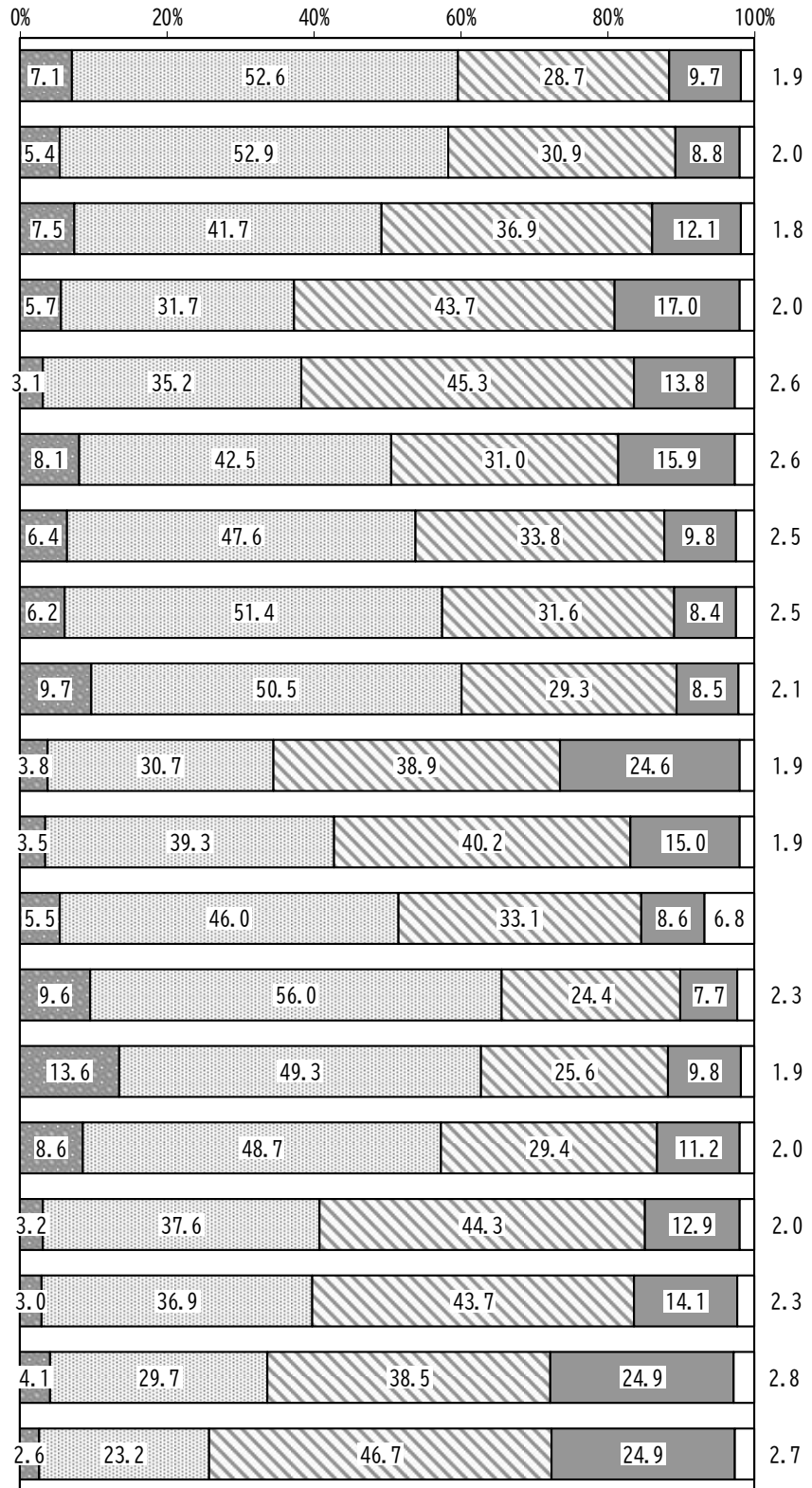


## 【就学児童】

- そう思う
- ▨ どちらかといえばそう思う
- ▩ どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- 無回答

回答者数 = 2,420

- ①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している
- ②子どもの教育環境が充実している
- ③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている
- ④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある
- ⑤児童虐待の早期発見や防止など、子どもの権利を守る体制が整っている
- ⑥希望した時期に保育サービスを利用できる
- ⑦保育所などでの多様な保育サービスが充実している
- ⑧子育ての相談窓口が充実している
- ⑨子育てに関する情報が簡単に入手できる
- ⑩子育て家庭への経済的援助が充実している
- ⑪子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている
- ⑫外国籍家庭への子育て支援が充実している
- ⑬妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している
- ⑭子どものための医療施設が充実している
- ⑮子育てが家族や地域の人に支えられている
- ⑯同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている
- ⑰地域で子育てをする環境が整備されている
- ⑱女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる
- ⑲子育て支援に積極的な企業が多い

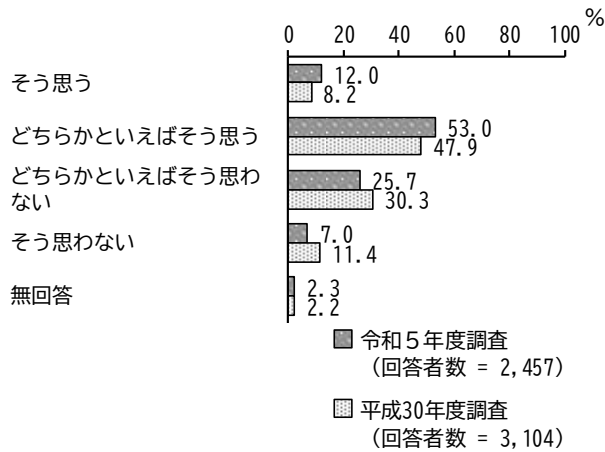


①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している

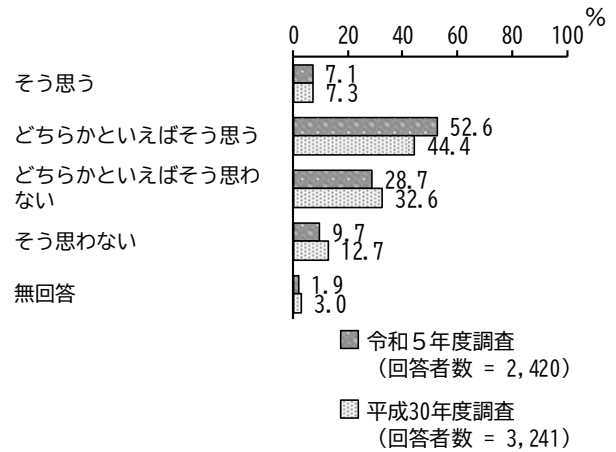
就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が増加しています。

就学児童では、平成30年度調査と比較すると、「どちらかといえばそう思う」の割合が増加しています。

【就学前児童】



【就学児童】

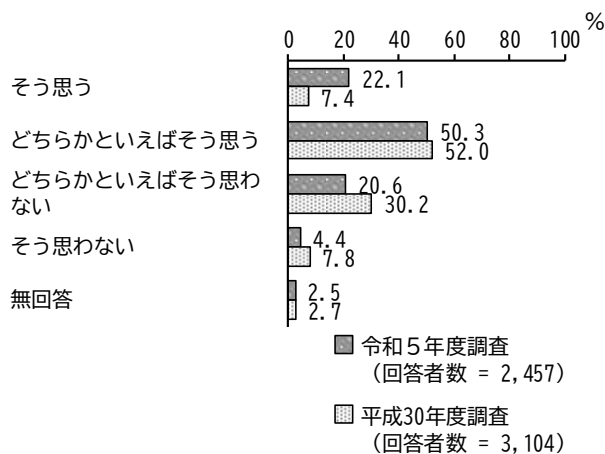


②子どもの教育環境が充実している

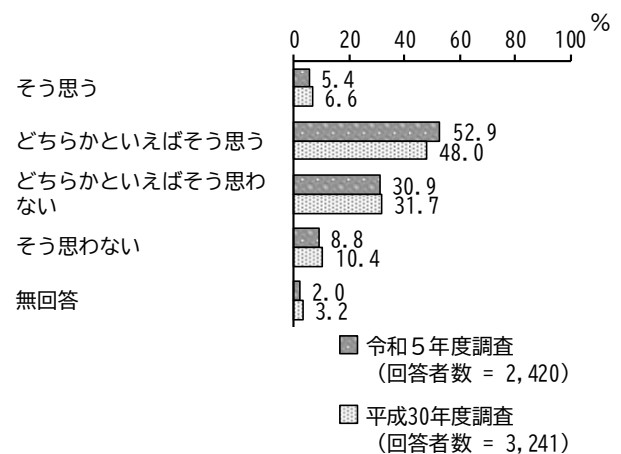
就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加しています。

就学児童では、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】

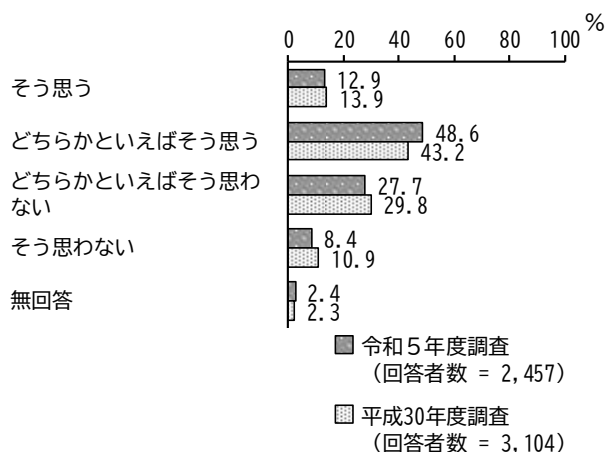


### ③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている

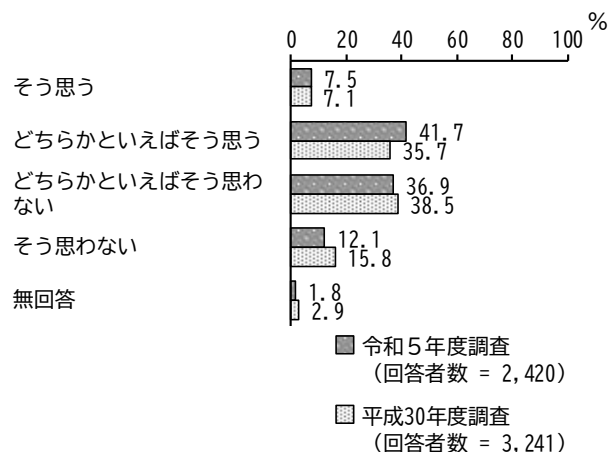
就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、「どちらかといえばそう思う」の割合が増加しています。

就学児童では、平成30年度調査と比較すると、「どちらかといえばそう思う」の割合が増加しています。

【就学前児童】



【就学児童】

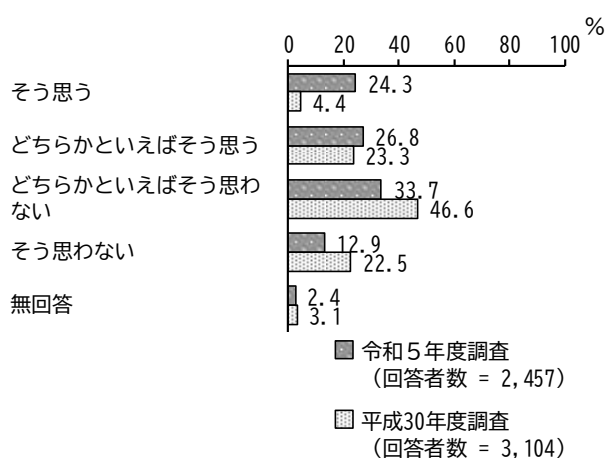


### ④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある

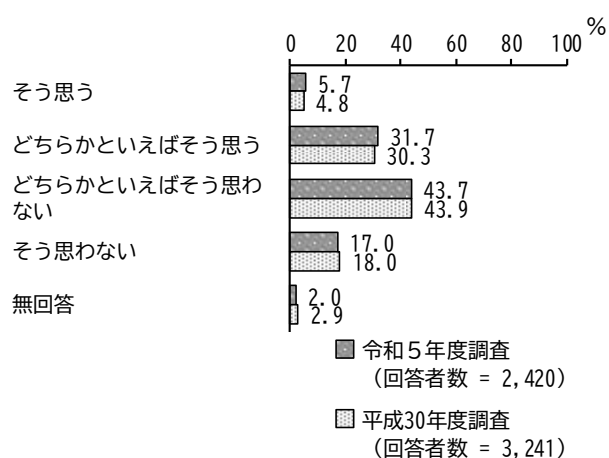
就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加しています。

就学児童では、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】



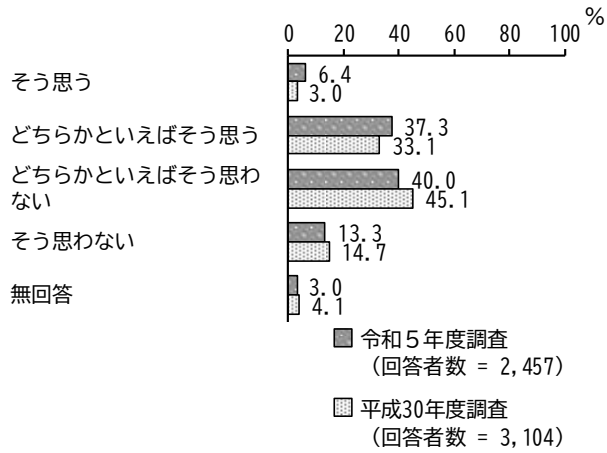


⑤児童虐待の早期発見や防止など、子どもの権利を守る体制が整っている

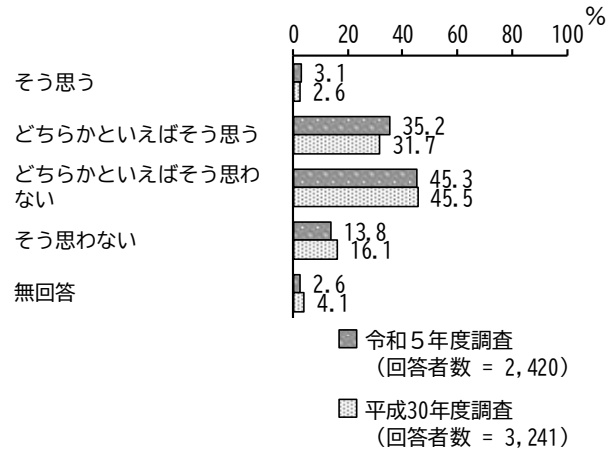
就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



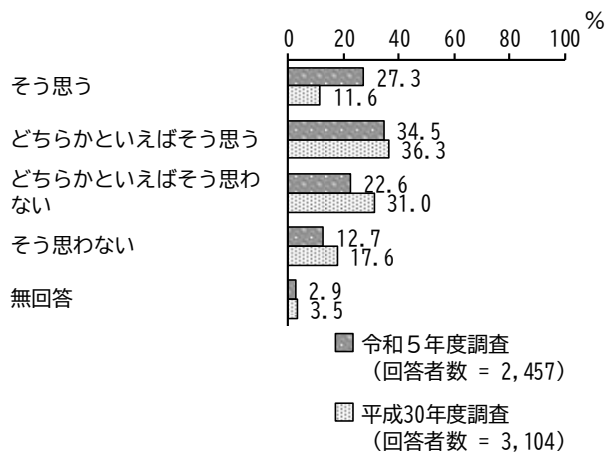
【就学児童】



⑥希望した時期に保育サービスを利用できる

平成30年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加しています。

【就学前児童】

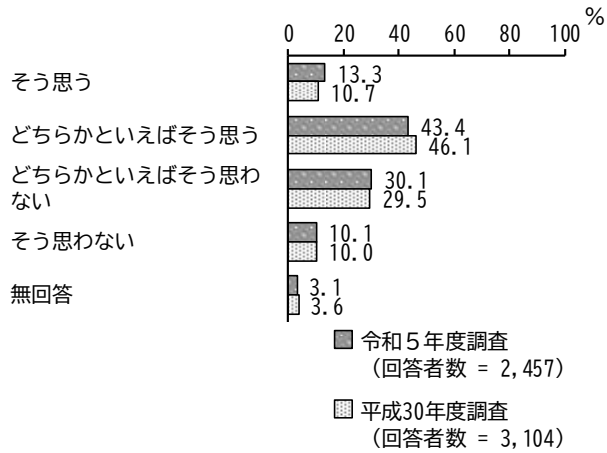


⑦保育所などでの多様な保育サービスが充実している

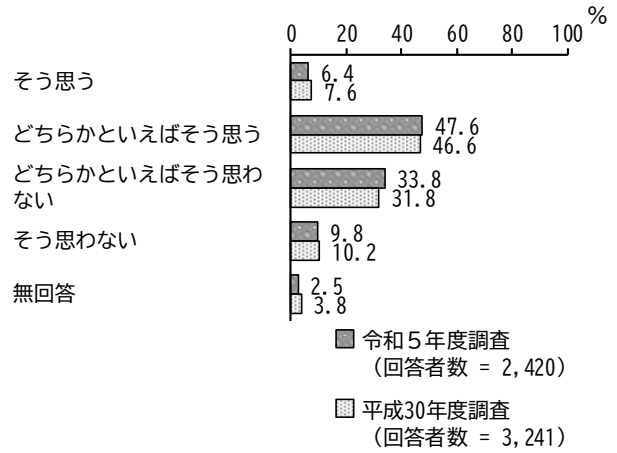
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、「平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。」

【就学前児童】



【就学児童】

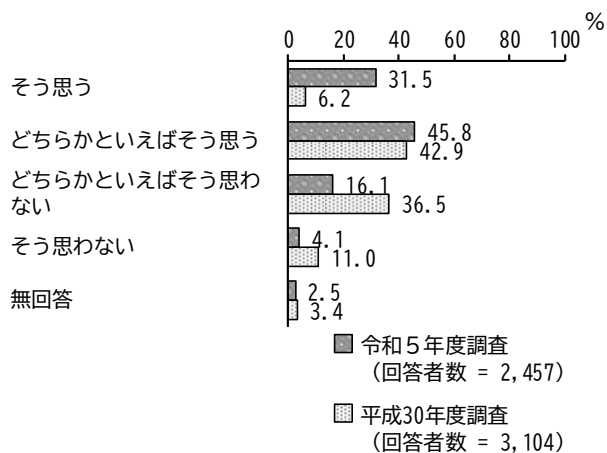


⑧子育ての相談窓口が充実している

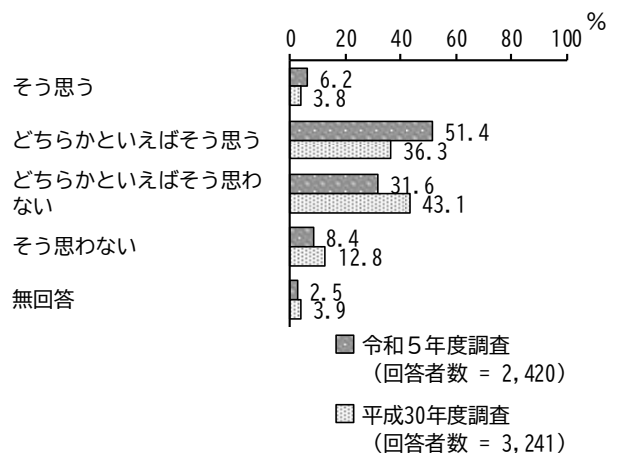
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加しています。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「どちらかといえばそう思う」の割合が増加しています。

【就学前児童】



【就学児童】

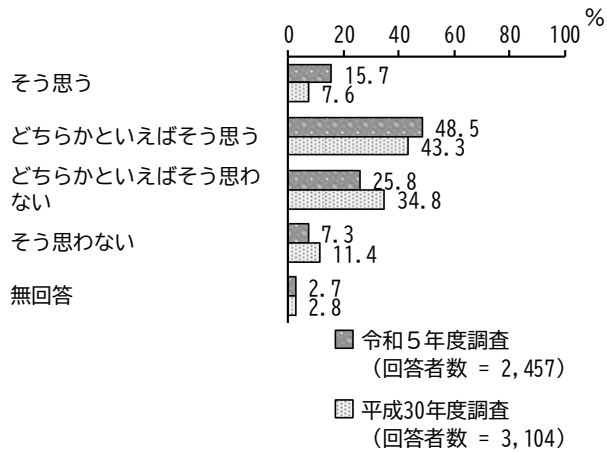


⑨子育てに関する情報が簡単に入手できる

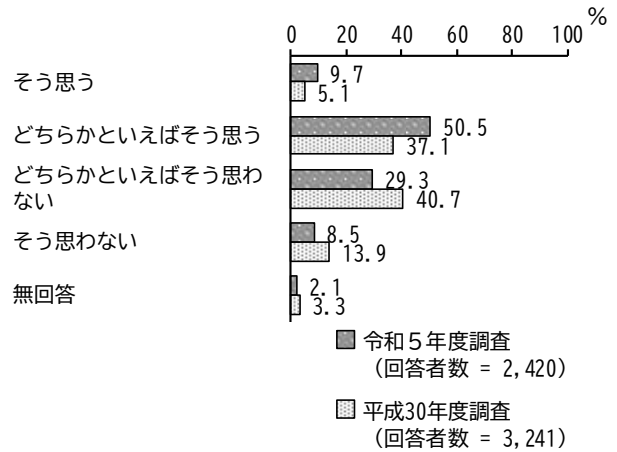
就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が増加しています。

就学児童では、平成30年度調査と比較すると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が増加しています。

【就学前児童】



【就学児童】

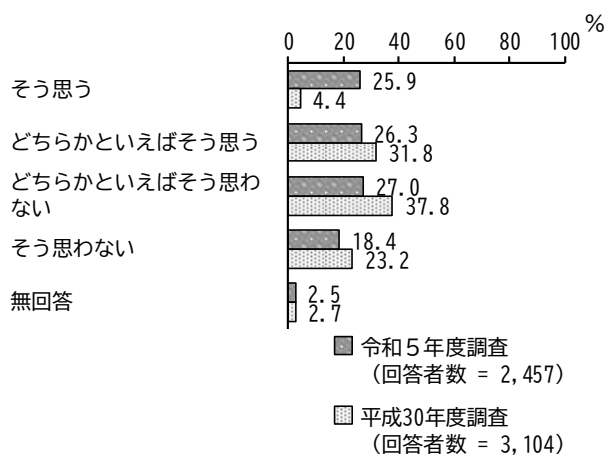


⑩子育て家庭への経済的援助が充実している

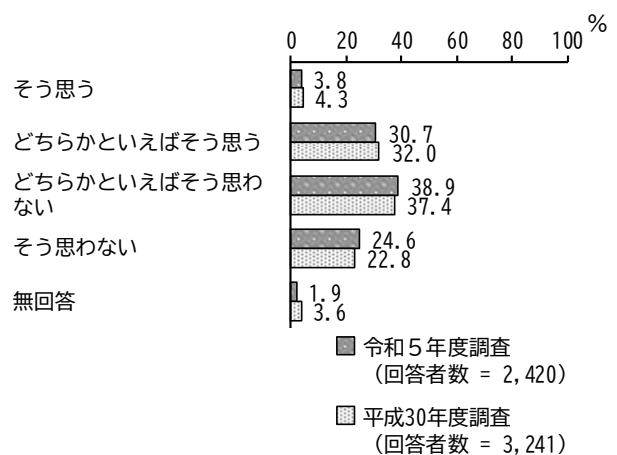
就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加しています。

就学児童では、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】

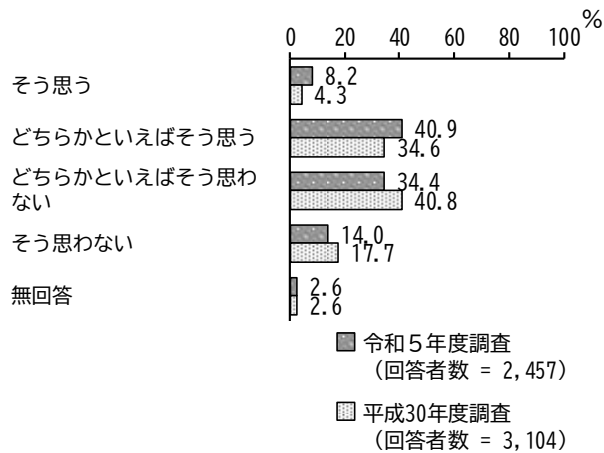


### ⑪子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている

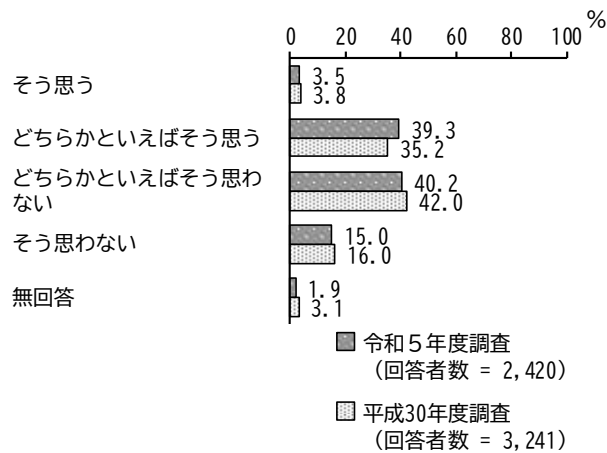
就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が増加しています。

就学児童では、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】

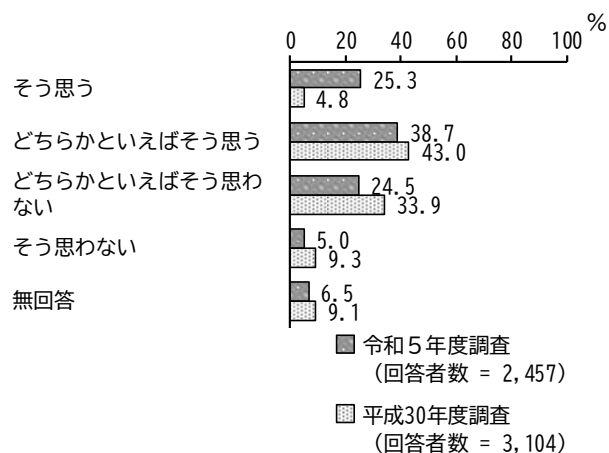


### ⑫外国籍家庭への子育て支援が充実している

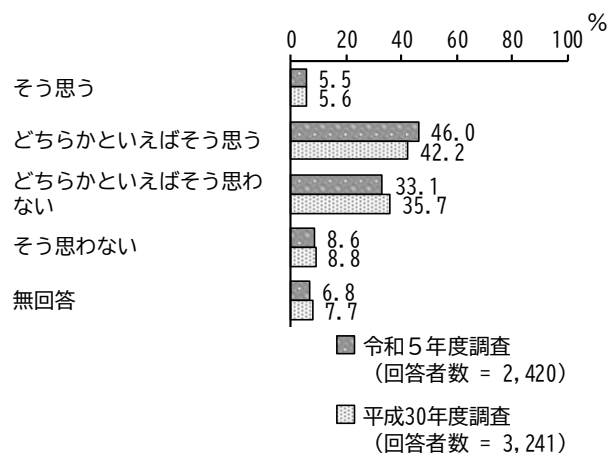
就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加しています。

就学児童では、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】

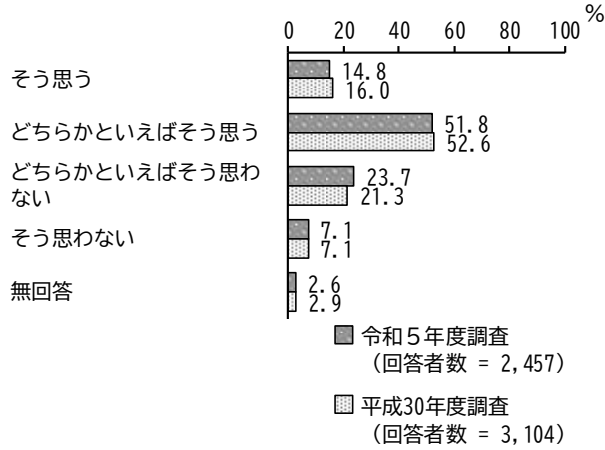


⑬妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している

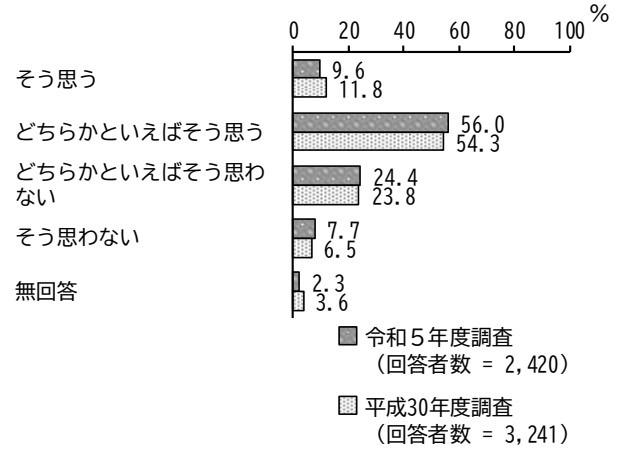
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】

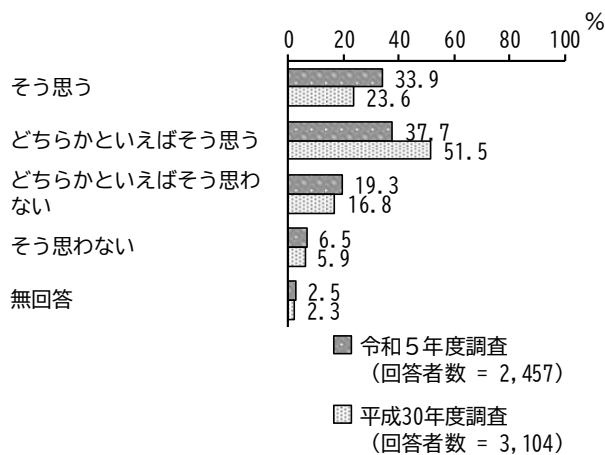


⑭子どものための医療施設が充実している

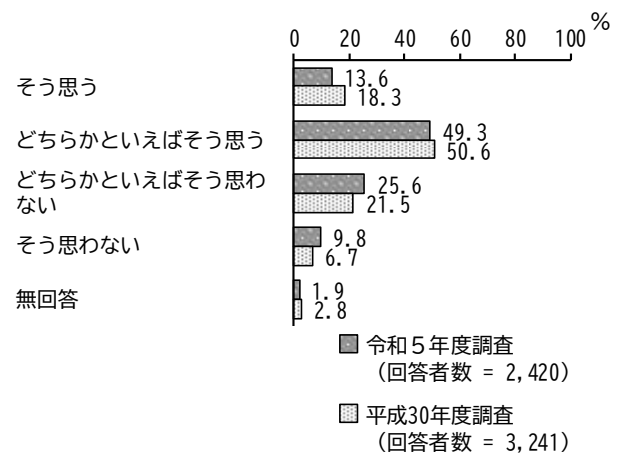
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加しています。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が減少しています。

【就学前児童】



【就学児童】

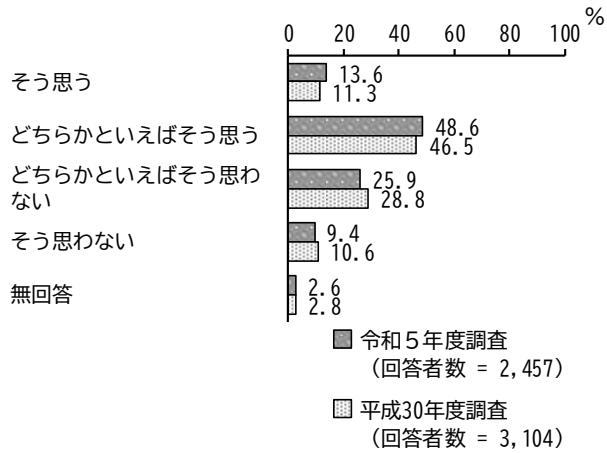


⑮子育てが家族や地域の人に支えられている

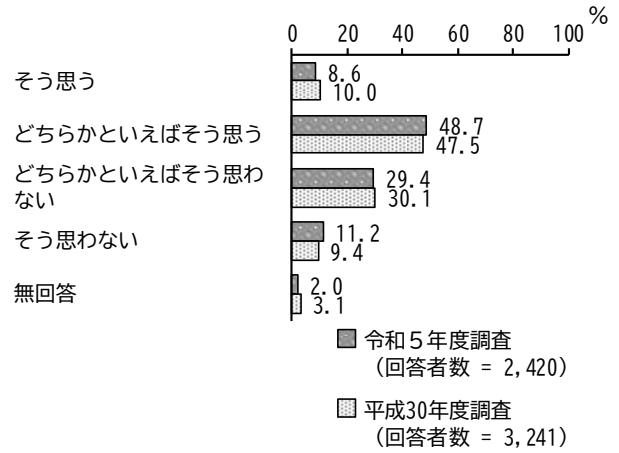
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】

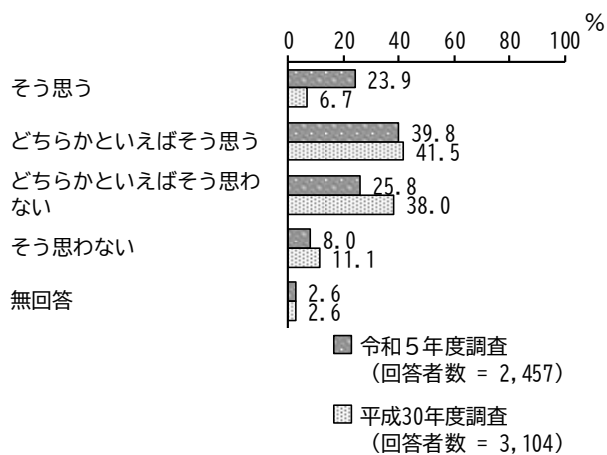


⑯同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている

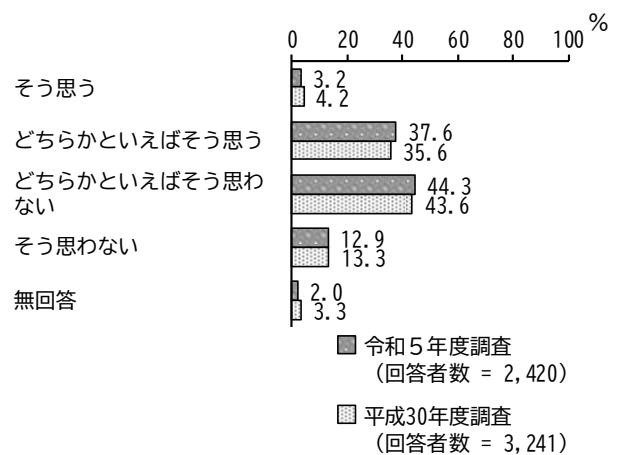
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加しています。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】

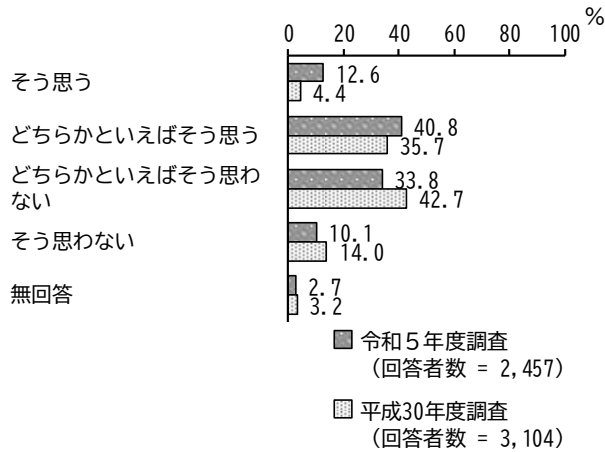


⑰地域で子育てをする環境が整備されている

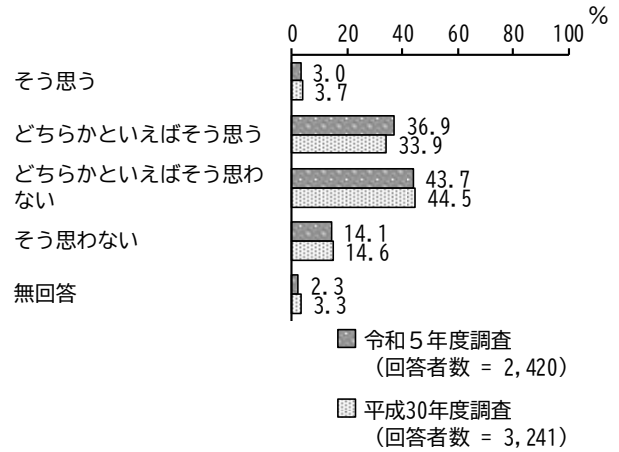
就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が増加しています。

就学児童では、平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】

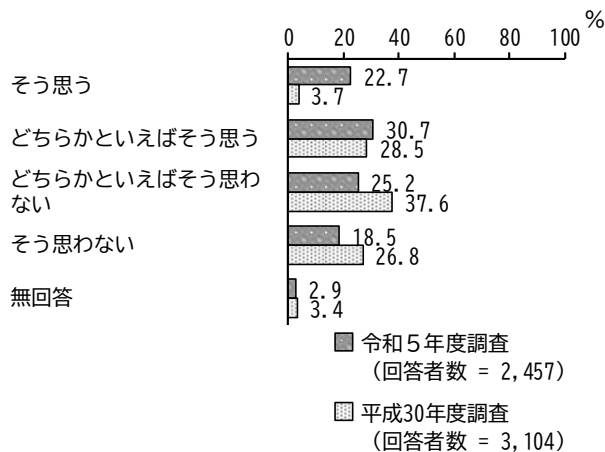


⑱女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる

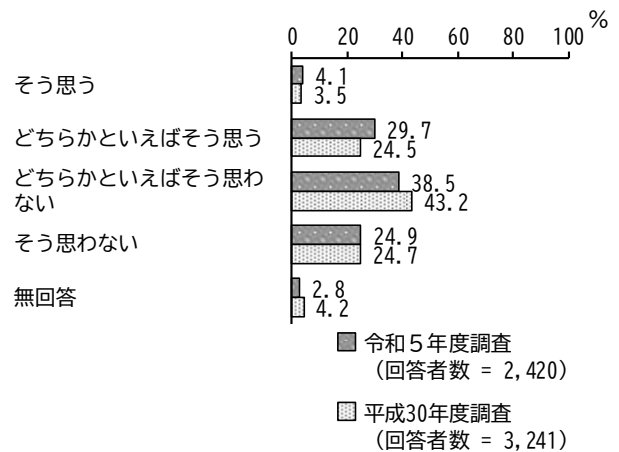
就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が増加しています。

就学児童では、平成30年度調査と比較すると、「どちらかといえばそう思う」の割合が増加しています。

【就学前児童】



【就学児童】

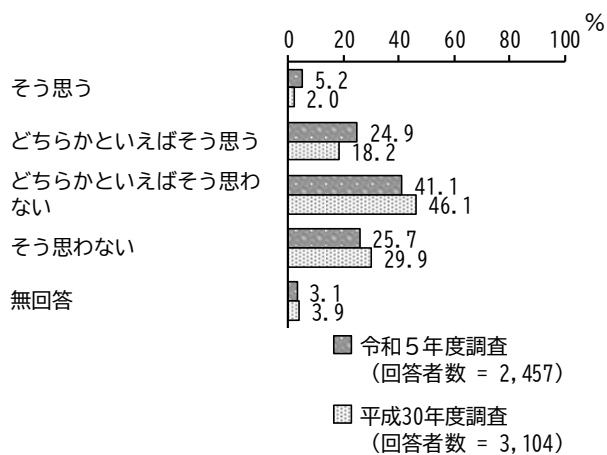


### ⑱子育て支援に積極的な企業が多い

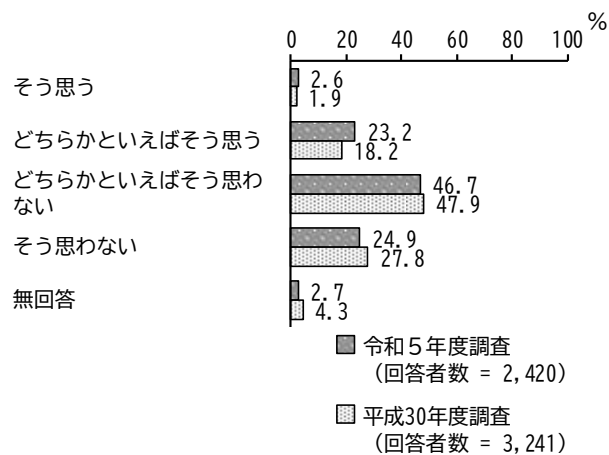
就学前児童では、平成30年度調査と比較すると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が増加しています。

就学児童では、平成30年度調査と比較すると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が増加しています。

【就学前児童】



【就学児童】





## (2) これから

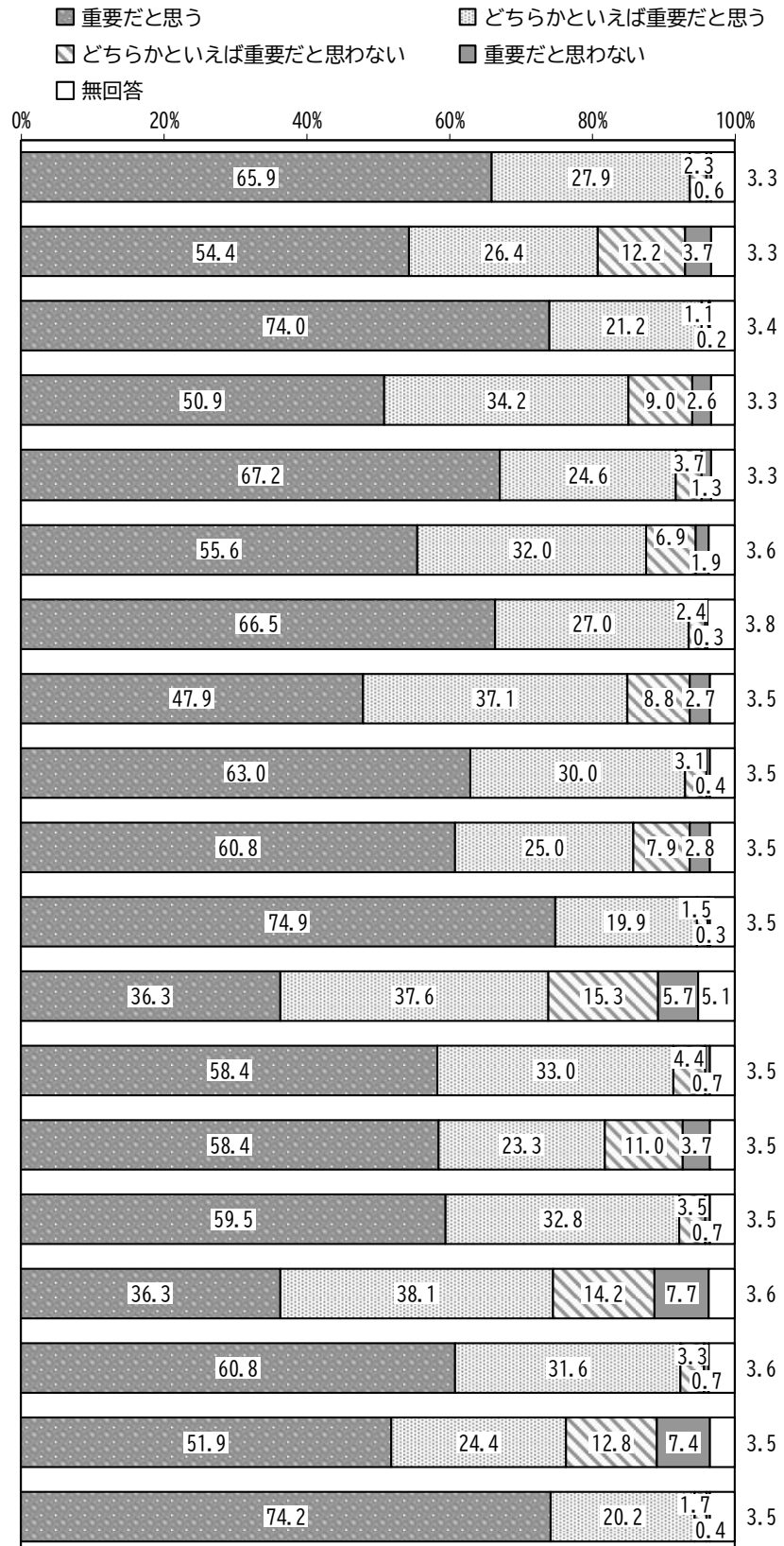
就学前児童では、「子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている」、「子育て支援に積極的な企業が多い」、「子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている」の順に、「重要だと思う」の割合が高くなっています。

就学児童では、「子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている」、「児童虐待の早期発見や防止など、子どもの権利を守る体制が整っている」、「子育て家庭への経済的支援が充実している」の順に、「重要だと思う」の割合が高くなっています。

### 【就学前児童】

回答者数 = 2,457

- ①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している
- ②子どもの教育環境が充実している
- ③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている
- ④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある
- ⑤児童虐待の早期発見や防止など、子どもの権利を守る体制が整っている
- ⑥希望した時期に保育サービスを利用できる
- ⑦保育所などでの多様な保育サービスが充実している
- ⑧子育ての相談窓口が充実している
- ⑨子育てに関する情報が簡単に入手できる
- ⑩子育て家庭への経済的援助が充実している
- ⑪子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている
- ⑫外国籍家庭への子育て支援が充実している
- ⑬妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している
- ⑭子どものための医療施設が充実している
- ⑮子育てが家族や地域の人に支えられている
- ⑯同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている
- ⑰地域で子育てをする環境が整備されている
- ⑱女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる
- ⑲子育て支援に積極的な企業が多い

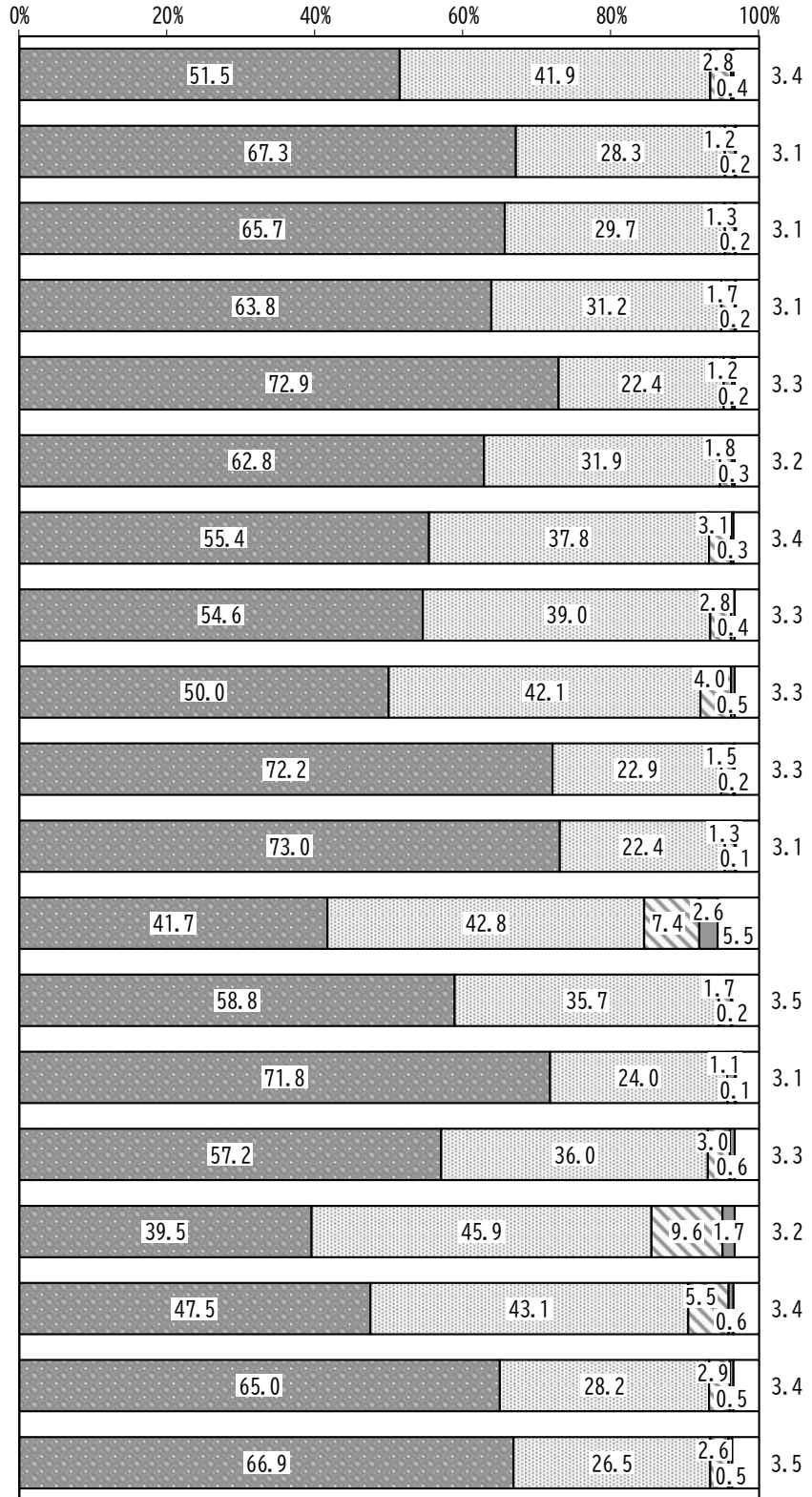


【就学児童】

- 重要だと思う
- どちらかといえば重要だと思う
- どちらかといえば重要だと思わない
- 重要だと思わない
- 無回答

回答者数 = 2,420

- ①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している
- ②子どもの教育環境が充実している
- ③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている
- ④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある
- ⑤児童虐待の早期発見や防止など、子どもの権利を守る体制が整っている
- ⑥希望した時期に保育サービスを利用できる
- ⑦保育所などでの多様な保育サービスが充実している
- ⑧子育ての相談窓口が充実している
- ⑨子育てに関する情報が簡単に入手できる
- ⑩子育て家庭への経済的援助が充実している
- ⑪子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている
- ⑫外国籍家庭への子育て支援が充実している
- ⑬妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している
- ⑭子どものための医療施設が充実している
- ⑮子育てが家族や地域の人に支えられている
- ⑯同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている
- ⑰地域で子育てをする環境が整備されている
- ⑱女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる
- ⑲子育て支援に積極的な企業が多い

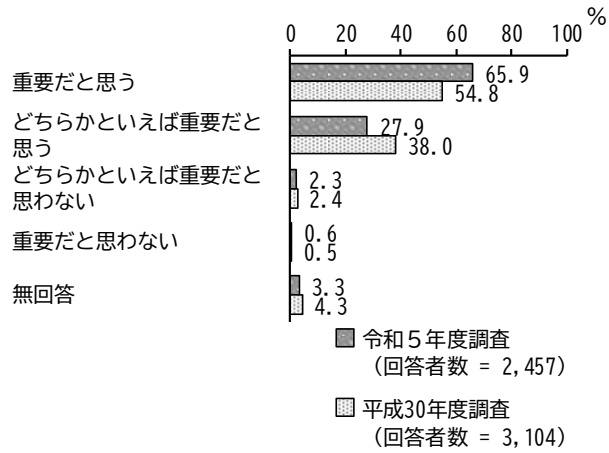


①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している

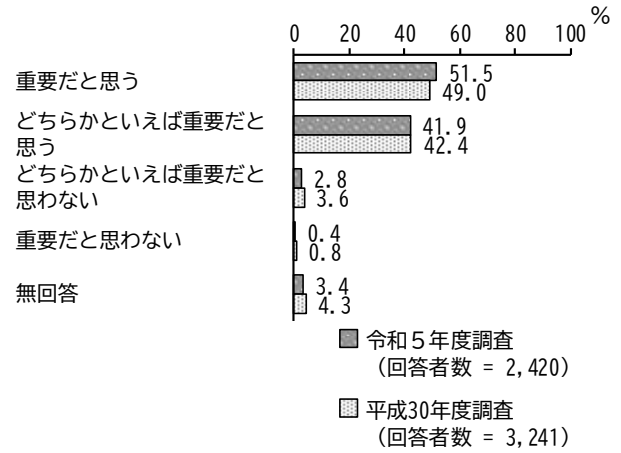
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「重要だと思う」の割合が増加しています。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】

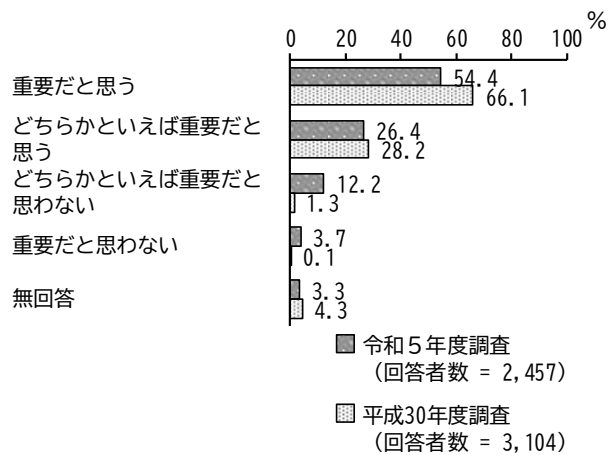


②子どもの教育環境が充実している

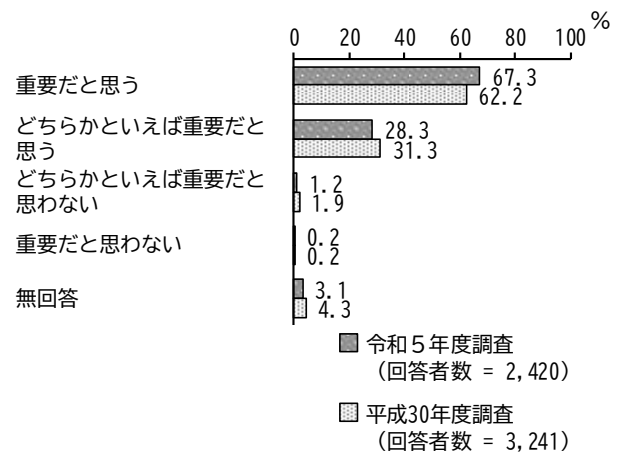
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「重要だと思う」の割合が減少しています。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



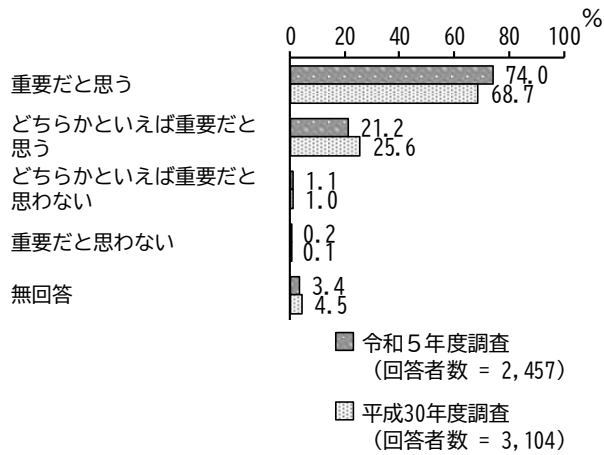
【就学児童】



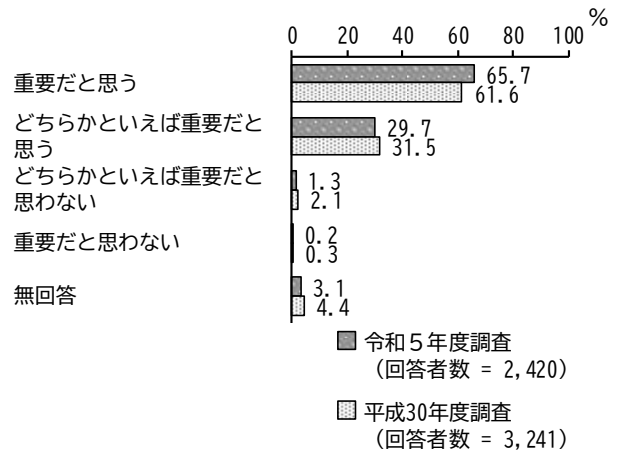
### ③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている

就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「重要だと思う」の割合が増加しています。  
 就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



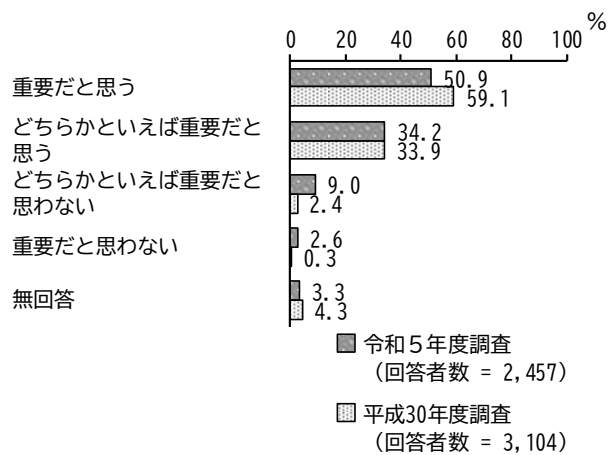
【就学児童】



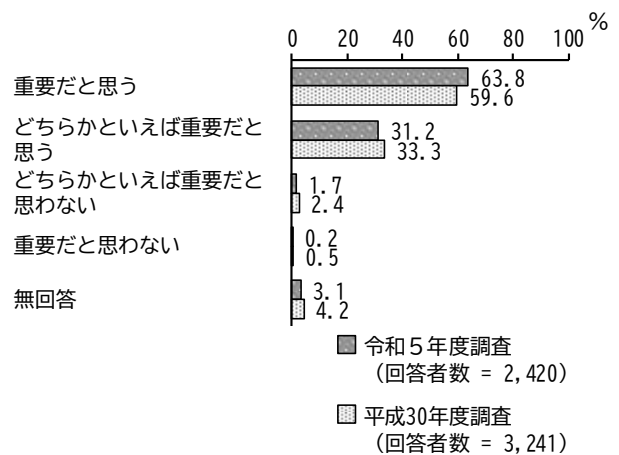
### ④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある

就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「重要だと思う」の割合が減少しています。  
 就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】

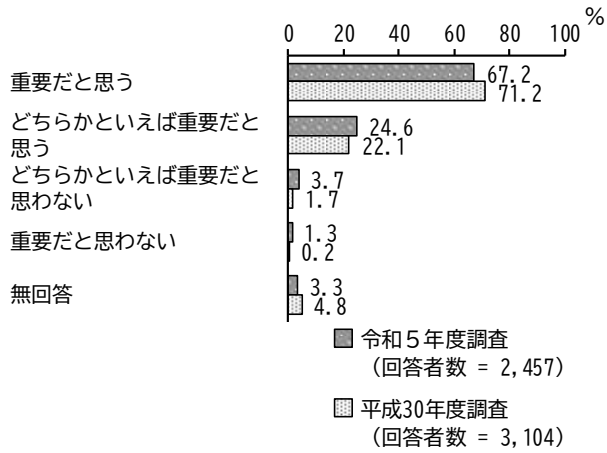


⑤児童虐待の早期発見や防止など、子どもの権利を守る体制が整っている

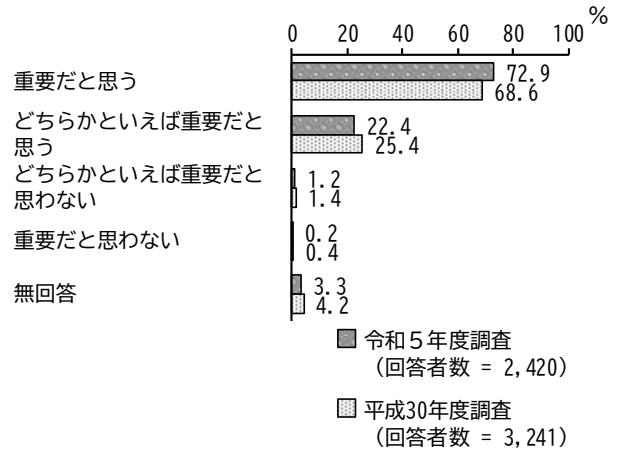
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



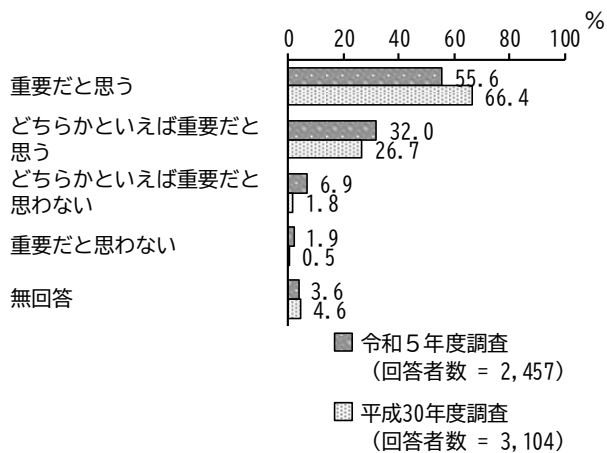
【就学児童】



⑥希望した時期に保育サービスを利用できる

平成 30 年度調査と比較すると、「重要だと思う」の割合が減少しています。

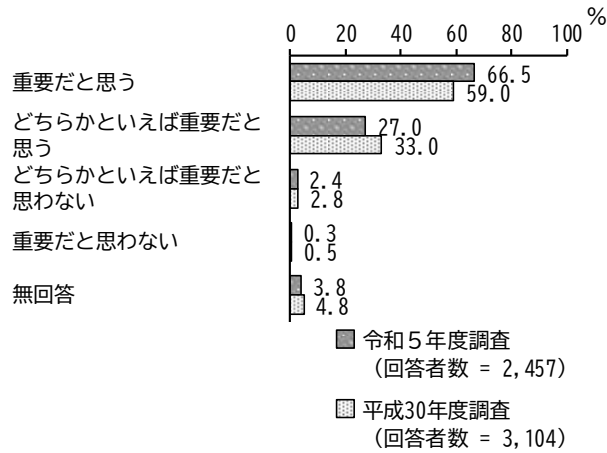
【就学前児童】



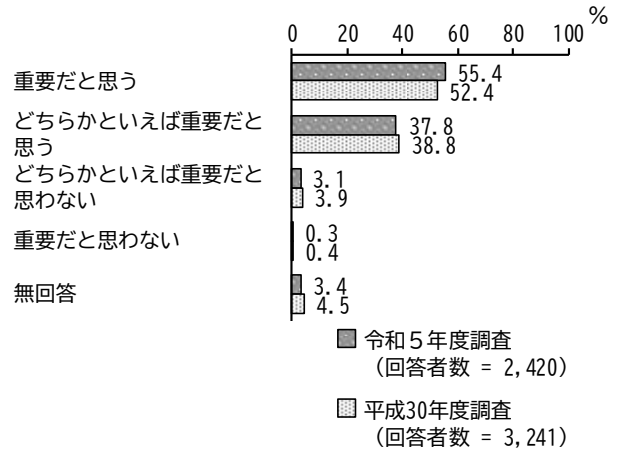
⑦保育所などでの多様な保育サービスが充実している

就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「重要だと思う」の割合が増加しています。  
 就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



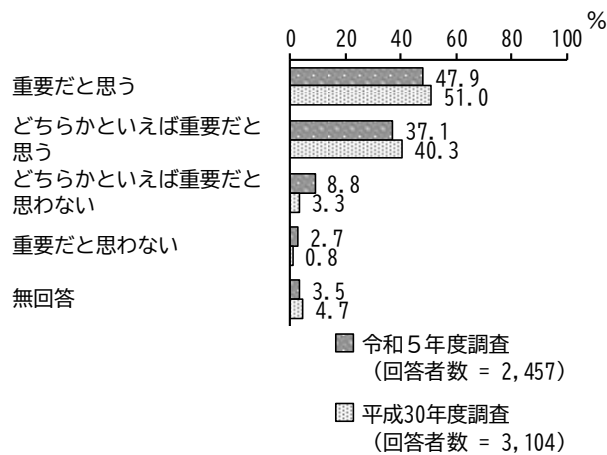
【就学児童】



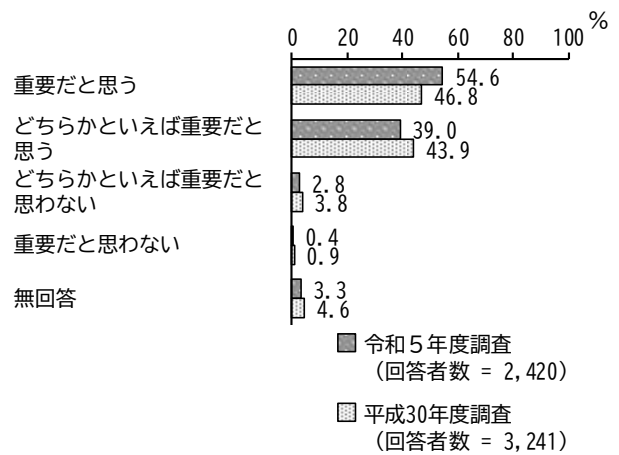
⑧子育ての相談窓口が充実している

就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。  
 就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「重要だと思う」の割合が増加しています。

【就学前児童】



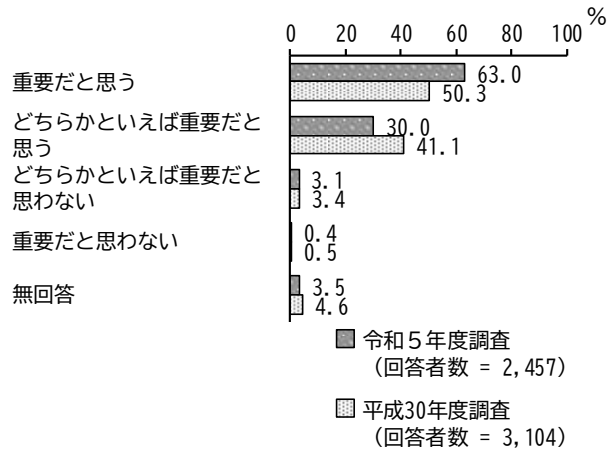
【就学児童】



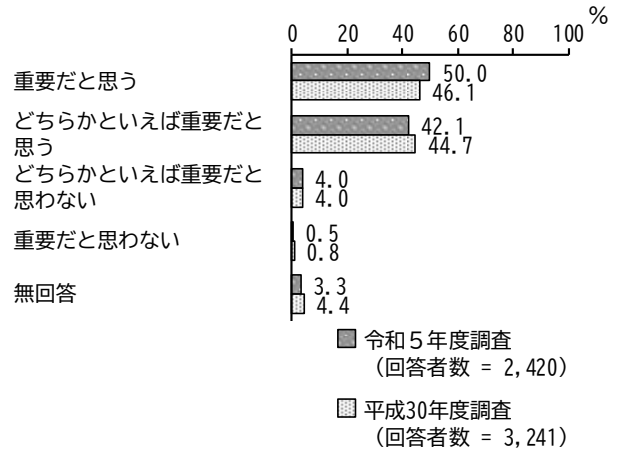
### ⑨子育てに関する情報が簡単に入手できる

就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「重要だと思う」の割合が増加しています。  
 就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



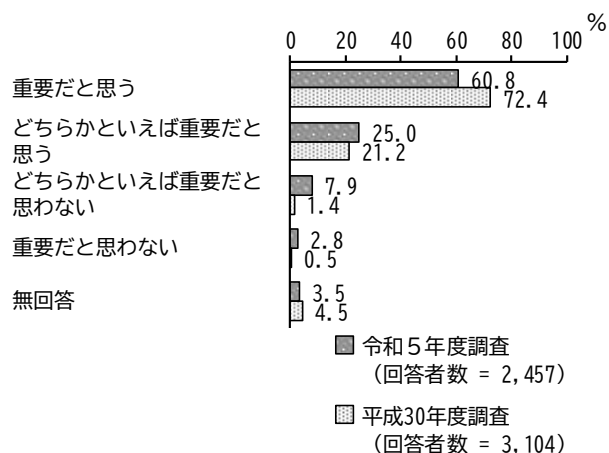
【就学児童】



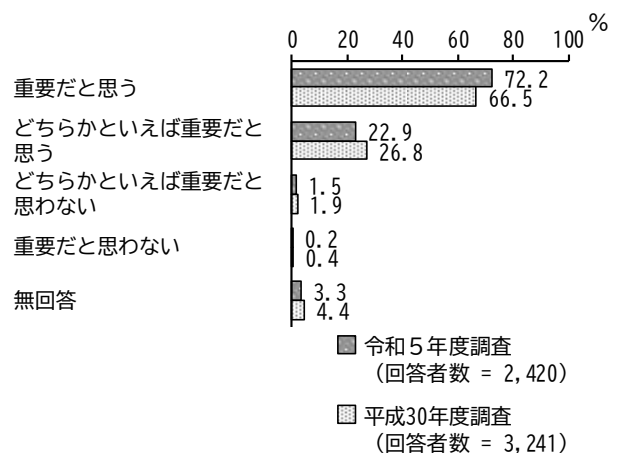
### ⑩子育て家庭への経済的援助が充実している

就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「重要だと思う」の割合が減少しています。  
 就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「重要だと思う」の割合が増加しています。

【就学前児童】



【就学児童】

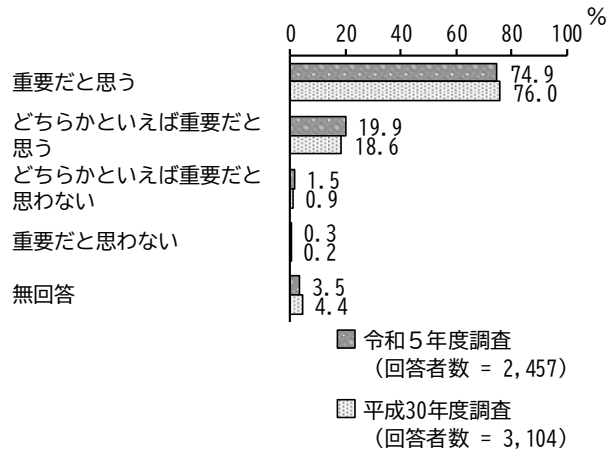


### ⑪子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている

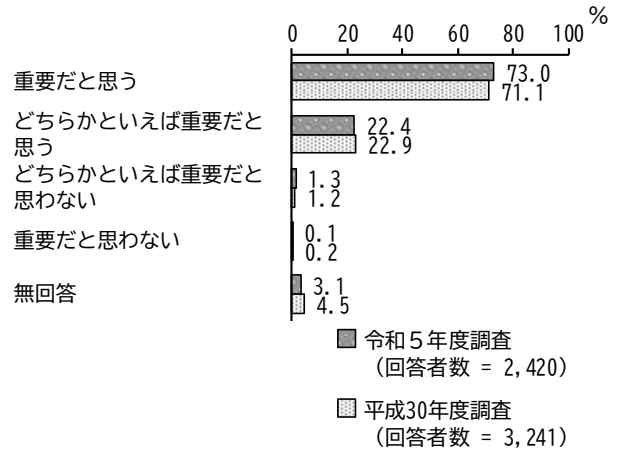
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】

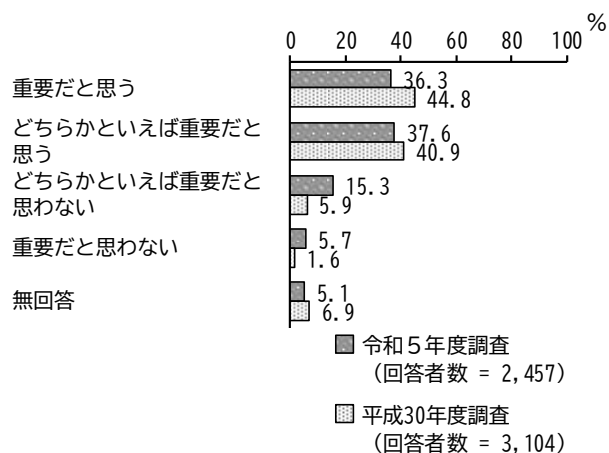


### ⑫外国籍家庭への子育て支援が充実している

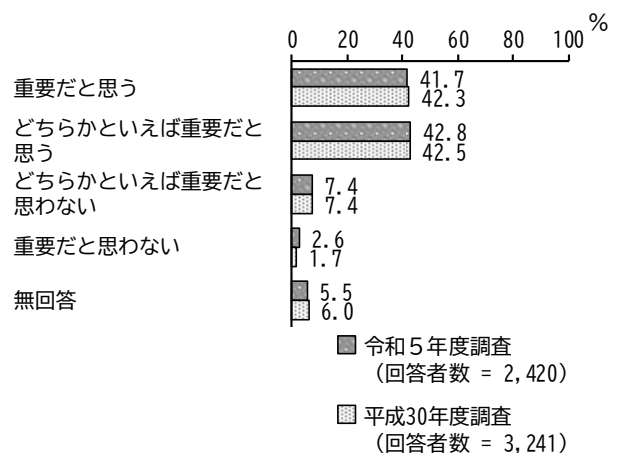
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「重要だと思う」の割合が減少しています。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】



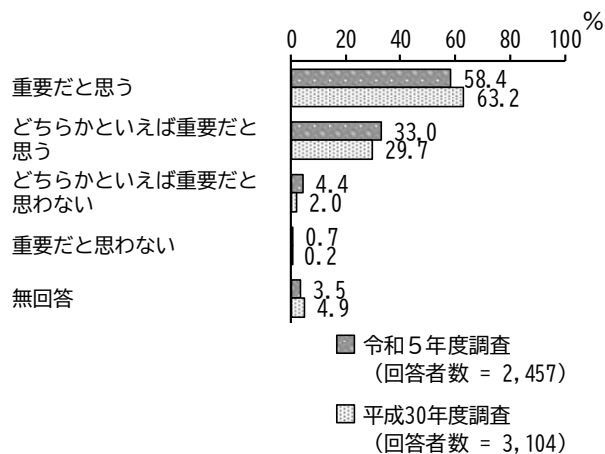


### ⑬妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している

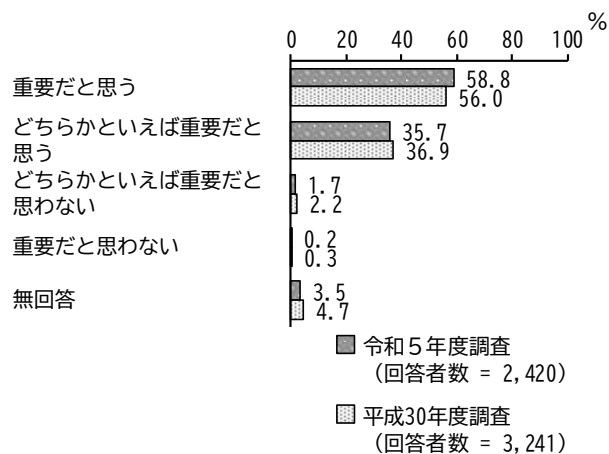
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「重要だと思う」の割合が減少しています。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

#### 【就学前児童】



#### 【就学児童】

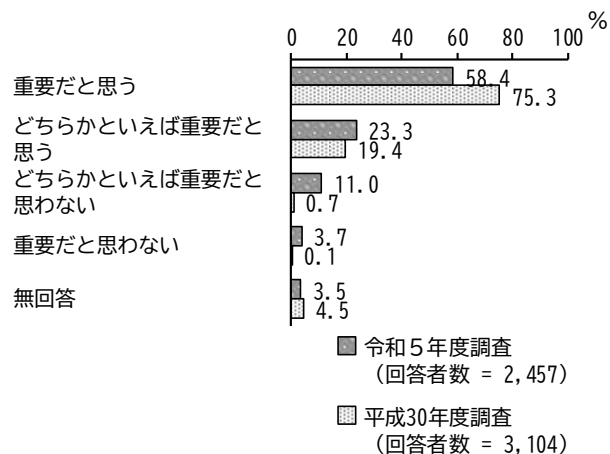


### ⑭子どものための医療施設が充実している

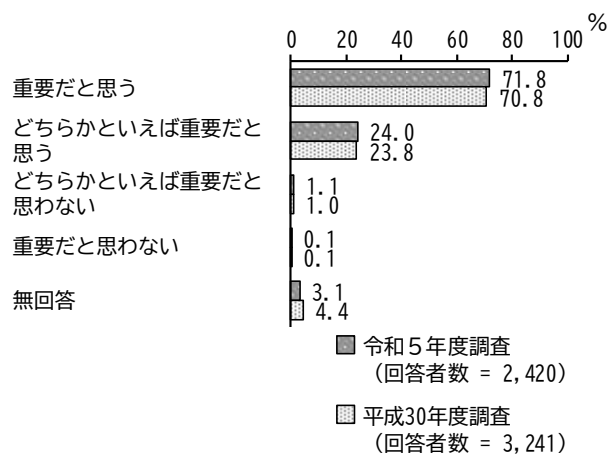
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「重要だと思う」の割合が減少しています。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

#### 【就学前児童】



#### 【就学児童】

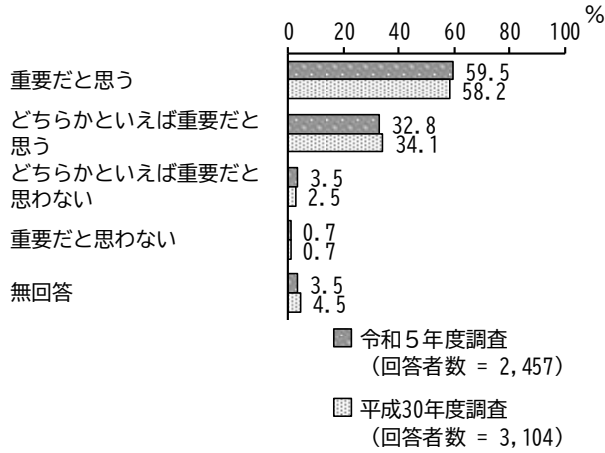


⑮子育てが家族や地域の人に支えられている

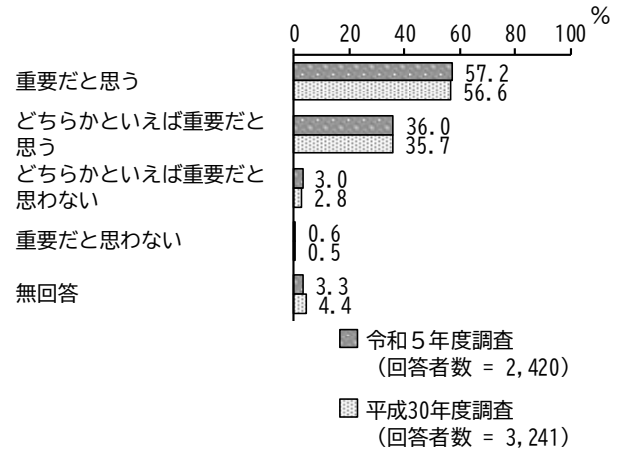
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】

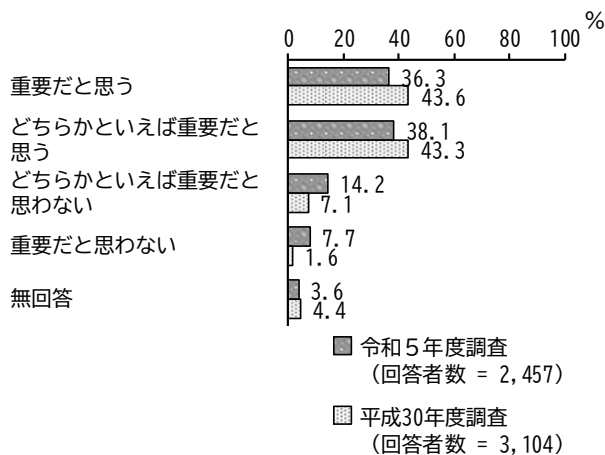


⑯同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている

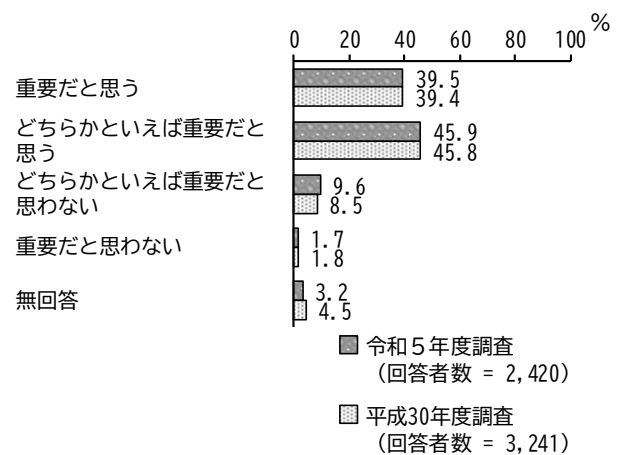
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「重要だと思う」の割合が減少しています。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



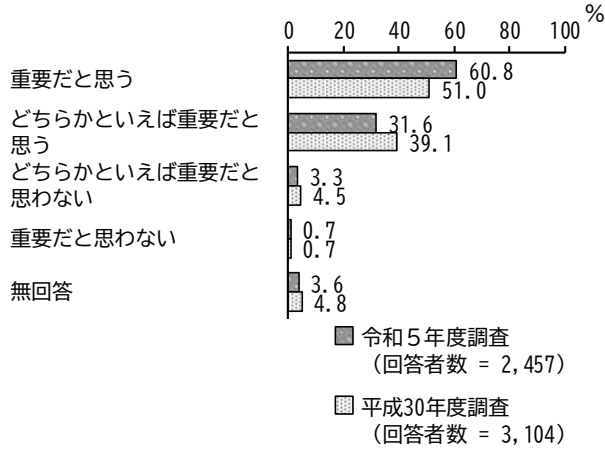
【就学児童】



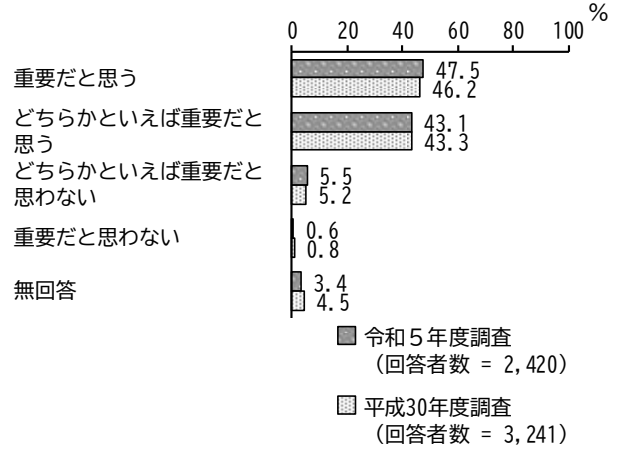
⑰地域で子育てをする環境が整備されている

就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「重要だと思う」の割合が増加しています。  
 就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



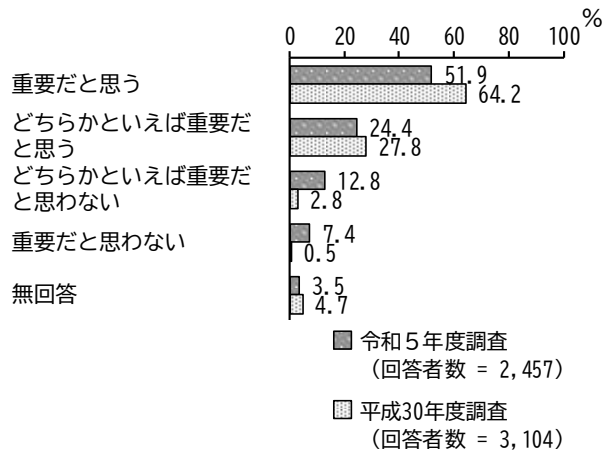
【就学児童】



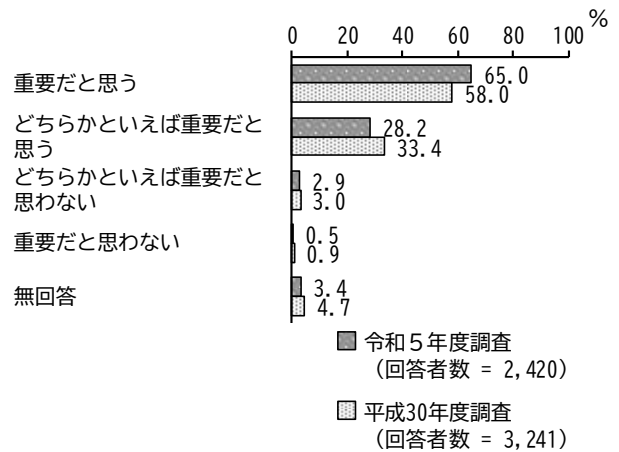
⑱女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる

就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「重要だと思う」の割合が減少しています。  
 就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「重要だと思う」の割合が増加しています。

【就学前児童】



【就学児童】

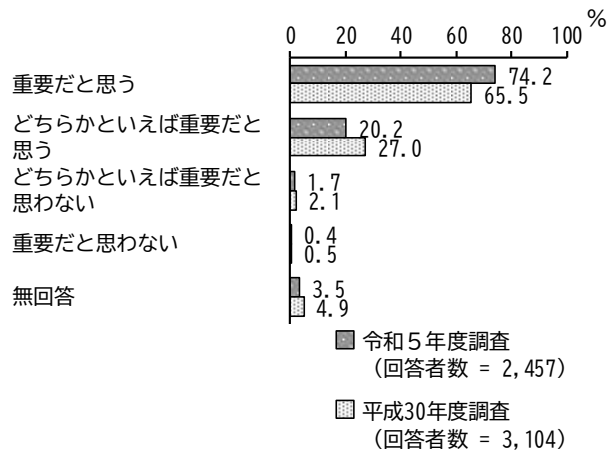


⑱子育て支援に積極的な企業が多い

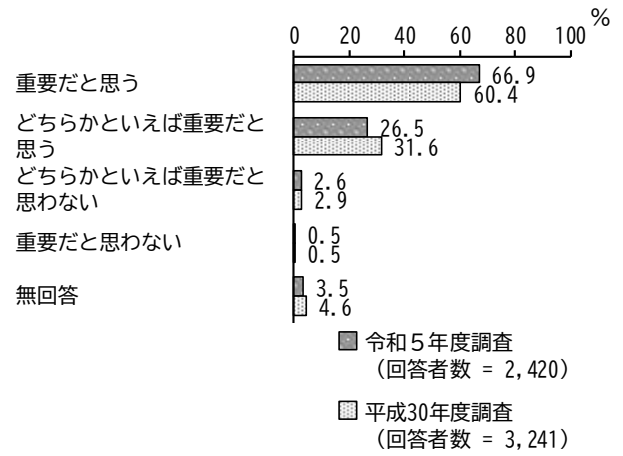
就学前児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「重要だと思う」の割合が増加しています。

就学児童では、平成 30 年度調査と比較すると、「重要だと思う」の割合が増加しています。

【就学前児童】



【就学児童】



区 分	就学前保護者			
	(1) 現在 (思う)		(2) これから (重要だと思う)	
	平成 30 年度 調査	令和 5 年度 調査	平成 30 年度 調査	令和 5 年度 調査
①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している	56.1	65.0	92.8	93.8
②子どもの教育環境が充実している	59.4	72.4	94.3	80.8
③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている	57.1	61.5	94.3	95.2
④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある	27.7	51.1	93.0	85.1
⑤児童虐待の早期発見や防止など子どもの権利を守る体制が整っている	36.1	43.7	93.3	91.8
⑥希望した時期に保育サービスを利用できる	47.9	61.8	93.1	87.6
⑦保育所などでの多様な保育サービスが充実している	56.8	56.7	92.0	93.5
⑧子育ての相談窓口が充実している	49.1	77.3	91.3	85.0
⑨子育てに関する情報が簡単に入手できる	50.9	64.2	91.4	93.0
⑩子育て家庭への経済的援助が充実している	36.2	52.2	93.6	85.8
⑪子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている	38.9	49.1	94.6	94.8
⑫外国籍家庭への子育て支援が充実している	47.8	64.0	85.7	73.9
⑬妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している	68.6	66.6	92.9	91.4
⑭子どものための医療施設が充実している	75.1	71.6	94.7	81.7
⑮子育てが家族や地域の人に支えられている	57.8	62.2	92.3	92.3
⑯同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている	48.2	63.7	86.9	74.4
⑰地域で子育てをする環境が整備されている	40.1	53.4	90.1	92.4
⑱女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる	32.2	53.4	92.0	76.3
⑲子育て支援に積極的な企業が多い	20.2	30.1	92.5	94.4

※色のついた項目は、平成30年度調査と比べて5%以上の差がみられる項目です。

区 分	就学児保護者			
	(1) 現在 (思う)		(2) これから (重要だと思う)	
	平成 30 年度 調査	令和 5 年度 調査	平成 30 年度 調査	令和 5 年度 調査
①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している	51.7	59.7	91.4	93.4
②子どもの教育環境が充実している	54.6	58.3	93.5	95.6
③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている	42.8	59.7	93.1	95.4
④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある	35.1	37.4	92.9	95.0
⑤児童虐待の早期発見や防止など子どもの権利を守る体制が整っている	34.3	38.3	94.0	95.3
⑥希望した時期に保育サービスを利用できる	-	50.6	-	94.7
⑦保育所などでの多様な保育サービスが充実している	54.2	54.0	91.2	93.2
⑧子育ての相談窓口が充実している	40.1	57.6	90.7	93.6
⑨子育てに関する情報が簡単に入手できる	42.2	60.2	90.8	92.1
⑩子育て家庭への経済的援助が充実している	36.3	34.5	93.3	95.1
⑪子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている	39.0	42.8	94.0	95.4
⑫外国籍家庭への子育て支援が充実している	47.8	51.5	84.8	84.5
⑬妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している	66.1	65.6	92.9	94.5
⑭子どものための医療施設が充実している	68.9	62.9	94.6	95.8
⑮子育てが家族や地域の人に支えられている	57.5	57.3	92.3	93.2
⑯同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている	39.8	40.8	85.2	85.4
⑰地域で子育てをする環境が整備されている	37.6	39.9	89.5	90.6
⑱女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる	28.0	33.8	91.4	93.2
⑲子育て支援に積極的な企業が多い	20.1	25.8	92.0	93.4

※色のついた項目は、平成30年度調査と比べて5%以上の差がみられる項目です。

問 豊橋市は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。(就学前児童：問 63、就学児童：問 50)

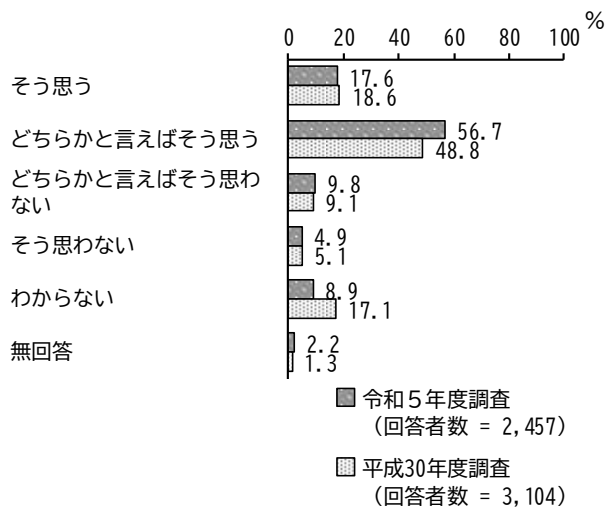
就学前児童では、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の割合の合計が 74.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、6.9 ポイント増加しています。

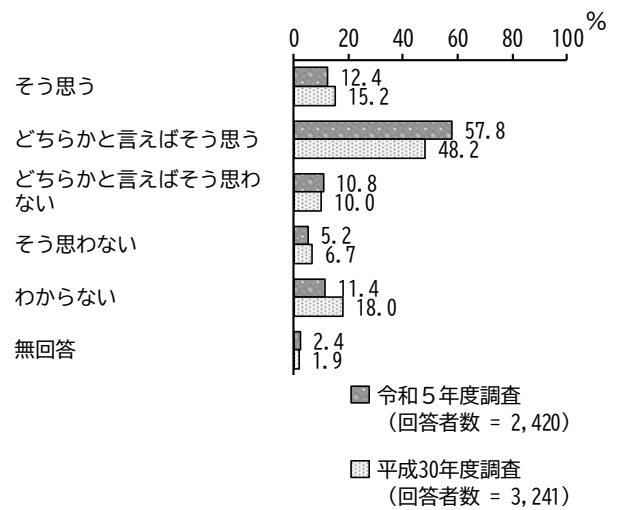
就学児童では、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の割合の合計が 70.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、6.8 ポイント増加しています。

【就学前児童】



【就学児童】



【父母の就労状況別】

就学前児童、就学児童ともに、「父フルタイム×母フルタイム」「父フルタイム×母パート」「父フルタイム×母働いていない」の順に、「そう思う（どちらかと言えばを含む）」の割合が高くなっています。

【就学前児童】

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか と言えばそう 思う	どちらか と言えばそう 思わない	そう思わない	わからない	無回答
全 体	2,457	17.6	56.7	9.8	4.9	8.9	2.2
父フルタイム×母フルタイム	836	18.8	59.0	9.8	3.6	7.4	1.4
父フルタイム×母パート	891	17.4	56.8	8.5	5.7	8.9	2.7
父フルタイム×母働いていない	483	16.8	54.7	12.6	3.9	10.8	1.2
父パート×母フルタイム	3	—	33.3	—	33.3	—	33.3
父パート×母パート	4	—	50.0	—	—	50.0	—
父パート×母働いていない	1	100.0	—	—	—	—	—
父働いていない×母フルタイム	8	12.5	62.5	12.5	—	12.5	—
父働いていない×母パート	1	—	100.0	—	—	—	—
父働いていない×母働いていない	1	—	100.0	—	—	—	—
その他	129	11.6	55.8	7.8	10.9	9.3	4.7

【就学児童】

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか と言えばそう 思う	どちらか と言えばそう 思わない	そう思わない	わからない	無回答
全 体	2,420	12.4	57.8	10.8	5.2	11.4	2.4
父フルタイム×母フルタイム	624	13.9	57.5	11.7	5.3	9.3	2.2
父フルタイム×母パート	1,121	11.8	58.9	10.6	4.4	11.8	2.6
父フルタイム×母働いていない	293	12.3	56.7	11.9	5.1	12.3	1.7
父パート×母フルタイム	7	14.3	42.9	14.3	—	28.6	—
父パート×母パート	7	28.6	42.9	14.3	—	14.3	—
父パート×母働いていない	2	—	—	—	—	100.0	—
父働いていない×母フルタイム	6	—	66.7	16.7	—	16.7	—
父働いていない×母パート	3	33.3	33.3	33.3	—	—	—
父働いていない×母働いていない	1	—	100.0	—	—	—	—
その他	213	12.7	53.5	9.4	7.5	13.6	3.3



問 前問で回答した理由を記入してください。(就学前児童：問 64、就学児童：問 51)

①「そう思う」の主な理由

【就学前児童】

- ・子育て支援や施設が充実している
- ・子育てしやすい環境で安心できる
- ・保育料が第2子から無料である
- ・未就園児が遊べる施設が多い など

【就学児童】

- ・病院や施設が充実している
- ・公園が多くて遊ぶ所がある
- ・利用しやすい距離にある施設が多い
- ・海も近く自然が豊かである など

②「そう思わない」の主な理由

【就学前児童】

- ・子育て対策がしっかりしていると実感ができない
- ・そもそも市がなにをやっているかわからない
- ・子育て家族に経済的援助が充実していない
- ・働いていないと保育園に入れられない など

【就学児童】

- ・子育てのサポートは沢山あるが利用しにくい
- ・安心させて遊ばせられる環境ではない
- ・近くに公園がなく遊ぶ場所が少ない
- ・市全体が子育てに非協力的なイメージがある など

### Ⅲ 自由意見

#### 1 就学前児童

カテゴリー	件数
1 保護者の就労環境	98
・ 働く親と子育てに関して理解してほしい。	7
・ 子供が病気の時に仕事を休めない。	1
・ 労働環境が良くなってほしい。	6
・ 仕事と子育ての両立ができる環境の整備をしてほしい。	71
・ 就労場所がない。	4
・ 女性の地位の向上が必要。	3
・ 男性の育休取得を進めてほしい。	6
2 幼児期の教育・保育	227
・ 保育園を増やしてほしい。	25
・ 保育園に空調設備を充実させてほしい。	2
・ 幼稚園、保育園の時間延長してほしい。	8
・ 休日の保育施設を増やしてほしい。	15
・ 保育士の質を向上させてほしい。	9
・ 保育内容を充実してほしい。	35
・ 保育園の入園の際に就労状況・条件を見直してほしい。	56
・ 保育園の空き情報を開示してほしい。	11
・ 入園手続きを簡素化してほしい。	9
・ 保育料の決め方を公平にしてほしい。	2
・ 保育士の手当を充実してほしい。	18
・ 保育士の労働環境を見直すべきである。	9
・ 第1子・3歳未満の保育料が高いので安くしてほしい。	25
・ 幼稚園無償化は助かっている。	3
3 病気の際や不定期の教育・保育	96
・ 病児・病後児保育を増やしてほしい。	13
・ 病児・病後児保育をもっと安価で、利用しやすくしてほしい。	16
・ 一時預かりを気軽に利用できるようにしてほしい。	35
・ 一時預かりの事業を増やしてほしい。	26
・ 親の休養で子供を預かってほしい。	2
・ 長期休暇中に預かってくれる施設がほしい。	4
4 小学校就学後の放課後の過ごし方	84
・ 放課後児童クラブの時間を延長してほしい。	7

カテゴリー	件数
・ 放課後児童クラブ、学童の内容を充実させてほしい。	44
・ 放課後児童クラブ、学童の定員を増やしてほしい。	7
・ 入所の条件を見直してほしい。	22
・ 先生の質を向上させてほしい。	1
・ 放課後児童クラブ、学童の利用料金を安くしてほしい。	3
5 出産・子育て	50
・ 子育てに関する考え方を各々持つべき。	19
・ 男性も育児に積極的にかかわってほしい。	10
・ 産後ケアの充実。	14
・ 不妊治療の充実。	7
6 教育・学校	73
・ 教師の質を向上させてほしい。	7
・ 教育の質を上げてほしい。	16
・ 授業、学校行事等を充実する。	2
・ 英語での教育やサポートをしてほしい。	1
・ いじめ対策が必要である。	2
・ 学校の施設環境をよくする。	14
・ 校区を見直してほしい。	4
・ スクールバスを導入してほしい。	7
・ 先生の待遇をよくする。	8
・ PTA など親との良好な関係づくり	3
・ 部活に代わる何か必要である。	4
・ 習い事教室をつくってほしい。	3
・ 習い事への支援をしてほしい。	2
7 遊び場・施設・道路	397
・ 近くに公園など遊べる場所をつくってほしい。	14
・ 公園をきれいに保ち続けてほしい。	51
・ 公園の遊具を整備してほしい。	40
・ 公園に駐車場をつくってほしい。	22
・ 大型の公園をつくってほしい。	19
・ 公園の設備の充実。	10
・ 乳幼児の遊べる場所がほしい。	7
・ 雨の日に遊べる場所・施設がほしい。	29
・ 気軽に子どもと一緒に出掛けられる場所がほしい。	21
・ ここにこのような施設を増やしてほしい。	59
・ 市民プールを作してほしい。	5

カテゴリー	件数
・ 児童館を増やしてほしい。	13
・ 公共のトイレを整備してほしい。	28
・ あそび場の利用時間延長。	2
・ 公民館の貸し出しをしてほしい。	1
・ 施設をバランスよく配置してほしい。	5
・ 各種施設の駐車場を増やしてほしい。	2
・ 職員、スタッフの質を向上してほしい。	1
・ ここにこの駐車場を増やしてほしい。	2
・ 自然と触れ合える施設がない。	1
・ 道路の安全確保をしてほしい。	23
・ 歩道を整備してほしい。	19
・ 街灯を増やしてほしい。	9
・ 交通が不便である。	7
・ ベビーカーでも外出しやすくしてほしい。	3
・ 駅、バス停を増やしてほしい。	4
8 情報発信・相談窓口・行政手続き	78
・ 相談窓口を充実してほしい。	12
・ 相談にあたる職員の質を向上させてほしい。	11
・ 子育て支援の情報をわかりやすく提供・発信してほしい。	36
・ 子育て情報誌を発行してほしい。	3
・ インターネットやメールや SNS をうまく活用してほしい。	16
9 経済的支援	201
・ 経済的な支援を増やしてほしい。	191
・ 医療費の無償化、助成をしてほしい。(高校生年代まで無償化済)	4
・ ひとり親家庭への経済的援助をしてほしい。	1
・ 収入が少なく、生活が苦しい。	1
・ 給食費無料がありがたい。	4
10 健康・医療	75
・ 健診体制の充実。	7
・ 健診の時間が長い。待ち時間も長い。	2
・ 各種予防接種の助成を手厚くしてほしい。	8
・ 予防接種を皆受けられるようにしてほしい。	2
・ 夜間休日診療を充実してほしい。	11
・ 小児科等の医療機関を充実してほしい。	24
・ 病院の質を上げてほしい。	14
・ 病院も予約制が多く、緊急時などすぐ受診できない。	7

カテゴリー	件数
11 障がいのある子ども	33
・ 障がい児への支援サービスを充実してほしい。	23
・ 障がいのある子どもの受け入れを積極的にしてほしい。	10
12 地域との関わり	31
・ 子育てサークルを増やしてほしい。	3
・ 地域全体で子育て、交流できる環境がほしい。	17
・ 地域で見守りを行い、安全確保をしてほしい。	11
13 子育て環境や子育て支援サービス	240
・ 自然に触れ合える環境をつくってほしい。	3
・ 安心安全な食べ物を食べさせてほしい。	1
・ 親子の時間を大切にしたい。	5
・ 子どもがのびのびと成長できる環境をつくってほしい。	25
・ 親の教育に対する意識が必要である。	3
・ 子育てしやすいまちにほしい	125
・ 虐待への対処を充実してほしい。	4
・ 犯罪や不審者への対策をしてほしい。	6
・ 子育て教室を増やしてほしい。	17
・ イベントを増やしてほしい。	7
・ 子育て支援を続けていただきたい。	7
・ 支援サービスが今後さらに充実するように期待している。	18
・ 子育てしやすい市である。	11
・ 子育て支援に満足している。	8
14 アンケートについて	47
・ アンケートが長すぎる。質問が多すぎる。	22
・ アンケートがわかりにくい。	5
・ アンケート今後活かしてほしい。	20

## 2 就学児童

カテゴリー	件数
1 保護者の就労環境	42
・ 働く親と子育てに関して理解してほしい。	13
・ 労働環境が良くなってほしい。	7
・ 仕事と子育ての両立ができる環境の整備をしてほしい。	20
・ 男性の育休取得を進めてほしい。	2
2 幼児期の教育・保育	39
・ 保育園を増やしてほしい。	8
・ 休日の保育施設を増やしてほしい。	2
・ 保育内容を充実してほしい。	3
・ 保育士の質を向上させてほしい。	1
・ 保育園の入園の際に就労状況・条件を見直してほしい。	6
・ 入園手続きを簡素化してほしい。	2
・ 保育士の手当を充実してほしい。	7
・ 保育士の労働環境を見直すべきである。	7
・ 第1子・3歳未満の保育料が高いので安くしてほしい。	3
3 放課後の過ごし方	77
・ 放課後児童クラブの時間を延長してほしい。	10
・ 放課後児童クラブの内容を充実させてほしい。	35
・ 放課後児童クラブの定員を増やしてほしい。	3
・ 入所の条件を見直してほしい。	29
4 病気の際や不定期の教育・保育	38
・ 病児・病後児保育を増やしてほしい。	8
・ 病児・病後児保育をもっと安価で、利用しやすくしてほしい。	1
・ 一時預かりを気軽に利用できるようにしてほしい。	12
・ 一時預かりの事業を増やしてほしい。	11
・ 親の休養で子供を預かってほしい。	3
・ 長期休暇中に預かってくれる施設がほしい。	3
5 教育・学校	207
・ 教師の質を向上させてほしい。	10
・ 教育の質を上げてほしい。	33
・ 授業、学校行事等を充実する。	10
・ 英語での教育やサポートをしてほしい。	6
・ 不登校者への支援。	13
・ いじめ対策が必要である。	1
・ 教育委員会に子どもの発達に関する専門家をに入れてほしい。	1

カテゴリー	件数
・ 大雨時、学校を休みにしてほしい。	2
・ 災害時の対応をもっと明確にしてほしい。	1
・ 給食費について見直してほしい。	1
・ 学校の施設環境をよくする。	31
・ スクールバスを導入してほしい。	5
・ 校区を見直してほしい。	2
・ 学校を増やしてほしい。	2
・ 先生の待遇をよくする。	8
・ PTA など親との良好な関係づくり。	17
・ PTA などの親の負担を減らしてほしい。	2
・ 部活に代わる何か必要である。	44
・ 学習施設が少ない。	2
・ 習い事教室をつくってほしい。	4
・ 習い事への支援をしてほしい。	12
6 遊び場・施設・道路	208
・ 近くに公園など遊べる場所をつくってほしい。	28
・ 大型の公園をつくってほしい。	20
・ 公園をきれいに保ち続けてほしい。	13
・ 公園の遊具を整備してほしい。	15
・ 公園に駐車場をつくってほしい。	12
・ 公園付近に住む人のクレームにより、子どもを自由に遊ばせられない。	1
・ 気軽に子どもと一緒に出掛けられる場所がほしい。	11
・ 雨の日に遊べる場所・施設がほしい。	8
・ 乳幼児の遊べる場所がほしい。	2
・ ここにこのような施設を増やしてほしい。	8
・ 児童館を増やしてほしい。	6
・ 市民プールを作してほしい。	5
・ 市民館を日曜日も開館にしてほしい。	1
・ 公共のトイレを整備してほしい。	6
・ 無料で使える駐車場の充実。	5
・ 各種施設の駐車場を増やしてほしい。	3
・ 施設をバランスよく配置してほしい。	12
・ 職員、スタッフの質を向上してほしい。	2
・ 歩道を整備してほしい。	21
・ 道路の安全確保をしてほしい。	10
・ 街灯を増やしてほしい。	6

カテゴリー	件数
・ 交通が不便である。	9
・ 防犯対策を充実させてほしい。	2
・ 子ども達が外で遊ぶ機会が減っている。	1
・ 現状に満足している。	1
7 情報発信・相談窓口・行政手続き	66
・ 相談窓口を充実してほしい。	10
・ 相談にあたる職員の質を向上させてほしい。	3
・ 子育て支援の情報をわかりやすく提供・発信してほしい。	46
・ 子育て情報誌を発行してほしい。	1
・ インターネットやメールや SNS をうまく活用してほしい。	6
8 経済的支援	214
・ 経済的な支援を増やしてほしい。	166
・ 給食費無料を継続してほしい。	22
・ 医療費の無償化、助成をしてほしい。(高校生年代まで無償化済)	19
・ ひとり親家庭への経済的援助をしてほしい。	4
・ 収入が少なく、生活が苦しい。	3
9 健康・医療	43
・ 健診体制の充実	8
・ 健診の時間が長い。待ち時間も長い。	5
・ 各種予防接種の助成を手厚くしてほしい。	5
・ 予防接種を皆受けられるようにしてほしい。	3
・ 夜間休日診療を充実してほしい。	3
・ 小児科等の医療機関を充実してほしい。	14
・ 病院の質を上げてほしい。	3
・ 病院も予約制が多く、緊急時などすぐ受診できない。	2
10 障がいのある子ども	27
・ 障がい児への支援サービスを充実してほしい。	14
・ 障がいのある子どもの受け入れを積極的にしてほしい。	13
11 地域との関わり	26
・ 子育てサークルを増やしてほしい。	1
・ 地域全体で子育て、交流できる環境がほしい。	17
・ 地域で見守りを行い、安全確保をしてほしい。	7
・ 校区の運動会は負担が大きい	1
12 子育て環境や子育て支援サービス	173
・ 自然に触れ合える環境をつくってほしい。	4
・ 安心安全な食べ物を食べさせてほしい。	2



カテゴリー	件数
・ 親子の時間を大切にしたい。	7
・ 子どもがのびのびと成長できる環境をつくってほしい。	20
・ 親の教育に対する意識が必要である。	5
・ 子育てしやすいまちにしてほしい	37
・ 虐待への対処を充実してほしい。	1
・ 犯罪や不審者への対策をしてほしい。	4
・ 子育て教室を増やしてほしい。	1
・ イベントを増やしてほしい。	9
・ 子育て支援を続けていただきたい。	6
・ 支援サービスが今後さらに充実するように期待している。	69
・ 子育てしやすい市である。	2
・ 子育て支援に満足している。	6
13 アンケートについて	21
・ アンケートが長すぎる。質問が多すぎる。	2
・ アンケートがわかりにくい。	5
・ アンケート今後を活かしてほしい。	14

## IV 総括

### 1 家庭環境

子どもの人数（就学前児童：問3、就学児童：問3）について、就学前児童、就学児童ともに「2人」の割合が約5割となっています。平成30年度調査と比較すると、子どもの人数に大きな変化はみられません。

子育てを主に行っている人（就学前児童：問6、就学児童：問6）について、就学前児童、就学児童ともに「父母ともに」の割合が5割を超え最も高く、次いで「主に母親」が約4割と高くなっています。平成30年度調査と比較すると、「主に母親」の割合が減少し、「父母ともに」の割合が増加しており、子育てに深く関わる父親が増えている傾向がみられます。

子どもをみてもらえる人の有無（就学前児童：問8、就学児童：問8）について、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が就学前児童、就学児童ともに約6割と最も高くなっており、次いで「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」の割合が約3割となっています。一方、日常的や緊急時に子どもをみてもらえる親族や知人がいない割合は就学前児童、就学児童ともに1割を超えており、平成30年度調査から増加しています。

### 2 保護者の就労状況

母親の現在の就労状況（就学前児童：問10、就学児童：問10）について、就学前児童では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）の就労・雇用（産休・育休・介護休業中を含む）」「パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労・雇用（産休・育休・介護休業中を含む）」の割合がそれぞれ約4割、「就労していない」の割合が約2割となっています。

就学児童では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）の就労・雇用（産休・育休・介護休業中を含む）」の割合が約3割、「パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労・雇用（産休・育休・介護休業中を含む）」の割合が約5割、「就労していない」の割合が1割半ばとなっています。

平成30年度調査と比較すると、就学前児童、就学児童ともに、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）の就労・雇用（産休・育休・介護休業中を含む）」の割合が増加し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。特に就学前児童では10ポイント近い増減がみられ、妊娠・出産後も仕事を辞めずに、フルタイムでの就労・雇用に継続している人が増えていることがうかがえます。

また、母親の就労の増加に伴い、父母が共働きの世帯も増加しています。就学前児童では、父母ともにフルタイム、父親がフルタイムで母親がパート・アルバイトの割合が3割を超え、就学児童では、父母ともにフルタイムが2割、父親がフルタイムで母親がパート・アルバイトの割合が4割を超えています。

### 3 育児休業の取得状況

育児休業の取得状況（就学前児童：問 14）について、母親で「取得した（取得中である）」の割合は 48.7%で、働いている人の育児休業の取得率は 76.5%となり、平成 30 年度調査の取得率 69.1%から 7.4 ポイント増加しています。

父親では、「取得した（取得予定である）」の割合は 17.2%で、働いている人の育児休業の取得率は 18.1%となり、平成 30 年度調査の取得率 4.1%から 14.0 ポイント増加しています。取得していない理由について、平成 30 年度調査からは減少しているものの、「職場が育児休業を取得しづらい雰囲気だった」「仕事が忙しかった」の職場環境に起因する割合が、依然としてそれぞれ 3 割近くあることから、仕事と子育てを両立できる環境整備を進める必要があります。

### 4 乳幼児期の教育・保育の利用

現在、利用している、利用していないにかかわらず、子どもの平日の教育・保育事業として、定期的に利用したいと考える事業（就学前児童：問 18）について、「認定こども園」を希望する割合が約 6 割と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が約 5 割となっています。

実際に平日利用している教育・保育事業（就学前児童：問 21）については、「認可保育所」の割合が約 4 割と最も高く、次いで「認定こども園」の割合が 3 割半ばとなっています。平成 30 年度調査と比較すると、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が減少し、「認定こども園」の割合が増加しています。

「認定こども園」や「認可保育所」を希望や利用する割合が高くなっている要因として、出産後も仕事を続ける母親の増加に伴い、低年齢から利用でき、利用時間が長い施設を選択していることが考えられます。

### 5 小学校の放課後の過ごし方

小学校の放課後に過ごさせたいと思う場所（就学前児童：問 35、就学児童：問 14）について、「自宅」の割合が就学前児童では約 5 割、就学児童では約 7 割と最も高くなっています。また、就学前児童では「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が約 5 割、就学児童では、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が約 6 割と二番目に高くなっています。また、令和 4 年度から全小学校で実施している「のびるん de スクール」の割合は、就学前児童、就学児童ともに 2 割台となっており、就学前児童では四番目、就学児童では三番目となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、就学前児童で「放課後児童クラブ（学童保育）」が、就学児童で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が増加しています。共働き世帯の割合が増加していることに伴い、「自宅」以外で放課後を過ごすことを希望する割合が増加していることがうかがえます。

## 6 子どもの病気の際の対応

子どもの病気やケガで普段利用している教育・保育事業が、この1年間で利用できなかったことの有無（就学前児童：問26、就学児童：問22）について、就学前児童で約8割、就学児童で約7割が「あった」と回答しています。平成30年度調査と比較すると、就学前児童で8.7ポイント、就学児童で19.2ポイント増加しています。

その際の対処方法として、「父親が仕事を休んだ」の割合が、平成30年度調査と比較すると、就学前児童、就学児童ともに約2倍となっています。フルタイムで就労する母親の割合が増加していることに加え、特に子どもの年齢が低いほどその割合が高い傾向があることから、子どもの年齢が低い世帯の方が、父親が積極的に育児に関わっている状況がうかがえます。

父母が仕事を休んで対処した世帯における病児（病後児）保育の利用希望（就学前児童：問28、就学児童：問24）について、平成30年度調査と比較すると、希望する割合に大きな変化はみられません。希望する利用日数では、10日以上を希望する割合が増加するなど、全般的に希望日数の増加傾向がみられます。

## 7 出産や子育てへの支援

理想とする子どもの人数（就学前児童：問38、就学児童：問28）について、「2人」の割合が就学前児童で約5割、就学児童で約4割と最も高くなっています。実際（予定）の子どもの人数についても、「2人」の割合が就学前児童、就学児童ともに約5割と同様の傾向となっています。また、理想とする子どもの人数で「3人」の割合は、就学前児童、就学児童ともに、平成30年度調査に引き続き、前回の値（就学前児童：43.0%、就学児童：44.0%）を下回る減少傾向となっています。

理想とする子どもの数を実現するために必要と考えること（就学前児童：問39、就学児童：問29）について、「子育て世代の所得の向上」の割合が就学前児童、就学児童ともに最も高くなっており、次いで「大学・専修学校などの高等教育費の負担軽減」の割合が高く、また、子どもの人数が多いほどその割合が高くなっている傾向がみられます。

## 8 子育てに関する情報の入手先

子育てに関する情報の入手先（就学前児童：問45、就学児童：問35）、について、就学前児童、就学児童ともに、「友人・知人」「親族（親、きょうだいなど）」「認定こども園、保育所、幼稚園、学校」の順に割合が高くなっています。

平成30年度調査では、「広報とよはし」がそれに続いていましたが、「SNS」の割合が大きく増加し、就学前児童では46.0%、就学児童では30.2%となり、「広報とよはし」の就学前児童26.3%、就学児童26.7%をそれぞれ上回る結果となりました。

## 9 子どもの権利の尊重

子どもの権利（就学前児童：問 61、就学児童：問 48）について、「子どもの権利に関する国際的な条約「子どもの権利条約」（日本も加入している）があることを知っている」の割合は、就学前児童で 37.3%、就学児童で 32.3%となり、平成 30 年度調査の就学前児童 28.6%、就学児童 27.1%からは増加しています。

また、「子どもの権利や意見が最大限に尊重されることが大切である」の割合は、就学前児童で 67.2%、就学児童で 57.8%と高い一方、社会や家庭においては、子どもの権利が十分に尊重されていないと考える保護者が多いことがうかがえます。

## 10 子育て環境・子育て支援サービスの評価

豊橋市の子育て環境について、現在どのように感じているか（就学前児童：問 62（1）、就学児童：問 49（1））について、就学前児童では、「②子どもの教育環境が充実している」「⑧子育ての相談窓口が充実している」で“思う”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせたもの）の割合が高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、19 項目のうち 16 項目で“思う”の割合が増加し、平均で 11 ポイントの増加となっており、子育ての相談窓口の整備や経済的支援などの施策が一定の評価を得ていると考えられます。一方、「⑬妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している」「⑭子どものための医療施設が充実している」は“思う”の割合は高いものの、平成 30 年度調査からは減少しています。

就学児童では、「⑬妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している」「⑭子どものための医療施設が充実している」で“思う”の割合が高くなっています。ただし、この 2 項目は就学前児童と同様に平成 30 年度調査から“思う”の割合が減少しています。

平成 30 年度調査と比較すると、「⑩子育て家庭への経済的援助が充実している」について、“思う”の割合が、就学前児童で 16.0 ポイントの増加に対し、就学児童では微減、また「⑱女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる」については、就学前児童で 21.2 ポイントの増加に対し、就学児童では 5.8 ポイントの増加にとどまるなど、就学前児童では現在の子育て環境やサービスに対する満足度に大きな向上がみられたのに対し、就学児童では概ね向上はしていますが、5 つの項目で“思う”の割合が減少するなど、全体での伸び幅は小さくなっています。

これからの豊橋市の子育て環境に重要なもの（就学前児童：問 62（2）、就学児童：問 49（2））について、「②子どもの教育環境が充実している」「③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている」「⑪子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている」「⑭子どものための医療施設が充実している」「⑰子育て支援に積極的な企業が多い」で、「重要だと思う」と「どちらかといえば重要だと思う」の割合が高くなっており、安心して教育や子育てできる環境の整備を求める意見が多くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、就学前児童では「重要だと思う」と「どちらかといえば重要だと思う」の割合が減少している項目がありますが、就学児童では 1 項目を除き増加しています。

## 11 子育てしやすいさの評価

豊橋市は子育てしやすいまちだと思うか（就学前児童：問 63、就学児童：問 50）について、就学前児童、就学児童ともに、“思う”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせたもの）の割合が7割を超え、平成 30 年度調査結果と比較すると、就学前児童、就学児童ともに増加しています。

また、父母が共働きの世帯の方が、それ以外の世帯より“思う”の割合が高くなっていることから、本市で多数を占める共働き世帯にとって子育てしやすい環境づくりが進んでいると考えられます。

豊橋市

子ども・子育て支援に関するニーズ調査

---

発行年月：令和6年3月

発行：豊橋市 こども未来部 子育て支援課

〒440-8501

愛知県豊橋市今橋町1番地

電話：0532-51-2382